

令和3年度夏期スクーリング 開講講座一覧

第1期：7月26日（月）～8月1日（日），8月9日（月），10日（火）

講座コード	講座名	開講単位数	担当教員名	充当科目コード	充当科目名	併用	記号学年	8/9, 10の授業方法	備考
C0A1	哲学	2	成田 正人	B10700	哲学		1年	オンデマンド	
C0A2	政治学	2	関根 二三夫	B11700	政治学		1年	オンデマンド	
C0A3	英語 A	1	小田井 勝彦	C10100	英語 I		1年	ZOOM	I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語 II				
				C10300	英語 III		2年		
				C10400	英語 IV				
C0A4	フランス語 I・II	1	大庭 克夫	E10100	フランス語 I		1年	オンデマンド	I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				E10200	フランス語 II				
C0A5	中国語 III・IV	1	稲葉 明子	F10300	中国語 III		2年	ZOOM	III, IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				F10400	中国語 IV				
C0A6	保健体育講義 I	1	高橋 正則	H10100	保健体育講義 I	×	1年	オンデマンド	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
C0A7	民法 IV	2	加藤 雅之	K30300	民法 IV		2年	オンデマンド	
C0A8	国際政治学/国際政治論/国際政治学概論	2	山本 直	L30200	国際政治学		2年	ZOOM	法学部, 文理学部のみ申込可。
				R32700	国際政治論				経済学部のみ申込可。
				S33200	国際政治学概論				商学部のみ申込可。
C0A9	国文学講義 II (中古)	2	笹生 美貴子	M306S0	国文学講義 II (中古)	×	2年	オンデマンド	
C0AA	国文学演習 A	1	藤平 泉	M404S0	国文学演習 I	×	3年	ZOOM	・文学専攻(国文学)のみ申込可。 ・I～VIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				M405S0	国文学演習 II				
				M406S0	国文学演習 III				
				M407S0	国文学演習 IV				
				M408S0	国文学演習 V				
				M409S0	国文学演習 VI				
C0AB	英作文 II	2	アレックス ブラウン	N30500	英作文 II	×	2年	オンデマンド	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
C0AC	スピーチコミュニケーション I	1	レビー クリストファー	N30900	スピーチコミュニケーション I		2年	ZOOM	本講座は令和3年度夏期スクーリング開講「C0BC スピーチコミュニケーション II」(レビークリストファー先生)を受講する場合は受講できません。
C0AD	異文化間コミュニケーション概論	2	大庭 香江	N31700	異文化間コミュニケーション概論	×	2年	オンデマンド	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
C0AE	英米文学演習 A	1	関田 朋子	N404S0	英米文学演習 I	×	3年	ZOOM	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				N405S0	英米文学演習 II				
				N406S0	英米文学演習 III				
C0AF	経済政策総論/経済政策	2	周藤 利一	R30700	経済政策総論		2年	オンデマンド	文理学部, 経済学部, 商学部のみ申込可。
				L31500	経済政策				法学部のみ申込可。
C0AG	国際経済論	2	羽田 翔	R31100	国際経済論		2年	オンデマンド	
C0AH	労働経済論	2	村上 英吾	R32200	労働経済論		2年	オンデマンド	
C0AJ	経営学	2	階戸 照雄	S20200	経営学		※	オンデマンド	・商学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
C0AK	国語科教育法 I	2	永吉 寛行	T20300	国語科教育法 I	×	2年	ZOOM	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・文学専攻(国文学)のみ申込可。 ・入学年に応じて科目コードが異なる科目です。
				T23500	国語科教育法 I				
C0AL	社会科・地理歴史科教育法 II	2	宇内 一文	T20600	社会科・地理歴史科教育法 II	×	2年	オンデマンド	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 法学部, 哲学専攻, 史学専攻, 経済学部, 商学部のみ申込可。
C0AM	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	今泉 朝雄	T23400	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	×	2年	オンデマンド	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
C0AN	英語科教育法 III	2	リチャード キャラカー	T30300	英語科教育法 III	×	2年	ZOOM	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・文学専攻(英文学)のみ申込可。
C0AP	博物館情報・メディア論	2	小林 克	Y21000	博物館情報・メディア論	×	2年	オンデマンド	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。

令和3年度夏期スクーリング 開講講座一覧

第2期：7月26日（月）～8月1日（日），8月11日（水），12日（木）

講座コード	講座名	開講単位数	担当教員名	充当科目コード	充当科目名	併用	記当学年	8/11, 12の授業方法	備考
C0B1	歴史学	2	下川 雅弘	B11100	歴史学		1年	ZOOM	
C0B2	英語 B	1	アレックス ブラウン	C10100	英語 I		1年	オンデマンド	・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語 II		2年		
				C10300	英語 III				
				C10400	英語 IV				
C0B3	英語 C	1	和泉 周子	C10100	英語 I		1年	ZOOM	・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語 II		2年		
				C10300	英語 III				
				C10400	英語 IV				
C0B4	中国語 I・II	1	山本 優子	F10100	中国語 I		1年	オンデマンド	・I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				F10200	中国語 II				
C0B5	商法Ⅲ	2	鬼頭 俊泰	K30700	商法Ⅲ		2年	オンデマンド	
C0B6	刑事訴訟法	2	澤田 康広	K31700	刑事訴訟法		2年	ZOOM	
C0B7	政治学原論	2	吉野 篤	L20100	政治学原論		※	オンデマンド	・政治経済学科のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
C0B8	国文学基礎講義	2	高橋 優美穂	M20100	国文学基礎講義		※	オンデマンド	・文学専攻(国文学)のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
C0B9	国文学講義 I (上代)	2	鈴木 雅裕	M30500	国文学講義 I (上代)		2年	オンデマンド	
C0BA	英語史	2	齋藤 雄介	N30300	英語史		2年	ZOOM	
C0BB	スピーチコミュニケーションⅡ	1	レビー クリストファー	N31000	スピーチコミュニケーションⅡ		2年	ZOOM	本講座は令和3年度夏期スクーリング開講「C0AC スピーチコミュニケーションⅠ」(レビークリストファー先生)を受講する場合は受講できません。
C0BC	英語学演習 A	1	小澤 賢司	N401S0	英語学演習 I	×	3年	ZOOM	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				N402S0	英語学演習 II				
				N403S0	英語学演習 III				
C0BD	英米文学演習 B	1	新井 英夫	N404S0	英米文学演習 I	×	3年	オンデマンド	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				N405S0	英米文学演習 II				
				N406S0	英米文学演習 III				
C0BE	哲学演習 A	1	中澤 瞳	P401S0	哲学演習 I	×	3年	オンデマンド	・哲学専攻のみ申込可。 ・I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				P402S0	哲学演習 II				
C0BF	日本史概説/日本史概論	2	鍋本 由徳	Q30200	日本史概説		2年	オンデマンド	文理, 経済, 商学部のみ申込可。
				K32200	日本史概論				法学部のみ申込可。
C0BG	日本史演習 I・II	1	堀川 徹	Q401S0	日本史演習 I	×	3年	ZOOM	・史学専攻のみ申込可。 ・I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				Q402S0	日本史演習 II				
C0BH	経済開発論	2	前野 高章	R31400	経済開発論		2年	オンデマンド	
C0BJ	租税論	2	鶴藤 俊英	R31700	租税論		2年	オンデマンド	
C0BK	国語科教育法Ⅱ	2	永吉 寛行	T20400	国語科教育法Ⅱ	×	2年	ZOOM	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・文学専攻(国文学)のみ申込可。
C0BL	漢字書法	2	徳泉 さち	T22400	漢字書法	×	2年	オンデマンド	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・文学専攻(国文学)のみ申込可。
C0BM	特別支援教育概論	1	田尻 由起	T23200	特別支援教育概論	×	2年	ZOOM	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・8月12日(木)は開講しません。
C0BN	英語科教育法Ⅳ	2	小林 和歌子	T30400	英語科教育法Ⅳ	×	2年	オンデマンド	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・文学専攻(英文学)のみ申込可。

令和3年度夏期スクーリング 開講講座一覧

第3期：7月26日（月）～8月1日（日），8月14日（土），15日（日）

講座コード	講座名	開講単位数	担当教員名	充当科目コード	充当科目名	併用	記当学年	8/14, 15の授業方法	備考
C0C1	英語 D	1	佐藤 恵一	C10100	英語 I		1年	オンデマンド	I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語 II				
				C10300	英語 III		2年		
				C10400	英語 IV				
C0C2	商法 I	2	松嶋 康尚	K30500	商法 I		2年	ZOOM	
C0C3	民事訴訟法	2	吉田 純平	K31600	民事訴訟法		2年	オンデマンド	
C0C4	日本政治史	2	石川 徳幸	L30400	日本政治史		2年	オンデマンド	
C0C5	国文法	2	阿久澤 忠	M30300	国文法		2年	オンデマンド	
C0C6	漢文学 I	2	本間 直人	M31500	漢文学 I		2年	オンデマンド	
C0C7	英文法	2	山岡 洋	N20200	英文法		2年	ZOOM	文学専攻(英文学)のみ1学年以上申込可。それ以外は2学年以上申込可。
C0C8	英米文学概説/英語文学概説	2	新井 英夫	N20300	英米文学概説		※	オンデマンド	・文学専攻(英文学)のみ1学年以上申込可。それ以外は2学年以上申込可。 ・平成30年度以前入学生のみ履修可。
				N20400	英語文学概説				・文学専攻(英文学)のみ1学年以上申込可。それ以外は2学年以上申込可。 ・令和元年度以降入学生のみ履修可。
C0C9	イギリス文学史 II	2	鈴木 ふさ子	N30100	イギリス文学史 II		2年	オンデマンド	
C0CA	英作文 I	2	レビー クリストファー	N30400	英作文 I	×	2年	ZOOM	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
C0CB	英語学演習 B	1	田中 竹史	N401S0	英語学演習 I	×	3年	ZOOM	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				N402S0	英語学演習 II				
				N403S0	英語学演習 III				
C0CC	倫理学基礎講読	2	関谷 雄磨	P30200	倫理学基礎講読		2年	ZOOM	
C0CD	日本思想史 I	2	島田 健太郎	P30800	日本思想史 I		2年	オンデマンド	
C0CE	日本史入門	2	関 幸彦	Q20100	日本史入門		※	オンデマンド	・史学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
C0CF	西洋史概説/西洋史概論	2	馬淵 彰	Q30400	西洋史概説		2年	オンデマンド	文理, 経済, 商学部のみ申込可。
				K32400	西洋史概論				法学部のみ申込可。
C0CG	工業経済論	2	齋藤 高志	R30900	工業経済論		2年	ZOOM	
C0CH	情報概論 A	2	中村 典裕	R32300	情報概論		2年	オンデマンド	
C0CJ	保険総論	2	岡田 太	S30600	保険総論		2年	ZOOM	
C0CK	交通論	2	三ツ木 丈浩	S30700	交通論		2年	オンデマンド	
C0CL	国際金融論	2	谷川 孝美	S31200	国際金融論		2年	ZOOM	
C0CM	英語科教育法 II	2	柳川 浩三	T21000	英語科教育法 II	×	2年	ZOOM	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。

体育実技：8月 9日（月）～14日（土）

講座コード	講座名	開講単位数	担当教員名	充当科目コード	充当科目名	併用	記当学年	開講方法	備考
C0G1	体育実技 I・II	1	高橋 正則	J101S0	体育実技 I	×	1年	オンデマンド	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず確認してください。 ・他の講座と開講日程が異なるため注意してください。
				J102S0	体育実技 II				

令和3年度夏期スクーリング 開講講座一覧

第4期：8月 2日（月）～8月8日（日），8月16日（月），17日（火）

講座コード	講座名	開講単位数	担当教員名	充当科目コード	充当科目名	併用	記号学年	8/16, 17の授業方法	備考
C0D1	美術史	2	羅 翠尚	B11400	美術史		1年	オンデマンド	
C0D2	英語 E	1	佐藤 万里世	C10100	英語 I		1年	オンデマンド	・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語 II				
				C10300	英語 III		2年		
				C10400	英語 IV				
C0D3	英語 F	1	堀 紳介	C10100	英語 I		1年	オンデマンド	・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語 II				
				C10300	英語 III		2年		
				C10400	英語 IV				
C0D4	憲法	2	田上 雄大	K20100	憲法		※	オンデマンド	・法学部のみ1学年以上申込可。 ・文理学部、経済学部、商学部は2学年以上申込可。
C0D5	行政法 I	2	西原 雄二	K30900	行政法 I		2年	オンデマンド	
C0D6	西洋政治史	2	渡邊 容一郎	L30500	西洋政治史		2年	ZOOM	
C0D7	国文学概論	2	鈴木 雅裕	M20200	国文学概論		※	オンデマンド	・文学専攻(国文学)のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
C0D8	国語音声学	2	林 直樹	M31400	国語音声学		2年	オンデマンド	
C0D9	国文学演習 B	1	長谷川 正江	M404S0	国文学演習 I	×	3年	ZOOM	・文学専攻(国文学)のみ申込可。 ・I～VIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				M405S0	国文学演習 II				
				M406S0	国文学演習 III				
				M407S0	国文学演習 IV				
				M408S0	国文学演習 V				
				M409S0	国文学演習 VI				
C0DA	イギリス文学史 I	2	常名 朗央	N20100	イギリス文学史 I		※	ZOOM	・文学専攻(英文学)のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
C0DB	西洋古典	2	上滝 圭介	N308S0	西洋古典	×	2年	ZOOM	
C0DC	英語学演習 C	1	黒滝 真理子	N401S0	英語学演習 I	×	3年	ZOOM	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				N402S0	英語学演習 II				
				N403S0	英語学演習 III				
C0DD	哲学基礎講読	2	中澤 瞳	P20100	哲学基礎講読		※	オンデマンド	・哲学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
C0DE	哲学特殊講義	2	小山 英一	P31000	哲学特殊講義		2年	ZOOM	
C0DF	西洋史入門	2	後藤 秀和	Q20300	西洋史入門		※	ZOOM	・史学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
C0DG	東洋史演習 I・II	1	塚本 剛	Q403S0	東洋史演習 I	×	3年	ZOOM	・史学専攻のみ申込可。 ・I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				Q404S0	東洋史演習 II				
C0DH	西洋経済史	2	上村 能弘	R30600	西洋経済史		2年	オンデマンド	
C0DJ	情報概論 B	2	荒開 仁志	R32300	情報概論		2年	オンデマンド	
C0DK	簿記論 I	2	林 徳順	S20300	簿記論 I		※	オンデマンド	・商学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
C0DL	社会科・公民科教育法 I	2	宇内 一文	T20700	社会科・公民科教育法 I	×	2年	オンデマンド	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・法学部、哲学専攻、史学専攻、経済学部、商学部のみ申込可。 ・入学年に応じて科目コードが異なる科目です。
				T23700	社会科・公民科教育法 I				
C0DM	英語科教育法 I	2	隅田 朗彦	T20900	英語科教育法 I	×	2年	ZOOM	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・入学年に応じて科目コードが異なる科目です。
				T23800	英語科教育法 I				
C0DN	発達と学習	2	野村 康治	T10500	発達と学習	×	2年	オンデマンド	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
				T23100	発達と学習				
C0DP	文化人類学	2	服部 慶亘	Y21300	文化人類学		2年	オンデマンド	

令和3年度夏期スクーリング 開講講座一覧

第5期：8月 2日（月）～8月8日（日），8月19日（木），20日（金）

講座コード	講座名	開講単位数	担当教員名	充当科目コード	充当科目名	併用	記当学年	8/19, 20の授業方法	備考
COE1	英語 G	1	山下 壱子	C10100	英語 I		1年	オンデマンド	I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語 II				
				C10300	英語 III		2年		
				C10400	英語 IV				
COE2	英語 V	1	島本 慎一郎	C10500	英語 V		2年	ZOOM	
COE3	TOEIC	1	八木 茂那子	C108S0	TOEIC	×	1年	ZOOM	
COE4	民法 III	2	田中 夏樹	K30200	民法 III		2年	ZOOM	
COE5	知的財産権法	2	安田 和史	K31400	知的財産権法		2年	オンデマンド	
COE6	国文学講義 VI (現代)	2	尾形 大	M31000	国文学講義 VI (現代)		2年	オンデマンド	
COE7	国語学演習 I～III	1	杉山 俊一郎	M401S0	国語学演習 I	×	3年	ZOOM	・文学専攻(国文学)のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				M402S0	国語学演習 II				
				M403S0	国語学演習 III				
COE8	アメリカ文学史	2	鈴木 孝	N30200	アメリカ文学史		2年	ZOOM	
COE9	英語音声学	2	森 晴代	N30600	英語音声学		2年	オンデマンド	
COEA	英語学演習 D	1	佐藤 健児	N401S0	英語学演習 I	×	3年	ZOOM	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				N402S0	英語学演習 II				
				N403S0	英語学演習 III				
COEB	英米文学演習 C	1	工藤 由布子	N404S0	英米文学演習 I	×	3年	オンデマンド	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				N405S0	英米文学演習 II				
				N406S0	英米文学演習 III				
COEC	宗教学基礎講読	2	富田 真浩	P30100	宗教学基礎講読		2年	オンデマンド	
COED	科学哲学	2	江川 晃	P31300	科学哲学		2年	オンデマンド	
COEE	東洋史特講 I	2	須江 隆	Q31000	東洋史特講 I		2年	オンデマンド	
COEF	西洋史演習 I・II	1	伊藤 雅之	Q405S0	西洋史演習 I	×	3年	ZOOM	・史学専攻のみ申込可。 ・I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				Q406S0	西洋史演習 II				
COEG	日本経済史	2	飯島 正義	R30500	日本経済史		2年	ZOOM	
COEH	商法	2	金澤 大祐	S30200	商法		2年	オンデマンド	
COEJ	教育制度論	2	北野 秋男	T20200	教育制度論	×	2年	ZOOM	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
COEK	道徳教育の理論と方法/道徳教育の研究	2	李 吉魯	T21300	道徳教育の理論と方法	×	2年	ZOOM	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
				T21400	道徳教育の研究				
COEL	教育の方法・技術論	2	古賀 徹	T21700	教育の方法・技術論	×	2年	ZOOM	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
COEM	博物館経営論	2	小林 克	Y20400	博物館経営論	×	2年	オンデマンド	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。

第5期（博物館実習 I）：8月19日（木），20日（金）

講座コード	講座名	開講単位数	担当教員名	充当科目コード	充当科目名	併用	記当学年	8/19, 20の授業方法	備考
COEN	博物館実習 I	1	折茂 克哉	Y301S0	博物館実習 I	×	3年	対面	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・博物館実習 Iを受講するためには、指定時期までに受講資格を充足している必要があります。

令和3年度夏期スクーリング 開講講座一覧

第6期：8月 2日（月）～8月8日（日），8月21日（土），22日（日）

講座コード	講座名	開講単位数	担当教員名	充当科目コード	充当科目名	併用	記当学年	8/21, 22の授業方法	備考	
C0F1	心理学	2	須永 範明	B12100	心理学		1年	オンデマンド		
C0F2	英語 H	1	寒河江 融	C10100	英語 I		1年	オンデマンド	I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英語 II					
				C10300	英語 III		2年			
				C10400	英語 IV					
C0F3	英語 J	1	町田 純子	C10100	英語 I		1年	ZOOM	I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英語 II					
				C10300	英語 III		2年			
				C10400	英語 IV					
C0F4	英語基礎	1	森景 真紀	C10600	英語基礎		1年	ZOOM	文学専攻(英文学)は申込不可。	
C0F5	ドイツ語 I・II	1	志田 慎	D10100	ドイツ語 I		1年	オンデマンド	I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				D10200	ドイツ語 II					
C0F6	刑法 I	2	西貝 吉晃	K20300	刑法 I		※	オンデマンド	・法律学科のみ1学年以上申込可。 ・それ以外は2学年以上申込可。	
C0F7	民法 V	2	矢田 尚子	K30400	民法 V			2年	オンデマンド	
C0F8	法哲学	2	高須 則行	K318S0	法哲学	×	2年	オンデマンド		
C0F9	国文学講義Ⅳ(近世)	2	山崎 泉	M30800	国文学講義Ⅳ(近世)			2年	オンデマンド	
C0FA	英語学概説	2	山岡 洋	N30700	英語学概説			2年	ZOOM	
C0FB	英米文学特殊講義	2	猪野 恵也	N31200	英米文学特殊講義			2年	オンデマンド	
C0FC	英語学特殊講義	2	吉良 文孝	N311S0	英語学特殊講義	×	2年	ZOOM		
C0FD	英米文学演習 D	1	堤 裕美子	N404S0	英米文学演習 I	×	3年	オンデマンド	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・I～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				N405S0	英米文学演習 II					
				N406S0	英米文学演習 III					
C0FE	倫理学特殊講義	2	金子 佳司	P312S0	倫理学特殊講義	×	2年	オンデマンド		
C0FF	哲学演習 B	1	成田 正人	P401S0	哲学演習 I	×	3年	オンデマンド	・哲学専攻のみ申込可。 ・I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				P402S0	哲学演習 II					
C0FG	西洋史特講 II	2	山本 興一郎	Q313S0	西洋史特講 II	×	2年	オンデマンド		
C0FH	考古学演習 I・II	1	山本 孝文	Q407S0	考古学演習 I	×	3年	オンデマンド	・史学専攻のみ申込可。 ・I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				Q408S0	考古学演習 II					
C0FJ	経済学史/経済学説史	2	高橋 宏幸	R30100	経済学史		2年	オンデマンド	文理学部, 経済学部, 商学部のみ申込可。	
				L31300	経済学説史				法学部のみ申込可。	
C0FK	財政学総論/財政学	2	金子 光	R31500	財政学総論		2年	ZOOM	文理・経済・商学部のみ申込可。	
				L31400	財政学				法学部のみ申込可。	
C0FL	貿易論	2	岡田 直己	S30400	貿易論			2年	ZOOM	
C0FM	現代教職論	2	杉森 知也	T10100	現代教職論	×	2年	ZOOM	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
C0FN	地誌学/地誌学概論/ 地理学概論(地誌を含む)	2	羽田 麻美	T21900	地誌学		2年	ZOOM	文理学部, 経済学部のみ申込可。	
				T22000	地誌学概論				法学部のみ申込可。	
				T22100	地理学概論(地誌を含む)				商学部のみ申込可。	
C0FP	かな書法	2	山本 まり子	T22500	かな書法	×	2年	オンデマンド	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・文学専攻(国文学)のみ申込可。	
C0FQ	教育課程論	2	野内 頼一	T23300	教育課程論	×	2年	ZOOM	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	

◆授業概要

代表的な哲学者の思想や議論を学習するだけでなく、自分たち自身で対話や論述を通して哲学を実践します。もちろん、哲学の基本的なやり方を学ぶには、哲学史上の有名な問題や学説の理解に努めなければなりません。しかし、それだけでは哲学する力は育たないので、この授業では実際に哲学することが求められます。他の人と対話を重ね、自ら批判的に思考を続けることで、自分で世界や人生を哲学する力が養われるでしょう。

◆学修到達目標

この授業の目標は、第一に、哲学史上の有名な問題や議論を、歴史的な背景や論理的な構造まで含めて、しっかり理解し考察できるようになることです。また、第二に、各人が惹かれる世界や人生の問題を哲学的に対話し論述することで、哲学の基本的なやり方を身に付け、自ら哲学することの楽しさを実感できるようになることです。

◆授業方法**・オンデマンド**

まずは資料を読んでください。次に講義スライドで資料の論点や解釈を確認してください。用語や歴史も簡単に説明します。また、資料への疑問や反論などを書いて提出してください。優れたものは授業で取り上げます。

◆履修条件

令和2年度夏期スクーリング「哲学」（成田正人）とは積み重ね不可です。

◆成績評価基準

対面授業の最後に実施する論述試験（60%）と課題の評価や対話への貢献を含む授業参画度（40%）で総合的に評価します。毎回の出席を前提します。（オンデマンドでは動画の閲覧や課題の提出が出席を兼ねます。）

◆教科書

哲学の古典などからの引用をまとめた資料をPDFファイルで配布します。

◆参考書

特に指定しませんが、授業内で適宜紹介します。

◆授業相談先（連絡先）

Classroom上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none">・概説と導入：哲学史を概観し、哲学とは何かを考えます。授業方法や評価基準も確認します。・哲学と探求：なぜ哲学するのか？哲学的な探求とはどのようなものか？・哲学と真理：哲学的な真理とは？真理は相対的か？なぜ哲学は言葉を使うのか？・人生と善悪：人間の善さとは何か？悪とは何か？善悪はどこにあるのか？・人生の意味：人生の目的とは？幸福に必要なのは？私たちは自由なのか？
事 前 学 修	資料にまとめられた哲学書の引用を精読して、各引用で何がどのように論じられているのかを自分で考えておいてください。できれば、そのときに生じた疑問や反論などは書き留めておいてください。
事 後 学 修	音声付きの講義スライドを閲覧した後に、改めて気になった資料の引用を読み直してください。また、その中から自分の好きな引用を1つ選んで、そこに生じた疑問やそれに対する反論などを簡単にまとめて課題として提出してください。

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・存在と本質：存在しない神は神なのか？神の本質は存在なのか？神はどのような存在なのか？ ・存在と現実：なぜ私は存在するのか？なぜ世界は（このように）あるのか？現実とは何か？ ・哲学と対話：世界や人生に謎を感じたことはありますか？あなたの問いは何ですか？ ・私の心：私は心なのか？どうして私は（1つに）まとまっているのか？心とは私の心なのか？ ・物と心：心の外に物はあるのか？なぜあなたにも心があるのか？コウモリになるとは？
2 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・時間と変化：変化のない時間？時間は無限に分割できるのか？時間を通して同じものとは？ ・時間の様相：現在とは何か？記憶とは何か？過去は変えられるか？時間は実在するか？ ・帰納と因果：原因とは何か？なぜ原因は結果を生むのか？なぜ自然の歩みは変わらないのか？ ・帰納と規則：なぜ一般化できるのか？規則はどこにあるのか？帰納の問題はどこにあるのか？ ・総括と試験：授業の総括をしてから、論述試験を実施します。
事 前 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業1日目の事前学習では、まずは資料にまとめられた哲学書の引用を精読し、各引用で何がどのように論じられているのかをよく考えておいてください。できれば、そのときに生じた疑問や反論などは書き留めておいてください。また、自分が惹かれる世界や人生の謎を（対話の主題として他の人と共有できるように）考えておいてください。 ・対面授業2日目の事前学習では、まずは資料にまとめられた哲学書の引用を精読し、各引用で何がどのように論じられているのかをよく考えておいてください。できれば、そのときに生じた疑問や反論などは書き留めておいてください。また、論述試験に備えて、自分の問いを哲学的に展開できるように準備しておいてください。 	
事 後 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業1日目の事後学習では、授業で話し合ったことを活かして、さらに存在や心について考えて（書き出して）みてください。また、（非学術的な）哲学対話に興味をもった人は、哲学カフェについて調べてみるとよいかもしれません。 ・対面授業2日目の事後学習では、授業で話し合ったことを活かして、さらに時間や帰納について考えて（書き出して）みてください。そして、できれば、自分の問いを哲学的に探求し続けてください。 	

講座内容（シラバス）

〔政治学〕

関根 二三夫

◆**授業概要** 基礎教育としての講義を行います。政治学の変遷、政治の概念、政治の本質、政治権力、国家、議会政治、立法部と行政部、選挙、政党、圧力団体、コミュニケーション、リーダーシップについて学びます。

◆**学修到達目標** 議会及び大統領もしくは内閣の動きを見ますと、政治が難しい現象のように思われます。しかし、法律や予算の制定や執行は、国家や社会や個人の発展に寄与するために役立ちます。この講義においては、政治が我々の生活に大きな影響を及ぼすと同時に、我々にとって身近な現象であることを理解できるようにします。

◆**授業方法**

・オンデマンド

講義形式で行います。講義においては、政治に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。講義の中で、受講生の理解度を調べるための理解度チェックを行い、課題内容の説明を致します。受講に際しては、予習及び復習が必要になります。

・対面授業

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点 30% ※試験同様、質問や理解度チェック等の平常点も重視しますので、受講に際しては欠席をしないように注意して下さい。

◆**教科書** 『政治学 B11700』通信教育教材（教材コード 000279）2,100 円（送料込）

◆**参考書** 『教養政治学』岩井奉信、黒川貢三郎、関根二三夫他 南窓社 3,132 円（税込）（送料 350 円）

◆**授業相談（連絡先）** : sekine.fumio@nihon-u.ac.jp

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	政治学の変遷（古代から近代）、政治の概念（政治国家現象説・政治集団現象説）、政治の本質、政治権力（実体説・関係説）、国家（概念・成立の要素・国家機関）、議会政治（沿革・原理）、立法部と行政部（大統領制・議院内閣制）、選挙（選挙制度・選挙区・代表選出の形態）、政党（概念・特徴・形態）、政党（機能・問題点）、圧力団体（概念・特徴・問題点）、コミュニケーションとリーダーシップ
事前学修	政治学の変遷については参考書の第1章第2節を、政治の概念については参考書の第1章第1節を、政治の本質についてはテキストの第1章第1節を、政治権力についてはテキストの第1章第2節及び参考書の第2章第4節を、国家については参考書の第3章を熟読すること。議会政治についてはテキストの第5章及び参考書の第4章第1節を、立法部と行政部についてはテキストの第5章及び参考書の第4章第1節を、選挙についてはテキストの第3章第3節及び参考書の第5章第1節から第2節を熟読すること。政党についてはテキストの第3章第4節及び参考書の第4章第2節を、圧力団体についてはテキストの第3章第5節及び参考書の第4章第3節を、コミュニケーションについては参考書の第6章第3節を、またリーダーシップについては参考書の第2章第5節を熟読すること。
事後学修	それぞれの授業内容毎に講義で知り得た内容を整理し、事後学修として、また復習として整理した内容をノートに丁寧に纏めること。

・対面授業

1日目	授業内容
2日目	授業内容
事前学修	
事後学修	

講座内容（シラバス）

〔英語A〕

小田井 勝彦

◆**授業概要** 日本人が外国語を学ぶことは大変困難である。それは日本語が世界の大半を占めるインド＝ヨーロッパ語族に属しておらず、言語構造が大きく異なるからである。この授業では、高校までに学んだ文法事項をしっかりとしたものにし、英文を正確に理解することを目指す。担当教員は翻訳実務の経験があり、その経験を生かして、日本語と英語の発想の違い、適切な訳し方などを教授します。

◆**学修到達目標** ・コミュニケーションに必要な英文法を体系的に習得する

- ・文字で書かれた英文を正確に理解できる
- ・自分の意志を伝える英文を正確に作ることができる
- ・英語圏の文化、発想の仕方の違いについて知る
- ・日本語と英語の違いについて理解する

◆**授業方法**

・オンデマンド

文法解説の動画をすべて視聴し、教科書の文法問題に解答する。

・対面授業

事前学修として、知らない語句については辞書を引き、読解編の文章を読んでおく。各自の和訳を用意しておくことが望ましい。授業では、オンデマンドで行った文法問題について間違いが多かった問題について解説、また学生からの質問に答える。その後、予習してきた読解編を読んでいく。指名された学生が、1文ずつ英文を音読して日本語に直す。その後教員により文法事項、語彙、訳し方などの解説を行う。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** オンデマンド授業で出題された課題（30%）、対面授業における発表（30%）、2日目に行う試験（40%）で評価します。すべてのオンデマンド課題の提出、対面授業にすべて出席し積極的に参加することを前提とします。

◆**教科書** 〔丸沼〕福井慶一郎ほか『読解力につなげるコア英文法』（朝日出版社、2019）

◆**参考書** 〔丸沼〕学習用英和辞典（電子辞書も可）

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上で行う

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	授業動画は各 15 分程度。合計 10 本、順番に視聴すること。内容は以下の通り。 ① Unit 1 名詞 ② Unit 2 冠詞 ③ Unit 3 代名詞(1) ④ Unit 4 代名詞(2) ⑤ Unit 5 時制 ⑥ Unit 6 進行形 ⑦ Unit 7 完了形(1) ⑧ Unit 8 完了形(2) ⑨ Unit 10 助動詞(1) ⑩ Unit 10 助動詞(2)
事前学修	教科書の文法解説のページの例文を読み、各文法事項について考察する。
事後学修	動画視聴後、教科書の文法問題に解答する。締め切り後、模範解答を確認し復習する。

・対面授業

1 日目	授業内容	Unit 1～5、動画で学んだ文法事項（名詞、冠詞、代名詞、時制）について復習、間違いの多かった問題などについて確認する。その後、Unit 1～5 の読解編の文章を読んでいく。
2 日目	授業内容	Unit 6～10、動画で学んだ文法事項（進行形、完了形、助動詞）について復習、間違いの多かった問題などについて確認する。その後、Unit 6～10 の読解編の文章を読んでいく。指名された学生が、1文ずつ英文を音読して日本語に直す。その後教員により文法事項、語彙、訳し方などの解説を行う。最後に試験を行なう。
事前学修		分からない語句は辞書を引き、Unit 1～10 の読解編（p.56～65）を読んでおく。各自の和訳をノートに書いておくことが望ましい。
事後学修		ノートを振り返り、授業で間違えた箇所を確認する。よくわからなかった場合にはメール等で教員に質問する。

講座内容（シラバス）

〔フランス語Ⅰ・Ⅱ〕

大庭 克夫

◆**授業概要** 科目名こそフランス語Ⅰ・Ⅱとなっておりますが、わずか6日間のオンデマンド授業と2日間の対面授業で、実際に覚える・身に付けることが可能なのは「昼間スクーリング」前期分＝フランス語Ⅰの内容だけです〔そこまでが試験範囲〕。ただし昼間の後期（＝フランス語Ⅱ）を受講する機会のない方々のために、最終試験は対面授業2日目の午前中に実施し、午後はフランス語Ⅱの内容の概括的な説明に充てたいと思います。

◆**学修到達目標** 英語にすれば中学1年レベルの内容が、フランス語でも言えて・書けて・聞き取れるようにするのが目標です。また『報告課題』や『科目修得試験』の＜フランス語Ⅰ＞のみならず、＜フランス語Ⅱ＞以降の学習をする上でもその大切なベースとなる、フランス語の持つルール＝規則性を徹底して身に付けます。

◆授業方法

・オンデマンド

初日は＜綴り字と発音との関係＞のプリントに即して、2日目以降は10枚綴りのメインプリントに即してできるだけ分かり易く説明します。ただしその説明を翌日までに時間と労力を割いて覚えることこそが履修です。

・対面授業

対面授業は、学習者がオンデマンドの6日間とその後の1週間以上の間に覚えた＝身に付けたことを確認し、補足する場です。初日のお昼休み後に＜中間試験＞を、2日目の午前中に＜最終試験＞を実施します。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 試験は対面授業の初日と2日目の2回行い、成績はこの試験の結果＝努力の結果で判定します。なお試験は全問＜和文仏訳＞と＜ヒヤリング形式＞（＝原文を書き取ったのち和訳する）で出題します。安直な和訳・穴埋め・択一などは一切出題しません。

◆教科書

資料配布 (Classroom) フランス語の綴り字と発音との関係〔＝非常に大切〕をまとめた2枚綴りのプリント

資料配布 (Classroom) フランス語Ⅰの学習内容をまとめた10枚綴りのメインプリント〔以下MPと略記〕

資料配布 (Classroom) 上記メインプリント中の単語や表現、例文などの発音を収録した音声CD

丸沼 対面授業時には仏和辞典を必ず1冊用意してください。現在お持ちの方はそれで結構ですが、新しく購入される方には、オンデマンド授業の中で使いやすいものを何冊か紹介します。

◆参考書

通材 『フランス語Ⅰ E10100』 通信教育教材（教材コード000372）※この教材は市販の『新・ゼフィール』E.E.F.L.E.U.K（早美出版社）と同一です。＜フランス語Ⅰ＞のみならず、＜フランス語Ⅱ＞以上〔＝仏検4級以上〕を目指す人には文法面で薦めます。

通材 『フランス語Ⅱ E10200』 通信教育教材（教材コード000373）※この教材は市販の『フランス語基本500語』（財）フランス語教育振興協会（朝日出版社）と同一です。同じく＜フランス語Ⅱ＞以上を目指す人には単語面で非常に有用な参考書です〔添えられたイラストがとても可愛い〕。

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	初日 フランス語のアルファベ、綴り字と発音との関係（プリント使用） 2日目 MP1p～2p：綴り字と名詞の性別との関係、基本的な可算名詞 3日目 MP3p～4p：3種類の冠詞と基本的な不可算名詞、数詞、前置形容詞と後置形容詞 4日目 MP5p：指示形容詞と所有形容詞、3種類の提示の仕方〔ここまでが「中間試験」範囲〕 5日目 MP6p～7p：動詞＜être＞（＝be 動詞）と＜avoir＞（＝have）の活用と用例 6日目 MP8p～9p：＜第1群規則動詞＞の活用と用例、基本的な前置詞の整理、ヒヤリング試験でのポイント
事前学修	基本的に「事前学習」は必要ありません、と言うか6日間連続のビデオ配信という状況では「予習」は物理的に不可能でしょう。その代わり、当日のビデオ配信の内容を翌日までに精一杯努力して覚えること、これが取りも直さず最大の「予習」＝「事前学習」です。未修外国語の習得は完全に「レンガの積み重ね」と同じで、初日・2日目の授業内容が身に付いていなければ3日目以降の授業には一切ついて来れなくなります。
事後学修	上述のように、とにかくその日の配信内容はその日のうちに時間と労力を割いて覚えること；未修外国語にあっては、「分かる」と「覚える」は完璧にイコールです。無論一旦覚えただけではまたすぐ忘れるので、ビデオ配信の最終日（＝6日目）から対面授業開始日までの期間を利用して、発音のルールであれ、基本的な単語であれ、動詞の活用であれ、何度も何度も覚え直す努力を重ねて下さい。未修外国語の成果は、割いた労力と時間に正比例します。なおメインプリント10p目の＜ヒヤリング演習＞15題は、ビデオ配信の最終回（＝6日目）から5日以内に「課題」として提出して下さい；これが8割以上できていることが「対面授業」受講＝「中間試験」「期末試験」の受験資格とします。

・対面授業

1日目	授業内容	(1)午前中：ビデオ配信初日～4日目までの内容の確認と補足を行います。また未修外国語というのは、学習者が真剣に取り組めば取り組むほど様々な疑問・質問が自然と湧くものです。対面授業の場を利用して、受講生の方が疑問に思ったことをどしどし質問してください。なお午前中の最後を利用して、午後の「中間試験」のための“演習”を行います。(2)午後：ビデオ配信初日～4日目までの内容を対象とした「中間試験」（時間40分程度）を実施。その後、事前に提出していただいた「課題」（＝ヒヤリング演習15題）を使いながら、ビデオ配信5日目と6日目の内容の確認と補足を行います。
2日目	授業内容	(1)午前中：前日の「中間試験」の返却・解説をしたのち、前日に続きビデオ配信5日目と6日目の内容の確認と補足を行います。その後大体10時半から「最終試験」を実施します（時間90分）。(2)午後：「最終試験」の解説を行った後、私が「昼間スクーリング・後期」で使用しているプリントとCDを配布して、＜フランス語Ⅱ＞の内容の概括的な説明を行う予定です——もちろん4時間程度の枠組みでは、「昼間スクーリング・後期」14回分の内容を詳しく説明することなど到底できませんが、地方在住の方や首都圏在住でもお仕事の関係などで「昼間スクーリング」を受講に来れない方には、少なからずプラスになるはずはです。
	事前学修	オンデマンド授業の「事後学習」の欄でも述べましたが、ビデオ配信最終日（6日目）から対面授業初日までの間に、どれだけ時間と労力を割いてご自分の頭にインプットしたか、これがすべてです。対面授業は基本的に受講生の方々の疑問・質問に答えつつ、その学力を補足・補正する場だと考えてください。くどいようですが、未修外国語にあっては「覚えた」事柄だけが初めて「分かった」事柄になります。

事後学修	(1)希望者には「最終試験」の答案採点コピーを郵送しますので、ご自分の出来なかったところをしっかりとフォローして下さい(外国語の試験では出来た箇所より出来なかった箇所の方がより大切です——試験を行う意味も本来はそこにあります)。②対面授業2日目の午後には、時間的な関係で“概括的な”説明に留まざるを得ない<フランス語Ⅱ>の学習内容をお渡ししたプリントとCDを使って今度はご自分のペースで習得していきましょう:分からない点は夏期スクーリング終了後も、G-Mailをお寄せいただければ当方に可能な限り丁寧に説明します。
------	---

講座内容（シラバス）

〔中国語Ⅲ・Ⅳ〕

稲葉 明子

◆**授業概要** 「初級で学んだ内容の延長で徐々にレベルアップできるように」編集された、長めの文を用いた教材を1冊学びます。中国に興味のある大学生の日常と中国事情をバランスよく取り入れた内容です。発音や数字などについてはWEB ブログ（常時開設）上に練習会場を作り、常時音声で練習できるようにしてありますので、発音・ピンインなどの基礎に問題のある人もここで完全に理解することが可能です。

◆**学修到達目標** 独学が困難な発音を完成させながら、将来にわたって中国語を自律的に吸収し、自力で学習していくための能力を確立しましょう。正しい発音は即ち確固たるリスニング力を意味します。漢字や日本語訳に頼らず音声のみから文と文脈を自力で捉えていく訓練を通じて、中国語検定3級レベルのリスニング問題に対応できる読解・聴解力をめざします。

◆**授業方法**

・オンデマンド

プレ本文から第4課までの5課分について、単語シート・本文導入解説・置換練習による文法解説動画を視聴。各課について教科書練習問題を正解が出るまでClassroomで練習（自動フィードバック）。各課について数字時計小テスト（即時フィードバック）、朗読課題（対面授業時に講評）を提出。

・対面授業

各課について単語シート・置換練習について一人一人に発音してもらいながら展開。本文と練習問題の長文について、文法を理解した問合いがとれるまで指導する。各課について教科書練習問題を正解が出るまでClassroomで練習（自動フィードバック）。各課について数字時計小テスト（即時フィードバック）、朗読課題を提出。

◆**履修条件** 中国語Ⅰ既習相当の基礎が必要です。中国語Ⅱは習得中であっても差し支えありません。

◆**成績評価基準** 各課の数字時計小テスト（30%）、リスニング試験1・2・3（30%）、指定朗読課題（40%）

◆**教科書** 〔**汎用**〕『2冊目の中国語 講読クラス』小澤正人他 白水社

◆**参考書**

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	1. プレ本文：単語シートの使い方、置換練習の基礎 2. 第1課：自我介绍 3. 第2課：我的過程 4. 第3課：互聯網 5. 第4課：约会 1～5それぞれについて単語シート、本文導入解説、置換練習による文法解説動画。
事前学修	1で講習中のコンテンツの使い方を示すので、必要に応じて発音、数字、時刻などの常時公開動画で初級学習内容を補ってください。特に、発音については多くの方がかなりの時間を割く必要があるかと思えます。
事後学修	各課について数字時計小テスト、教科書練習問題の解答、教科書練習問題の朗読を仕上げ、ClassroomにUPする必要があります。最後に、ブログに対面時初日のリスニング試験の練習サイトを示しますので、対面授業までに何度も練習してください。

・対面授業

1日目	授業内容	第5課：温泉旅行／第6課：我的愛好／第7課：交朋友 コンテンツとしてはオンデマンドと同等のものを準備しますが、授業では単語シート・置換練習シート、そして朗読について一人一人に発音してもらいながら進めます。これについては予習の必要はありません。毎回の訓練によって体得していきます。発音の基礎については、オンデマンド時に示す動画で十分理解しておいてください。また、講習始業時にオンデマンド最後に示したリスニング試験1、各課冒頭に数字・時計小テストを行います。
2日目	授業内容	第8課：聚餐／第9課：鬧鐘／第10課：打工 1日目と同様に進めます。また、講習始業時にリスニング試験2、各課冒頭に数字・時計小テストを行います。対面時の最終試験は行わず、毎回の数字・時計テスト、リスニング試験1・2・3と各課の朗読が成績評価対象となります。
	事前学修	リスニング試験1は第4課まで、リスニング試験2は第5～7課までの内容で、それぞれについて音声による練習会場をブログに公開しますので、1日目についてはオンデマンド終了後、2日目のリスニング試験2については1日目終了後に練習するようにしましょう。
	事後学修	各課について、教科書練習問題の解答、教科書練習問題の朗読を仕上げ、ClassroomにUPする必要があります。また、第8～10課準備のリスニング試験3をClassroomに提出します。教科書は12課まであるので、自習用に各コンテンツを視聴学習できるようにします。

講座内容（シラバス）

〔保健体育講義Ⅰ〕

高橋 正則・水落 文夫

- ◆**授業概要** 近年、超高齢社会を向かえているわが国の平均年齢は、年々上昇しているものの、健康寿命との差は依然として縮まらない傾向が続いている。平均寿命と健康寿命の差は約10年前後であり、その差を埋めるためには、自立して生活できる健康な身体を積極的に獲得する必要がある。そこで、健康・体力に関する様々な情報に日頃から関心を向け、自身の健康維持・増進を目指す運動習慣のある生活習慣を考えていく。特に、トレーニングコーチ（日本オリンピック委員会強化スタッフまたはスポーツメンタルトレーニング指導士など）として体力トレーニングやメンタルトレーニングの指導実績を生かし、実践的で効果的な健康教育に関する知識を授業に反映させている。
- ◆**学修到達目標** 生涯を通じて最も大切な健康とは何か、また、健康・体力の維持増進のために何が必要かについて、基本的な知識を修得することで、自らの生活習慣に結びつけることができるようになる。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
この授業は、オンデマンド形式で進める。配信された各動画は、受講生のタイミングでパワーポイント資料と照らし合わせて視聴することができる。また、授業ごとに簡単なクイズを出題し、理解度をチェックする。
 - ・対面授業
- ◆**履修条件** なし
- ◆**成績評価基準** オンデマンド授業では、各授業のクイズへの解答が出席を兼ねているので、動画視聴後に必ずクイズに答えること。成績は、クイズへの解答（40%）とテスト（60%）により総合的に評価する。
- ◆**教科書** [資料配布（Classroom）](#) オンデマンド授業では、Classroom内で授業ごとにPDFファイルを配信する。
- ◆**参考書** 丸沼『大学生のための最新健康・スポーツ科学』 日本大学文学部体育学研究室編、八千代出版、2019年
- ◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom上にて行う。
- ◆**授業計画〔各90分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	第1回：「現代社会と健康」現代社会と健康の関連を説明する。 第2回：「コミュニケーションスキル」現代社会におけるコミュニケーションスキルの重要性を解説する。 第3回：「体力の概念」体力の構成を行動体力と防衛体力の観点から説明する。 第4回：「オリンピズム」オリンピックに対する考え方やオリンピック教育の内容を説明する。試験。 第5回：「運動・スポーツの効果」運動やスポーツが心身に及ぼす影響を解説する。 第6回：「運動による疲労」身体活動が与える疲労を様々な指標で捉え、その影響を説明する。 第7回：「休養の実態と意義」：休養の必要性や効果的な取り方を解説する。 第8回：「運動学習」：運動を学習するための理論を説明する。試験。
事前学修	各授業内容は8回で構成されているため、事前に新聞やニュースなどのメディアを通して、関連情報を得ておくこと（各20分計160分）。
事後学修	各授業における動画を視聴後、必ず理解度チェックのためのクイズに解答し、その内容について振り返るとともに、各自で配布資料をまとめておくこと（各20分計160分）。

・対面授業

1日目	授業内容
2日目	授業内容
事前学修	
事後学修	

講座内容（シラバス）

〔民法Ⅳ〕

加藤 雅之

◆**授業概要** 講学上「債権各論」と呼ばれる分野（契約、事務管理、不当利得および不法行為）を対象とする。対象領域について網羅的に扱うのではなく、基本的事項の理解に基づいて、解釈上の問題や現代的課題について検討する。単なる知識の習得ではなく、社会における法のあり方を考えることを目的としている。

◆**学修到達目標** (1)債権各論に関する基本的概念や諸規定を理解し、制度・規定が設けられた趣旨を理解し説明できる。
(2)解釈上の問題について、基本的な最上級審の立場（判例）を理解し説明できる。
(3)具体的問題について、法律の規定および判例の趣旨に基づいて論理的に解答できる。

◆授業方法

・オンデマンド

- ① 受講生は配布資料で示したポイントを中心に十分な事前学修をしたうえで講義動画を視聴すること。
- ② 講義動画視聴後、各項目ごとに理解度を確保するための課題に取り組む。
- ③ 授業内容についての質問は Google Classroom を通じて随時受け付けるので、対面授業開始までに理解を深めてほしい。

・対面授業

対面授業は、オンデマンド授業の内容を理解していることを前提に進める。
事例問題を題材にして、基本的知識の理解を深めるとともに、解釈上の問題について検討する。
各対面授業日に試験を行い、理解度を確保する。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** オンデマンド授業の課題（全5回）：50%

対面授業の課題（各講義日に実施）：50%

全て出席していることを前提として、オンデマンド授業・対面授業の課題を総合的に評価する（オンデマンド授業については、課題の提出が出席を兼ねる）。

◆**教科書** 資料配布（Classroom） Google Classroom から講義資料を配布する。

◆**参考書** その他 必要に応じて、講義中に指示する。

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	(1)ガイダンス：債権各論の全体像を理解する (2)契約法1：契約総論に関する基本的知識の習得 (3)契約法2：契約各論に関する基本的知識の習得 (4)不法行為法1：一般不法行為に関する基本的知識の習得 (5)不法行為法2：特殊不法行為法に関する基本的知識の習得
事前学修	各項目について、事前配布資料掲載の【事前学修問題】に取り組む。
事後学修	各項目について、Google Classroom 上の課題に取り組み、提出する。

・対面授業

1日目	授業内容	(1)売買契約を中心に、契約の効力および解除の問題について検討する。 (2)貸借型契約および役務提供型契約に関する諸問題を検討する。 (3)契約法に関する現代的問題について検討する。 (4)これまでの授業内容を踏まえ、理解度確認のための試験および解説を行う。 (5)総括：契約法に関する授業全体を振り返り、理解を深める。
2日目	授業内容	(1)近時の判例を中心に、一般的不法行為の理論的問題について検討する。 (2)近時の判例を中心に、特殊不法行為の理論的問題について検討する。 (3)不法行為法に関する現代的問題について検討する。 (4)これまでの授業内容を踏まえ、理解度確認のための試験および解説を行う。 (5)総括：不法行為法に関する授業全体を振り返り、理解を深める。
事前学修		① オンデマンド授業の内容について、不明な点があれば各自で補うか、質問するなどして理解を定着させておくこと。 ② 講義資料において対面授業でとりあげる問題の概要を示すので、資料を読み、自分なりに問題点を整理する。
事後学修		対面授業2日目終了後に、授業全体を振り返り基本的知識が定着しているかを確認するとともに、現代的問題について基本的知識に基づいて自分なりに解決策を提示できるようにする。

講座内容（シラバス）

〔国際政治学 / 国際政治論 / 国際政治学概論〕

山本 直

◆**授業概要** 現代の国際政治を理解するために必要となる国際政治の理論、国際政治の歴史と事象、国際政治の諸問題を多面的に学修する。ますますグローバル化が進み、複雑化するであろうこれからの国際社会を生き抜くうえで求められる論理性、規範性、省察力および批判的精神を身に付けるために、国際政治学の基礎知識と基礎的理論を学び、かつ、それらをどのように応用できるのか考え説明する力を養う。

◆**学修到達目標** 国際政治における主要な概念を説明することができる。国際政治における主要な理論を説明することができる。国際政治における個々の事象がどのように生まれたのかを説明することができる。国際政治における個々の事象の因果関係を様々な理論的立場から解釈できる。国際政治における個々の事象について自分なりの評価を論理的かつ規範的に説明できる。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画を視聴しながら、参考書の指定の箇所を学修する。参考書の内容に沿うレジュメを毎回配布する。ほぼ毎回、リアクションペーパーを提出する。詳細は初回に説明する。

・対面授業

参考書の指定の箇所を学修する。参考書の内容に沿うレジュメを毎回配布する。グループ作業を行う。リアクションペーパーを提出する。授業内テストを行う。

◆**履修条件** 政治や社会について理論的かつ論理的に考える姿勢を求める。

◆**成績評価基準** 授業内テスト（50%）とリアクションペーパー（50%）を総合して評価する（計 100%）。授業内テストはスクーリングの最終日に実施する。リアクションペーパーはオンデマンドと対面授業の両方で提出を求める。

◆**教科書** 丸沼『国際関係論（第3版）』佐渡友哲、信夫隆司、柑本英雄（編）弘文堂、2018年

◆参考書

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆授業計画〔各 90 分〕

・オンデマンド

授業内容	動画 1 の内容：イントロダクション。国際政治 / 国際政治論 / 国際政治学概論の授業の進め方を説明する。 動画 2 の内容：国際政治学と国際関係論がどのような学問なのかをともに考える。教科書 4-12 ページを学修する。 動画 3 の内容：国際システムがどのように形成されたのかをともに考える。教科書 12-18 ページを学修する。 動画 4 の内容：20 世紀前半の国際政治をどう理解するのかをともに考える。教科書 20-28 ページを学修する。 動画 5 の内容：20 世紀後半の国際政治をどう理解するのかをともに考える。教科書 28-34 ページを学修する。 ※以上の動画を視聴し、教科書を学修したうえで、ほぼ毎回リアクションペーパーを提出する。
事前学修	上記「授業内容」で示した教科書の該当ページを講読する。講読しながら、(1)印象に残った点、ならびに(2)よく分からなかった点を手元のノートにメモする。
事後学修	授業の内容を振り返る。事前学習でノートにメモした点、とりわけよく分からなかった点について再確認する。Google クラスルーム上で担当教員に質問する。さらに理解を深めるために、教科書の巻末（261-263 ページ）に掲載された参考文献を参照する。

・対面授業

1 日目	授業内容	・教科書の次の箇所を対象に学修する。 今日の国際政治をどう読むのか、とくにハンチントンの「文明の衝突」を主題にしてともに考える。教科書 38-43 ページ。 今日の国際政治をどう読むのか、とくに自国第一の潮流を主題にしてともに考える。教科書 43-51 ページ。 グローバリゼーションの時代をどう読むのか、現象としてのグローバリゼーションに留意してともに考える。教科書 54-60 ページ。 グローバリゼーションの時代をどう読むのか、課題としてのグローバリゼーションに留意してともに考える。教科書 61-68 ページ。 現代の安全保障をどう読むのか、伝統的安全保障の面からともに考える。教科書 70-78 ページ。 現代の安全保障をどう読むのか、非伝統的安全保障の面からともに考える。教科書 79-84 ページ。 ※グループ作業を行う。リアクションペーパーを提出する。
2 日目	授業内容	(1)教科書の次の箇所を対象に学修する。 北東アジアの国際政治をどう読むのかをともに考える。教科書 86-100 ページ。 国際社会における日本の位置づけをどう読むのか、日本の安全保障、領土問題および経済外交を念頭においてともに考える。教科書 102-111 ページ。 国際社会における日本の位置づけをどう読むのか、国際社会における日本の貢献を念頭においてともに考える。教科書 112-118 ページ。 ※グループ作業を行う。リアクションペーパーを提出する。 (2)学修成果を確認するための授業内テストを行う。答案回収後に解説する。
	事前学修	上記「授業内容」で示した教科書の該当ページを講読する。講読しながら、(1)印象に残った点、ならびに(2)よく分からなかった点を手元のノートにメモする。
	事後学修	授業の内容とグループ作業の成果を振り返る。事前学習でノートにメモした点、とりわけよく分からなかった点について再確認する。Google クラスルーム上で担当教員に質問する。さらに理解を深めるために、教科書の巻末（261-263 ページ）に掲載された参考文献を参照する。

講座内容（シラバス）

〔国文学講義Ⅱ（中古）〕

笹生 美貴子

◆**授業概要** 『落窪物語』『源氏物語』を吟味することによって、物語の読みの広がりや解釈を学びます。また、周辺作品との関連にも触れながら、『源氏物語』の文学的位置についても考えていきます。とりわけ、『源氏物語』『若紫』巻の読解や継子いじめ譚に眼目を置きます。なお、教職課程教育において、自身が教職免許を得るまでの具体例や教育の現場で経験したことを用いて、教員になることについての実感等を授業にも反映します。

◆**学修到達目標** 古典文学作品を通じて、日本の伝統文化を知ることができます。文学作品に触れることにより、心の豊かさや、物語作品に込められたメッセージを読み取る力を養うことを目標とします。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画は内容に沿って分割し、番号を付している。まずは、全体を順番に視聴すること。一度の視聴で分からなかった内容の動画は重点的に繰り返し視聴すること。それでも不明な点についての質問は、随時受け付ける。なお、動画の中には課題が含まれている場合がある（その場合は明示する）。

・対面授業

オンデマンド授業で指示された動画は、必ず視聴していること。対面授業では、基本的に講義形式で授業を進めていく。

◆**履修条件** なし。

◆**成績評価基準** オンデマンド授業で出される課題は評価対象であるので、すべて提出すること（全体の50%）。対面授業では、1日目の最後の時間に提出してもらいアクションペーパー、2日目の最後に行う試験が評価対象となる（全体の50%）。オンデマンド授業、対面授業において総合的に評価する。全て出席していることを前提として評価するオンデマンド授業の場合、課題の提出が出席を兼ねる）

◆**教科書** [資料配布 \(Classroom\)](#) Classroom内で資料を配布します。

◆**参考書** [資料配布 \(Classroom\)](#) Classroom内で指示します。

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom上にて行う

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	動画1の内容：『落窪物語』について学ぶ①—全体構成・第一部（落窪の姫君の対するいじめと道頼による救済）について学習する。 動画2の内容：『落窪物語』について学ぶ②—第二部（道頼の北の方たちに対する復讐譚）第三部（道頼の北の方たちに対する温情譚）について学習する。 動画3の内容：『源氏物語』『若紫』巻について学ぶ①—「若紫」巻までの内容理解・光源氏と若紫との出会いの場面を中心に学習する。 動画4の内容：『源氏物語』『若紫』巻について学ぶ②—祖母に育てられる若紫の境遇について中心に学ぶ。 動画5の内容：『源氏物語』『若紫』巻について学ぶ③—若紫を二条院へ迎える光源氏について中心に学びます。 *動画は大きく5つに分かれている。ただし、動画を見やすくするため、ひとつの動画は20～30分程度に編集しているので、動画の本数全体は5つではない。動画それぞれには説明や番号をつけて指示するので、順番に視聴すること。
事前学修	*事前学修は、授業動画それぞれの内容に対応している。 以下の事前学修は、調べることが中心である。 ・シラバスをよく読み、授業の概要や目的などを理解しておく。 ・『落窪物語』『源氏物語』について調べ、登場人物や概要などを理解しておく。
事後学修	・配布プリントを、今一度良く読み理解を深めておく。 ・わかりにくい語がある場合は、古語辞典などで調べ、理解を深めておく。 ・不明な点があったら、疑問点を明確にした上で課題内に書く。

・対面授業

1日目	授業内容	『源氏物語』『若紫』以降の巻について、継子いじめ譚の描かれる場面を中心に学ぶ。また、葵の上の死を忍ぶ場面と「巫山雲雨」の故事、六条御息所の境遇の描かれる場面と「上陽白髪人」の影響関係、六条院世界についても着目する。
2日目	授業内容	『源氏物語』『宇治十帖』について学ぶ。物語最後のヒロイン浮舟に注目する。 『源氏物語』以降の作品についても取り上げる。継子いじめ譚の要素の色濃く見られる作品『住吉物語』を主に扱う。
	事前学修	*事前学修は、対面1日前までに行うことを想定している。 ・『源氏物語』『若紫』以降の概要について調べ、物語展開を理解しておく。 ・わかりにくい語があったら、古語辞典などで調べ理解しておく。
	事後学修	*事後学修は、対面2日目を終えた後に行うことを想定している。 ・対面1日目終了後の事後学修は負担が大きいと考えられるので、ノートの振り返りなどに留めて構わない。 ・授業で学んだ事を復習し、ノートにまとめるなどしておく。 ・興味関心の持てそうな別の文献を読んでみる。文献については授業内でも紹介する。

講座内容（シラバス）

〔国文学演習A〕

藤平 泉

◆**授業概要** 「小倉百人一首」を教材に、各自自分の好きな和歌 I 首を選び、事前指導、オンデマンド授業に従って口頭発表の準備をし、対面授業時に各自発表する。

◆**学修到達目標** 古典文学の基礎である和歌についての基本的知識を学ぶと共に、担当の和歌について、作者、出典、現代語訳、その作品に問題点、論争点を調査することで、日本文学研究の具体的方法と実践を身につけることを目的とする。

◆**授業方法**

・オンデマンド

授業動画は内容にそって分割されているので、全体を順に視聴し、その後何回か繰り返し視聴して、メモをとること。疑問点は随時質問を受け付ける。口頭発表に必要な資料調査は、できる範囲で近くの図書館等を利用すること。できる範囲でかまわない。

・対面授業

オンデマンド授業で提示した内容にそって各自自分の好きな和歌を一首選択し、オンデマンド授業で指示した内容について資料を作成しておくこと。現状では、図書館等に行けない場合はできる範囲で良い。その後一人二〇分～三〇分程度（履修人数による）で口頭発表をしてもらい、各自質疑応答をする。それぞれの和歌における問題点について考えていく。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** オンデマンド授業期間に作成した資料と口頭発表、他の受講生の発表の際に質問、意見を積極的に行ったかなどで総合評価する。作成資料 40% 口頭発表 40% 質疑 20%

◆**教科書** 〔丸沼〕百人一首 有吉保 講談社学術文庫 講談社 2015年第44刷

◆**参考書** 〔丸沼〕新版 百人一首 島津忠夫 角川ソフィア文庫 KADOKAWA 平成26年23刷

◆**授業相談（連絡先）** : fujihira@mpd.biglone.ne.jp 必ず件名に通信スクーリングの〇〇ですと氏名を明記してください。添付ファイルはつけなくてください。

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	1 演習開始にあたって 注意事項、準備するものについての解説をします 2小倉百人一首の成立 3小倉百人一首の撰者藤原定家 定家の生涯と作品について概説します。 4小倉百人一首の成立過程とその問題点 5口頭発表にむけて資料を作成の仕方を解説します 6口頭発表ではなにを報告することが必要か説明します 7小倉百人一首の和歌のそれぞれの問題点について例をあげながら概説します。
事前学修	オンデマンド授業に従ってまず、教科書を熟読する。できれば参考書も読んでほしい。その後それぞれの事情により可能であれば、図書館、国文学研究資料館、文理学部国文学科研究室などで各自の選んだ和歌についての調査を進めてほしい。それぞれ事情が異なるので、無理せず可能な範囲で、口頭発表の準備をすすめてほしい。
事後学修	オンデマンド授業は一度だけではなく繰り返し視聴してほしい。重要と思われる箇所はノートをとり、疑問点は質問してほしい。授業時の指示に従ってまず、口頭発表の資料を作成し、対面授業にそなえどのような内容にするかを考えておく。

・対面授業

1日目	授業内容	登録の人数により、持ち時間を決め、順次資料を配付して口頭発表を行う。各自自分の発表だけではなく他の学生の口頭発表を聞き、自由に質問、意見を述べてほしい。たとえ的外れな質疑でも問題ないので積極的に発言するようにしてください。
2日目	授業内容	一日目の発表を受けながら、順次口頭発表を行う。お互いに質疑を行うことで、和歌文学や小倉百人一首への理解が深まることを目的とします。
	事前学修	口頭発表の質疑や教員の説明を良く聞き、なにが問題点となるのかを理解していく。発表する歌人は最初に各自報告してもらうので、その発表前に教科書、参考書などでその和歌や歌人について予備知識を得ると良い。口頭発表中にも質問する内容を考えながら耳を傾けよう
	事後学修	自分の発表が終わってもそれで安心せず質疑で言われたことなどを思い出しながら自分の理解を深めていくようにしてほしい。他の人の発表にも積極的に発言してほしい。

講座内容 (シラバス)

〔英作文Ⅱ〕

Alex Brown

- ◆**授業概要** The focus of Composition 2 centers around the writing process of a five-paragraph essay. Through this process students will produce two essays during the course while completing various writing activities along the way.
- ◆**学修到達目標** This is a multi-day intensive writing course that requires students to do group work, however, students have the freedom to work on their own essays. Your teacher will discuss the essay topics in class.
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
Together, students will work on developing ideas for their essays. Sentence and paragraph structures will be covered during this period. Active participation is expected by all students in pursuit of our writing goals.
 - ・対面授業
- ◆**履修条件** The course is open to all students. Keep in mind, our aim is to achieve improvements in academic writing.
- ◆**成績評価基準** Students will be graded on two essays (70%) with strong consideration on class participation (30%).
- ◆**教科書**
- ◆**参考書**
- ◆**授業相談 (連絡先)** : downtownalbrowna@hotmail.com
- ◆**授業計画 [各 90 分]**
 - ・オンデマンド

授業内容	Self-introduction activity. Part 1 and 2 of The Writing Process along with in-class activities such as pre-writing and brainstorming activities.
事前学修	Prepare a self introduction. Reasearch your topics for Essay 1 and Essay 2. To be a good writer you need to be a good reader. Research something you feel passionate about as well as something you can put an academic voice to in your writing.
事後学修	Review your notes on the Writing Process. Make sure you understand all of the vocabulary, terms and expectations for writing your essays. Topic sentences is an important point. Make sure you understand this part and practice writing good topic sentences.

・対面授業

1日目	授業内容	Discuss your topic in a group. Brainstorm topic ideas and get feedback. Finish the activity on supporting sentences. Prepare your answers for the next group activity. Focus on the grammar and sentence structure of your supporting sentences. Study the grammar points from the previous lesson. Prepare answers for the editing activity. Edit at least 2 partners' essays. Edit your Essay 1 from the comments made by other students. Complete the Grading Grid for your Essay 1. Prepare your final draft for Essay 1. Pass in Essay 1.
2日目	授業内容	Research ideas for Essay 2. Make a list of your ideas for Essay 2. Discuss your ideas for Essay 2. Keep in mind the guidelines set by the teacher. Complete your freewriting activity at home. List your findings. Construct paragraphs for Essay 2. Finish the rough draft for Essay 2. Prepare your revised edition for Essay 2 for inspection. Peer editing for Essay
	事前学修	By this time, students should be very familiar with The Writing Process. We will devote class time to Group activities such as Brainstorming Ideas, Editing and Revising your fellow students' work. Familiarize yourself with the necessary terms and vocabulary covered in the course.
	事後学修	Revising and editing your work as well as challenging vocabulary activities in order to expand your lexicon of word choices will always be a goal for your writing moving forward. In class we will talk about journal writing and share ideas and concepts of memoires that will help the writer in all of us.

◆授業概要

Welcome to Speech Communication I. This class will focus on the basics of public speaking, or speaking in front of a group. In business, communication skills are essential to inspire your team and deliver clear messages. Business leaders are expected to be able to present their message with clarity and confidence to investors, clients, partners, and staff. We will learn how to build confidence speaking in front of small and large groups and how to put together and deliver effective and powerful presentations.

◆学修到達目標

The Speech Communication course aims to strengthen all aspects of the student's English-speaking ability. The students will be able to prepare and give a speech or presentation with the proper structure. Students will also build confidence communicating in English in daily and professional interactions in front small or large groups of people.

◆授業方法

・オンデマンド

This class is 7 sessions on-demand and 2 day-long Zoom sessions. During the on-demand classes students will learn about different aspects of good presentations through an instructional video and other sources. Students will then complete daily written English speech activities and practice speaking skills. Then we will practice those activities in the Zoom main and breakout rooms. Motivation is key. Practice at home and you will improve.

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

Grades (%) = 100-90 S, 89-80 A, 79-70 B, 69-60

◆教科書

All materials provided by the instructor.

◆参考書

Dictionary or smartphone with a good dictionary application (Google translate is recommended). Notebook for new vocabulary and lecture notes.

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>Course explanation. Value of good presentation skills. Self-introduction.</p> <p>How to take good notes. The Physical Message in a Speech part 1. Eye contact, posture & gestures.</p> <p>Building confidence and overcoming anxiety. The Physical Message in a Speech part 2 - Voice Inflection.</p> <p>The Story Message in a Speech/Presentation - The Introduction, Body and Conclusion.</p> <p>The Visual Message in a Speech//Presentation - Charts, Graphs & PowerPoint.</p> <p>Preparing your Speech/Presentation - Where to begin, Delivering your Speech.</p> <p>Speech//Presentation Helpful English, Expressing Opinions, Probability.</p>
事 前 学 修	<p>Review the "How to study new vocabulary" PDF</p> <p>Review previous course material.</p>
事 後 学 修	<p>Write and practice a self-introduction. Take a video or voice memo of yourself.</p> <p>Watch the video. Finish any of the days' tasks.</p>

・ 対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	Zoom day 1. Review, discuss and practice the daily on-demand lessons
2 日 目	授 業 内 容	Zoom Day 2. Review, discuss and practice the daily on-demand lessons
事 前 学 修		Review previos course material.
事 後 学 修		Review for Zoom Day 2 Finish any of the unfinished tasks. Thank you.

講座内容（シラバス）

〔異文化間コミュニケーション概論〕

大庭 香江

- ◆**授業概要** 1. テキストで異文化間コミュニケーションについての解説を読み、例題を通して問題を掘り下げます。
2. 英語論文を読み、異文化間コミュニケーションの実際について考察を行います。
3. 日本とそれ以外の国についてディスカッションを行います。

- ◆**学修到達目標** 異文化間コミュニケーションとは文化的背景の異なる人同士のコミュニケーションですが、国籍の同じ日本人同士でも文化的背景が一緒であるとは限りません。出身地、男女、世代によっても文化的背景は異なります。私たちは日常的にも異文化間コミュニケーションを経験しているのです。

本授業では、異文化間コミュニケーションについて述べられた英語論文や、エクササイズを通して、英語が使われている国や地域の文化を理解し、多様な文化的背景を持った人々との交流を通しての文化の多様性及び異文化交流の意義について考え、異文化間コミュニケーションの現状と課題を学び、実践していきます。

また、SNSを利用した異文化交流を行い、日本大学に在籍している留学生と日本とそれ以外の国の文化についてのディスカッションする機会を設けます。

テキストの解説と、アクティビティを行います。

- ◆**授業方法**

- ・**オンデマンド**

テキストの内容の詳しい解説を行います。

- ・**対面授業**

異文化間コミュニケーションのワークシートやアクティビティを行います。

- ◆**履修条件** なし

- ◆**成績評価基準** 試験及びレポート 50%、授業参画度 50%

- ◆**教科書** 『異文化コミュニケーション・ワークブック』八代京子著 三修社

- ◆**参考書**

- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

- ・**オンデマンド**

授業内容	第1日目：5回分の動画を御視聴頂きます。テキストのエクセサイズを各自で行って置いて下さい。 (項目：異文化間コミュニケーションとは、コミュニケーション・スタイル) 第2日目：5回分の動画を御視聴頂きます。テキストのエクセサイズを各自で行って置いて下さい。 (項目：言語コミュニケーション、非言語コミュニケーション) 第3日目：5回分の動画を御視聴頂きます。テキストのエクセサイズを各自で行って置いて下さい。 (項目：価値観、異文化コミュニケーション・スキル)
事前学修	第1日目：①英文資料に目を通し、要約出来るようにしておく。②テキスト pp.8-57 を読み、内容を理解しておく。第2日目：テキスト pp.59-100 を読み、内容を理解しておく。添付の資料も参考にすること。第3日目：テキスト pp.101-165 を読み、内容を理解しておく。各日、セルフチェック部分も必ず行って置くこと。
事後学修	動画を見て、テキスト各章の下位項目ごとのエクセサイズを行うこと。その後、動画の解説を聞くこと。

- ・**対面授業**

1日目	授業内容	テキストのエクセサイズで、グループワークが必要なものを行う。(項目：アイコンタクト、対人距離)
2日目	授業内容	英文資料を読み、内容を確認した上で議論を行う。
事前学修		テキストより、アイコンタクト、対人距離の項目を読み、エクセサイズを各自で行い、グループワークの準備をしておくこと。
事後学修		英文資料を要約したもの、及び、対面授業での議論の結果、意見をまとめたものを、提出すること。

講座内容（シラバス）

〔英米文学演習A〕

閑田 朋子

- ◆**授業概要** オンデマンド授業で 19 世紀イギリス文学と社会の大きな流れを概観し、対面授業では同時代のベストセラー作家ウィルキー・コリンズの怪奇短編小説を精読します。ヴィクトリア朝の読者をぐいぐいと引き込んでいったコリンズのストーリー・テリングの秘訣は何なのか、一文一文の英語を味読することでその含意や文学的技法を読み解き、当時の社会背景や読者層との関連性、ひいては現代における文学と社会の関係性を考えます。
- ◆**学修到達目標** ヴィクトリア朝のベストセラー作家、ウィルキー・コリンズの小説の英文を読解できる。ヴィクトリア朝においてベストセラー作家が生まれた理由を説明することができる。ヴィクトリア朝の小説と読者層、文学と社会の関係性について知り、説明することができる。ヴィクトリア朝の文学と読者層や社会について学ぶことで、現代の文学と社会の関係性について考察することができるようになる。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
授業動画は内容に沿って分割し、番号を付している。まずは全体を順に視聴すること。一度の視聴ではわからなかった内容の動画は重点的に繰り返して視聴すること。それでも不明な点について質問を随時受け付ける。なお、動画のなかには課題が含まれている場合がある（その場合には明示する）。
 - ・対面授業
オンデマンド授業で提示された動画は必ず視聴していること。対面授業は基本的に次のような手順で進めていく。まず学生の皆さん一人一人に文献を音読し、訳していただく。一回の割り当ては、基本的に一文である。次に教員が必要に応じて解説を入れる。この方法である程度まとまった量を精読した後で、その部分の分析を行う。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**成績評価基準** オンデマンド授業のレポート課題（全体の 30%）と、対面授業の翻訳や教員の質問に対する答え（20%）、最終日の授業内テスト（50%）の結果をあわせ、授業にすべて出席していることを前提として、総合的に評価する。
- ◆**教科書** 『「夢の魔女」他二編』 ウィルキー・コリンズ 英宝社 出版年を問わない
- ◆**参考書**
- ◆**授業相談（連絡先）**：kanda.tomoko@nihon-u.ac.jp
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	最初にこの授業の主旨や、授業の進め方、評価方法などについて、確認します。次にイギリス 19 世紀の文学全体の流れを概観します。ヴィクトリア朝は小説の時代とも呼ばれますが、それはなぜでしょうか。また、この時期にいわれるベストセラー作家が生まれた理由はどのようなものでしょうか。社会的・歴史的背景と関連付けて、解説を行います。
事前学修	以下の作家がどのような生まれで、どのような作品を書いたのが、ざっと調べておきましょう。目安としては、一人当たりの作家について、30 分の事前学修をお勧めします。*チャールズ・ディケンズ、エミリー・ブロンテ、シャーロット・ブロンテ、ウィリアム・メイクピース・サッカレー、トマス・ハーディ
事後学修	オンデマンド授業を参考にして、① 19 世紀が小説の時代と呼ばれる理由と、②ヴィクトリア朝に大衆作家やベストセラー作家と呼ばれる作家が生まれた理由を、まとめましょう。またオンデマンド動画のなかで出された課題について、レポートを作成しましょう。

・対面授業

1 日目	授業内容	最初に、対面授業の授業の進め方と、授業内に総括として行われる授業内テストについて、説明し、それから“Brother Morgan’s Story of the Dream Woman”の精読（輪読形式）に入ります。文学的含意や社会背景などについて説明を加えながら、大体 90 分で 4 ページ程度を読み進み、所要所でグループ・ディスカッションを挟む予定です。理解度などに応じて適宜、進度を調整します。また、新型コロナ・ウィルスの蔓延状態などを鑑みて、ディスカッションは行わない場合があります。
2 日目	授業内容	前日に引き続き、“Brother Morgan’s Story of the Dream Woman”の精読を続けます。終了後に残りの短編小説二作“The Fatal Cradle”と“A Mad Marriage”について、解説をし、それぞれの物語の構造を“Brother Morgan’s Story of the Dream Woman”と比較します。全体の総括として、授業内テストを行い、授業内容の振り返りを行います。
	事前学修	“Brother Morgan’s Story of the Dream Woman”を精読してくる。その際に分らない単語は辞書を引いて意味を調べ、それでも構文や文章の意味が取れないなど、疑問を持った部分に印をつけておきましょう。（授業中には、積極的な質問をするなど、意識して事前学修においてピックアップした疑問を解決していきます。）
	事後学修	事前学修の段階でピックアップされた疑問について、自分なりに答えをまとめましょう。また、全体に授業内容を整理し、ヴィクトリア朝においてベストセラー作家が生まれた理由を、小説と読者層、文学と社会の関係性を視野に入れて考え、現代の文学と社会の関係性と比較してみましょう。

講座内容（シラバス）

〔経済政策総論 / 経済政策〕

周藤 利一

- ◆**授業概要** 日本における現在及び将来にわたる公共経済政策の重要な課題について、景気循環、対外経済、財政、金融、租税、雇用・労働、社会福祉、社会保障、資源・エネルギーといった政策分野ごとに、現状と将来の課題、過去の政策とその効果、今後の政策のあり方について、データや実例を示しながら、分かりやすく解説します。
- ◆**学修到達目標** 現在の日本における公共経済政策の重要な課題に対して、どのような政策認識がなされ、政策の立案、形成、決定過程を経て、どのように実施され、その効果はどのようなものであったかを実証的に分析し、評価して理解することにより、日本の経済政策の現状と課題、今後のあるべき方向を説明できるようになります。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
講義資料をMP 4で作成して公開する方法により実施します。講義内容に対する質問については、回答を履修者全員で共有することを原則とします。
 - ・対面授業
講義資料を毎回配布して、解説する方法により実施します。板書も活用して講義内容に対する理解を深めるようにします。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点 30%試験 70%、平常点 30%
- ◆**教科書**
- ◆**参考書**
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行います。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	第1回のテーマは、経済政策序論：内容は、経済政策の意義、財の性質、経済主体、資源の配分と所得の配分などについて学びます。 第2回のテーマは国民経済論・経済成長論：内容は、国民経済の意義と原理、生産・支出・所得の計測方法などについて学びます。 第3回のテーマは、国際収支と対外関係：内容は、国際収支の構造、外国為替市場と為替レートなど 第4回は金融政策論①：内容は、管理通貨制度、金融システムの意義、マネーサプライなど 第5回は金融政策論②：内容は、金融政策の限界、資産価格の安定化、金融の異次元緩和など
事前学修	①新聞やインターネットなどを通じて、各回のテーマに関連する情報を得るようにしてください。 ②各回のテーマに関する自分の疑問や講義を通じて学修したい項目について整理してください。
事後学修	①学修した内容を講義動画やノートで再確認し、自分の理解度を確認してください。 ②講義を受けた内容について疑問がある場合は、classroom を通じて質問してください。 ③ほかの学生からの質問に対する解説を classroom で共有するので、その内容を確認してください。

・対面授業

1日目	授業内容	第6回のテーマは財政政策論①：内容は、財政制度の意義、国の財政の構造、財政投融資など。 第7回のテーマは財政政策論②：内容は、裁量的財政政策、減税政策、日本の財政赤字、財政再建など。 第8回のテーマは租税政策論①：内容は、租税の基礎理論、租税の機能と効果、租税の基本原則、租税の分類など。 第9回のテーマは租税政策論②：内容は、日本の租税の現状、景気対策としての租税、税制の問題など。 第10回のテーマは貿易政策論：内容は、比較生産費モデル、垂直分業と水平分業、WTO ルール、EPA、TPP など。
2日目	授業内容	第11回のテーマは雇用政策論・労働政策論：内容は、労働力及び労働の需要と供給の構造、労働条件の改善など。 第12回のテーマは社会保障政策論：内容は、私的保障と公的保障、財源の調達、社会保険と公的扶助など。 第13回のテーマは社会福祉政策論：内容は、社会福祉の供給体制、政府の役割、経済政策と社会政策の関係など。 第14回のテーマは資源・エネルギー政策論①：内容は、世界のエネルギー事情、日本のエネルギー事情、省エネ政策など。 第15回のテーマは資源・エネルギー政策論②：内容は、再生エネルギー、福島原発事故以後のエネルギー政策など。
事前学修		①新聞やインターネットなどを通じて、各回のテーマに関連する情報を得るようにしてください。 ②各回のテーマに関する自分の疑問や講義を通じて学修したい項目について整理してください。
事後学修		①授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認してください。 ②講義を受けた内容について疑問がある場合は、classroom を通じて質問してください。 ③ほかの学生からの質問に対する解説を classroom で共有するので、その内容を確認してください。

講座内容（シラバス）

〔国際経済論〕

羽田 翔

- ◆**授業概要** 本講義においてはミクロ経済学、マクロ経済学の手法を用い、主に国際貿易と国際金融のメカニズムについて学修する。最終的に、貿易政策や他国との関係、時事問題を理解する力を養う。
- ◆**学修到達目標** 国際経済について包括的に研究するために必要な貿易・金融システムについて説明する力及び日本を含む世界の通商政策における問題及び解決策を提示して相手に伝えることができる力（コミュニケーション能力）を習得するために、国際経済のメカニズムに関する経済学的な考え方を理解する。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
講義ノート及びパワーポイント資料に基づいて、講義形式で行う。
 - ・対面授業
講義ノート及びパワーポイント資料に基づいて、講義形式で行う。また、可能であればセメスター中、グループでのディスカッション及びリアクション・ペーパーを数回実施する。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**成績評価基準** 最終課題（60%）、小テストおよびレポート（20%）、授業への積極的参加（質問や意見）（20%）により、総合的に評価する。
- ◆**教科書** 丸沼『基礎から学ぶ国際経済と地域経済』若杉隆平 文真堂 2020年
資料配布（Classroom）教科書の内容に沿って作成したパワーポイント資料を配布する。
- ◆**参考書**
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	<p>国際経済論の授業の流れを概説すると同時に、それがどのような学問で、経済学全体の中でどのような位置づけをされているのかを確認する。</p> <p>伝統的貿易論である絶対優位と比較優位について学習し、貿易の発生要因を確認する。</p> <p>比較優位論の代表的なモデルであるリカード理論及びヘクシャー・オリーン理論を説明し、絶対劣位にある国も国際貿易に従事することを確認する。</p> <p>国際間は生産要素の移動がないという仮定をなくし、労働と資本が国際的に移動することで貿易などにどのような影響があるかを説明する。</p> <p>企業が行う海外直接投資の理論について説明する。</p> <p>統計を確認することで日本の海外直接投資の動向について説明する。</p>
事前学修	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の該当箇所を確認し、経済学における国際経済学の位置づけについて確認すること。 ・比較優位と絶対優位の違いについて確認すること。 ・比較優位理論における各理論の特徴を簡潔に理解しておくこと。 ・資本の国際的な移動に関する理論やその考え方に関して、教科書の該当箇所を確認しておくこと。 ・海外直接投資に関する統計について、基本的な知識を教科書で確認しておくこと。
事後学修	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済学がそのように現実の経済の理解において役立つかをまとめること。 ・比較優位と絶対優位の違いについて、数値例を参考にまとめること。 ・比較優位理論における各理論の特徴をまとめること。 ・海外直接投資や企業の海外進出に関する理論についてまとめること。 ・海外直接投資に関する統計について、各統計の特徴についてまとめること。

・対面授業

1日目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自由貿易と保護貿易政策について説明する。 ・保護貿易政策の是非について考える。 ・第二次世界大戦後の世界の貿易ルールについて説明する。 ・世界の経済統合と日本の通商政策について説明する。 ・国際金融取引の基礎的な内容について説明する。
2日目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国際収支表の見方や仕組みに関して説明する。 ・為替レートの変化や貿易に与える影響について説明する。 ・貧困問題とその解決方法に関して説明する。 ・経済発展と環境問題について説明する。
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> ・保護貿易政策の経済学的な意味について確認すること。 ・世界の貿易ルールの歴史について確認すること。 ・近年の自由貿易協定や経済連携協定の基本的な考え方について確認すること。 ・国際金融システムにおける国際収支表や為替レートの役割について確認すること。 ・国際経済学における開発問題とはどのようなものがあるかを確認すること。
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> ・今日における日本や世界の貿易政策について、自身の立場をまとめること。 ・国際収支表のシステムや為替レートの変化が経済活動に与える影響をまとめること。 ・経済発展において貿易・直接投資・貿易政策などがどのように関わっているかをまとめること。 ・国際経済論の主要パートごとに、現実の経済を考える上で重要な点をまとめること。

講座内容（シラバス）

〔労働経済論〕

村上 英吾

◆**授業概要** 本講義の目標は、雇用・失業、賃金、労働時間ならびに働き方・働かされ方に関する諸問題を経済学的に分析する視点を身につけることです。はじめに、応用ミクロ経済学としての労働経済学における基本的な労働市場モデルを学び、労資間の利害対立を踏まえてそれを批判的に検討した上で、現代日本の身近な労働問題について考えていきたいと思います。

◆**学修到達目標** 雇用・失業、賃金、労働時間並びに働き方・働かされ方に関する諸問題を理解するための標準的な労働経済学の基本的な理論を理解した上で、その問題点について説明することができる。また、代替的な経済理論に基づいて、労資間の利害対立を踏まえた賃金決定のメカニズム、賃金と失業の関係について説明することができる。これらの理論を踏まえつつ、現代日本の労働問題とその対策について理解し、説明することができる。

◆授業方法

・オンデマンド

オンデマンド授業では、基本的な労働市場の理論とその批判に関して、動画を視聴して学習します。各テーマごとに、理解度を確認するための簡単な Web テストの実施を予定しています。

・対面授業

対面授業では、講義スライドと関連資料を Web ページから配付し、スライドに沿って講義を進めます。ただし、講義の内容や進度は、受講生の理解の程度、経済状況の変化や要望等により変更することがあります。なお、対面授業では講義時間内に簡単な小テストの実施を予定しています。

◆**履修条件** 特になし。

◆**成績評価基準** オンデマンド授業でテーマごとに実施する Web テスト（10%）、授業内に実施する小テスト（20%）、最終日に実施する筆記試験の結果（70%）により評価します。

◆教科書

◆**参考書** 〔丸沼〕小野旭『労働経済学 第2版』東洋経済新報社
一般的な「労働経済学」のテキストです。（オンデマンド授業が1～4章、6～7章に関係しています）

〔丸沼〕宇仁・坂口・遠山・鍋島著『入門 社会経済学』ナカニシヤ出版
「社会経済学」のテキストです。批判的な視点から学べます。

〔丸沼〕石畑・牧野編『よくわかる社会政策 [第2版]』ミネルヴァ書房
労働政策の動向について参考になるテキストです。（対面授業が1～3章に関係しています）

〔丸沼〕Bowles, Edwards, Roosevelt, Larudee, *Understanding Capitalism fourth edition*, Oxford University Press.
アメリカの人文系学部で使用されているテキストです。（オンデマンド授業が Ch 10,12,16、対面授業が 13 に関係しています）

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆授業計画〔各 90 分〕

・オンデマンド

授業内容	その1 イントロダクション 現代の労働問題 その2 労働供給 所得余暇選好モデル その3 労働需要と競争的賃金決定 限界生産力説明に基づく単純な労働市場モデルの特徴 その4 賃金と労働 労働者統制モデルによる賃金決定メカニズム その5 賃金と失業 利潤主導型雇用環境と賃金主導型雇用環境
事前学修	事前に配布するスライド資料 (pdf) に目を通しておいてください。 余裕のある人は参考文献を読んでおく動画の内容を理解しやすいでしょう。
事後学修	動画で説明されている理論について、前提となっている条件に注意しながら、その中心となっている基本的なメッセージを理解してください。

・対面授業

1日目	授業内容	素朴な労働市場のモデルを相対化して、労働研究の焦点を労働過程に転換する労働者統制システムの理論を紹介し、賃金と雇用に関する代替的な理論を学びます。
2日目	授業内容	2日間の学習を踏まえて、現代日本における「働き方改革」について考えます。長時間労働や正規・非正規間の労働条件格差の是正は、重要な政策課題となっています。この課題を解決するための政策について、理論を踏まえて検討します。
事前学修		事前に配布するスライド資料 (pdf) に目を通しておいてください。 余裕のある人は参考文献を読んでおく動画の内容を理解しやすいでしょう。
事後学修		授業内容は一人ひとりの働き方にも関わることなので、自分や身の回りの働き方について考える参考にしてください。

講座内容（シラバス）

〔経営学〕

階戸 照雄

◆**授業概要** この講義の目的は、「経営学」を各企業の実践的課題に対する解決方法を理論的に解明するツールとしてとらえるだけでなく、身近な問題を解決するツールとしてとらえることにある。そのため、経営学の各分野を幅広く体系的に学習する。小職は銀行で実務を国内、海外に亘り、25年間経験している。今日の会社の抱える諸問題や将来的な課題等も考えられるよう授業に反映させていきたい。

◆**学修到達目標** 本講義では、経営学の基本的な考え方を理解し、実際の企業の実践的な取り組みを取り上げる。このため、企業がどのような戦略を立て、どのような組織が作られ、どのように運営されるか、の一連の企業活動が理解できるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

経営学の基本的な考え方・理論を教科書・参考書も活用して、内容の理解が分かりやなるよう講義方式により、説明する。授業動画は内容に沿って分割し、番号を付している。全体を順に視聴し、理解できなかったところは重点的に繰り返して視聴すること。なお、動画の中には課題が含まれている場合がある（その場合は明示する）。

・対面授業

オンデマンド授業で提示された動画は必ず視聴すること。オンデマンドと同様、経営学の基本的な考え方・理論については講義方式により説明する。ただ、諸問題・課題に対する理解を深めるためアクティブ・ラーニングの手法も採用する。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** オンデマンド授業で出される課題（小テスト2回）は評価対象であるので、提出すること（40%）。対面授業の最後に最終試験（60%）を実施し、オンデマンド授業と合わせて評価する。

◆**教科書** 〔丸沼〕『経営学検定試験公式テキスト①経営学の基本』経営能力開発センター編 第6版 中央経済社 2018年
*なお、新しい版が発行されている場合は、そのテキストを使用する。

◆**参考書** 〔丸沼〕『経営学スタートアップ』建宮勉編著、五十嵐雅郎・階戸照雄著 中央経済社 2017年

◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に説明する。

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	1. 経営学とは何か（講義の目的、進め方、成績評価 経営学の目的と意義） 2. 企業の経営（企業と株式会社 株主と経営陣 大企業と中小企業） 3. 経営戦略の策定（経営理念、経営目標、経営計画、経営資源 経営戦略の策定） 4. 経営戦略等の理論（SWOT分析、成長ベクトル、5つの力、ポジショニング分析、PPM（プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント）、マーケティングの4P、経営曲線効果） 5. 経営の実践（ローコスト経営、キャッシュフロー経営、M&A） 6. ケーススタディ（事例研究）
事前学修	・経営学全般、特に上記の項目はシラバスに沿い、事前学修（ケーススタディは不要）を行う。
事後学修	・経営学全般、特に上記の項目はシラバスに沿い、事後学修（ケーススタディも必要）を行う。中でも、経営戦略等の理論については各理論を念入りに事後学修する。講義中にとったノート等を利用し、知識の定着化を図る。

・対面授業

1日目	授業内容	1. 経営のグローバル化、2. コーポレート・ガバナンス、3. トップマネジメント、4. ミドルマネジメント、5. ローマネジメントの各々につき講義する。
2日目	授業内容	6. 選択と集中、7. シナジー効果、8. 戦略的提携、9. ビジネスモデル、10. まとめの各々につき講義する。
	事前学修	・経営学全般、特に上記の項目はシラバスに沿い、念入りに事前学修を行う。
	事後学修	・経営学全般、特に上記の項目はシラバスに沿い、事後学修を行う。講義中にとったノート等を利用し、知識の定着化を図る。

講座内容（シラバス）

〔国語科教育法Ⅰ〕

永吉 寛行

◆**授業概要** 「学習指導要領」の趣旨や構造について学ぶことを通して、国語科教育の意義と内容を理解する。また、カリキュラム・マネジメントについても理解する。それらの理論をふまえ、どのようにしたらそれを具現化できるか、具体的な教材に即して検討する。特に本講義では、中学校国語科指導を中心に取り上げる。中学校国語科教員研修担当講師等の経験を生かして、中学校国語教科書をテキストに授業構想や評価計画について検討するとともに、模擬授業を行い、その事前・事後協議を行う。

◆**学修到達目標** 「学習指導要領」が求める新しい時代における国語科教育の在り方について、具体的事例を基に考察・討論することで、その理解を自分のものにすることができる。グループによる模擬授業によって擬似トレーニングを積むことで、教育現場で用いられているさまざまな指導法について知ることができる。また、教育実習を想定した具体的な取り組みについても取り上げるので、教育実習に臨む準備ができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

中学校学習指導要領（国語）の概要とそこで求められている新しい時代の国語科教育の在り方について講義するとともに、観点別評価の意義と具体的な方法についても講義する。また学習指導案の基本的な作成方法についても説明をする。

・対面授業

10時間を5時間・5時間に分けて、具体的な教材研究を2時間行った後に事前協議・模擬授業・事後協議を3時間行うという流れを2セット行う。最終（第15時）は実際には協議は行わず、事後協議内容を想定した材料を含めて最終試験を行う。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 授業参画度（30%）、提出物（30%）、試験（40%）により総合的に評価します。

◆**教科書** 〔丸沼〕『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』文部科学省 東洋館出版社 2018年

〔丸沼〕『国語2』（中学校第2学年用教科書、教科書番号・804）光村図書 2021年

〔丸沼〕『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 国語』国立教育政策研究所教育課程研究センター 東洋館出版社 2020年

〔その他〕『少年の日の思い出』テキスト

◆**参考書**

◆**授業相談（連絡先）**：nagayoshi.matcha57577@vs01.vaio.ne.jp

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	中学校学習指導要領（国語）について、その構成と内容について「同 解説」を用いて説明する。 〔知識及び技能〕の観点にかかる評価について、その趣旨と評価方法の考え方や評価規準について説明する。 〔思考力、判断力、表現力等〕の観点にかかる評価について、その趣旨と評価方法の考え方や評価規準について説明する。 中学校国語の学習指導案作成に当たった基本的な考え方について説明し、具体的な単元を想定して、その作成方法を説明する。
事前学修	中学校学習指導要領（国語）本文及び解説の〔知識及び技能〕〔思考力、判断力、表現力等〕の部分を読み、その具体的な資質・能力について理解しておくこと。
事後学修	講義内容を整理するとともに、授業内容と配布資料とを確認し、理解を深めておくこと。

・対面授業

1日目	授業内容	小説教材「少年の日の思い出」、評論教材「君は「最後の晩餐」を知っているか」について、演習・発表形式で教材研究会を行う。次に「少年の日の思い出」「君は「最後の晩餐」を知っているか」について、グループで模擬授業計画を立て、その後グループ代表者が模擬授業を行い、他の受講者は生徒役となり、事後協議の材料を整理しておく。事後協議では発表、討論をすることで、授業デザイン力を高める。
2日目	授業内容	古文教材「奥の細道」、小説教材「走れメロス」について、演習・発表形式で教材研究会を行う。次に「奥の細道」「走れメロス」について、グループで模擬授業計画を立て、その後グループ代表者が模擬授業を行い、他の受講者は生徒役となり、事後協議の材料を整理しておく。「奥の細道」の事後協議では発表、討論をすることで、授業デザイン力を高める。「走れメロス」については事後協議自体は行わず、振り返りを含めて試験として記述を行う。
	事前学修	当該教材を読んで、読解のポイントを想定しておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、自らの授業プランを構想しておくこと。

講座内容（シラバス）

〔社会科・地理歴史科教育法Ⅱ〕

宇内 一文

◆**授業概要** 中学校社会科及び高等学校地理歴史科の授業（とくに歴史）の実際について、最新の教育動向を踏まえて学んでいく。中学校・高等学校教員として、自分が授業を担当する際、どのように教材研究をするのか、また生徒に対してどの学習方法をもって授業を展開していくのかについて学習する。実践に必要な知識・指導方法・指導技術について、具体的な討議や様々なグループワーク、模擬授業などを通して身につけることを目標とする。

◆**学修到達目標**

1. 学習指導要領に示された中学校社会科及び高等学校地理歴史科の目標と内容を理解できる。
2. 社会科・地理歴史科の背景となる学問領域との関係を理解し教材研究に活用できるとともに発展的な学習内容について探究し、それを学習指導に生かすことができる。
3. 社会科・地理歴史科の基礎的な学習指導理論を理解するとともに、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけている。
4. 社会科・地理歴史科の実践研究の動向を知り、授業設計の向上に主体的に取り組むことができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

オンデマンド授業は、40分程度の授業動画と50分程度の学修課題（レポート）で90分間の学びを構成する。中学校社会科及び高等学校地理歴史科（とくに歴史）の学習指導要領に示された当該教科の目標や内容など社会科教育原理について講義する。

・対面授業

対面授業では、学生の主体的・対話的で深い学びをめざすとともに、原理的に理解を深め実践的に各自の考えを活かすことができるように、アクティブ・ラーニングの手法を用いたグループワークなどの活動を取り入れる予定である。中学校社会科及び高等学校地理歴史科（とくに歴史）の学習指導と授業設計の方法を修得し、主体的に取り組むことができるようになるために、受講者による模擬授業を行う。なお、模擬授業はグループによる30分程度を予定している。模擬授業の教科書には、『中学社会歴史 未来をひらく』（教育出版、令和3年）を指定する。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 授業の課題〔オンデマンド・対面授業〕への取り組み（40%）、模擬授業及び学習指導案（40%）、期末レポート（30%）。これらを総合的に判断し、評価する。

◆**教科書** **教材**『社会科・地理歴史科教育法Ⅱ T20600』通信教育教材（教材コード000587／000589）

◆**参考書** **凡例**『中学社会 歴史 未来をひらく』久留島典子ほか 教育出版 令和3年（令和2年検定済み、令和3年度採用）

凡例『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』東洋館出版 平成30年

凡例『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 地理歴史編』東洋館出版 平成31年

◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	第1回目：授業の概要と授業計画、評価方法の説明 第2回目：社会科の学びが変わる：社会科・地理歴史科をめぐる現代的課題 第3回目：社会科の目標：「公民的資質・能力」の育成 第4回目：「社会的な見方・考え方」にもとづいた授業の構造化 第5回目：社会科の成り立ちとその歩み
事前学修	オンデマンド授業では、毎時、授業で学んだことを定着させるために授業外で課題に取り組む必要がある。それゆえ、事前学修では、前回の授業のノートと配布資料を確認し、教科書〔学習指導要領〕の指定した箇所をよく読んでおくこと。そして、授業動画において指示した事前学習の課題に取り組むこと。一回の授業につき、120分事前学修を求める。
事後学修	オンデマンド授業では、毎時、授業で学んだことを定着させるために授業外で課題に取り組む必要がある。それゆえ、事後学修では、授業動画の内容をノートに整理し、授業内容の理解を図ること。そして、授業動画において指示した授業内容にかかわる事後学修の課題に取り組むことを通して、資質能力を深化させること。一回の授業につき、120分事後学修を求める。

・対面授業

1日目	授業内容	第6回目：中学校社会科の教育課程の特色 第7回目：教科書検定制度と歴史教科書 第8回目：社会科の学習指導と評価 第9回目：社会科の授業をデザインしよう 第10回目：中学校社会科歴史的分野の指導法と実践例／模擬授業／学習指導案の作成
2日目	授業内容	第11・12・13・14回目：中学校社会科歴史的分野の教材研究・模擬授業・授業改善〔含むICTの視点〕 ①歴史のとらえ方・調べ方 ②原始・古代の日本と世界 ③中世の日本と世界 ④近世の日本と世界 ⑤日本の近代化と国際社会 ⑥二度の世界大戦と日本 ⑦現代の日本と世界 第15回目：スクーリングのまとめ、期末レポート
	事前学修	対面授業では、毎時、授業で学んだことを定着させるために授業外で課題に取り組む必要がある。対面授業1日目の事前学修では、前回の授業のノートと配布資料を確認し、教科書〔学習指導要領〕の指定した箇所をよく読んでおくこと。そして、授業動画において指示した事前学習の課題に取り組むこと。対面授業2日目では、模擬授業を行うために、学習指導案、配布資料の作成を事前学修として行うこと。両日ともに一回の授業につき、120分事前学修を求める。
	事後学修	対面授業では、毎時、授業で学んだことを定着させるために授業外で課題に取り組む必要がある。対面授業1日目の事後学修では、授業動画の内容をノートに整理し、授業内容の理解を図ること。そして、授業動画において指示した授業内容にかかわる事後学修の課題に取り組むことを通して、資質能力を深化させること。対面授業2日目では、PDCAサイクルにもとづく学習指導案及び模擬授業の振り返りなどの事後学修に取り組むことを通して、授業改善の視点を獲得すること。両日ともに一回の授業につき、120分事後学修を求める。

講座内容（シラバス）

〔特別活動・総合的な学習の時間の指導法〕

今泉 朝雄

◆**授業概要** 学校教育における重要な教育活動である特別活動、総合的な学習の時間について、教育課程上の位置づけや教育的意義、計画や指導の方法等について学習する。また、それら基礎的知識をもとに、主体的・対話的で深い学びを基盤とした集団活動、探究的な学習に関わる計画、指導の実践的な資質・能力を身につける。

◆**学修到達目標** ①特別活動・総合的な学習の時間の教育的意義、教育課程における位置付け、各領域の特徴、学習指導要領における目標、内容について理解する。 ③それぞれの実践に関する年間指導計画、各活動の指導計画、指導方法、評価方法について実践的な視点から検討することが出来る。

◆授業方法

・オンデマンド

教科書、レジュメ資料に基づき動画を視聴して学習を進める。動画であっても学生に様々な思考場面を設定し、自身なりに考えることを求める。また、動画内に課題が含まれる。質問は随時受け付ける。

・対面授業

オンデマンド授業の動画視聴、学習は全て住んでいることを前提とする。対面では講義形式で基礎を学び、それに関する具体的事例等を考察しながら実践力を身につける。

◆履修条件

◆**成績評価基準** 授業時における課題を平常点 40%。

最終課題レポート 60%。

◆**教科書** 関川悦雄、今泉朝雄編『特別活動・総合的な学習の理論と指導法』弘文堂、2019年、2200円（税込）

◆**参考書** 文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別活動編（平成 29 年告示）』2017 年

文部科学省『中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編（平成 30 年告示）』2018 年

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて受け付ける

◆授業計画〔各 90 分〕

・オンデマンド

授業内容	<p>①イントロダクション ～本時で何を学ぶのか～ 特別活動と総合的な学習の定義を理解する。そしてそれらの指導のために学ぶべき内容について把握する。</p> <p>②特別活動の教育的意義と学習指導要領上の位置付け 教科との比較において特別活動の特徴と教育的意義を考察し、学習指導要領における特別活動の目標、内容を踏まえてその理解を深める。</p> <p>③教育課程における特別活動、総合的な学習の位置付け 特別活動、総合的な学習が各教科や道徳教育など他の教育課程領域とどのように関連を持つべきなのか理解する。</p> <p>④集団活動と特別活動 特別活動の基盤となる学校に於ける集団活動のあり方についてその基礎理論を学ぶ。</p> <p>⑤学級活動の計画と指導 特別活動の一領域である学級活動・ホームルーム活動の目標、内容を理解し、それらをどのように計画を立て指導をしたらよいかについて事例的に学ぶ。</p>
事前学修	<p>①②については、自身の特別活動に関する経験を振り返り、それがどのような取り組みであったのか、その教育的意義がどのようなものであったかを検討する。</p> <p>③④⑤については、教科書第 2 章、第 3 章、第 5 章 1 を読んでその内容を自身なりに整理する。</p>
事後学修	各授業の内容について自身なりの学習整理を行い、それぞれの課された課題に取り組むこと。

・対面授業

1 日目	授業内容	<p>⑥話し合い活動の方法 学級活動のみならず学校教育のあらゆる場面が必要となる合意形成や話し合い活動の指導方法について実践的な検討を行う。</p> <p>⑦学校行事の計画と指導 学校行事の目標、内容を理解し、諸行事の取組みが学校教育のあり方をより豊かにするためには、どのように教育課程に位置付け、どのように計画を立て、指導を実践していけばよいかについて事例に基づきながら学ぶ。</p> <p>⑧生徒会活動の計画と指導 生徒会活動の目標、内容を理解し、生徒の自発的自治的な取組みを高めるために必要な指導を検討する。</p> <p>⑨部活動の課題 学校教育における部活動について、その教育的意義、学校教育上の位置付け、抱える課題を学習し、その方向性について検討する。</p> <p>⑩総合的な学習の意義について 学習指導要領における目標、内容の位置付けを理解し、それが現代の教育政策においてどのような意義をもたらしているのかについて理解する。</p>
2 日目	授業内容	<p>⑪総合的な学習で育てるべき資質について 前回の内容を踏まえながら、総合的な学習において具体的にどのような資質を育てるべきなのか、教科を越えて必要となる資質・能力とは何かについて学ぶ。</p> <p>⑫総合的な学習の年間指導計画 総合的な学習の年間指導計画がどのような考え方のもとに構成されるのか、それがどのように行われるか、事例的に理解する。</p> <p>⑬主体的・対話的で深い学びを実現する単元計画 主体的・対話的で深い学びの意味を理解し、それを実現するための探究的な課題設定について、事例的に検討する。</p> <p>⑭家庭や地域住民、関係機関との連携のあり方／両領域の評価の方法について 特別活動、総合的な学習の取組をより豊かにするために様々な関係諸機関等との連携をどのように取るべきかについて事例的に検討する。また、教育目標を実現するために必要な評価の考え方についてその基本を学ぶ。</p> <p>⑮授業全体のまとめ、自身の学習の振り返り これまでの内容を総合的に振り返りながら、特別活動、総合的な学習の計画、指導実践のポイントを整理し、これからの新しい時代における両者の方向性について検討する。</p>

事前学修	書く内容について、教科書の当該箇所を読んでその内容を自身なりに整理する。
事後学修	各授業の内容について自身なりの学習整理を行い、それぞれの課された課題に取り組むこと。また、最終課題レポートを設定するので、それに取り組むこと。詳細は授業時に指示する。

講座内容（シラバス）

〔英語科教育法Ⅲ〕

Richard Caraker

◆**授業概要** This class focuses on how different teaching methods are influenced by the various schools of educational psychology theories of language, as well as the influence of individual differences among language learners.

◆**学修到達目標** Students will be able to understand the educational theories of behaviorism, constructivism, and social interactionism, as well as aspects of communicative competence. Students will then be expected to understand how these theories influence teaching methods in the language classroom, especially audiolingualism, cognitive academic language learning approach, task-based language teaching, and communicative language teaching.

◆**授業方法**

・オンデマンド

The on demand videos will be divided according to content. Each video will be numbered. Students will watch all the videos first. If there are difficulties, repeated viewings is recommended. If students still can't understand the content, the teacher will answer the questions from the students. There will be tasks associated with the videos.

・対面授業

Students will engage with the content of the course through various readings, listening exercises, vocabulary exercises, reading comprehension questions, discussions, and videos. Furthermore, students will be required to apply some of the theories and methods in mini teaching activities in small groups.

◆**履修条件**

◆**成績評価基準** Exam 60% Microteaching activity 15% Homework 10% Participation 15%

Student participation will be measured by discussions during every class.

"In-class examination" will be measured by a term-end exam.

◆**教科書** [Linguistic Soup: Recipes for Success] Richard Caraker First Edition Perceptia Press 2020 ISBN 978-4-939 130-28-1 order #212821

◆**参考書**

◆**授業相談（連絡先）** : richardcaraker@gmail.com

◆**授業計画（各 90 分）**

・オンデマンド

授業内容	Please see the Word file for information about on-demand contents.
事前学修	Please see the Word file for information about on demand pre-learning.
事後学修	Please see the Word file for information about on-demand post-learning.

・対面授業

1日目	授業内容	Students will read and answer comprehension questions about the basic issues regarding second language acquisition, including linguistic factors, learning processes, age and acquisition, classroom instruction, context of language learning, and motivation. In addition, students will familiarize themselves with the major branches of linguistics which are divided into linguistics structure and linguistics use. Finally, students will investigate issues surrounding sociolinguistics, especially regional and social dialects.
2日目	授業内容	Students will read and answer comprehension questions about the basic issues regarding communicative competence, including grammatical competence, discourse competence, sociolinguistic competence, and strategic competence, as well as BICS and CALP, language functions, and interaction. In addition, students will familiarize themselves with the teaching method task-based language teaching which is closely associated with communicative competence. Furthermore, students will learn the importance of individual differences in language learning, for example, personality, aptitude, intelligence, learning styles, and motivation. Finally, students will investigate different learning theories like behaviorism, constructivism, and social interactionism, and connect these theories with classroom practices.
	事前学修	Students will answer vocabulary questions and discussion questions about Questions Surrounding SLA, English Dialects, and Communicative Competence.
	事後学修	Students will take part in discussions, task-based speaking activities, and microteaching activities about the TESOL themes.

◆授業概要

博物館は膨大な知識・資料の集積所である。博物館における情報の意義と活用方法を理解し、収蔵品のデジタル化の方法とメディアへの保存、デジタル化した情報の発信と保守について理解する。著作権法等の内容と意義を理解し、収蔵資料のデータベース化を行うことで応用を図り、調査研究・情報管理・公開についての知識の習得を目指す。

◆学修到達目標

(1) 博物館における情報・視聴覚資料提供の基本的考え方と、用いられる情報機器の概要について説明できる。

(2) 博物館の情報の提供と活用に関する基礎的能力を得る。

◆授業方法

実際に博物館で配布されている案内やホームページなどで公開・発信されている情報をもとにして、①博物館における情報・メディアの意義とその理論、②博物館における情報公開と発信、③博物館と知的財産の3項目について考え、学習目標の理解を深めます。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

各授業での小レポート(40%)、課題(60%)により総合的に評価。

◆教科書

ほぼ毎回のオンデマンド授業で、事前にClassroom資料を配付する。

◆授業相談先(連絡先)

Classroom上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<ol style="list-style-type: none">1. 現代の生活と映像・音声メディア 現代の暮らしの中では、建物の内外を問わず交通機関の内部でも音楽・映像そして情報が溢れている。これらの観点に立ち、博物館情報・メディア論の授業の進め方について説明する。2. 情報とは何か 氾濫する情報のなかで、情報の混濁が起きている。必要情報とは何かを考える。3. 博物館と情報の種類 大局的に見れば博物館そのものが一種のメディアである。博物館での一次資料と二次資料について考え、資料のドキュメンテーションとは何か理解し、博物館における情報の意義について学ぶ。4. 博物館活動と情報の諸相 博物館活動における情報のあり方を理解し、コレクションドキュメンテーションの具体的な作業等を理解し、実践できるようにする。5. 博物館資料と情報カード作成 博物館資料をデータベース化するための基礎は、資料カードの作成である。収集の仕組みを理解し、その上で資料の情報がどのようにデータベース化させていくのか理解する。 <ol style="list-style-type: none">1. 情報提供と広報活動 博物館活動の中で、どのように情報発信し、特に広報活動として情報発信を行うのか示す。2. 博物館の展活動と情報化 展示における情報発信の方法や内容を理解し、次の博物館見学での展示の情報発信についての視点を確認する。3. 博物館見学① 実際に博物館で公開・発信されている情報を視察し、体験する。4. 博物館見学② 博物館展示室でのメディア活用 展示室や教育普及活動等で情報メディアが如何に活用されているか理解する。関連するチラシや小冊子等の資料を収集する。5. 博物館見学③ 実際に博物館で公開・発信されている情報を見学・体験した内容をレポートに纏める。 <ol style="list-style-type: none">1. 博物館と知的財産 博物館資料と著作権や個人情報等の関係を学ぶ。特に博物館における著作権の例外規定について確認し、実際の運営について理解する。2. デジタルアーカイブとデジタルミュージアム 博物館で新たに試みられた、情報提供方法と教育効果について学ぶ。3. 発信される博物館情報 博物館における情報発信のあり方を、インターネットが広がる以前と最近のあり方について学ぶ。4. インターネットと情報端末の利用 博物館でのインターネット利用の実態と、情報発信としての SNS 等の利用や問題点等を明らかにする。その上でスマートフォン等の情報端末の展示・教育普及等の利用について確認する。5. 総括および課題 授業の総括を行い、課題を提示する。
---------	---

<p>事前学修</p>	<p>シラバスの内容を確認し、自分自身の情報の取り方について、説明できるようにしておく。</p> <p>一次資料と二次資料、ドキュメンテーションについて調べておく。</p> <p>事前に HP 上で掲示する資料を印刷して、不明な用語があれば調べておく。</p> <p>インターネットで任意の博物館 HP を開き、画像データベースがあれば閲覧しておく。</p> <p>インターネットや新聞雑誌から受け取る博物館情報の相違について考える。</p> <p>見学予定の博物館から発信されるチラシや HP 等様々な媒体を見て確認しておく。</p> <p>著作権とはどのような法律か、辞書やインターネットで調べておく。</p>
<p>事後学修</p>	<p>講義内容を纏めて復習し、授業中に出された課題を作成し、期日までに提出する。</p> <p>博物館でのデータベース化された情報の応用例を考える。</p> <p>後半に見学する博物館について候補を決めて、講師の確認を得る。</p> <p>見学した博物館についてのレポートを仕上げる。</p> <p>配布資料を基に授業内容を復習・確認する。</p> <p>授業で学んだ内容を元に、世界各国の博物館の HP にアクセスして広報や資料の利用方法について確認する。</p>

講座内容（シラバス）

〔歴史学〕

下川 雅弘

◆**授業概要** 日本の中世において、内乱が繰り返されたのはなぜか。戦争の中世を、人々はどのように生き抜いたのか。日本の近世において、泰平の世はいかにして創出されたのか。近世の平和を、人々はどのように享受したのか。日本が、再び戦争の近代へと向かったのはどうしてか。中世から近代初頭に至る日本史を、戦争と平和をキーワードに読み直す。

◆**学修到達目標** 1. 歴史学とはどういう学問かについて理解することができる。
2. 歴史を学ぶことの現代的な意義を発見することができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

オリジナルテキスト第1章から第5章までを、章ごとに5回に分けて授業動画とする。授業動画の解説を聞いた上で、オリジナルテキストのそれぞれの章に掲げている課題を、対面授業前の期日までに提出してもらう。

・対面授業

オンデマンド授業で提示された動画および課題は必ず視聴・提出していること。提出された課題をもとに、授業動画の補足説明を行った上で、受講生に意見を求めながら理解を深めてもらう。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** オンデマンド授業で出される課題は評価対象であるのですべて提出すること（全体の50%）。対面授業での提出物等をもとに平常点を付ける（全体の20%）。対面授業の最後に実施する授業内レポートも点数化する（30%）。

◆**教科書** 資料配布（Classroom） 通信教育教材ではなく、オリジナルテキストを使用する。なお、オリジナルテキストはClassroomを通じて事前に配布する。対面授業の際にはプリントアウトして必ず持参すること。

◆**参考書**

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom上にて行う

◆**授業計画（各90分）**

・オンデマンド

授業内容	動画1の内容：二毛作は農業生産力の発展か 動画2の内容：村や町を守るために戦う民衆 動画3の内容：刀狩りの意義と武器所有の実態 動画4の内容：秀吉の惣無事から徳川の平和へ 動画5の内容：庶民も学ばなければならない時代
事前学修	・シラバスをよく読み、授業の概要や目的などを理解しておくこと。 ・オリジナルテキストの全体にわたって目を通しておくこと。
事後学修	・課題を通じて疑問に思った点を調べておくこと。あるいは対面授業の際に質問できるように準備しておくこと。 ・オリジナルテキストを読みながら、歴史学とはどういう学問であるか、歴史を学ぶ意義とは何かについて、自分なりに考えたことを整理しておくこと。

・対面授業

1日目	授業内容	・【序章】戦争の中世と平和な近世（i 授業の全体テーマ・目標、ii 中世・近世の改元理由、iii なぜ中世に戦争が繰り返されたのか） ・【第1章 二毛作は農業生産力の発展か】中世の飢饉と戦争（i 中世をめぐる二つの歴史像、ii 気候の寒冷化と飢饉、iii 二毛作と気候の寒冷化） ・【第2章 村や町を守るために戦う民衆】戦国の世を生きた民衆の実情（i 武装する村、ii 武装する町、iii 中世の領主と民衆） ・【第3章 刀狩りの意義と武器所有の実態】平和をもたらした天下人たちⅠ（i 武装する村、ii 武装する町、iii 中世の領主と民衆） ・【第3章 刀狩りの意義と武器所有の実態】平和をもたらした天下人たちⅡ（iv 江戸時代の民衆と刀、v 江戸時代の民衆と鉄砲、vi 近代以降の民衆と武器所有）
2日目	授業内容	・【第4章 秀吉の惣無事から徳川の平和へ】平和をもたらした天下人たちⅡ（i 秀吉の関白任官、ii 秀吉の天下統一と惣無事、iii 家康の国家戦略、iv パクス・トクガワナ） ・【第5章 庶民も学ばなければならない時代】平和を享受する近世の庶民と文化（i 身分制社会における農工商の役割、ii 江戸時代における庶民の識字力、iii 村社会でも読み・書き・そろばん、iv 寺子屋で何を学んだのか、v 私塾の役割と文明国日本） ・【終章】近代化の波と日本（i 再び戦争の道へ、ii 百姓を戦争に動員する論理） ・【終章】近代化の波と日本（iii 歴史を学ぶ意義とは） ・授業内レポート「歴史学とはどういう学問か」「歴史を学ぶことの現代的な意義とは」
	事前学修	・オンデマンド授業の内容や提出した課題を、対面授業直前にあらためて振り返っておくこと。
	事後学修	・「歴史学とはどういう学問か」「歴史を学ぶことの現代的な意義とは」について、あらためて自分の考えを見つめ直すこと。

◆授業概要

Students will have the chance to listen to conversations and model them in various role play situations. Through such practices, students will exchange information and ideas with their peers. Students will be asked to hand in classwork from time to time.

◆学修到達目標

This course is aimed at giving students the tools and the opportunity to speak with other students in a friendly setting. We hope to build confidence in using English while discussing a wide range of topics.

◆授業方法

The teacher will provide a model conversation to be followed. Questions will be explained and example answers will be given for each question. Students will have the opportunity to practice tasks with various members of the class in large and small groups.

◆履修条件

This course is open to all students. The content is set at beginner levels and progresses to pre-intermediate. The course requires active participation.

◆成績評価基準

Class participation and in-class assignments (80%). 1 test (20%).

◆教科書

None.

◆参考書

None.

◆授業相談先（連絡先）

alex.brown2020@nihon-u.ac.jp

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. Summer Vacation Listen to the conversations. Choose the correct answer in sections 'a' and 'b'. Give your own answers in 'c'. Write in full sentences. 2. Sickness and Health in Times of Covid. Listen to the conversations. Choose the correct answer in sections 'a' and 'b'. Give your own answers in 'c'. Write in full sentences. 3. Old School vs. New School. Listen to the conversations. Choose the correct answer in sections 'a' and 'b'. Give your own answers in 'c'. Write in full sentences. 4. Styles. Listen to the conversations. Choose the correct answer in sections 'a' and 'b'. Give your own answers in 'c'. Write in full sentences. 5. Give Your Opinion. Listen to the conversations. Choose the correct answer in sections 'a' and 'b'. Give your own answers in 'c'. Write in full sentences. 6. Crime and Punishment. Listen to the conversations. Choose the correct answer in sections 'a' and 'b'. Give your own answers in 'c'. Write in full sentences. 7. Dating. Listen to the conversations. Choose the correct answer in sections 'a' and 'b'. Give your own answers in 'c'. Write in full sentences.
事 前 学 修	<p>Prepare to discuss details of your summer vacation. Prepare to discuss details of your health and the dangers of Covid 19. Prepare to discuss details of your school life. Prepare to discuss topics about fashion. Prepare to talk about crimes in the news and punishments related. Prepare to talk about dating customs and etiquette.</p>
事 後 学 修	<p>Prepare to discuss 2. Sickness and Health in Times of Covid. Prepare to discuss 3. Old School vs. New School. Prepare to discuss 4. Styles. Prepare to discuss 5. Give Your Opinion. Prepare to discuss 6. Crime and Punishment. Prepare to discuss 7. Dating</p>

・ 対面授業 (参考)

1 日 目	授 業 内 容	8. Fears. 9. Beliefs.10. Me, Myself and I. 11.What Would You Do If? Listen to the conversations. Choose the correct answer in sections 'a' and 'b'. Give your own answers in 'c'. Write in full sentences.
2 日 目	授 業 内 容	12. Random Questions.13.Marriage 14. Moving Forward 15. Making Questions Listen to the conversations. Choose the correct answer in sections 'a' and 'b'. Give your own answers in 'c'. Write in full sentences.
事 前 学 修		Prepare to discuss 8. Fears you have. 9. Beliefs that you have or think are strange. 10. Things about yourself 11. Conditional phrases. 12. Mixed questions 13. Thoughts on marriage and divorce 14. Future plans 15. You will be creating questions
事 後 学 修		Think about whether you agree or disagree with the opinions you here. Write down those reasons for agreeing and disagreeing. Use these points to develop conversation strategies for future classes such as Speech Communication.

講座内容（シラバス）

〔英語C〕

和泉 周子

◆**授業概要** 本授業は英語4技能の中でも特に「リーディング」の技能に焦点を当て、多様なジャンルのエッセイや文章に取り組むことで読解力の向上を目指します。エッセイや文章の内容を正確に把握できるようになるため、各英文の文法や文構造、語彙を丁寧に確認しながら読んでいきます。

◆**学習到達目標** 1. 各英文の文法や文構造、語彙を理解した上で和訳できるようになる。
2. エッセイや文章の内容を把握し、自身の言葉で要約や説明ができるようになる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

オンデマンド授業期間に配信される授業動画は必ずすべて視聴してください。

各ユニットを Grammar Points → 1 Reading → Comprehension C Choosing → Comprehension D Summary → 3 Text Completion の順番で学習します（それ以外の部分は扱わない予定です）。

授業動画は内容に沿って分割し、番号を付しますので、番号順に視聴してください。

・対面授業

対面授業はオンデマンド授業期間に配信される授業動画をすべて視聴しているという前提のもとに進めます。

オンデマンド授業と同様、各ユニットを Grammar Points → 1 Reading → Comprehension C Choosing → Comprehension D Summary → 3 Text Completion の順番で学習していきます（それ以外の部分は扱わない予定です）。

設問への解答に加え、1 Reading と Comprehension D、3 Text Completion は1文ずつ（文章が短い場合には2文）、Comprehension C は問題ごとに質問文と答え（の文）の両方ともを、音読し和訳していただきます。その際、用いられている文法や文構造、語彙について答えていただいたり、解答の根拠を説明していただいたりすることもありますので、事前学修（予習）を丁寧に行ってください。

授業計画通りに進めますが、進度はあくまでの目安であり、授業計画通りの進度で進まない場合があります。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** オンデマンド授業期間に配信される授業動画はすべて視聴済みであるという前提のもと（「授業方法」の項目を参照）、以下の基準で評価を行います。

対面授業期間の最終日に実施する、オンデマンド授業と対面授業の両授業で扱った全内容を範囲とする試験（80%）、対面授業期間における授業への参加度（20%）

対面授業期間は毎回出席することを前提とします。また、対面授業期間における授業への参加度には教科書の予習状況が含まれます。

◆**教科書** 〔**汎用**〕『English Indicator 3 [Intermediate] 英語総合インディケーター〈中級〉』ジョシユア コーエン・三原 京・中村 善雄・木村 博是 南雲堂 2020年
教科書は初回授業日までに入手してください。

◆**参考書** なし

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	1 ガイダンス：授業の内容や進め方、成績評価基準等の説明 2 Unit 3 Travel：Grammar Points・1 Reading・Comprehension C Choosing・Comprehension D Summary・3 Text Completion 3 Unit 10 Business Travel：Grammar Points・1 Reading・Comprehension C Choosing・Comprehension D Summary・3 Text Completion
事前学修	1～3の番号は上記の「授業内容」の1～3の番号と対応しています。 1 シラバスを読む。 2 ① Grammar Pointsを読む。② 1 Readingの英文を読む。③ Comprehension C Choosingの問題を解く。 ④ Comprehension D Summaryの問題を解く。⑤ 3 Text Completionの問題を解く。 3 ① Grammar Pointsを読む。② 1 Readingの英文を読む。③ Comprehension C Choosingの問題を解く。 ④ Comprehension D Summaryの問題を解く。⑤ 3 Text Completionの問題を解く。
事後学修	Unit 3と10、どちらも事後学修の方法は同じです。 ・ Grammar Pointsは学習した内容をノート等にまとめ、復習する。 ・ 1 Readingは各英文の文法や文構造、語彙を確認しながら全体の内容を理解する。 ・ Comprehension C Choosingは間違えた問題を中心にして1 Readingの該当箇所と照らし合わせながら復習する。 ・ Comprehension D Summaryは間違えた問題を中心にして適宜1 Readingの該当箇所と照らし合わせながら復習し、その後、各英文で用いられている文法や文構造、語彙を確認する。 ・ 3 Text Completionは各英文の文法や文構造、語彙を確認しながら全体の内容を理解し、間違えた問題を中心にして復習する。

・対面授業

1日目	授業内容	Unit 8 → Unit 12 → Unit 11の順番で学習します。 ・ Unit 8 Medical Tourism：Grammar Points・1 Reading・Comprehension C Choosing・Comprehension D Summary・3 Text Completion ・ Unit 12 Coffee Shop：Grammar Points・1 Reading・Comprehension C Choosing・Comprehension D Summary・3 Text Completion ・ Unit 11 E-commerce：Grammar Points・1 Reading・Comprehension C Choosing・Comprehension D Summary・3 Text Completion
2日目	授業内容	Unit 4 → Unit 1 → Unit 2の順番で学習した後、試験を行います。 ・ Unit 4 Video Games：Grammar Points・1 Reading・Comprehension C Choosing・Comprehension D Summary・3 Text Completion ・ Unit 1 College Sports：Grammar Points・1 Reading・Comprehension C Choosing・Comprehension D Summary・3 Text Completion ・ Unit 2 Hip Hop Music：Grammar Points・1 Reading・Comprehension C Choosing・Comprehension D Summary・3 Text Completion ・ 試験

事前学修	<p>各ユニット、事前学修の方法は同じです。 ① Grammar Points を読む。 ② 1 Reading の英文を読む。 ③ Comprehension C Choosing の問題を解く。 ④ Comprehension D Summary の問題を解く。 ⑤ 3 Text Completion の問題を解く。 ※②～⑤はすべての英文を音読し、和訳できるようにしてください。 また、上記に加えて試験の準備をしてください。</p>
事後学修	<p>各ユニット、事後学修の方法は同じです。 ・ Grammar Points は学習した内容をノート等にまとめ、復習する。 ・ 1 Reading は各英文の文法や文構造、語彙を確認しながら、全体の内容を理解する。 ・ Comprehension C Choosing は間違えた問題を中心にして 1 Reading の該当箇所と照らし合わせながら復習する。 ・ Comprehension D Summary は間違えた問題を中心にして適宜 1 Reading の該当箇所と照らし合わせながら復習し、その後、各英文で用いられている文法や文構造、語彙を確認する。 ・ 3 Text Completion は各英文の文法や文構造、語彙を確認しながら全体の内容を理解し、間違えた問題を中心にして復習する。</p>

講座内容（シラバス）

〔中国語Ⅰ・Ⅱ〕

山本 優子

◆**授業概要** 中国語をゼロから学ぶ入門の授業です。教科書に沿って、中国語の発音や基本的な文法を習得し、中国語の簡単な会話を学んでいきます。合わせて中国の文化に関する基礎知識も学習します。

◆**学修到達目標** 中国語のピンイン（中国語の発音を表す記号）の読み方、書き方が理解できる。簡体字と繁体字の違いについて知り、説明することができる。中国語の文法、常用語彙を学び、簡単な中国語の会話ができるようになることを目標とする。

◆**授業方法**

・オンデマンド

オンデマンドの授業動画は各回2～3分割されている。教科書に沿って、ピンインの読み書きや声調について学ぶ。動画を見ながら発音の練習をし、中国語の発音を修得する。視聴後は、毎回リアクションペーパー、または課題の提出を求める。リアクションペーパー、課題には、氏名、学生証番号を記して Google Classroom 上で提出する。課題は随時採点して返却する。

・対面授業

教科書に沿って、基礎的な単語や文法を学ぶ。「聞く」、「話す」能力を高めるため、受講生が授業中に発言する機会を設ける。授業中に小テストまたは中国語の発表を行い、授業内容の定着度を確認する。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 発表 40%、小テスト 20%、授業への参画度（課題の提出状況、積極的な発言など）20%

◆**教科書** 丸沼『中国語キャンパス』会話編 関中研 改訂版 朝日出版社 2018年

◆**参考書** その他「中日・日中辞典」（紙の辞書・電子辞書・スマートフォンのアプリなど形態は問わないが、辞書の携帯が望ましい）

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	1回 ガイダンス 発音編1 単母音と声調 2回 発音編2 複母音 3回 発音編3 子音 4回 発音編4 鼻母音と音節 5回 発音編5 発音のまとめ 1回の動画を2つから3つに分けて配信する。動画には説明や番号をつけるので、順番に視聴すること。受講生には授業時間中にドリルと練習問題を完成してもらう。
事前学修	教科書の予習をする。付属の CD を聞いて発音の練習をする。
事後学修	授業で学んだことを丁寧に復習する。CD を聞いて発音の練習をする。

・対面授業

1日目	授業内容	第1課 あいさつ（一） 第2課 あいさつ（二） 第3課 姓名を聞く 第4課 お詫びをする 第5課 紹介と自己紹介 新出単語、文法の解説を行った後、本文の音読と解説を行う。受講生に二人一組で会話の練習をしてもらう。全体で発音練習をし、練習問題を解いてもらう。
2日目	授業内容	第6課 家庭について 第7課 家はどこですか 第8課 おいつくですか 第9課 今何時ですか 第10課 何時に起きますか 新出単語、文法の解説を行った後、本文の音読と解説を行う。受講生に二人一組で会話の練習をしてもらう。全体で発音練習をし、練習問題を解いてもらう。
事前学修		1日目：第1課から第10課の内容に目を通し、CDを聞く。教科書の会話文を音読する。 2日目：第5課から第10課の内容に目を通し、CDを聞く。教科書の会話文を音読する。
事後学修		1日目：授業の内容を簡単に復習する。 2日目：1日目、2日目の授業の内容を復習する。CDを聞いて会話の練習をする。

講座内容（シラバス）

〔商法Ⅲ〕

鬼頭 俊泰

- ◆**授業概要** 本講義では、商法のうち、商法総則・商行為法に焦点を当てて説明をする。商法は民法の特別法として、広く企業が行う様々な経済活動を対象に規律をしており、同法の規律内容を理解することが本講義の目的となる。商法総則・商行為法の内容は、商法の一般規定と個別の商行為からなるため、抽象的な説明に陥りやすい領域ではあるが、事例を取り上げるなどして具体的なイメージを持ってもらえるように工夫する。
- ◆**学修到達目標** 学生は、講義で取り上げた各種法律に関する基礎知識を習得することができる。それにより、法律論が展開されている各種紛争事案を読み解くことができ、提示された問題に対して妥当な結論を導き出すことのできる法的感覚・論理的思考能力を涵養することができる。また、商法総則・商行為法が規律対象としている企業の経済活動の内容を理解するとともに、かかる規律それ自体の妥当性を説明することができる。
- ◆**授業方法**
 - ・**オンデマンド**

本講義のオンデマンド授業は、授業動画部分と学習活動部分からなる。授業動画部分では、商法総則・商行為法の基本的部分について、教科書の内容に基づいた説明を事例などを織り交ぜながら行う。授業動画部分の視聴を完了したことを前提とした学習活動の内容を設定する。具体的には、各学生によるノート作成・整理、グーグルフォームを通じた小テストの提出、リアクションペーパーの作成などである。
 - ・**対面授業**

本講義の対面授業は、オンデマンド授業の内容を理解していることを前提に通常講義の形式（板書を行いながら解説）で展開される。各回の講義内容は授業計画を参照されたいが、オンデマンド授業の内容が商法総則・商行為法の基本的部分の解説が主であったのに対して、対面授業では、ある程度発展・応用的内容にも踏み込んで説明をしたい。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**成績評価基準** オンデマンド授業受講後の小テスト（20%）、対面授業受講後のレポート課題（80%）
- ◆**教科書** 〔丸沼〕『商事法教材—商法総則・商行為法・支払決済法』松嶋隆弘＝大久保拓也編、中央経済社、2021年
- ◆**参考書**
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画〔各90分〕**
 - ・**オンデマンド**

授業内容	商法総則・商行為法のうち、①法体系における商法の位置づけおよび意義、②商法が規律対象とする商人の意義、③商人であるか否かが問題となった裁判例、④商人資格の得喪時期と⑤それが問題となった裁判例、について授業動画で解説をする。 各動画視聴後に学習活動時間を設ける（1授業90分×5回分）。
事前学修	教科書 第1部商法総則・商行為法 第1編 総論 部分を読んでおく。（合計600分）
事後学修	授業動画を視聴したうえで内容をまとめたノートを確認するとともに、教科書該当箇所を読み返す。（合計600分）

・対面授業

1日目	授業内容	商法総則・商行為法のうち、⑥商人の名称である商号の意義と規制内容、⑦商業登記制度（・商業帳簿制度）の意義、⑧商号を他者に貸し出す名板貸しの意義と機能、⑨営業主である商人と商業使用人との関係、⑩営業主である商人と代理商との関係、についてそれぞれ講義形式で解説する。
2日目	授業内容	商法総則・商行為法のうち、⑪仲立営業の意義と機能、⑫問屋営業の意義と機能、⑬商事売買と消費者売買、⑭運送営業の意義と機能、⑮場屋・倉庫営業の意義と機能、についてそれぞれ講義形式で解説する。
	事前学修	教科書 第1部商法総則・商行為法 第2編 商法総則・第3編 商事売買・第4編 運送営業・第5編 倉庫営業・場屋営業、部分を読んでおく。（合計1200分）
	事後学修	講義を受講したうえで内容をまとめたノートを確認するとともに、教科書該当箇所を読み返す。（合計1200分）

講座内容（シラバス）

〔刑事訴訟法〕

澤田 康広

◆**授業概要** 刑事訴訟法の基本的理論を条文と判例に基づき、できるだけ具体的事例を紹介しながら説明して刑事訴訟法の目的や役割を学修する。刑事訴訟法のうち捜査手続を中心に解説するが、近時の刑事訴訟法の改正についても詳細に解説し、その意義や目的を学修する。

元検事（23年間の実務経験）の教員が、実際に担当した事件等の具体例を用いて講義に反映させている。

◆**学修到達目標** 人権保障と実体的真実発見という刑事訴訟の目的やその担い手について理解するとともに、刑事訴訟手続のうち、捜査手続を中心に公訴提起に至るまでの流れを理解し、説明することができるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画は、項目ごとに分割しており、指針となる簡潔なレジュメを呈示するので、それを参考にしながら動画の視聴をすること。手元には六法を置き、常に条文を確認するなどしながら刑事手続の流れにしたがって理解するように努めること。動画を視聴して理解できなかったところは、クラスルームを通じて質問をするか、対面授業の際に時間を設けるので、遠慮なく質問し、疑問を解消してほしい。

・対面授業

オンデマンド授業動画を視聴し、刑事手続の流れの基本をおさえていることを前提に、公訴提起に至るまでの流れを解説する。その都度刑事訴訟法やその関連法規の条文を確認し、関連する判例等を紹介しながら解説する。質問については、その都度、時間をとって解説する。

◆**履修条件** 特にはないが、刑法を履修済みの方が望ましい（その方がより理解しやすくなる）。

◆**成績評価基準** オンデマンド終了時の小テスト（20点）、対面授業の最後に小テスト（80点）。
なお、オンデマンド授業及び対面授業のいずれもすべて出席している人だけが評価の対象となる。

◆**教科書** 丸沼『刑事訴訟法（Next教科書シリーズ）第2版』関正晴編 弘文堂 2019年
通材『刑事訴訟法 K31700』通信教育教材（教材コード000409）

◆**参考書** 丸沼『刑事法入門』太田茂・上野幸彦 成文堂 2018年
丸沼『刑事訴訟法判例百選（第10版）』井上正仁編 有斐閣 2017年

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	ガイダンス（刑事訴訟法を学習する際の注意点などの説明） 刑事訴訟法の意義（刑事訴訟法制度の意義、刑事訴訟法の目的と構造、刑法や憲法との関係） 刑事訴訟の担い手（訴訟主体…裁判所、検察官、弁護士、被疑者・被告人等） 裁判員制度の概要 捜査の意義と端緒（告訴、告発、請求、自首、職務質問等）
事前学修	教科書第1章を読み、合わせて関連条文を確認することにより、全体的な内容を確認する。
事後学修	講義ノートを参照しながら、教科書の該当箇所を確認し、各手続の根拠条文を確認する。

・対面授業

1日目	授業内容	任意捜査と強制捜査（強制処分法定主義・令状主義） 逮捕・勾留とその具体的な問題点、搜索・差押・検証とその具体的な問題点 特殊な捜査の方法（科学的捜査—写真撮影、通信傍受、DNA型鑑定、各種鑑定等） 捜査における被疑者の地位（捜査の理論的構造） 被疑者の権利（黙秘権、弁護人との接見交通権）
2日目	授業内容	違法・不当な捜査からの救済方法 捜査の終結（検察官の終局処分） 公訴提起の基本原則（検察官起訴独占主義・起訴便宜主義） 検察官の訴追裁量に対する抑制方法（訴追裁量の問題点、被害者等通知制度、検察審査会、付審判制度等） 公訴提起の手続（起訴状一本主義）
事前学修		教科書第2章を読み、合わせて関連条文を確認することにより、全体的な内容を確認する。
事後学修		講義ノートを参照しながら、教科書の該当箇所を確認し、各手続の根拠条文を確認する。

◆授業概要

前半で政治概念の歴史的変遷を取り上げ、後半で現代の政治過程のアクター分析および時間の許す限りアメリカの政治研究の歴史的発展過程を取り上げる

◆学修到達目標

政治学の基本的アウトラインを把握するとともに、政治研究の柔軟性、ダイナミックな性格を理解することを目標とする

◆授業方法

・オンデマンド

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

基本的には試験および場合によっては出席

◆教科書

『政治学 第2版』 吉野篤編 弘文堂 2018年

◆参考書

授業の際に指示する

◆授業相談先（連絡先）

Classroom上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	古典古代の政治概念 プラトン アリストテレスの政治概念と統治構造論 ヨーロッパ中世の政治像 マキャベリの政治概念 社会契約説の政治理論
事 前 学 修	テキストの該当箇所をチェックすること 中世に関して予備知識を蓄えること ルネサンスについて概要を事前に確認すること
事 後 学 修	ノートを整理すること

・ 対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	市民革命の政治過程 保守主義の出現 19世紀の政治理論 社会主義の考えかた 20世紀の政治概念 政治過程論の概要
2 日 目	授 業 内 容	政党の位置づけ 政党システムの類型学 アメリカの政治研究の特質と展開 新制度論の考え方 総論と方法論 新制度論の類型
事 前 学 修		市民革命の歴史的な位置づけについて知識を得ておくこと 保守と革新について知識を確認しておくこと テキストの該当箇所を確認し熟読すること 大衆社会の状況について知識を確認しておくこと 20世紀という時代の政治的側面について知識を得ておくこと
事 後 学 修		内容を再確認しノートを改めて整理すること 日本の政党システムの現状について改めて整理・考察すること 論点を改めて整理すること

講座内容（シラバス）

〔国文学基礎講義〕

高橋 優美穂

◆**授業概要** 現在の高等学校の国語では和歌を取り扱うことが少なくなっているが、日本古典文学を理解する上では、作品中の和歌を理解できなければならない。そこでこの講義では、日本古典文学（とくに和歌文学）の研究の基本事項について説明をし、実際の作品を通じて作品読解の方法を学ぶ。

◆**学修到達目標** ・日本古典文学、とりわけ和歌文学の作品読解に必要な基礎知識や方法を身につけ、和歌の読解ができるようになる。
・中世（室町期）までの和歌文学史を説明できるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画はないように沿って分割し、番号を付して配信する。まずは、順番にその動画を視聴すること。一度では理解できなかった部分については、動画を繰り返し視聴すること。それでも理解できない部分があった場合、メールや対面授業の際に質問を受け付ける。

・対面授業

講義形式で行う。オンデマンド授業の動画を踏まえた講義となるため、動画を視聴した上で授業に臨むこと。講義は教科書を通読するかたちで進める。適宜、配布資料やスライドを用いて補足説明を行う。

◆**履修条件** ・文学専攻（国文学）のみ1学年以上申込可。

・上記以外は2学年以上申込可。

◆**成績評価基準** リアクションシート（30%）・試験（70%）

◆**教科書** 丸沼『和歌史を学ぶ人のために』鈴木健一・鈴木宏子 編 世界思想社 2011年
資料配布 (Classroom) 上記教科書の補足資料を Classroom で配布する。

◆**参考書** 丸沼『和歌とは何か』渡部泰明 岩波書店 2009年
丸沼『和歌史 なぜ千年を越えて続いたか』渡部泰明 KADOKAWA 2020年
丸沼『連歌入門—ことばと心をつむぐ文芸』廣木一人 三弥井書店 2010年
丸沼『日本文学史 古代・中世編』小峰和明 編 ミネルヴァ書房 2013年

◆**授業相談（連絡先）**：メールアドレス takahashi.yumihoh60@nihon-u.ac.jp

※「60」は数字。

※件名に「通信夏期スクーリング」と記載してください。

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	動画1 ガイダンス：授業の進め方などの説明を行う。 動画2 和歌文学研究の基本事項①：参考図書を紹介・先行研究の調べ方の説明を行う。 動画3 和歌文学研究の基本事項②：和歌文学研究において必須となる各種データベースの紹介を行う。 動画4 和歌の成立と歴史的展開：勅撰集の序文を通じた和歌史を学ぶ 動画5 『万葉集』について：教科書 p.5～41 に沿って『万葉集』の歌人や歌を紹介しながら、当該歌集の特色を学ぶ。 動画は大きく5つに分かれている。ただし動画を見やすくするため、ひとつの動画を20分から30分程度に編集しているので、動画の本数全体は5つではない。動画それぞれには説明や番号をつけて掲示するので、順番に視聴すること。
事前学修	・ガイダンス動画を視聴する前に、シラバスを一読する。 ・最寄りの図書館の場所と蔵書検索システムへのアクセス方法を確認する。 ・自分が読んだことのある和歌文学作品をリストアップする。 ・教科書 p.5～41 を通読する。
事後学修	・最寄りの図書館の蔵書検索システムで、参考図書の所蔵状況を確認し、実際に手にとって内容を確認する。 ・興味のある事項に関する先行研究を調べ、文献を入手し、読んでみる。 ・教科書 p.5～41 を読み直し、内容や疑問点をノートにまとめる。

・対面授業

1日目	授業内容	平安時代から鎌倉時代の和歌文学について：『古今集』の成立前後から『新古今集』の成立まで ・教科書 p.42～125 までについて、90分で1章を読み進める予定。授業進度や受講生の理解度に合わせて予定を変更することもある。
2日目	授業内容	鎌倉時代から戦国時代の和歌文学と連歌について：『新古今集』以後の和歌史と連歌の展開 ・教科書 p.125～162 までについて、90分で1章を読み進める予定。授業進度や受講生の理解度に合わせて予定を変更することもある。 ・連歌については配布資料をもとに、基本的な事項の解説と作品の読解を行う。
	事前学修	・対面授業1日目までに、教科書42～162ページまでを一読し、疑問点をまとめておくこと。
	事後学修	・対面1日目終了後は、その日の講義内容を振り返る程度にとどめる。 ・対面2日目終了後、講義内容を振り返り、内容をまとめる。疑問点については、参考図書などを用いて自分なりに調査する。また、興味のある作品を読んだり、それに関する研究書を読み、理解を深める。

講座内容（シラバス）

〔国文学講義Ⅰ（上代）〕

鈴木 雅裕

◆**授業概要** 本授業では、国文学の中から上代文学作品を散文を取り上げる。具体的には、『古事記』・『日本書紀』・『風土記』であるが、それらは、8世紀初頭に成立したものである。そこには、ほとんど同じ話と言えるものもあるが、一方で、作品独自の話も存在している。それらの作品からいくつかの神話を取り上げ、それぞれの特徴を考えてみることで、上代文学への理解を深めていきたい。

◆**学修到達目標** ・上代文学における神話の概要を知り、説明することができる。
・上代文学作品の成立した時代背景を理解し、作品への理解を深めることができる。
・古典文学についての基礎的な知識を身に付け、以降の作品読解に活かすことができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

40～50分程度の動画を各授業回ごとに配信する。受講者はそれを視聴した上で、各自ポイントをまとめておく。また、授業回によっては課題を設定する。

・対面授業

講義形式で行う。オンデマンド授業での内容を前提として進めていくため、各自で学修内容をまとめておくこと。質問事項などについては、リアクションペーパーに記入の上、フィードバックを行っていく。

◆**履修条件** 令和2年度夏期スクーリング『国文学講義Ⅰ』（鈴木雅裕）とは積み重ね不可。

◆**成績評価基準** 動画の視聴状況・対面授業でのリアクションペーパー等を授業参画度とみなす（20%）。授業内課題を複数回設け、その合計が30%、学期末の課題が50%の配分とする。

◆**教科書** 資料配布（Classroom） 適宜、授業に関わる資料等を配信する。

◆**参考書** 資料配布（Classroom） 適宜、関連資料を紹介する。

◆**授業相談（連絡先）**：メールにて受け付ける。suzuki.masahiro53@nihon-u.ac.jp

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	上代文学が成った8世紀にはどのような制度が出来上がっていったかを解説する。各授業回で、天智天皇～元正天皇までの時代を区分けしながら、主要な歴史的事項を確認しつつ、律令国家が成立するまでの史的展開を概観していくことにする。併せて、本授業で主に扱う『古事記』について、その基本的な内容を抑えておくことにする。
事前学修	各授業回で扱う時代範囲の歴史事項について、文献・インターネットを駆使して調べてみる。上代文学にはどのようなものがあるのかを調べてみる。併せて、その内容についても確認する。
事後学修	授業で扱った内容について、自身のノートにまとめ直しておく。また、授業回ごとに調べておくべき語句・事項などを提示するので、次回授業までに調べておく。

・対面授業

1日目	授業内容	オンデマンド授業で扱った内容を踏まえ、具体的な文献の読解を行っていく。まずは、授業全体で扱う範囲の確認をした後、冒頭の神話から順次、読み進めていくことにする。また、問題となる箇所について、リアクションペーパーなどを用いて、受講者へ問いを投げかける。
2日目	授業内容	1日目に引き続き、具体的な神話の記述を追っていく。また、『古事記』以外のテキストも参照しつつ、上代文学全般の神話記事に対する理解を深めていくことにする。最終回では、講義全体の総括およびテストを実施する。
	事前学修	オンライン授業での内容を復習し、テキスト読解の準備をしておく。あらかじめ、扱う範囲を示しておくので、文献・インターネットなどを通じて、自分なりの理解を深めておく。
	事後学修	授業で扱った範囲の内容を復習しておく。また、関連する資料・文献を適宜紹介するので、自身の興味関心に応じて、読解を試みる。授業全体の総括として、これまでの内容を見直すとともに、今後の学修に活かせるようにする。

講座内容（シラバス）

〔英語史〕

齊藤 雄介

- ◆**授業概要** 最初期（5C）の英語である古英語から現在使用されている現代英語までには様々な変化があり、その結果、古英語と現代英語では全く別の言語となっています。そこで本科目ではその間に起こった「文法化」という現象に主眼を置いて古英語から現代英語に至る道筋を学びます。
- ◆**学修到達目標** 本科目を通して学生は文法化という面から英語の変化に関する基本的な知識を学び、英語の通時的変化の経緯を説明できるようになる。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
授業動画にはそれぞれテキストで扱われている順番に沿って番号をつけていますので、順番通りに視聴してください。各回の内容を説明した後で課題もしくはコメントを課しますので、動画の最後をよく確認してください。質問は随時受け付けます。
 - ・対面授業
講義形式で行います。事前にオンデマンド授業の内容を復習しておいてください。
- ◆**履修条件** 令和2年度夏季スクーリング『英語史』（齊藤雄介）とは積み重ね不可。
- ◆**成績評価基準** オンデマンドの課題：50%、対面授業の試験：50% *オンデマンド、対面授業ともに毎回参加していることを前提に評価します。
- ◆**教科書** 『文法化する英語』 保坂道雄 開拓社 2014
- ◆**参考書** 英和辞典を持参してください。
対面授業ではプリントを配布します。
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	文法化と英語 冠詞の文法化 存在構文の there の文法化 所有格の 's の文法化 接続詞の文法化
事前学修	各回で扱う内容について、現代英語ではどのような表現であるのかを確認しておくこと。例えば、現代英語の冠詞にはどのようなものがあり、それらにはどのような使い分けがあるのかなど。
事後学修	各内容の説明を聞いた上でそれをノートにまとめ、自分なりに理解すること。

・対面授業

1日目	授業内容	1日目は関係代名詞、再帰代名詞、助動詞 DO、法助動詞を扱い、それらの文法化について講義形式で説明する。
2日目	授業内容	2日目は進行形、完了形、受動態の文法化を扱い、それらの説明を講義形式で行う。その後に最終試験を行う。
	事前学修	オンデマンド授業の内容を確認し、文法化がどのような現象であるのかを自分なりに理解しておくこと。
	事後学修	各授業終了後にノートの見直しをし、内容の定着を図ること。

◆授業概要

Welcome to Speech Communication II. This class will focus on the basics of public speaking, or speaking in front of a group. In business, communication skills are essential to inspire your team and deliver clear messages. Business leaders are expected to be able to present their message with clarity and confidence to investors, clients, partners, and staff. We will learn how to build confidence speaking in front of small and large groups and how to put together and deliver effective and powerful presentations.

◆学修到達目標

The Speech Communication course aims to strengthen all aspects of the student's English-speaking ability. The students will be able to prepare and give a speech or presentation with the proper structure. Students will also build confidence communicating in English in daily and professional interactions in front small or large groups of people.

◆授業方法**・オンデマンド**

This class is 7 sessions on-demand and 2 day-long Zoom sessions. During the on-demand classes students will learn about different aspects of good presentations through an instructional video and other sources. Students will then complete daily written English speech activities and practice speaking skills. Then we will practice those activities in the Zoom main and breakout rooms. Motivation is key. Practice at home and you will improve.

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

Grades (%) = 100-90 S, 89-80 A, 79-70 B, 69-60

◆教科書

All materials provided by the instructor.

◆参考書

Dictionary or smartphone with a good dictionary application (Google translate is recommended). Notebook for new vocabulary and lecture notes.

◆授業相談先（連絡先）

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>Course explanation. Value of good presentation skills. Self-introduction.</p> <p>How to take good notes. The Physical Message in a Speech part 1. Eye contact, posture & gestures.</p> <p>Building confidence and overcoming anxiety. The Physical Message in a Speech part 2 - Voice Inflection.</p> <p>The Story Message in a Speech/Presentation - The Introduction, Body and Conclusion.</p> <p>The Visual Message in a Speech//Presentation - Charts, Graphs & PowerPoint.</p> <p>Preparing your Speech/Presentation - Where to begin, Delivering your Speech.</p> <p>Speech//Presentation Helpful English, Expressing Opinions, Probability.</p>
事 前 学 修	<p>Review the "How to study new vocabulary" PDF</p> <p>Review previous course material.</p>
事 後 学 修	<p>Write and practice a self-introduction. Take a video or voice memo of yourself.</p> <p>Watch the video. Finish any of the days' tasks.</p>

・ 対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	Zoom day 1. Review, discuss and practice the daily on-demand lessons
2 日 目	授 業 内 容	Zoom Day 2. Review, discuss and practice the daily on-demand lessons
事 前 学 修		Review previos course material.
事 後 学 修		Review for Zoom Day 2 Finish any of the unfinished tasks. Thank you.

講座内容（シラバス）

〔英語学演習A〕

小澤 賢司

◆**授業概要** 本授業では、「卒業論文」作成の一助となるよう、以下の項目を扱います。

- ① 論文とは何かを知る。
- ② 「法助動詞 CAN」の各種用法を知る（文献精読）。
- ③ 疑問点等を整理する。
- ④ 法助動詞 CAN にみられる多彩な特徴を体系的に理解する。

◆**学修到達目標** 本授業では、次の能力育成を目指します。

- (a) 論文の構成を理解し、説明することができる。
- (b) 文献を正確に読み解き、まとめることができる。
- (c) 疑問を捻出することができる。
- (d) 体裁の整った読みやすいレポートを作成することができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

Google Classroom 上に公開される授業動画を視聴し、課題に取り組み、期限までに課題を提出してください。授業内容で不明な点がある場合、Google Classroom 上に質問を受け付ける場所を用意しておきますので、そちらに質問を書き込んでください。

・対面授業

配布プリントを輪読形式で読み進めていきます。適宜、受講者を指名することがあります。配布プリントにある英文は対面授業までに精読し、自然な日本語訳を用意しておいてください。音読はとても重要です。既知の単語でも発音とアクセント（特にアクセント）はしっかり調べ、発音できるようにしておいてください。受講者の様子（理解度）を見ながら授業を進めていきますので、「授業計画」はあくまで「目安」とお考えください。

◆**履修条件**

◆**成績評価基準** 授業参画度（10%）、オンデマンド課題（30%）、試験（60%）

※オンデマンド課題を提出していることを前提に総合的に評価する。

◆**教科書** 資料配布（Classroom）適宜、Google Classroom で資料を配布します。

◆**参考書** その他 大学生・社会人向けの辞書を用意してください。2003 年以降に発行された辞書が望ましいです。

◆**授業相談（連絡先）**：オンデマンド授業期間中は Google Classroom 上で、対面授業期間中は Google フォームにて質問を受け付けます。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	論文とは何か 法助動詞 CAN の用法確認 本授業の概要と学修到達目標の確認 法助動詞とは何か 法助動詞 CAN の曖昧性
事前学修	①本授業のシラバスをよく確認しておいてください。 ②授業日初日の数日前までに Google Classroom の登録を済ませておいてください（Google Classroom への入り方、使い方がわからなければ教務課へ連絡）。 ③ Classroom の構成を確認し、配布資料がある場合、動画視聴前に入手（ダウンロード）しておいてください。 ④法助動詞 CAN について、所有している辞書・文法書で意味と用法について調べておいてください。
事後学修	①対面授業日までに各回の授業動画を繰り返し視聴しておいてください。 ②論文とは何かをよく理解しておいてください。 ③不明な点や動画に不備があると思われる場合は、Classroom 上で質問してください。 ④授業動画視聴後、期日までに課題を提出してください。

・対面授業

1日目	授業内容	①オンデマンド授業内容の振り返り ②「能力・可能」を表す法助動詞 CAN についての文献を読み、考える ③「許可」を表す法助動詞 CAN についての文献を読み、考える ※受講者の数にもよりますが、可能であれば、適宜グループ討議の時間を設けます。
2日目	授業内容	①「可能性」を表す法助動詞 CAN についての文献を読み、考える ②試験 ※受講者の数にもよりますが、可能であれば、適宜グループ討議の時間を設けます。
事前学修		①オンデマンド授業の内容を十分理解したうえで対面授業に臨んでください。 ②（可能であれば）グループ討議の時間を設けますので、各自、必ず予習をしたうえで対面授業に参加してください。
事後学修		①本授業で学んだことを今後の学修（例えば卒業論文執筆）に活かしてください。 ②英語に対する疑問を捻出し、英語学的な視点からその疑問について考えてみましょう。自分にとってそれが大変興味深いと感じた場合、文献等を調べて検討を加えてみましょう。

講座内容（シラバス）

〔英米文学演習B〕

新井 英夫

◆**授業概要** ノーベル文学賞受賞作家で日系英国人のカズオ・イシグロ（Kazuo Ishiguro 1954-）の『浮世の画家』（An Artist of the Floating World 1986）を読みます。作品を多面的な視点から読み、作品がどのように時代、政治、社会制度等と結びついているのかを考えます。また、読み方の多重性を意識することを通して、小説そのものの読み方の新たな方向性について考察するきっかけとします。

◆**学修到達目標** 現代英国において活躍している日系英国人作家カズオ・イシグロの『浮世の画家』を読み、次に掲げる各号の目標を達成しましょう。

- ①現代英国小説の読解に必要な英語力がどの程度ものであるかを知ることができるようになる。
- ②作品の構造、人物関係を明確に説明できるようになる。
- ③臨床社会学における「自己物語論」を作品解釈に応用できるようになる。
- ④作品のテーマについて説得力のある論を展開できるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

オンデマンド型授業では、単なる日本語訳及び感想の確認に終わることのないように、結論に至るプロセスを皆さんには大切にしてもらいたいと思っています。英語が苦手な方の受講も歓迎です。また「英文を読む」と「小説を理解する」ことの差異を学生たちに理解してもらおうべく、小説の読み方も丁寧に指導します。英文学科で学ぶ学生たちの「入門講座」となるように授業を展開できればと考えています。

・対面授業

基本的にはオンデマンド型授業と授業方法は同一であるが、グループディスカッションなどを取り入れ、他の受講生の考察を共有し、自分の論をさらに深めてもらう。

◆**履修条件** 令和2年度地方スクーリングにおいて、新井が担当する英米文学演習を受講した者は、授業内容が同一のため、履修を認めないこととする。なお、過去のスクーリングにおいて、新井が担当する授業で『浮世の画家』を読んだことがある学生は、授業内容が同一であるため、他の授業を受講することを勧める。

◆**成績評価基準** 課題（30%）＋最終試験（60%）＋授業参画度（10%）

◆**教科書** 資料配布（Classroom）

◆参考書

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆授業計画〔各 90 分〕

・オンデマンド

授業内容	①【講義】カズオ・イシグロの人物像に迫る。 ②【講義】登場人物の確認 ③【演習&解説】「1948年10月」の範囲を資料に基づきすすめる。 ④【演習&解説】「1949年4月」の範囲を資料に基づきすすめる。 ⑤課題にチャレンジ
事前学修	カズオ・イシグロの『浮世の画家』を通読する。（原書 or 翻訳）
事後学修	講師が解説した内容について復習するとともに、オンデマンド授業内で指摘された課題に取り組む。また、授業で精読した英文については、語彙、文法等について理解を深め、自分で和訳することができるようにする。

・対面授業

1日目	授業内容	①【演習&解説】「1949年11月」の範囲を資料に基づきすすめる。 ②【演習&解説】「1950年6月」の範囲を資料に基づきすすめる。
2日目	授業内容	①【演習】小論文を作成し、発表する。 ②総復習 ③最終試験
事前学修		Google Classroom で配布する資料にある課題及び英文の和訳を行う。
事後学修		講師が解説した内容について復習するとともに、授業内で指摘された課題に取り組む。また、授業で精読した英文については、語彙、文法等について理解を深め、自分で和訳することができるようにする。

講座内容（シラバス）

〔哲学演習A〕

中澤 瞳

- ◆**授業概要** 本演習は、論文を執筆するために必要と考えられる基本的知識を、実践を通して、修得する。
*なお、本演習はメディア授業『哲学演習 MA』と内容が重複している箇所がある。これは、どちらの授業も卒業論文の制作を行う際に、迷ったり、間違ったりする点について重点的に説明し、卒論の制作を円滑に進めることができるようにしているためである。重複している箇所は繰り返し学んでも問題ない内容である。以上の点は、受講を決める際に検討していただきたい。
- ◆**学修到達目標** この演習を通して、受講生は論文制作のための技術を学ぶことができる。またこの演習を通して、卒業論文の制作がよりよく進められる。すでに卒業論文に着手している受講生の場合は、演習を通して、現在製作中の卒業論文を練り上げることができる。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
授業動画を視聴し、課題のある回では課題を提出する。
 - ・対面授業
受講生が確定したら、予め発表の担当を決める。それに基づいて、対面授業開始時までには準備をしておく。対面授業時には、各自、担当ごとに発表を行い、議論を行う予定である。
- ◆**履修条件** 令和2年度昼間スクーリング（後期）『哲学演習Ⅰ,Ⅱ』、および令和3年度昼間スクーリング（後期）『哲学演習Ⅰ,Ⅱ』とは積み重ね不可。
- ◆**成績評価基準** 課題提出（50%）、授業内レポート提出（50%）により総合的に評価する。なお、毎回出席することを前提として評価する。
- ◆**教科書**
- ◆**参考書**
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画〔各90分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	<p>動画1の内容：授業のガイダンス、卒論について、論文について。（なおガイダンスでは、成績評価、出席票の提出期限、使用文献、発表資料作成方法、そして発表方法などの説明も行うので必ず確認すること）</p> <p>動画2の内容：注について、参考文献表について</p> <p>動画3の内容：要約について</p> <p>動画4の内容：批判的読解について</p> <p>動画5の内容：文献の要約・批評</p> <p>*動画は大きく5つに分かれている。ただし動画を見やすくするため、ひとつの動画を20分から30分程度に編集しているので、動画の本数全体は5つではない。動画それぞれには説明や番号をつけて掲示するので、順番に視聴すること。</p>
事前学修	<p>*事前学修は、授業動画それぞれの内容に対応している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒論のためにどのような本を、どのように読んでいか振り返ってみる。 ・注、参考文献表とはどのようなものか調べる。 ・文章を短くすることと、要約との違いを考える。 ・批判的読解はどのようにしたらうまくできるか考える。 ・課題文献をパラグラフごとに読み、中心的主張を取り出し、まとめる。
事後学修	<p>*事後学修は、授業動画それぞれの内容に対応している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文について理解を深める。 ・注、参考文献表を作成できるようにして、卒論制作で使用する。 ・自分の卒論のために集めた先行研究（参考文献）から要約を作る練習をする。 ・自分が卒論で扱う文献を批判的に読解できるように読み込む。 ・課題文献を自分なりに読み込む。

・対面授業

1日目	授業内容	文献の要約・批評・発表・議論を行う
2日目	授業内容	文献の要約・批評・発表・議論を行う
事前学修		<ul style="list-style-type: none"> ・事前に課題文献をパラグラフごとに読み、中心的主張を取り出し、まとめる。 ・発表資料を作成する。
事後学修		課題文献を自分なりに読み込む。また、自分でも内容に関してさらに考えてみる。

講座内容（シラバス）

〔日本史概説／日本史概論〕

鍋本 由徳

◆**授業概要** 本科目では、①「日本史」とは何か、②原始・古代～現代までの歴史の変遷、③「歴史事実」の多様性への理解などを、世界のなかでの日本を意識しながら学び、「日本史」全体を考える技術と態度の修得をめざします。社会経済や文化を中心に据えながら、政治・外交の影響に関わる理解を深めます。また、史料専門調査員としての経験を活かし、各時代の史料を使った歴史復原や意義付けの方法について指導します。

◆**学修到達目標** 1. 日本史を知るため、全時代を通じた時代の流れを説明できるようにする。
2. 各時代の社会運動や文化形成の背景や意義、着眼点について説明できるようにする。
3. 各時代の歴史事実を裏づける歴史資料の読解や歴史学的考察の成果を理解できるようにする。
4. 将来卒業論文を書く、あるいは教壇に立つ者としての必要な知識と姿勢を身につける。

◆授業方法

・オンデマンド

教科書内容の一部をとりあげ、90分授業換算で5回分の動画を準備します。配付プリント・授業進行用スライドはすべて対面授業同様のもを使用します。授業動画は内容に沿って分割配信し、ノートテイクのため動画を一時停止しながら学修してください。質問は小テストフォームにて受け付けます。各回実施の小テストも対面同様の形式となります（回答期間は別途指示）。小テスト・自己評価講評は後日 Classroom にて公開します。

・対面授業

教科書内容の一部をとりあげ、スクリーン投影資料、音声・映像資料などを併用しながら、プリント内容を説明します。各回終了前に理解度チェック（小テスト）と理解度自己評価を実施します。情勢を鑑み、実地巡見は予定しておりません。配付資料・小テストなどはオンデマンド授業と同様のものを配布します。なお、授業計画は「予定」であり、変更する場合があります。

◆**履修条件** 令和2年度昼間スクーリング（後期）・令和2年度地方10月（大垣）「日本史概説」（鍋本由徳）とは積み重ね不可

◆**成績評価基準** 最終課題レポート（70%）、授業内小テスト（出欠確認含 30%）、授業参画・リアクションなど（10%）の総合評価
※15回全出席を前提とした評価です。

◆**教科書** 『概論 日本歴史 Q30200』 通信教育教材（教材コード 000382）
参照プリントを Classroom にて各回で配布

◆**参考書** 配布プリントで適宜紹介します

◆**授業相談（連絡先）**：原則として、オンデマンドは Classroom 上、対面時は授業休憩中に受け付けます。

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	日本史概説の概要／日本先史・古代史 ①日本史概説の参考文献と辞典 ②倭五王に至るまで ③冊封体制と列島 ～倭五王と飛鳥～ ④古代の歴史認識 ～記紀の成立～ ⑤荘園制度と武士団の形成 ～平氏政権～
事前学修	シラバスを熟読した上で、講義全体の流れを把握する。各回（①～⑤）について、教科書の当該時期の範囲を読んで時代概要を把握し、さらに①～⑤に関する各事前配布シートについて調べ、記入する。
事後学修	①については各回の学修意図を振り返り、今後の学修目標を定めていく。②～④については、ノートと教科書を見返し、概説書を使って自己理解が低い箇所を重点的に復習する（事後学修シートを利用し記入しておく）。

・対面授業

1日目	授業内容	日本中世史・近世史 ⑥元寇と得宗体制 ～徳政～ ⑦室町幕府と「日本国王」～政治と外交～ ⑧中世文化 ～鎌倉・室町～ ⑨戦国社会と近世社会 ～中世から近世へ～ ⑩三大改革と江戸文化 ～幕府政治と社会の変容～
2日目	授業内容	日本の近代史・現代史 ⑪明治時代の政治・社会運動 ～自由民権運動の展開～ ⑫米騒動と都市での憂い ～大正の世相～ ⑬太平洋戦争と国民生活 ～国民文化と大衆文化～ ⑭新たな日本へ ～東西冷戦と高度経済成長～ ⑮講義総括 日本史概説の振り返りと今後の課題
	事前学修	対面授業1日目までに、授業回（⑥～⑮）に関して、教科書の当該時期の範囲を読んで時代概要を把握する。さらに、事前に配布した1日目・2日目の授業回⑥～⑮に関する事前配布シートの課題について調べ、その結果を記入しておく。
	事後学修	1日目の授業終了後は、⑥～⑩の事後学修シートを記入し、自身の学修理解度が低い点を把握する。2日目の授業終了後も1日目同様、⑪～⑮の事後学修シートを記入して学修理解度の低い点を把握する。さらに、⑥～⑮の事後学修シートに記入した内容にもとづいて、ノートと教科書あるいは参考文献などを通して、自身の学修理解度が低かった点を重点的に復習し、理解度を高めていくようにする。

講座内容（シラバス）

〔日本史演習Ⅰ・Ⅱ〕

堀川 徹

◆**授業概要** 卒業論文を執筆するにあたり、先行研究をまとめることは重要な意義をもつ。そこで本授業では、日本古代史に関する最新の研究状況がまとめられている教科書を読み、日本古代史の現在地を知ることを目的とする。事前に分担された個所を読み、その内容を報告し、受講生全員で討議することで日本古代史の各テーマの理解を深める。また、自分なりの課題・アプローチ方法を見出す。本授業では、「課題を解くこと」ではなく、「課題を見つけること・受講生全員で共有すること・ともに学ぶこと」が目的である。なお、日本古代史分野で卒論を執筆する予定のものが受講することが望ましいが、それ以外の学生も歓迎する。授業計画は受講者数によって若干の変更がある可能性もある。なお、本授業は報告と討議からなるので、積極的な参加を求める。

◆**学修到達目標** 日本古代史の最新の研究状況を理解することができる。
報告に対して積極的に自らの意見を述べるができる。
各人の報告に対して課題を見つけ出し、指摘することができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

classroomにて動画およびレジュメを配信するので、受講生は動画を視聴する。また、それと並行して報告のためのレジュメ作成を進める。授業動画は内容に沿って分割し番号を付すので、順に視聴すること。一度の視聴では分からなかった内容の動画は重点的に繰り返し視聴すること。それでも不明な点についての質問は随時受け付ける。

・対面授業

受講生が報告を行い、報告に対して他の受講生による質疑応答および教員からの補足説明を行う。なお、1回の報告あたり30分程度、質疑を10分程度予定している（受講者数により変動あり）。演習形式のため、アクティブラーニング形式である。対面授業において、各人2回または3回の報告を予定している。教科書の担当箇所を読み、その内容をA4用紙5、6枚にまとめたレジュメを作成し、受講生に配布したうえで報告を行う。詳細はclassroomを参照すること。

担当箇所は次のように決定する。受講希望者は教科書の中のテーマを第5希望まで挙げ、速やかに教員にメールをすること（教科書が手に入る前に教科書のHPを閲覧し、項目のみで判断してもかまわない）。教員から担当箇所を記した返信を行う。先着順を原則とする。

※なお、本授業の履修を希望する学生は、履修が確定した後に報告準備にとりかかるのでは遅い可能性があるため、classroomの開設を待たずにシラバスが公開されてからできるだけ早く、教員にメールをすること。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 報告内容90%、授業への参画度（質疑応答の内容および回数）10%

◆**教科書** 丸沼『テーマで学ぶ日本古代史 政治・外交編』佐藤信監修、新古代史の会編、吉川弘文館、2020
資料配布（Classroom） オンデマンド部分ではレジュメをclassroomを通じて配布する。
その他 対面授業時には受講生の作成したレジュメを使用する。

◆**授業相談（連絡先）**：受講希望者は履修登録を待たずに下記教員連絡先まで希望テーマ（授業方法の欄参照）を連絡すること。
t_horikawa@seisa.ac.jp
授業内容にかかる相談は上記メールと合わせてclassroomでも受け付ける。

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	ガイダンス・日本古代史研究とは 先行研究をまとめる意味 学術論文とは何か 学術書とは何か 担当教員の模擬報告 上記に並行してテキストを読み進めておく。自身が担当する個所以外も含め、対面授業までには一通り読み終えておくこと。
事前学修	自らの興味・関心があるテーマについて、学術論文や学術書を探し、文献リストを作成してみる。作成した文献リストの中から、自身が報告するテーマに即したものを読み込む。
事後学修	授業内容および教科書の内容で不明瞭な部分をインターネット等を使用しながら自分なりに補足しておく。

・対面授業

1日目	授業内容	90分×5コマを実施する予定。各回2人の報告（30分報告・10分質疑・5分教員コメント×2人で構成）を予定している。それぞれ教科書の分担箇所の内容をレジュメを作成・配布して詳細に報告する。その際教科書の内容だけでなく、適宜補足すること。なお、報告時間や人数については受講者数により増減する。詳細は受講者数確定後classroomやメールなど何らかの方法で伝達する。
2日目	授業内容	90分×5コマを実施する予定。各回2人の報告（30分報告・10分質疑・5分教員コメント×2人で構成）を予定している。それぞれ教科書の分担箇所の内容をレジュメを作成・配布して詳細に報告する。その際教科書の内容だけでなく、適宜補足すること。なお、報告時間や人数については受講者数により増減する。詳細は受講者数確定後classroomやメールなど何らかの方法で伝達する。
事前学修		教科書の分担箇所を読み、その内容をレジュメとして作成する。その際適宜内容を補足すること。自身がわかっていれば良いのではなく、受講生に教えるようなイメージで取り組んでほしい。教科書に記載されていることはどのようなことなのか等、インターネットや書籍を用いて調べておき、レジュメに反映させる、あるいは質疑応答で対応できるようにしておくこと。
事後学修		レジュメの内容を振り返り、教科書に記載されている参考文献を5つ自分なりにピックアップして読んでみる。

講座内容（シラバス）

〔経済開発論〕

前野 高章

- ◆**授業概要** 経済開発論は国際経済学の一つの分野である。新興国や途上国の経済発展はいまや世界経済に強い影響を与えており、先進国と新興国や途上国との経済的結びつきは深まっている。本講義では経済発展の基礎理論と経済発展の源泉に関する主要論点を学ぶことから、新興国および途上国の経済発展を歴史的側面、理論的側面、政策的側面から理解し、グローバル化による経済的影響について考えていく。
- ◆**学修到達目標** 発展途上国の経済開発がどのように変遷してきたのか、という点を歴史的側面、理論的側面、政策的側面から学ぶことにより、アジア地域の新興国や発展途上国の経済開発の現状や直面している課題について理解・説明できるようになることを目的とする。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
教科書をもとに、オンデマンド授業で講義を行う。講義動画と講義資料は掲載期間内に順に学修すること。一度の視聴では分らなかった内容については、テキストや参考書などからも学修し、繰り返し学修をすること。それでも不明な点については随時質問を受け付ける。
 - ・対面授業
教科書をもとに、授業は講義形式を基本とする。教科書および配布資料にもとづき、板書とパワーポイントで講義を行う。オンデマンドでの学修をもとに講義を進めるため、教科書、オンデマンドでの講義資料等は必ず事前に読んでおくこと。
- ◆**履修条件**
- ◆**成績評価基準** 試験（60%）、授業時課題（30%）、平常点（10%）から評価する。毎回出席することを前提として成績をつける。
- ◆**教科書** 丸沼『現代開発経済入門』 陸亦群 他 文真堂 2020年
- ◆**参考書** 丸沼『アジア開発経済論』 セイジ・F・ナヤ著 文真堂 2013年
丸沼『開発経済学入門』 戸堂康之著 新世社 2015年
丸沼『トダロとスミスの開発経済学』 マイケル・P・トダロ、ステファン・C・スミス著 国際協力出版会 2010年
丸沼『開発経済学入門（第3版）』 渡辺利夫著 東洋経済新報社 2010年
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	オンデマンドでの学修項目は以下の通りである。 <ul style="list-style-type: none">・経済開発論とはどのような学問分野であるのかについて確認する。・途上国や新興国の立場から経済開発の意義と成長と発展の経済学的な差異について学修する。・経済開発の歴史的推移について南北問題の発生とその展開について学修する。・経済開発の基礎的な理論的概念とその展開について学修する。・グローバル経済における経済開発問題について学修する。
事前学修	事前学修では以下の項目を整理しておくこと。「経済開発論ではどのようなことを学修するのか」、「途上国と先進国の違いはどのように区分されるか」、「戦後の世界経済における経済開発問題の推移およびグローバル化のもとの経済開発の特徴」についてテキストを中心に確認をする。
事後学修	経済学における経済開発論の位置づけを把握し、世界経済における経済開発の歴史的展開とその特徴を確実におさえる。

・対面授業

1日目	授業内容	経済開発の基本的な理論と経済開発の源泉として重要な要素である貿易の役割について学修をする。経済開発の問題の根底にあるのは貧困と格差問題であり、それは現代においても変わらず存在する課題となっている。講義では、はじめに世界経済における貧困の現状の把握と経済開発の基礎理論を学修し、どのような国や地域が低開発から脱却し工業化に成功したのか、その諸要因はどこにあるのかについて学修をする。
2日目	授業内容	経済開発に成功した国・地域における政策的な取り組みを中心に学修をする。経済開発を成功させた国・地域がある一方で、経済開発に失敗した国・地域がある。そこでは市場メカニズムのもとに経済を離陸させた国・地域や、積極的な対外政策のもとに経済を成長させた国・地域があり、それらの特徴を学修することは経済開発の諸問題を把握するにあたり非常に重要である。講義では、貿易や投資を通じた世界市場との相互依存関係、および開発政策の成功要因と失敗要因の視点から、経済開発に成功した東アジア地域の特徴について学修をする。
	事前学修	オンデマンド講義の内容を確実に理解し、戦後の世界経済における開発問題について整理し、どのような課題が存在しているのかについてまとめておくこと。さらに、経済を開発していくにはどのような政策や手段が必要となるのかについてテキストをもとに確認をしておくこと。
	事後学修	世界には経済的に豊かな国とそうでない国が共存しており、貧困問題や開発問題に長期にわたり取り組んでいるが依然として解決に至っていない。講義の内容をふまえ、現代のグローバル化時代における開発戦略の有り方について整理すること。

講座内容（シラバス）

〔租税論〕

鵜藤 俊英

- ◆**授業概要** 日本の国家財政の収入源は、概ね税金である。国の財政状態を把握、理解し、そこにある問題点を解決する方法を検討するのが、本講座の目的である。本講座では、税理士の権利として国に対し税制の建議をし続けてきた経験に基づき、実際に施行されている租税制度を基に研究する。初学者にも理解できるようにわかりやすい補助教材や資料を用いて、具体的なテーマを設定の上、実社会でも問題とされている内容を基に授業を進めていくアクティブラーニング型講座である。
- ◆**学修到達目標** まず、今の日本の財政の状態が今後の国の在り方にどのように影響するのかを理解し、そこにある問題点を指摘・説明できるようにする。次に、その問題点を解決するために必要と考えられる租税制度を提案できるようにする。さらに、その問題点を解決するために現行の租税制度をどのように改善するべきかを指摘できるようにする。加えて、あるべき租税制度を創案することができるようになる。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
第1回から第5回 財政の現状、税の仕組みと比較すべき社会保障制度について。資料としての動画を視聴して、レジュメの指示に従って問題点を検討する。レジュメにある課題について、リアクションペーパーとして自分の意見を回答する。（レジュメは全回分載せるので注意のこと）
 - ・対面授業
第6回から第15回 財政の現状について解説する。収入源である税制度について、概要を解説する。税の基本的考え方について解説する。租税回避行為について解説する。生活保護について解説する。財政状態の健全化に向けて、どのようにすべきか（理想を追っても政府が実現しなければ意味が薄い）を検討する。解説するにあたり、疑問は（Zoomの場合はClassroomを通して）質問すること。なお、レジュメ・資料は（Zoomの場合はClassroomにて）指示する。
- ◆**履修条件** なし 積重不可スクーリング「令和2年度夏期スクーリング租税論」
- ◆**成績評価基準** レポート 70%、リアクションペーパー 20%、授業参画度 10%
- ◆**教科書** 〔実用〕『よくわかる税法入門（最新版）』三木義一編著 有斐閣
- ◆**参考書** なし
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画〔各90分〕**

- ・オンデマンド

授業内容	
事前学修	
事後学修	

- ・対面授業

1日目	授業内容	
2日目	授業内容	
	事前学修	
	事後学修	

講座内容（シラバス）

〔国語科教育法Ⅱ〕

永吉 寛行

◆**授業概要** 「学習指導要領」の趣旨や構造について学ぶことを通して、国語科教育の意義と内容を理解する。また、カリキュラム・マネジメントについても理解する。それらの理論をふまえ、どのようにしたらそれを具現化できるか、具体的な教材に即して検討する。特に本講義では、高等学校国語科指導を中心に取り上げる。高等学校国語科教員研修担当講師等の経験を生かして、高等学校国語教科書をテキストに授業構想や評価計画について検討するとともに、模擬授業を行い、その事前・事後協議を行う。

◆**学修到達目標** 「学習指導要領」が求める新しい時代における国語科教育の在り方について、具体的事例を基に考察・討論することで、その理解を自分のものにすることができる。グループによる模擬授業によって擬似トレーニングを積むことで、教育現場で用いられているさまざまな指導法について知ることができる。また、教育実習を想定した具体的な取り組みについても取り上げるので、教育実習に臨む準備ができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

高等学校学習指導要領（国語）の概要とそこで求められる新しい時代の国語科教育の在り方について講義するとともに、観点別評価の意義と具体的な方法についても講義する。また学習指導案の基本的な作成方法についても説明をする。

・対面授業

10時間を5時間・5時間に分けて、具体的な教材研究を2時間行った後に事前協議・模擬授業・事後協議を3時間行うという流れを2セット行う。最終（第15時）は実際には協議は行わず、事後協議内容を想定した材料を含めて最終試験を行う。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 授業参画度（30%）、提出物（30%）、試験（40%）により総合的に評価します。

◆**教科書** 〔**丸**〕『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 国語編』文部科学省 東洋館出版社 2019年
〔**丸**〕『精選国語総合』（高等学校教科書、教科書番号・国総333）東京書籍 2020年

◆**参考書** 〔**丸**〕『アクティブ・ラーニングを取り入れた授業づくりー高校国語の授業改革ー』高木展郎・大滝一登 明治書院 2016年

◆**授業相談（連絡先）**：nagayoshi.matcha57577@vs01.vaio.ne.jp

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	高等学校学習指導要領（国語）について、その構成と内容について「同 解説」を用いて説明する。〔知識及び技能〕の観点にかかる評価について、その趣旨と評価方法の考え方や評価規準について説明する。〔思考力、判断力、表現力等〕の観点にかかる評価について、その趣旨と評価方法の考え方や評価規準について説明する。高等学校国語の学習指導案作成に当たっての基本的な考え方について説明し、具体的な単元を想定して、その作成方法を説明する。
事前学修	高等学校学習指導要領（国語）本文及び解説の〔知識及び技能〕〔思考力、判断力、表現力等〕の部分を読み、その具体的な資質・能力について理解しておくこと。
事後学修	講義内容を整理するとともに、授業内容と配布資料とを確認し、理解を深めておくこと。

・対面授業

1日目	授業内容	小説教材「羅生門」、古文教材「伊勢物語」について、演習・発表形式で教材研究会を行う。次に「羅生門」「伊勢物語」について、グループで模擬授業計画を立て、その後グループ代表者が模擬授業を行い、他の受講者は生徒役となり、事後協議の材料を整理しておく。事後協議では発表、討論をすることで、授業デザイン力を高める。
2日目	授業内容	漢文教材「論語」、評論教材「水の東西」について、演習・発表形式で教材研究会を行う。次に「論語」「水の東西」について、グループで模擬授業計画を立て、その後グループ代表者が模擬授業を行い、他の受講者は生徒役となり、事後協議の材料を整理しておく。「論語」の事後協議では発表、討論をすることで、授業デザイン力を高める。「水の東西」については事後協議自体は行わず、振り返りを含めて試験として記述を行う。
	事前学修	当該教材を読んで、読解のポイントを想定しておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、自らの授業プランを構想しておくこと。

講座内容（シラバス）

〔漢字書法〕

徳泉 さち

- ◆**授業概要** 学習指導要領に定められた中学校国語科「書写」で指導すべき事項を理解し、実際に授業を展開するために必要な技能を身につけます。そのうえで、中国における書の歴史の概観を捉えることを目指します。古代の文字から始まり、篆書、隸書、草書、行書、楷書の成り立ちとその特徴を実際に古典作品を筆で書きながら理解していきます。
- ◆**学習到達目標** 中学校国語科「書写」を指導するための基本的な事項の理解とその技法の習得を目指しつつ、身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くことを学びます。あわせて教科書と当日配布のプリントによって、中国をはじめ日本の各時代における文字の変遷と歴史的背景について発展的な理解を深めることを目指します。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
パワーポイントに音声吹き込んだ授業動画を各自、視聴します。そのうえで、動画の内容を踏まえた課題に取り組み提出してもらいます。
 - ・対面授業
書道実技が主体となる授業です。各自、半紙、下敷き（フェルト状のもの）、中筆（4号筆程度）、小筆、固形墨、硯、文鎮、古新聞を持参ください。特に高価な道具を準備する必要はありませんが、硯はプラスチック製のものではなく、固形墨を磨ることができるものを準備してください。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み・態度（60パーセント）と提出作品（40パーセント）によって、総合的に評価します。
- ◆**教科書** 〔丸沼〕全国大学書道学会編『書の古典と理論』（光村図書、2020年）
- ◆**参考書**
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画〔各90分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	第一回目：文房四宝を知る1（筆と墨） 第二回目：文房四宝を知る2（硯と紙） 第三回目：学習指導要領の内容と解説 1年生 第四回目：学習指導要領の内容と解説 2年生 第五回目：学習指導要領の内容と解説 3年生
事前学修	
事後学修	

・対面授業

1日目	授業内容	
2日目	授業内容	
事前学修		
事後学修		

講座内容（シラバス）

〔特別支援教育概論〕

田尻 由起

◆**授業概要** 教員養成課程の中で、特別支援教育に関する最も基本となる科目である。障害児教育に関する制度・歴史をはじめ、様々な障害やその他、教育的支援ニーズを持つ、児童、生徒の教育・心理・生理・指導法について概説する。また障害のある児童、生徒にとどまらず、個々の違いを認識しつつ、様々な人々が活躍できる共生社会の形成の基礎となる特別支援教育について、理解を深める。

◆**学修到達目標** 通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別な支援を必要とする児童、生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学んでいけるよう、①児童、生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、②指導の方法を身につけ、③個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を身につける。

◆授業方法

・オンデマンド

基本的にはテキストに沿って講義形式で行われるが、講義中、簡単な疑似体験、支援の実態についてのVTR視聴、事例検討、グループ討論、指導案の作成等を含み、その後リアクションペーパーやその日の課題を作成し提出。課題の提出等については、GooglClassroom を利用し、必要に応じてフィードバックをする。また授業用動画などを利用し、課題に対する全体的な評価およびフィードバックを行う。

・対面授業

基本的にはテキストに沿って講義形式で行われるが、講義中、簡単な疑似体験、支援の実態についてのVTR視聴、事例検討、グループ討論、指導案の作成等を含み、その後リアクションペーパーやその日の課題を作成し提出。課題の提出等については、GooglClassroom を利用し、必要に応じてフィードバックをする。また対面授業を利用し、課題に対する全体的な評価およびフィードバックを行う。

◆**履修条件** ・すでにレポートを提出している学生については履修不可

◆**成績評価基準** 疑似体験や模擬授業、グループ討議、等を実施するため、授業への参加度を重視する（リアクションペーパーを含む）（40%）、定期試験（60%）

◆**教科書** 『MINERVA 初めて学ぶ教職[®] 特別支援教育－共生社会の実現に向けて－』小林秀之 米田宏樹 安藤隆男 ミネルヴァ書房

◆参考書

◆**授業相談（連絡先）**：基本的には授業時間に受け付ける。その他の時間帯については初回授業の際に案内する。

◆授業計画〔各 90 分〕

・オンデマンド

授業内容	
事前学修	
事後学修	

・対面授業

1日目	授業内容	1. オリエンテーション、特別支援教育の理念と制度、歴史を知る 2. 障害の状態像の理解と指導・支援Ⅰ：聴覚障害、視覚障害、肢体不自由、知的障害、病弱児及び教育上の医療的配慮 3. 障害の状態像の理解と指導・支援Ⅱ：発達障害の概要と DSM-5 4. 就学前の早期支援と就学前後の移行支援： 乳幼児期、学齢期の子どもの発達を理解するとともに、スクリーニングや早期支援の実態を学ぶ。また就学前後や小学校から中学校への移行時の移行支援について学ぶ。
2日目	授業内容	5. 特別支援教育に関する教育課程、教育制度の理解Ⅰ： 普通学級、通級、特別支援学級等における教育課程について学ぶ。また各教科の指導法や自立活動の指導法について学ぶ。 6. 特別支援教育に関する教育課程、教育制度の理解Ⅱ： 学校教育における目標と各種「計画」、及びカリキュラムマネジメント 7.1) インクルーシブな学校と特別な支援の必要な障害のない幼児児童生徒 2) 関係機関との連携：①地域の支援体制と特別支援教育コーディネータ、②教育と福祉・医療・労働機関との連携 8. 特別支援教育の視点を取り入れたクラスづくり・授業づくり・学校づくり
	事前学修	1日目 1. 教科書 3 - 56 頁を読んで理解しておくこと。また今、ニュースや新聞等で話題になっている特別支援教育に関する話題について、理解し、自分なりの意見を持つておく。 2. 教科書 59 - 118 頁を読んで理解しておくこと。 3. 教科書 119 - 166 頁まで読んでおくこと。また発達障害に関する今日の話題について、新聞、ニュース等から学ぶ。4. 乳幼児期から青年期にかけての発達について理解しておく。 2日目 5. 特別支援教育における様々な授業実践について、インターネットや本などを通して学ぶ。 6. インターネット等で学校教育、特別支援教育にかかわる各種「計画」について内容やその書式に目を通しておく。 7. 教科書 17-31 頁を再読しておくこと。また 169-109 頁を読んで理解しておくこと。 8. これまでの学習の復讐をしておくこと。また実際に担任としてクラス運営をしていくことを意識しながら授業の望むこと。

事後学修	<p>1 日目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容について整理し、ノートにまとめておく。初日の授業を聞いて、自分のイメージしていた特別支援教育との差異について考えをまとめる。 2. それぞれの障害像を整理するとともに、それぞれの教育的支援ニーズ、指導、支援についてまとめる。 3. 多様な発達障害の障害像について整理し、理解しておくこと。 4. 学齢期前の子どもたちの姿の理解を深めるとともに、幼児期から小学校へ、また小学校から中学校への移行支援のポイントについて、まとめておく。 <p>2 日目</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 6. 授業で学んだことについて、使用テキスト以外の書籍にも目を通し、自らの実践の際の参考となるよう、復習する。 7. 特別支援教育にかかわる「学校」以外の多様な資源についても興味を持ち、理解を深めること。 8. 授業で学んだことについて、使用テキスト以外の書籍にも目を通し、自らの実践の際の参考となるよう、復習しておく。
------	---

講座内容（シラバス）

〔英語科教育法Ⅳ〕

小林 和歌子

- ◆**授業概要** 本講義では、英語及び英語科目の指導法に関して教授法の観点から、また第二言語取得理論の観点から総合的に学習する。主に4技能を如何に効率的に教えたら良いのか、学習動機・自律的な学習者の育成、また CEFR と Can-Do リストを使用した英語教授法に関して紹介し考察を深める。
- ◆**学習到達目標** 英語学習の過程、英語教授法・第二言語習得理論の具体的な霊視・概要を知り、それらを現在の英語学習者のニーズや学習環境に応じて実行できるようになる技術を身に付け説明することが出来る。第二言語習得理論研究の過去・現在を知ることにより、今後の英語教育業界において山積する問題についても考察し、より良い「行動志向の進化する英語教師」となることが出来る。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
オンデマンドにより、授業動画を配信する。まずは、全体を順を追って視聴すること。英語学習・英語教育における振り返りの習慣を構築する。中間テストと期末テストを実施する予定である。質問に対しては随時受け付ける。
 - ・対面授業
オンデマンドでの講義に加えて、グループワークによるマイクロティーチングも適宜取り入れる。また各教授法・第二言語習得理論・評価法についての省察（リフレクション）ペーパーを書いたり発表したりする。アクティブ・ラーニングを実施する。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**成績評価基準** リフレクションペーパー（10%）発表・参加（30%）中間・期末テスト（60%）
- ◆**教科書** 『英語科教育法Ⅰ T23800』 通信教育教材（教材コード 000580）（この教材は市販の『行動志向の英語科教育の基礎と実践—教師は成長する』JACET 教育問題研究会編（三修社）と同一です）
『国際語としての英語・進化する英語教育法』 岩本夏美・今井由美子・大塚朝美・杉森直樹著 松柏社
- ◆**参考書** 『Structural Equation Modeling of Writing Proficiency Using Can-Do Questionnaires』 Wakako Kobayashi 著 文眞堂
- ◆**授業相談（連絡先）**：『Google Classroom 上にて行う』
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	オリエンテーション, EFL と ESL の違い, 英語教育の目的 各教授法の概観 小中高で如何に連携は可能か, CEFR の紹介 第二言語習得理論に関する研究の紹介 インプット, アウトプット, インタラクション Vygotsky 研究の最近接発達領域と足場架け 英語能力をどのように評価するのか, CEFR と Can-Do リスト, 観点別評価等
事前学修	該当するテキストをよく読んで基本用語を理解すること。
事後学修	授業内容をノートに整理して良く理解できるように纏めて確認しておくこと。

・対面授業

1日目	授業内容	自律的な学習者育成のために、講義とディスカッション、中間テスト
2日目	授業内容	学習動機・個人差・学習ストラテジー、口頭発表及び総括まとめ、期末テスト
事前学修		該当するテキストの箇所をよく読んで、自律的とは何か、動機・個人差、学習ストラテジーについて考えること。
事後学修		中間テスト・口頭発表・期末テストを終えてテキスト、ノート等で学習を振り返ること。授業の内容全体を確認・理解して英語教授法Ⅳの講義全体を振り返ること。

講座内容（シラバス）

〔英語D〕

佐藤 恵一

- ◆**授業概要** オンデマンドと対面授業で行いますが、オンデマンドはヒアリング中心に内容を聞き取ることを行いそれを提出してもらいます。また対面授業では、それらが実際にコミュニケーションツールになるよう言語活動を通して進め最終日にまとめとします。
- ◆**学修到達目標** 映像に登場する男女の会話を参考に、場面ごとの音読活動をすることで、言語能力だけでなく「意味のまとまり」ごとに覚えることで各場面に役立つ実際のコミュニケーションでも必要な社会言語をも高めることができます。
- ◆**授業方法**
 - ・**オンデマンド**
毎回のオンデマンドの課題として、各ユニットごとに重要な英語表現を学びます。それらを使用する場面毎に映像を見て聞き、文章中の穴埋め問題を完成させます。
 - ・**対面授業**
対面授業の初日は、オンデマンドで扱った表現を用いて問題で確認したりペアワークやグループでの共同作業を通して言語活動を行います。2日目の最終日はまとめをしこれまでの課題を含め評価をする予定です。
- ◆**履修条件** 「スクーリングの積み重ね方式」令和2年度の講座不可
- ◆**成績評価基準** オンデマンド課題レポート（30%）・対面授業での参画度（20%）・最終日のまとめテスト（50%）で評価
- ◆**教科書** Welcome To Nippon! 著者 Akira Tajino 他 朝日出版社 2018年
- ◆**参考書**
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

- ・**オンデマンド**

授業内容	
事前学修	
事後学修	

- ・**対面授業**

1日目	授業内容	
2日目	授業内容	
	事前学修	
	事後学修	

講座内容（シラバス）

〔商法Ⅰ〕

松嶋 康尚

◆**授業概要** 本講義は、商法のうち会社法と呼ばれる部分を対象とする。今回のスクーリングは、他の科目担当者と調整の結果、会社法の前半部分について重点的に取り扱うこととした。会社設立に関する制度を中心に実務を意識し講義をしていきたい。担当講師自身が税理士でもあるので、税の専門家としての知見をも反映させた講義とする。

◆**学習到達目標** 1. 会社設立の概要について知り、説明することができる。
2. 会社設立についての会社法の条文につき、六法で調べることができる。
3. 会社設立についての実務上・法律上の問題点について、説明することができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

オンデマンドの講義では、先ずは会社制度について確認した後、会社設立の概略を見てみたい。

履修者は、指定された教科書で予習・復習をしてほしい。適宜課題を出し、理解状況について確認を行ってほしい。

・対面授業

対面授業では、会社設立に関する個別論点を中心に講義をしていきたい。制度の概要については、適宜授業の中であらためて確認はしていくが、オンデマンドの講義で既に解説済みであることを前提とした講義をしていく。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 試験（60%）、平常評価（レポート・小テスト等の提出物）（40%）。

◆**教科書** 松嶋隆弘＝大久保拓也編『商事法講義Ⅰ』（中央経済社、2020年）
六法（令和元年会社法改正が反映されている最新版のもの）

◆**参考書**

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	オンデマンド授業においては、「会社設立」として章立てされている分野を中心に概略を説明していきたい。講義の都合上、会社法の総論的説明その他関連する他の分野についても適宜触れていく予定である。中心となるのは「会社法」ではあるが、会社実務に関連する他の法制度（税法等）についても適宜触れていく予定である。
事前学修	指定教科書の該当部分について、六法にて条文を確認しながら通読すること。
事後学修	講義を基に、その内容をノートにまとめる。出された課題については、解答し、提出する。

・対面授業

1日目	授業内容	会社設立の概要・手続について、具体的事例を交え、実務を意識しながら検討する。
2日目	授業内容	会社設立に関する諸問題について、具体的事例を交え、実務を意識しながら検討する。
	事前学修	指定教科書の該当部分について、六法にて条文を確認しながら通読すること。
	事後学修	講義を基に、その内容をノートにまとめる。出された課題がある場合については、解答し、提出する。

講座内容（シラバス）

〔民事訴訟法〕

吉田 純平

- ◆**授業概要** 私人間の紛争を扱う民事訴訟のルールを規定する民事訴訟法に関する基本的な概念や原則を解説し、同法に関する重要論点について、学説や判例を基に検討する。
- ◆**学修到達目標** 民事訴訟に関する基礎的な概念を知り、それぞれの意義を説明することができる。また、民事訴訟法の基本原則を理解したうえで、民事訴訟の事例に当てはめて説明することができる。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
解説動画を見たとうえで、内容に関する小テストを行う。小テストの解説の動画で復習する。
 - ・対面授業
各回授業をしたうえで、授業終わりに小レポートの作成を行い、次回授業でこの解説を行う。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**成績評価基準** 小テスト（8点×5回＝40点）と小レポート（6点×10回）の合計による。
- ◆**教科書** 〔丸〕 小田司編『民事訴訟法〔第2版〕』、弘文堂、2016年
- ◆**参考書**
- ◆**授業相談（連絡先）**：yoshida.junpei@nihon-u.ac.jp
- ◆**授業計画〔各90分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	1. 民事訴訟の意義 2. 日本の司法制度、民事訴訟の目的 3. 裁判所 4. 民事訴訟の当事者
事前学修	指定教科書の該当部分を読む。
事後学修	指定教科書の各章末の「確認しよう」の問題を解く。

・対面授業

1日目	授業内容	4. 訴えの提起, 5. 訴訟物, 6. 訴えの利益, 7. 訴訟行為, 8. 証拠調べ
2日目	授業内容	9. 訴訟の終了, 10. 判決効, 11. 複数請求訴訟, 12. 複数当事者訴訟, 13. 上訴
	事前学修	教科書の該当部分を読む。
	事後学修	教科書の各章末「確認しよう」の問題を解く。

講座内容（シラバス）

〔日本政治史〕

石川 徳幸

◆**授業概要** 本講義では、近代日本において展開された政治を通史のかたちで学んでいく。歴史的な脈を正しく把握するためには、時代ごとに区切って学ぶことは必ずしも得策ではないが、便宜上、本講義では昭和前期（戦前期・戦中期）を対象とする。史料に基づいて通説を批判的に検証しながら、「日中戦争」や「太平洋戦争」に臨んだ歴史的背景と国内政治の過程を理解する。受講前に、教科書の明治・大正期までの内容を通読しておくことが望ましい。

◆**学習到達目標** 歴史を考察するための基本的な方法を理解し、批判的に史料を読むことができる。
戦前日本の二大政党による国内政治の展開と挫折、軍部が政治に進出してくる過程を説明することができる。
戦時体制の形成過程と敗戦までの政治情勢について説明することができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

基本的には、通信教育教材（教科書）の章立てに沿うかたちで、史料や最新の研究成果を紹介しながら講義を進める。授業の内容は、あくまでも初学者を対象として構成しているが、高校までの歴史科目で扱われている基本的な出来事や人物に関しては、おおむね理解していることを前提に話を進める。受講にあたっては、かならずノートを用意すること。

・対面授業

基本的には、通信教育教材（教科書）の章立てに沿うかたちで、史料や最新の研究成果を紹介しながら講義を進める。授業の内容は、あくまでも初学者を対象として構成しているが、高校までの歴史科目で扱われている基本的な出来事や人物に関しては、おおむね理解していることを前提に話を進める。受講にあたっては、かならずノートを用意すること。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 筆記試験（95%）の結果をもとに成績評価を行う。なお、全体の3分の1を超える欠席がある場合は、試験を受けても評価の対象にはならない。小テストの内容や積極的な受講態度を加味する（5%）。

◆**教科書** 通材『日本政治史 L 30400』

◆**参考書** その他 ※参考書は適宜、授業で紹介する（事前に用意すべきものは特になし）

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	第 1 回 インTRODクシヨン／明治・大正期の概説 第 2 回 二大政党時代の開幕／満洲某重大事件と金解禁 第 3 回 軍縮会議と統帥権干犯問題／軍部の政治進出／満洲事変と五・一五事件 第 4 回 国際的孤立化／陸軍の派閥対立／国体明徴運動 第 5 回 二・二六事件、小テスト
事前学修	教科書の第 8 章第 1 節から第 2 節にかけて下読みを行い、わからない用語や人物名についてはインターネット検索で構わないので下調べを行うこと。
事後学修	教科書や動画教材を見返しながらノートを整理し、前後関係を把握しながら理解を深めること。

・対面授業

1 日目	授業内容	第 6 回 小テストの解説と補論①「同時代人の視座」 第 7 回 軍部傀儡政権／ファシズムの台頭と戦時体制への傾斜 第 8 回 近衛内閣と日華事変の勃発／国家総動員法 第 9 回 第二次世界大戦の勃発／新世界秩序建設の夢想／大政翼賛会の成立と戦時体制 第 10 回 補論②「情報統制」、小テスト
2 日目	授業内容	第 11 回 前日の振り返りと補論③「史料解読」 第 12 回 対米戦争回避の模索／日米交渉の決裂 第 13 回 緒戦の勝利と翼賛体制／戦局の悪化 第 14 回 敗戦から新生日本の誕生へ 第 15 回 まとめ、総括的評価テスト
	事前学修	教科書の第 8 章第 3 節から第 9 章の終わりにかけて下読みを行い、わからない用語や人物名についてはインターネット検索で構わないので下調べを行うこと。
	事後学修	教科書や受講時のメモを見返しながらノートを整理し、前後関係を把握しながら理解を深めること。

講座内容（シラバス）

〔国文法〕

阿久澤 忠

- ◆**授業概要** 日本語学（国語学）では、言葉のどの面に焦点を当てるかによって音韻論、語彙論、文字論などの分野があるが、文法論もその一つであり、その中で品詞分類への手順（プロセス）と付属語（特に助詞）を中心に学ぶ。
- ◆**学修到達目標** 日本の古典作品（古今和歌集や徒然草）の言葉を対象として、そこに内在する文法的な法則を体系的に学び、その上に立って助詞を中心とした付属語に対する認識を深める。そしてそのことによって古典作品を読解する力を養うことができる。さらには現代語の付属語との比較を通して、両者における差異と共通性を理解する。
- ◆**授業方法**
 - ・**オンデマンド**
講義によって授業を進めてゆく。さらには各項目ごとに設けてある課題（問題）を解いてゆく。
 - ・**対面授業**
講義によって授業を進めてゆく。さらには各項目ごとに設けてある課題（問題）を解いてゆく。質問もその都度受け、こちらからの問いかけもできるだけ多く行いたい。また、オンデマンドの授業の際に生じた質問にもこの対面授業の中で受けてゆきたい。
- ◆**履修条件**
- ◆**成績評価基準** 試験（90%）、授業への取り組み（10%）。毎回出席することを前提として評価します。
- ◆**教科書** 事前に授業で使う資料を送付します。
- ◆**参考書** なし
- ◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	
事前学修	
事後学修	

・対面授業

1日目	授業内容	
2日目	授業内容	
	事前学修	
	事後学修	

講座内容（シラバス）

〔漢文学Ⅰ〕

本間 直人

◆**授業概要** 漢文学の内容は極めて深淵です。授業で取り上げる書物は、中国古代の哲学思想において、極めて重要な思惟を展開しています。漢文学読解に必要な基礎知識を学ぶとともに、常に問題意識を持って中国の古典文献を読む態度を身につけます。授業では、高等学校の教員としての実務経験、また教員免許状更新講習における講師の経験などを踏まえて、中等教育における漢文教育の現状と課題についても説明します。

◆**学修到達目標** 漢文を正確に理解できる能力を身につけることを目標とします。また、中国古代の哲学思想について、孔子、孟子、荀子の思想を中心に理解を深めます。中国古代の哲学者・思想家たちの言葉は国を超え、時代を超え、現代に生きる我々に、生きる上でのヒントを与えてくれることでしょう。さらに、研究の意義、必要性などについても学びます。

◆**授業方法**

・オンデマンド

授業動画は内容によって分割し、番号を付しています。まずは、全体を順に視聴してください。一度の視聴で理解できなかった場合は繰り返し視聴すること。それでも不明な点については、質問してください。なお、動画の中には課題が含まれている場合があります（その際は明示します）。

・対面授業

上記の「学修到達目標」を達成することに留意しながら、発表形式で授業を行います。具体的には、テキストの文章、または配布した資料の文章を1人ずつ読んでいただきます。さらに、レポートのまとめ方についても指導します。なお、授業内で小テスト、作文などを課すこともあります。本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安としています。

◆**履修条件** 令和2年度夏期スクーリング『漢文学Ⅰ』（本間直人）とは積み重ね不可。

◆**成績評価基準** オンデマンド授業で出される課題は評価対象であるのですべて提出すること（全体の30%）。対面授業では、各日の授業内レポート（2回）が評価対象となる（全体の40%）。対面授業2日目の最後の時間に試験を実施する（全体の30%）。オンデマンド授業、対面授業において総合的に評価する。すべて出席していることを前提として評価する（オンデマンド授業の場合、課題の提出が出席を兼ねる）。

◆**教科書** **教材** 『漢文学Ⅰ M31500』 通信教育教材（教材コード000437）

その他 漢和辞典を用意してください。

◆**参考書** なし

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom上にて行います。

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	ガイダンス（研究の意義、必要性について） 漢文学とは何か、訓点について 書き下し文（訓読）・漢文の基本文型・中等教育における漢文教育の現状と課題について 『論語』（孔子の生涯） 『論語』（孔子の宗教観①殷周革命） 『論語』（孔子の宗教観②孔子思想の宗教性） 『論語』（儒教—孔子思想の学統）
事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。また、孔子の生涯と『論語』について調べておくこと。
事後学修	テキストを再読し、ノートをよく整理しておくこと。改めて、研究の意義、必要性について考えてみること。

・対面授業

1日目	授業内容	『孟子』（孟子の人物・生涯） 『孟子』（孟子の思想） 『孟子』（孟子の運命論） 『荀子』（荀子の人物・生涯） 『荀子』（荀子の思想—理論的思惟—） 『荀子』（荀子の定命論） 『荀子』（荀子の〈礼〉について） 『荀子』（定命論的礼理論と宿命論的現象） 『荀子』（定命論的礼理論の限界）
2日目	授業内容	レポートの書き方について① 司馬遷の「任少卿に報ずるの書」について分析する。この返書の持つ特殊性を理解し、その点を踏まえて最初のレポートをまとめる。 レポートの書き方について② 最初のレポートを講評する。次に、先行研究を活用し、特色あるレポートに仕上げていくためにはどうすればよいかという点を中心に演習する。質疑応答を繰り返し、各自が改めてレポートを完成させる。 総復習 試験
	事前学修	
	事後学修	テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。改めて、漢文学を学ぶことの意義について考えてみること。

講座内容（シラバス）

〔英文法〕

山岡 洋

◆**授業概要** 最初に品詞（名詞・動詞など）と文の働き（S, V, O など）の違いを説明してから、単文・複文・十分の違いを説明する。その後で単文を形成する基本的な品詞（名詞・動詞・形容詞・副詞・前置詞・等位接続詞）や文の働き（S, V, O, C, M, A）の説明をする。その上で、文の中で句が形成される仕組みを説明して、それを実際の英文を分析しながら知識の活用法を身に付けていく。

◆**学習到達目標** 単文レベルの構造を十分に理解できるようになることを目標とする。特に、文型を十分に理解することにより、文の中心要素である述語動詞と、その述語動詞との結合度が高い要素によって形成される「述部（Predicate）」を発見することによって、文の構造を見極められるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

【動画】

『英文法 MA』

第1章 序論(1) (自己点検付き)

第2章 序論(2) (自己点検付き)

第3章 文の種類(1) (自己点検付き)

第4章 文の種類(2) (自己点検付き)

*ただし、対面授業の教科書の範囲も熟読しておくこと。

・対面授業

『新英文法概説』

Part I 文の構造

O. Introduction

第1章 文型

第2章 語句の結び付き

第3章 文の種類

*ただし、対面授業の冒頭でオンデマンド教材に関する理解度チェック・テストを行う。

◆**履修条件** 他の『英文法』の単位を取得済みでも履修可能。

◆**成績評価基準** 理解度チェック：20%（対面式初日の冒頭に実施。教科書・参考図書・ノート・電子辞書持ち込み可）

最終試験：80%（教科書・参考図書・ノート・電子辞書持ち込み可）

◆**教科書** 〔丸沼〕山岡洋（2014）『新英文法概説』開拓社。

◆**参考書** 〔丸沼〕江川泰一郎（1991）『英文法解説』金子書房。

〔丸沼〕綿貫陽・宮川幸久・須貝猛敏・高松尚弘・マークピーターセン（2001）『ロイヤル英文法』改訂新版、旺文社。

〔丸沼〕中邑光男・山岡憲史・柏野健次（2017）『ジーニアス総合英語』大修館。

◆**授業相談（連絡先）**：yamaoka.hiroshi2020@nihon-u.ac.jp

Google Classroom 内の「ストリーム」[授業]

◆授業計画〔各 90 分〕

・オンデマンド

授業内容	【動画】『英文法 MA』 第1章 序論(1) (自己点検付き) 第2章 序論(2) (自己点検付き) 第3章 文の種類(1) (自己点検付き) 第4章 文の種類(2) (自己点検付き) 【教科書】『新英文法概説』 Part I 文の構造：O. Introduction, 第1章 文型, 第2章 語句の結び付き, 第3章 文の種類
事前学修	教科書・参考書を参考にしながら、英文法の全体像・品詞・文の働き・文の種類・文型・語句の結び付きの基本を理解しておくこと。なお、教科書は購入が講座開始間近になると入手困難になることがあるので、時間的に余裕を持って予め入手しておくこと。
事後学修	対面式授業初日冒頭で「理解度チェック・テスト」を行うので、それに備えて動画および教科書の該当箇所を十分に理解しておくこと。

・対面授業

1日目	授業内容	9:00-10:00 理解度チェック・テスト 10:10-10:20 Introduction 10:20-11:50 オンデマンドの復習 12:50-14:20 英文分析 14:30-16:00 英文分析 16:10-17:30 英文分析
2日目	授業内容	9:00-10:40 英文分析 10:40-12:40 総復習 14:00-15:40 最終試験 16:00-17:30 最終試験の解説
	事前学修	対面式授業初日冒頭で「理解度チェック・テスト」を行うので、それに備えて動画および教科書の該当箇所を十分に理解しておくこと。
	事後学修	対面授業の授業内容と最終試験を中心に全体を振り返る。

講座内容（シラバス）

〔英米文学概説 / 英語文学概説〕

新井 英夫

- ◆**授業概要** 英米文学にはどのような特徴があり、またどのような分析が可能なかを考える。授業で扱う作家は次を予定している。J.K. ローリング、ジェイン・オースティン、E. M. フォースター、F.S. フィッツジェラルド、シャーロット・ブロンテ、クリストファー・イシャウッド、ミュリエル・スパーク、ジョージ・オーウェル、D. H. ロレンス、カズオ・イシグロ、グレアム・グリーン。
- ◆**学修到達目標** 英米小説の特徴をよりよく理解し、多様かつ有効な文学形式における読みの可能性を感じ取るために、次に掲げる目標を達成しましょう。
 - ①英米小説の読解に必要な英語力がどの程度ものであるかを知ることができるようになる。
 - ②大学入学までに学習してきた英語の基本事項を、小説の読解に活用することができるようになる。
 - ③小説の形式を理解することで、作品のテーマについて説得力ある論を展開できるようになる。
- ◆**授業方法**
 - ・**オンデマンド**
オンデマンド授業では、単なる日本語訳及び感想の確認に終わることのないように、結論に至るプロセスを皆さんには大切にしてもらいたいと思っています。英語が苦手な方の受講も歓迎です。また「英文を読む」と「小説を理解する」との差異を学生たちに理解してもらおうべく、小説の読み方も丁寧に指導します。英文学科で学ぶ学生たちの「入門講座」となるように授業を展開できればと考えています。
 - ・**対面授業**
対面授業はオンライン授業同様に、単なる日本語訳及び感想の確認に終わることのないように、結論に至るプロセスを皆さんには大切にしてもらいたいと思っています。オンデマンド型授業では経験することのできない、講師と教員による質疑応答に、多くの時間を取る予定です。
- ◆**履修条件** 令和2年度夏期スクーリングで開講された英米文学概説及び英語文学概説の単位取得者は、スクーリングの積み重ね方式による重複はできないものとする。
- ◆**成績評価基準** 課題（30%）＋試験（60%）＋授業への参画度（10%）
- ◆**教科書** 資料配布（Classroom）
- ◆**参考書**
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	① J. K. ローリングの『ハリー・ポッターと賢者の石』の一節を読む。 ② ジェイン・オースティンの『高慢と偏見』の一節を読む。 ③ E. M. フォースターの『ハウズ・エンド』の一節を読む。 ④ F. S. フィッツジェラルドの『グレート・ギャツビー』の一節を読む。 ⑤ シャーロット・ブロンテの『ヴィレット』の一節を読む。 各作家の背景を解説した後、作品の一節を精読し、その文学的特徴を考えたい。 ※授業で取り上げる作家は一部変更の可能性がある。
事前学修	Google Classroom で配布する資料にある課題及び英文の和訳を行う。
事後学修	講師が解説した内容について復習するとともに、オンデマンド授業内で指摘された課題に取り組む。また、授業で精読した英文については、語彙、文法等について理解を深め、自分で和訳することができるようにする。

・対面授業

1日目	授業内容	① クリストファー・イシャウッドの『ベルリンよさらば』の一節を読む。 ② ミュリエル・スパークの『ミス・プロウディの青春』の一節を読む。 ③ ジェイン・オースティンの『エマ』の一節を読む。 ④ ジョージ・オーウェルの『一九八四』の一節を読む。
2日目	授業内容	① D. H. ロレンスの『恋する女たち』の一節を読む。 ② シャーロット・ブロンテの『ジェイン・エア』の一節を読む。 ③ カズオ・イシグロの『日の名残り』の一節を読む。 ④ グレアム・グリーン『事件の核心』の一節を読む。 ⑤ 総復習 ⑥ 最終試験
	事前学修	Google Classroom で配布する資料にある課題及び英文の和訳を行う。
	事後学修	講師が解説した内容について復習するとともに、授業内で指摘された課題に取り組む。また、授業で精読した英文については、語彙、文法等について理解を深め、自分で和訳することができるようにする。

講座内容（シラバス）

〔イギリス文学史Ⅱ〕

鈴木 ふさ子

◆**授業概要** 文学とはその時代と社会を映し出す鏡である。この授業では18世紀後半から20世紀のイギリスの文学をイギリス史と社会との関係から概観する。具体的には指定したテキストの第5章から第9章までの各章における時代の特徴と社会について学び、各時代の文学を詩、小説・散文、戯曲のジャンルごとの代表的作家とその作品の内容を学び、イギリス文学を歴史の流れの中で広い視点から理解できる事を心がける。

◆**学修到達目標** 18世紀後半から20世紀のイギリスの歴史・社会と文学の関連性を説明できるようになる事を目的とする。それぞれの時代や社会の特徴について学び、それらが文学にどのような影響を与えたのかを考察し、理解できるようになる事を目的とする。その過程でイギリス文学に必要な基礎知識（代表的作家、代表的作品、文学用語など）を身につけ、文学を深く理解する土台を築く事を目的とする。

◆授業方法

・オンデマンド

テキストに沿って第5章から第6章(2)の後期ロマン派までの時代思潮と各ジャンル（詩、小説・散文、戯曲）の概説を学んだ上で、代表的な作家についての解説、代表作の内容についての解説を行う。重要な作品の原文を読む。詩は重要な作品を音声で聞き、発音してもらう場合もある。作品や時代を理解する一助として映像を使用する場合もある。作品についてのコメントを書いてももらうこともある。

・対面授業

テキストに沿って第6章(2)から第9章までの時代思潮と各ジャンル（詩、小説・散文、戯曲）の概説を学んだ上で、代表的な作家についての解説、代表作の内容についての解説を行う。重要な作品の原文を読む。詩は重要な作品を音声で聞き、発音してもらう場合もある。作品や時代を理解する一助として映像を使用する場合もある。作品についてのコメントを書いてももらうこともある。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 小テスト（テスト付き課題）（30%）、試験（60%）、積極的参画度（10%）
授業には毎回出席することを前提として評価を行います。

◆**教科書** 『はじめて学ぶイギリス文学史』（ミネルヴァ書房）

◆**参考書** 『英語文学事典』（ミネルヴァ書房）

『イギリス名詩選』（岩波文庫）

『映画で英詩入門』（平凡社）

※参考文献は自習用であり、授業では使用しません。

◆**授業相談（連絡先）**：オンデマンドではClassroom上で行います。また、対面授業では授業終了時に対応します。
事前に相談内容を話していただいた上でアポイントメントをとることが望ましい。

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	ガイダンス、オリエンテーション、授業の進め方、講義内容に記載されている成績評価方法等の確認、5月期スクーリングで扱う作家や作品を紹介する。 テキスト第5章(1)新古典主義から想像力の詩へ 18世紀後半のイギリスの社会について解説する。この時代の詩の特徴を解説し、代表的詩人（James Thomson, Thomas Gray, Robert Burns, William Blake）を紹介し、代表作の概要を紹介する。 テキスト第5章(2)近代小説の成立、伝記 18世紀後半の小説・散文の特徴を解説し、代表的作家（Samuel Richardson, Henry Fielding, Laurence Sterne, Samuel Johnson, James Boswell）を紹介し、代表作の概要を紹介する。 テキスト第6章(1)前期ロマン派の詩人 19世紀初頭のイギリスの社会について解説する。この時代の詩の特徴を解説し、代表的詩人（William Wordsworth, Samuel Taylor Coleridge）を紹介し、代表作を読む。 テキスト第6章(2)後期ロマン派の詩人 19世紀初頭の代表的詩人（George Gordon Byron, Percy Bysshe Shelley, John Keats）を紹介し、代表作を読む。
事前学修	第1回目 自分が興味のある作家と作品を考えてくる。 第2回目 テキストの118-132頁を読み、18世紀後半のイギリス社会について調べ、代表的詩人について調べる。 第3回目 テキストの132-148頁を読み、18世紀後半の小説家、散文家について調べ、時代との関連性を考える。 第4回目 テキストの150-159頁を読み、19世紀初頭のイギリス社会、この時代の代表的詩人について調べ、時代との関連性を考える。 第5回目 テキストの160-173頁を読み、19世紀初頭の代表的詩人について調べ、時代との関連性を考える。
事後学修	第1回目 夏期スクーリングで学ぶ予定のイギリス文学はどのような作品があるのか調べる。 第2回目 授業時にとったノートを復習し、18世紀後半のイギリス社会とこの時代の代表的詩人についてまとめる。詩を朗読し、味わい、感想や批評を書く。 第3回目 授業時にとったノートを復習し、18世紀後半のイギリス社会とこの時代の代表的作家についてまとめる。興味の沸いた作品を読んでみる。 第4回目 授業時にとったノートを復習し、19世紀初頭のイギリス社会とこの時代の代表的詩人についてまとめる。興味の沸いた作品を読んでみる。 第5回目 授業時にとったノートを復習し、19世紀初頭の詩人についてまとめる。興味の沸いた作品を読んでみる。

・対面授業

1日目	授業内容	●テキストの範囲第6章(3)歴史小説、写実主義の小説、エッセイから第7章(2)ヴィクトリア時代の小説家・批評家まで ●19世紀初頭から19世紀中期のイギリス社会の解説とこの時代の文学の特徴、作家を紹介し、代表的作品の概要を紹介する。
2日目	授業内容	●テキストの範囲 第8章(1)19世紀後半の文学 からテキスト第9章(3)20世紀の戯曲まで ●19世紀後半から20世紀までのイギリス社会の解説とこの時代の文学の特徴と作家を紹介し、代表的作品の概要を紹介する。
	事前学修	テキストの173-281頁を読み、19世紀初頭から20世紀初頭のイギリス社会、この時代の代表的詩人、作家、戯曲家について調べ、時代との関連性を考える。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し、19世紀初頭の代表的作家についてまとめる。興味の沸いた作品を読んでみる。

◆授業概要

Communication is vital in today's society. However, it is not enough to merely be able to speak and understand spoken English. Writing English is a necessary skill in many job industries and fields. English Composition I will give the student a basic understanding of sentence structure, tense usage, vocabulary acquisition, and how to put thoughts and ideas onto paper. The course will cover a variety of topics that will help students improve skills that are necessary in today's world.

◆学修到達目標

The English Composition I course will help students write natural and clear sentences and paragraphs. The students will be able to compose essays, personal and business letters, emails, and other writings to help increase their job skills and communication ability.

◆授業方法

・オンデマンド

This class is 7 sessions on-demand and 2 day-long Zoom sessions. During the on-demand classes the teacher will introduce each topic and grammar point through an instructional video and other sources. Students will then complete written English activities. Then we will practice those activities in the Zoom meetings in the main and breakout rooms.

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

Grades (%) = 100-90 S, 89-80 A, 79-70 B, 69-60

◆教科書

All materials provided by the instructor.

◆参考書

Dictionary or smartphone with a good dictionary application (Google translate is recommended). Notebook for new vocabulary and lecture notes.

◆授業相談先（連絡先）

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>Course Outline. How to study new vocabulary. English sentence structure. Writing a self-introduction.</p> <p>Paragraph and Essay writing. Communicating Clearly.</p> <p>Writing emails, business letters.</p> <p>Before and After stories. Adverbs of frequency.</p> <p>Writing about the past. Regrets.</p> <p>Writing about the future. Advice.</p> <p>Writing for fun - Diaries, Postcards/Letters home</p>
事 前 学 修	<p>Review the "How to study new vocabulary" PDF</p> <p>Review all of the previous course material.</p>
事 後 学 修	<p>Review lesson. Write and practice a self-introduction. Take a video or voice memo of yourself.</p> <p>Watch video. Do the writing tasks. Take a video or voice memo of yourself.</p>

・ 対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	Zoom Day 1. Review and discuss the daily on-demand lessons.
2 日 目	授 業 内 容	Zoom Day 2. Review and discuss the daily on-demand lessons
事 前 学 修		Review all of the previous course material. Finish any outstanding tasks.
事 後 学 修		Reflect on Zoom day 1. Prepare questions for the teacher Zoom day 2. Finish any outstanding tasks.

講座内容（シラバス）

〔英語学演習B〕

田中 竹史

◆**授業概要** ヒトは誰でも母語を獲得することができますが、その獲得は特別な勉強や訓練なしに子供の頃にいつの間にか当たり前のようになされてしまいます。これは、たとえば計算の仕方や交通規則を身につけるためには勉強しなければならないということや、ピアノやバイオリンを弾いたりあるいは泳いだり車を運転したりするためには特別な訓練が必要になる、といったこととは対照的です。また、通常大人が外国語を身につけるのには意識的な努力が必要であるということとも対照的です。それでは、なぜ子供は特別な勉強や訓練をせすとも母語を身につけられるのでしょうか。なぜ大人は勉強や訓練なしには外国語を身につけることができないのでしょうか。そもそもヒトは一体どのような仕組みにより、極めて複雑で豊かな内容を持つ言語を身につけているのでしょうか。

本講座では、上記のような事柄を通じて生物種としてのヒトの特徴について考えます。

◆**学修到達目標** 全ての生物種の中でヒト科ヒト属のみが持つと考えられている特殊な知識体系であることばに内在する性質、そして幼児による言語獲得の過程に触れることにより、ことばの分析方法や言語学・英語学の方法論を学ぶことを目標とします。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画は内容に沿って分割し、番号を付している。まずは全体を順に視聴すること。一度の視聴では理解が難しかった内容の動画は重点的に句理解 w して視聴すること。それでも不明な点についての質問は随時受け付ける。授業用資料の配布、課題の提示などは Google Classroom を使用する。

・対面授業

オンデマンド授業で提示された動画は必ず視聴していること。対面授業では、テキストを題材に、受講者による担当部分の内容説明・質疑応答（その過程でアクティブラーニング、グループディスカッションなどを含みます）、教員による補足説明（その過程で課題に対するフィードバックを含みます）、という演習形式で授業を進めます。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、発表や質疑応答などの授業に対する取り組み（50%）と授業終了後に提出のレポート（50%）により総合的に評価します。

◆**教科書** 丸沼 An Introduction to Linguistic Theory and Language Acquisition. Crain & Lillo-Martin Blackwell 1999 (該当箇所 pp.216-241 を配布します)

◆**参考書** 丸沼『探検！ことばの世界』 大津 由紀雄著 ひつじ書房 2004年
丸沼『ことばに魅せられて 対話編』 大津 由紀雄著 ひつじ書房 2008年
丸沼『ファンダメンタル英語学 改訂版』 中島 平三著 ひつじ書房 2011年
教材『英語学概説 N30700』 通信教育教材（教材コード 000567）

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上で行う。

◆授業計画〔各 90 分〕

・オンデマンド

授業内容	1. 母語と外国語 2. ヒトの言語獲得 3. ことばの研究 4. その他
事前学修	配布された資料をよく読んでおくこと。
事後学修	授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。

・対面授業

1日目	授業内容	21.Successive Cyclic Movement -Introduction -Long-Distance Dependencies -What Long-Distance Movement Explains -Successive Cyclic Movement -The Empty Category Principle -Conclusion
2日目	授業内容	22.Successful Cyclic Movement -Introduction -Successive Cyclic Movement and the ECP -Children's Knowledge of the ECP -Medial WH-Questions and the ECP -Conclusion
事前学修		配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。
事後学修		授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。

講座内容（シラバス）

〔倫理学基礎講読〕

関谷 雄磨

◆**授業概要** 「倫理学基礎講読」は、倫理学上のさまざまな問題をテーマに書かれた作品を精読する科目です。本年は、プラトンの初期から中期における作品である『ゴルギアス』を取り上げます。本作では、例えば、「不正を行いながら幸福に生きることは可能なのか」、「平等にすることと、多くを独占するのはどちらがよいのか」、「ただ欲望を満足させたり面白おかしく生きるのは幸福といえるのか」といった問いかけがなされており、これらを手掛かりとして、「われわれは一体どのように生きていけばよいのか」という根本的な問題について、本講座でみなさんと一緒に考えたいと思います。

◆**学修到達目標** プラトンの作品と一緒に読みながら、倫理学（哲学）書の読み方を習得することを目標とします。具体的には、1) まず、作品の中でどのような問題が提起されているのかを理解し、2) そして、その問題に対して著者（あるいは登場人物）がどのような主張をしているのかを読み解きます。3) その上で、読み手であるわれわれ自身がその問題について主体的に考察・評価する、というものです。

◆**授業方法**

・オンデマンド

まず初めの数時間を使って、『ゴルギアス』を読み解くために知っておいた方がよい基礎的な知識をお話します。その後、関谷がテキストを初めから音読しながら、そこにどのような問題が隠れているのかを掘り起こして解説しながら読み進めます。なお、短期間で読まなくてはならないので、必ず事前に『ゴルギアス』を読んでから授業に臨んで下さい。

・対面授業

対面式に移行後は、学生のみなさん一人一人に音読していただきます。（長い作品なので、読了するのはおそらく難しいでしょう。また、「授業計画」におけるページの割り振りは便宜的なものです。）

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 最終課題 100%

◆**教科書** 教材『倫理学基礎講読 P 30200』（通信教育教材 教材コード 000337）

◆**参考書** 丸沼『増補ソクラテス』岩田靖夫、ちくま学芸文庫
丸沼『ソフィストとは誰か?』納富信留、ちくま学芸文庫
丸沼『ソフィスト』田中美知太郎、講談社学術文庫

◆**授業相談（連絡先）**：sekiya.yuma2020@nihon-u.ac.jp

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	ガイダンスおよび、古代ギリシア、特にソフィストについての一般的説明。 『ゴルギアス』1章～23章講読。
事前学修	『ゴルギアス』1章～23章を熟読しておくこと。
事後学修	講義内容をもとに、古代ギリシア、特にソフィストについての理解を深めておくこと。また、『ゴルギアス』1章～23章を振り返り、重要と思われる箇所の理解を深めておくこと。

・対面授業

1日目	授業内容	『ゴルギアス』24章～57章講読。
2日目	授業内容	『ゴルギアス』58章～83章講読。まとめ（質問コーナー）。試験。
	事前学修	『ゴルギアス』24章～83章を熟読しておくこと。
	事後学修	『ゴルギアス』全体を振り返り、重要と思われる箇所の理解を深めておくこと。

講座内容（シラバス）

〔日本思想史Ⅰ〕

島田 健太郎

◆**授業概要** 今年度は、「日本人と『聖徳太子』」というテーマで、いわゆる「太子信仰」について見ていきます。「聖徳太子」は古代から中世にかけて、それこそあらゆるイメージが付与され、いろいろな形で信仰されています。本講では、このような太子信仰の諸相を通して、その思想的側面に焦点を当てて検討したいと思います。特に、それぞれの時代の人々が「聖徳太子」にどのようなイメージを持ち、何を期待していたのか、そもそも他ではなく、なぜ「聖徳太子」だったのか、またなぜそれが当時の人々に一定の説得力を持ったのか、などの問題を考察し、その底に流れる日本人の宗教意識やものの考え方を浮き彫りにできればと考えています。

◆**学修到達目標** 1 太子信仰について学ぶことで、当時の思想的営為についての理解を深めるとともに、人間の思想や日本文化に対するより広い視野を獲得することができる。
2. 古代・中世の太子信仰を学ぶことで、現代日本の宗教に対する一つの視点を獲得することができる。
3. 日本人のものの考え方や日本人の宗教観などに対する自己の問題意識をより明らかにし、それについて主体的に考察することを目標とする。

◆**授業方法**

・オンデマンド

プリントとして配布する原典や史料を中心に、講義形式で行います。プリントには読みと現代語訳を付けるので、古文・漢文の読解に自信がなくても構いません。また話の内容が多少前後することや、授業計画の回数通りに進まないことがあります。質問については随時対応いたしますが、返信が遅れることがありますので、ご承知おきください。

・対面授業

基本的に上記と変わりません。適宜質問票を配って、質問に答える時間を作ろうと思っています。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 1 回のレポート（動画授業第 5 回後、1200 字程度）と試験の成績を基準に、総合的に勘案して評価します。評価割合はレポート（20%）、試験（70%）、その他授業への参画度など（10%）です。

◆**教科書** 資料配布（Classroom） 第 1 回の授業動画配信時に、動画授業用の 5 回分の資料を配布。その後対面授業の初日に残りの資料を直接配布する。

◆**参考書** 授業中適宜指示します。

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	①ガイダンス、授業内容の概観・太子信仰の特異性について ②厩戸王（聖徳太子）の事績 ③「聖徳太子」伝説のはじまり……日本書紀・古事記 ④奈良時代における「聖徳太子」 ⑤太子伝説の原型……『聖徳太子伝暦』
事前学修	・古代から中世までの日本史の流れを一通りおさえておく ・厩戸王についてある程度調べておく。 ・七世紀の天皇家と蘇我氏の関係について、ある程度知識があると授業が分かりやすくなる。 ・関係する場所が多いので、近畿地方の地図を用意しておくとうい。
事後学修	・授業内容の要点をノートにまとめ、疑問点があれば書いておく ・各授業ごとに、わからない用語などがあったら調べておく。

・対面授業

1 日目	授業内容	⑥平安時代の太子信仰 四天王寺と聖徳太子、『四天王寺御朱印縁起』など ⑦中世の太子信仰(1) 聖霊会、太子廟、慈円、南都（顕真、慶政、太子講式など）、
2 日目	授業内容	⑧中世の太子信仰(2) 親鸞の思想と聖徳太子信仰、絵伝と絵解き、善光寺と聖徳太子 ⑨いろいろな太子信仰
事前学修		・中世の歴史の流れ（事項、人物）などについて一通り調べておく ・動画授業内で提示した参考文献をどれか一つでも読んでおく。 ・動画授業の内容について疑問点を整理する。
事後学修		・対面授業 1 日目終了後、太子信仰や日本人の宗教意識、その他自分が関心を持ったことについて自分の考える所を文章化しておく。 ・太子信仰に関する他の文献を読んで、更に理解を深める。 ・授業で扱った事柄の中、関心を持ったものについて調べ、関連する書籍を読んで、知識と視野を広め、その問題についての自分の考えを構築する。

◆授業概要

本科目では、わが国の歴史の根底にある「国史」について、その成立から確立のプロセスや課題について知るために、前近代ならびに近現代の論書や史論を紹介しつつ、わが国の歴史学の発達を概観する。

◆学修到達目標

日本史の時代区分、歴史学とは何かなど、日本史学修の上で必要な基礎的知識の獲得と、学修姿勢の修得を目標とする。

◆授業方法

テキスト『国史の誕生』を、章・節ごとに解説しつつ、テキストの内容を肉付けする。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

試験 80%、平常点（授業参画度）20%で評価する。なお、評価は全日出席（視聴）を前提とする。

◆教科書

『国史の誕生』（関幸彦） 講談社学術文庫

◆参考書

特になし

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>1 歴史とは何か。学問としての歴史学 2 日本史の時代区分 3 江戸期における史論あれこれ 4 江戸期における学問の流れを探る 5 江戸から明治期におけるわが国の歴史学の流れ 6 近代史学の成立 ー明治期の学問事情（1）ー 開化期の史学 7 近代史学の成立 ー明治期の学問事情（2）ー 「欧羅巴」史学・リース 8 近代史学の成立 ー明治期の学問事情（3）ー 久米邦武筆禍事件 9 近代史学の展開 ー大正期の学問事情（1）ー 南北朝正閏論争 10 近代史学の展開 ー大正期の学問事情（2）ー 近代の論理 11 近代史学の確立 ー昭和戦前期と実証主義（1）ー 喜田貞吉 12 近代史学の確立 ー昭和戦前期と実証主義（2）ー 史観の転換 13 近代史学の確立 ーマルクス主義歴史学（1）ー 唯物史観 14 近代史学の確立 ーマルクス主義歴史学（2）ー 社会経済史学 15 再び歴史学とは何か</p>
事 前 学 修	<p>テキスト全般の流れと、序章を熟読しておく。 日本史における時代区分の問題点（時代区分論争など）を調べておく テキストの1章1節を熟読しておく。 テキストの1章2節を熟読しておく。 テキストの1章3節を熟読し、2～4章の概要を把握しておく。 テキストの2章を熟読しておく。 テキストの3章を熟読しておく。 テキストの4章を熟読しておく。 テキストの5章1節を熟読しておく。 テキストの5章2節を熟読し、3節を読んでおく。 テキスト5章3節を熟読しておく。 テキスト5章全体を読み、戦前期の史観や歴史の研究方法について調べる。 唯物史観（史的唯物論）についてその概要を調べておく。 昭和期日における社会経済史のあゆみについて調べておく。 これまでの講義の内容を振り返っておく。</p>
事 後 学 修	<p>授業の内容を復習しておくこと。</p>

講座内容（シラバス）

〔西洋史概説 / 西洋史概論〕

馬淵 彰

- ◆**授業概要** ルネサンスの時代から啓蒙思想の時代に至るまでの人物や事件、思想、文化などを取り上げて、ヨーロッパにおける政治、経済、社会、宗教、文化などにわたる幅広い歴史像を講義する。
- ◆**学修到達目標** 西洋に関する歴史的な視野を広めるとともに、歴史問題を扱う際に求められる感覚を鋭くするために、ルネサンスや宗教改革や自然科学革命に関連する人物や事件・思想・文化などを理解した上で、「三時代区分問題」を説明できる能力を修得する。
- ◆**授業方法**
 - ・**オンデマンド**
授業動画は内容に沿って複数の回（トピック）に分割し、番号を付している。各回（トピック）ごとにレスポンスシートの提出を求める。全体を順に視聴すること。一度の視聴では分からなかった内容の動画は重点的に繰り返して視聴し、また授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものは図書館などで調べてノートにまとめること。
 - ・**対面授業**
オンデマンドで提示された動画は必ず視聴していること。対面授業では、具体的なイメージを受講者が持てるようビデオや絵画や写真などを用いて、講義をおこなう。
- ◆**履修条件** 令和元年夏期スクーリング「西洋史概説／西洋史概論」との積み重ね不可。
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み、授業中の課題、試験（あるいはレポート）などを総合評価する。試験（あるいはレポート）が全体の80%、その他の「授業中の課題」や「レスポンスシート」などが全体の20%。
- ◆**教科書** **資料配布 (Classroom)** 教科書は使用しない。必要に応じてプリントなどを配布する。
- ◆**参考書** **選材** 『西洋史概論 / 西洋史概説』 通信教育教材
 - 丸沼 『西洋の歴史：近現代編』、木下 尚一ほか編集、ミネルヴァ書房、1998
 - 丸沼 『世界史とヨーロッパ』、岡崎 勝世、講談社現代新書、2003
 - 丸沼 『西洋の歴史：古代・中世編』、山本 茂ほか編集、ミネルヴァ書房、1988
- ◆**授業相談（連絡先）**：対面式の授業時には授業の合間の休憩時間などに、オンライン授業時は Classroom 上で相談を受け付ける。
- ◆**授業計画（各 90 分）**
 - ・**オンデマンド**

授業内容	次の講義動画を視聴して学修する。「第1回 ゆがめられた西洋史（ガイダンス）」では、西洋史で用いられる三時代区分について、その特徴と問題点を概観する。「第2回 西洋史とは何か」では西洋史という歴史研究・教育領域での日本の特殊な歴史的背景と関係していること、また今日では西洋史という枠組みが揺らいでいることをまとめる。「第3回 古代・中世・近代とは何か」では時代三分法とは何かを概観する。「第4回 古代ギリシアの世界」では、ルネサンスの基調となった人文主義と、また、人文主義者が憧れた古代ギリシアの世界を概観する。「第5回 古代ローマの世界」では、人文主義者が憧れた古代ローマの世界を概観する。
事前学修	それぞれ以下の事前学修を行なうこと。第1回は、シラバスに目を通し、講義の概要などを理解しておく。第2回は、西洋とは何か、また西洋史が東洋史など他の歴史とどう区別されているのか考えておく。第3回は、循環史観と直線史観とは何か、また代表的なものにそれぞれどのようなものがあるか調べておく。第4回は、古代ギリシアとはどのような世界であったか、政治・社会・文化などの特徴を調べる。第5回は、古代ローマとはどのような世界であったか、政治・社会・文化などの特徴を調べる。
事後学修	各回の授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べてノートにまとめる。

・対面授業

1日目	授業内容	次のテーマと内容で授業を行なう。1限目（第6回）「ルネサンスと時代三分法」：「ルネサンス」による時代三分法の特徴とその問題点を概観する。2限目（第7回）「宗教改革とルター」：宗教改革とルターの福音解釈について概観する。3限目（第8回）「宗教改革と時代三分法」：「中世」的世界観の発展したもとしてルターの宗教改革を位置づけられるか考える。4限目（第9回）「自然科学の誕生」：近代自然科学の土台となっている方法と理論を概観する。5限目（第10回）振返り・質疑応答
2日目	授業内容	次のテーマと内容で授業を行なう。1限目（第11回）「自然・社会科学と三時代区分」：法・政治・経済・社会における科学ブームとその反動を概観する。2限目（第12回）「時代三分法の問題点」：西洋史に三時代区分法を用いた場合、歴史解釈上のどのような問題が生じるかをまとめる。3限目（第13回）「近代歴史研究の登場」：西洋における歴史研究の手法や理念がどのように発展したかを概観する。4限目（第14回）振返り・総括・質疑応答：アクティブ・ラーニングの方法により、講義全体を貫いていたテーマと、各回の内容がどのように関連していたかを確認する。5限目（第15回）「理解度確認作業（論述式授業内試験）」：講義を総括し、授業内試験を実施する。
	事前学修	次に示す各回のための事前学修を行なっておくこと。（第6回）：「ルネサンス」とは何か、また「ルネサンス」との呼称がついている歴史用語にどのようなものがあるかを調べてくる。（第7回）：「宗教改革」とは、何をどのように改革しようとしたものなのかを調べておく。（第8回）：己（個人）の魂の革新をえるために格闘し続けてきた隠修士・修道士に、古代ローマ時代から宗教改革期までの時期にどのようなグループ（修道院・修道会）があり、どのように発展してきたかを調べておく。（第9回）：なぜイギリスでは地動説がキリスト教からの反発を受けず、ニュートンたちによって近代自然科学が確立したのかを調べたり考えたりしておく。（第11回）：近代自然科学の成果と啓蒙思想の発展がどのように関係しているか、また17世紀から19世紀において科学的・合理的世界とは異なる（あるいは反する）思想にどのようなものがあったかを調べてくる。（第13回）：近代歴史学がどのように誕生したのか、近代歴史学はそれまでの歴史研究とどのような点で異なるかを調べておく。
	事後学修	授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べてノートにまとめる。

講座内容（シラバス）

〔工業経済論〕

齋藤 高志

◆**授業概要** 現代社会には多様な産業が発達し、様々な企業活動によって地域経済が活性化している。特に工業経済は生産額、他産業への波及効果、雇用者等が他産業に比べて大きく、経済研究の対象として注目されている。工業経済は技術の発達とともに発展してきており、その背景も含めて説明する。さらにグローバル化によって企業の経済活動が受けている影響と今後の工業経済の発展について、経済学的視点から考察できることを目指す。

◆**学修到達目標** 1. 「産業」を理解するのに必要な基礎的理論を学べる。
2. 技術革新によって製品開発がどう進み、更に生産活動がグローバル化した背景を学べる。
3. 企業活動と地域経済の循環構造を分析する基礎的な力を養うことができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

参考書をもとに、オンデマンド授業で講義を行う。講義動画と講義資料は掲載期間内に順に学修すること。一度の視聴で分からなかった内容は、参考書やWEB検索などでまず専門用語の意味を理解すること。それでも不明な点については随時質問を受け付ける。

・対面授業

参考書をもとに、授業は講義形式を基本とする。参考書および配布資料にもとづき、パワーポイントで講義を行う。オンデマンドでの学修をもとに講義を進めるため、オンデマンドでの講義は必ず事前に学修すること。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 試験（60%）、授業時課題（30%）、平常点（10%）から評価する。毎回出席することを前提として成績をつける。

◆**教科書** 資料配布（Classroom） 各回で必要な講義資料を配布する。

◆**参考書** 丸沼『現代開発経済入門』陸亦群 他 文真堂 2020年
丸沼『国際経済学をつかむ』石川城太他 有斐閣 2013年
丸沼『地域経済論入門』松原宏 古今書院 2014年
丸沼『国際マーケティング講義』諸上茂登 同文館出版 2013年

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	オンデマンドでの学修項目は以下の通りである。 ・工業経済論とはどのような学問分野であるのかについて確認する。 ・アジア地域の経済発展の歴史を統計データを確認しながら学修する。 ・経済のグローバル化について学修する。 ・経済発展に影響を与えた貿易理論について学修する。 ・自動車産業に影響を与えたアーキテクチャー理論について学修する。
事前学修	事前学修では以下の項目を整理しておくこと。「工業経済論ではどのようなことを学修するのか」、「アジア地域の経済発展の特徴」、「貿易理論における比較優位」について参考書を中心に確認をする。
事後学修	経済学における工業経済論の位置づけを把握し、工業経済発展の歴史とその背景にある技術開発の特徴を確実におさえる。

・対面授業

1日目	授業内容	工業経済の発展とともに、生産性が高まった企業は多国籍企業化している。また技術開発に伴って、製品の生産活動や労働環境、マーケティング戦略にも変化が生じている。講義では、企業の事業展開を鳥瞰的に学修ため、海外直接投資、労働力移動、国際マーケティング戦略、製造業のサービス化について学修する。
2日目	授業内容	企業の生産性向上に伴い、地域経済には産業集積が形成されている。講義では産業集積について学修し、地域経済分析の基礎的な手法を学修した上で、日本の地域経済状況について事例分析を通じて学修する。
	事前学修	オンデマンド講義の内容を確実に理解し、工業経済の発展の歴史について整理し、どのような課題が存在しているのかについてまとめておくこと。専門用語など不明な点は参考書やWEB検索などによって確認しておくこと。
	事後学修	工業経済の発展には技術開発と企業のマーケット戦略の学修によって理解が深まる。講義の内容をふまえ、現代社会の工業経済の発展状況と将来の展望を整理すること。

講座内容（シラバス）

〔情報概論〕

中村 典裕

◆**授業概要** 現代社会において知的活動を行うためには、コンピュータの活用は必須である。その中でも特にオフィスソフトと呼ばれる、ワープロ・表計算・プレゼンソフトを使いこなす技術は極めて重用である。本講義では、民間企業で情報システムの構築に関わった経験のある教員が、文書などの文字情報を扱うワープロソフト、数字やデータなどを処理する表計算ソフト、研究成果や地域情報などの発信を行うプレゼンソフトの基本と応用面を教育する。

◆**学修到達目標** 本講義を通じてオフィスソフトの概要と特徴を把握し、情報の種類に応じて適切なソフトウェアを選択して利用できる技術を習得する。最終的に次の内容を習得することを目標とする。

1. オフィスソフトの概要を習得する。
2. 情報の種類に応じて、ワープロ・表計算・プレゼンソフトの使い分けが可能になる。
3. 最終的にオフィスソフトを活用して、ある程度まとまった課題を完成する事ができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

原則として、毎回、授業ビデオの視聴と課題提出が必要となる。授業ビデオには番号を付与しているため、順番に視聴する事。授業ビデオの中で、授業内容に関するキーワードを説明するので、そのキーワードを課題提出の際に記述することとなる。

・対面授業

本スクーリングの中では、プレゼンテーションのグループワーク（1日半）と、最終課題の作成（半日）がおもな課題となる。基本的にはコンピュータを実際に操作しながら、必要な技術の習得を目指す。

◆**履修条件** なし。

◆**成績評価基準** 平常点（20%）、小課題（40%）、最終課題レポート（40%）。全時間受講する事を前提として評価する。

◆**教科書** [資料配布（Classroom）](#)

◆**参考書** なし

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	ガイダンス、PC 操作の基礎とウェブの原理と閲覧 ワードの基礎：タイピング、各種記号や特殊文字の入力、コピー & ペースト ワードの応用：表、図形の作成、ビジネス文書（社内文書、社外文書）の作成 コンピュータの基本原理・コンピュータ技術の基礎に関する学習 エクセル入門：表計算ソフトの基礎、合計と平均を使った表の作成 エクセル活用：四則演算、グラフ基礎、IF 関数、条件付き書式 情報化社会の発達と進展
事前学修	日頃から情報通信技術（ICT）に関わるテレビ報道や新聞記事などに興味や関心を持って知識を吸収することが好ましい。 また、自分の PC にインストールされているオフィスソフトを使って、文書作成や表計算を行って見ることも意義がある。
事後学修	授業のビデオを確認して、理解が不足していると感じた部分は、繰り返し視聴して学習内容の定着を図ること。

・対面授業

1日目	授業内容	プレゼンテーションソフトであるパワーポイントを使って、実際にプレゼンテーションを行う。 最初に、パワーポイントの機能の概略を学び、自分だけのプレゼンテーションを作成する。 続いて授業参加者を数グループに分けるので、各グループでテーマを選定し、プレゼンテーションファイルを作成し、2日目のプレゼンテーションの準備を行う。
2日目	授業内容	前日に作成したプレゼンテーションを、グループ毎に発表する。 発表内容は、授業参加者同士で相互評価を行い、教員が総括を行う。 その後、オンラインで学習したワープロ機能と表計算機能を用いた「最終課題」に取り組む。 最終的に「最終課題」の提出を行って授業を終了する。
	事前学修	オンラインで受講したワープロ機能と表計算機能を復習し、オンラインの課題はきちんと完了していること。
	事後学修	オフィスソフトの機能を理解し、自分の課題の応じて、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトがきちんと使い分けられるようになっている事。

講座内容（シラバス）

〔保険総論〕

岡田 太

- ◆**授業概要** ・ 保険理論の基礎を学ぶことで保険がなぜ社会に存在するのか、その存在意義を明らかにする。一方、保険が存在するためにもたらす社会的コストのうち逆選択とモラルハザードをとりあげ、具体例を用いて説明する。次に、日本の保険市場 150 年の軌跡について、商品と流通の視点から概観する。最後に、ビッグデータ、AI などの保険への適用事例を紹介し、今後を展望する。
・ 対面授業では、保険の現代的課題についてアクティブラーニング（グループワーク）を行う。
- ◆**学修到達目標** ・ 保険の基礎理論をふまえて保険に関する諸問題を分析し、考察し、改善することができるようになる。
・ 保険市場を 150 年という時間的視野で概観し、新たな環境変化に保険ビジネスがどのように変化するかを展望し、説明することができるようになる。
・ グループ・ワークを通じて、保険の現代的課題に対する問題設定、仮説論証を行うことができるようになる。
- ◆**授業方法**
 - ・ **オンデマンド**
授業動画（音声付きのパワーポイント）を視聴し、学習活動として指定された課題に取り組み google form または google classroom に提出する。課題に対するフィードバックをオンラインまたは対面授業で行う。
 - ・ **対面授業**
オンデマンドでの学習の応用・発展として、アクティブラーニング（グループワーク）を中心に行う。グループワークは 3～4 人でグループを結成し、レポート作成と発表を行う。最後に、授業のまとめと復習を行い、テストを実施する。
- ◆**履修条件** 令和 3 年度地方スクーリング（7 月期）「保険総論」（大阪）との積み重ね不可
- ◆**成績評価基準** テスト(40%)、オンデマンド授業の課題(30%)、対面授業でのレポート(20%)およびプレゼンテーション(10%)により評価する。
- ◆**教科書** 丸沼 下和田功他著『はじめて学ぶリスクと保険（第 4 版）』有斐閣、2014 年
- ◆**参考書** 資料配布 (Classroom) 適宜参考資料をアップロードする
- ◆**授業相談（連絡先）**：classroom のストリーム等またはメール（okada.futoshi@nihon-u.ac.jp）にて対応する
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
 - ・ **オンデマンド**

授業内容	保険の存在意義－リスクとは何かから紐解き、保険の果たす役割を学ぶ 保険の仕組み－保険の原理・原則を学び、保険の機能・経済効果を理解する 保険の機能を制約する問題：①逆選択－リスク細分型保険の意義と課題を学ぶ 保険の機能を制約する問題：②モラルハザード－保険におけるロスコントロールの重要性を学ぶ 保険市場 150 年の軌跡：①商品－主要な保険商品の変遷を通じて保険商品のデザインについて考察する 保険市場 150 年の軌跡：②流通－保険自由化以降を中心に保険流通の変革を学ぶ 近年の環境変化と保険：①ビッグデータ、AI－テレマティクス、健康増進支援型保険など最新技術を利活用した保険を学ぶ
事前学修	教科書の第 1 章と第 2 章を精読し、キーワードを理解する 教科書の第 3 章を精読し、キーワードを理解する 教科書の第 6 章を精読し、キーワードを理解する 教科書の第 7-12 章を熟読し、保険の歴史、主要な保険商品の概要を理解する 教科書の第 16 章を理解し、保険流通の概要を理解する 「近年の環境変化と保険①」については、配布資料を熟読し、ウェブサイトで示された関連資料にアクセスする
事後学修	講義内容と課題学習について復習する。具体的には、保険の存在意義と機能、保険の原理、逆選択とモラルハザード、保険の歴史と主要な保険商品のデザイン、保険流通の変化と多様化および近年の保険ビジネスをめぐるイノベーションを理解することである。 内容が難しい項目については、繰り返し動画を視聴するほか、教科書の該当箇所を精読する。

・対面授業

1 日目	授業内容	グループの結成およびレポートのプラン（計画書）の作成 レポートとプレゼンのための意見交換 オンデマンド学習の一部復習と練習問題の解説 近年の環境変化と保険：②インシュアテック－諸外国の動向もふまえて、新しい時代の保険の可能性を探る
2 日目	授業内容	レポートの発表と総仕上げ 保険業の将来展望－日本およびグローバルな視点から保険業の変化を考える 授業の総まとめ 最終テストと解説
事前学修		対面学習に備えて、グループワークの進め方を理解し、参加するための準備を行う 「近年の環境変化と保険②」について、配布資料を熟読し、ウェブサイトで示された関連資料にアクセスする 「保険業の将来展望」について、配布資料を熟読し、ウェブサイトで示された関連資料にアクセスする レポートについてプレゼンするための準備を行う 最終テストに向けて、オンデマンドおよび対面授業の内容や課題について復習する
事後学修		レポートを作成する 講義内容と課題学習について復習する。具体的には、インシュアテックとは何か、最新事例、諸外国との比較、保険業の将来展望について理解を深める。そのためには、関連資料を読み込むことが大切である。 レポートとプレゼンテーションを振り返り、改善点を確認する テストを通じて理解不足な事項を確認し、理解できるようにする

講座内容（シラバス）

〔交通論〕

三ツ木 丈浩

◆**授業概要** 「交通論」の対象は、「ヒト・モノ・情報」の「場所的距離の克服」である。ヒトやモノをある場所から他の場所へと移動させる陸海空の交通手段が、自動車や鉄道、航空機、船舶等である。それらに活動に付随したビジネスについて学んでいく。特に、ヒトの移動＝観光、モノの移動＝ロジスティクスを中心に理解を深めていく。また、可能な限り事例を交えながら講義を進めていく。

◆**学修到達目標** ①交通サービスの特性についての理解し、説明することができる。

②航空会社や鉄道会社、クルーズ会社の知識を深め、観光ビジネス全体の結びつきについて理解し、説明することができる。

③世界のモノの移動＝ロジスティクスの知識を深め、陸海空のコンテナ輸送と空港・港湾戦略の結びつきについて理解し、説明することができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

オンデマンド授業の動画は毎回テーマ毎に行う。動画での学修内容は必ずノートに取り、理解する。また視聴後は毎回、リアクションペーパーの提出を求めするので、ノートを確認しながらリアクションペーパー作成に取り組み、氏名、学生証番号を記して Google Classroom 上で提出する。

・対面授業

各講義の前半はテキストに沿いながら交通論の内容を学ぶ。また、各講義の後半では、事例研究を主に理解を深めていく。事例内容により、グループワーク等のアクティブ・ラーニングを行う。

◆**履修条件** 「なし」

◆**成績評価基準** テスト（50%）、小論文（30%）、平常点（20%） 授業の取り組み、小論文、テストにより総合的に評価します。

◆**教科書** **教材**『交通論 S30700』通信教育教材（教材コード 000184）

その他 必要に応じて資料を配布する

◆**参考書**

◆**授業相談（連絡先）**：オンデマンド授業においては Google Classroom 上にて行う。

その後は、対面授業の初回到案内する。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	
事前学修	
事後学修	

・対面授業

1日目	授業内容	
2日目	授業内容	
	事前学修	
	事後学修	

講座内容（シラバス）

〔国際金融論〕

谷川 孝美

◆**授業概要** この講義では、国際的な金融取引が行われる国際金融市場、外国為替取引が行われる外国為替市場、外国為替制度や国際収支などの国際金融に関する基礎的な事柄や、国際金本位制、IMF体制などの国際通貨制度の歴史的な変遷、通貨危機問題などを学び、これらの理解をつうじて、現代の国際金融問題を考える基礎を養うことを目的とします。この講義では金融論の基礎を理解していることが望ましい。

◆**学修到達目標** 本講義では、国際金融および国際金融制度に対する理解を目指し、以下のことを具体的な目標とする。

1. 国際金融市場、外国為替市場、国際収支などの国際金融に関する基礎を理解し、説明することができるようになる。
2. 国際金本位制、IMF体制などの国際通貨制度の歴史の変遷を理解し、説明できるようになる。
3. 通貨危機、世界的な金融経済危機などの国際金融問題を理解し、説明できるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

授業計画に沿って、項目ごとにClassroomのトピックを分けている。トピックごとに、予習用の資料とパワーポイントによる動画ファイル、授業アンケートがあるので、資料で予習した後に、動画ファイルを視聴し学修する。最後に出欠を兼ねた授業アンケートを回答する。質問などは授業アンケートなどでも受け付ける。また、課題や小テストがある場合もトピック内で指示するので必ず解答すること。

・対面授業

オンデマンドによる学修を踏まえ、授業計画に沿って、パワーポイントを利用した講義形式で行います。また、最後に学修の確認として試験を実施します。

◆**履修条件** 令和2年夜間スクーリング（秋期）『国際金融論』（谷川孝美）とは積み重ね不可とはしませんが、同様の内容になります。

◆**成績評価基準** 最終日に最終試験を実施します。評価の割合を50%とします。また、オンデマンド授業等で実施する小テストおよび課題の評価割合を40%、授業への参加・貢献を10%とします。

◆**教科書** **資料配布（Classroom）** 各項目に応じた講義概要を、各トピック内で予習用としてPDFファイルにて配布する。各自取得し、予習すること。

通材『国際金融論 R31200』通信教育教材（教材コード000432）

◆**参考書** 丸沼『国際金融のしくみ 第4版（有斐閣アルマ）』 秦忠夫・本田敬吉・西村陽造編 有斐閣、2012年

丸沼『身近に感じる国際金融』飯島寛之、五百旗頭真吾、佐藤秀樹、菅原歩 有斐閣、2017年

◆**授業相談（連絡先）**：対面授業時には、講義前後10分程度、講師室にて対応します。また、それ以外ではメールにて対応します。tanikawa.takayoshi2020@nihon-u.ac.jp

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	Classroomのトピック1 国際金融の基礎(1) 国際金融論の対象と課題、外国為替の仕組み Classroomのトピック2 国際金融の基礎(2) 外国為替市場、外国為替レート（相場） 名目為替レート、実質為替レートを初めとして多様な外国為替レートを確認する。 Classroomのトピック3 国際金融の基礎(3) 国際収支統計と対外取引 国内外の取引をまとめている国際収支統計の仕組みを理解し、各国の特徴を確認する。 Classroomのトピック4 国際金融の基礎(4) 国際金融市場 *各トピックス内に動画ファイルと資料がある。資料で予習をしたのちに、動画ファイルを視聴し学修すること。 また、受講後に確認として、小テスト等がある場合は必ず解答すること。
事前学修	*事前学修は、各トピックの内容に対応している。 ・シラバスをよく読み、授業の概要や目的を理解しておく。 ・トピック内に予習用として講義概要をまとめた資料があるので、よく読み、確認する。その際に専門用語などをテキストや参考文献等で調べる。
事後学修	・国際金融を理解するための基礎を十分に確認し、まとめておくこと。 ・学修上の疑問点や不明な点は授業アンケートやメールなどで質問し、解消しておくこと。 ・小テストで、学修の理解度を確認し、不足がある場合はよく確認しておくこと。

・対面授業

1日目	授業内容	*国際通貨制度の変遷を確認する。 ・金本位制から国際金本位制へ 金の自動調節機能に注目し、金本位制、国際金本位制を概説する。 ・IMF体制 第二次大戦後の国際通貨制度を確認する。 ・変動相場制 ニクソンショック後のスミソニアン体制から変動相場制への移行を見ていく。
2日目	授業内容	*変動相場制後の国際金融 ・経済通貨同盟と単一通貨ユーロ 欧州連合の成り立ちとともに、通貨統合の歴史を見ていく。 ・通貨危機と国際通貨制度改革 通貨危機を世代モデルに分類し概説する。また、通貨危機への対応としてIMFの役割を見ていく。 *講義内容の確認として最終試験を実施する。
事前学修		*事前学修は、対面授業1日目までに行うことを想定している。 ・オンデマンド授業で、国際金融の基礎を十分に確認しておくこと。 ・Classroomを通じて、事前に対面授業の資料を配付するので、よく読み、確認しておくこと。 ・新聞の経済欄などをよく読み、国際金融、経済時事問題に注目しておくこと。
事後学修		*事後学修は、対面授業2日目を終えた後に行うことを想定している。 *対面1日目終了後は、最終試験に向けて、初日の講義内容を復習し、確認しておくこと。 ・授業で取り上げた項目や国際金融の基礎や概念を再確認し、理解を深めること。 ・最終試験をよく確認し、理解不足があった場合にはよく復習すること。

講座内容（シラバス）

〔英語科教育法Ⅱ〕

柳川 浩三

◆**授業概要** 中学・高校で4技能・5領域のスキルを育てる授業を、実際に教室でどのように展開すれば、実現可能なのか。本講座では、その実践的なスキルを体得することを目的とする。その実践的なスキルは講師の25年間に及ぶ県立高校英語教師としての経験に基づき、そのスキルの理論的枠組みはTBLT（Task-based Language Teaching）に基づいている。学生のみなさんの積極的な参加をお待ちしています。

◆**学修到達目標**

1. 中学・高校の英語の授業で4技能・5領域のスキルを育てる授業を、組み立て、実際に教室で展開することができる。とりわけ、高校の「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」の授業でそれを実践できる。
2. 中学・高校の英語の授業で音声指導、とりわけ発音指導を有機的に組み込んだリスニング指導ができる。
3. 生徒の情動に配慮した楽しい授業を展開することができる。
4. 様々なタスクを駆使してアクティブラーニングを実践できる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

- 1 講師によるモデルティーチング後を視聴し、批判的な考察をする。
- 2 タスク中心教授法（TBLT）と内容言語統合型授業法（CLIL）の理念・基本的考え方を文献で学び、その実践にかかわる論文を読んで、批判的に考察する。
- 3 英語リスニングに関わる文献を通読し、理論的枠組みを学ぶと同時にそれをどのように実践（教室）で生かすかを考察する。

・対面授業

- スピーキングの基本となる発音指導を有機的に組み込んだリスニング指導の実践を体験する。
講師によるモデルティーチング後、学生各自による模擬授業の実演と振り返りを行う。
個別のタスク（retelling など）を教室で展開できるようにする。

◆**履修条件** とくになし。

◆**成績評価基準** 模擬授業（15%）、文献レポート（15%）、音読（15%）、テスト（40%）、クラスへの貢献（15%）

◆**教科書** [資料配布（Classroom）](#) 学習指導要領外国語

[丸沼](#) Global Issues in Action: Tasks that work. Yanagawa, K., & Simon, J. (2021) 三修社

[資料配布（Classroom）](#) 英語リスニング・発音入門（コピーを配布）

◆**参考書** [丸沼](#) 『英語音声学入門』 松坂ヒロシ 研究社

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	Global issues in Action の実演視聴 発音指導の動画視聴 リスニング理論の講義
事前学修	教授法（タスク中心教授法や内容言語統合教授法）および英語リスニングの論文を通読し、批判的考察をしながらその理論的背景と枠組みを知る。
事後学修	発音指導の動画を視聴し、特定の箇所を音読したものを録音し提出または文献の要約や和訳

・対面授業

1日目	授業内容	1h 講師によるモデルティーチング：4技能5領域を統合した指導モデル 2h スピーキングとリスニング指導の融合 1) shewa と子音を教える。 3h スピーキングとリスニング指導の融合 2) 音の崩れを教える。歌や映画で教える。 4h リーディングとリスニング指導の融合 3) 処理速度を高速化・自動化する方法を教える 5h センター試験と TOEIC でリスニングを教える 4) メタ認知方略を教える
2日目	授業内容	1h 学生各自による模擬授業の実演1と話し合い 2h 学生各自による模擬授業の実演2と話し合い 3h 講師による実演：retelling（再話）、group presentation 4h 講師による実演：テーマ別教授法（ジェンダー or 差別、難民・外国人労働者問題他） 5h テスト
	事前学修	模擬授業での簡易の指導案及び教材の作成
	事後学修	模擬授業での振り返りレポート

講座内容（シラバス）

〔美術史〕

羅 翠恂

◆**授業概要** 飛鳥時代から鎌倉時代までの日本美術史、ならびにその背景を理解する上で重要なインド・中国といったアジアの美術史について学びます。各時代を代表するような彫刻や絵画の名品を取りあげ、作品の技法や様式、作品が生み出された時代背景などを学ぶことにより、日本美術史の流れを理解することを目的とします。

◆**学習到達目標** アジアの美術に関する基礎知識も踏まえつつ、日本美術の流れ、日本美術がアジアの他地域の美術と共有する要素、ならびに日本美術の独自性の両方を理解すること。日本の博物館・美術館や古寺で実作品を目にした際に、学んだ内容と作品を照らし合わせながら、自らの理解を深め、見解を持つことができるようになること。

◆授業方法

・オンデマンド

約 60 分の講義動画と、30 分間の小テスト・リアクションペーパー作成・提出の組み合わせで進めます。講義については、取りあげた作品が作られた時代の歴史を概説した上で、スクリーンに作品を映写しながら鑑賞のポイントを解説します。各自、作品を注意深く観察することにより、講義で指摘したポイントを自分の目で確認し理解することが重要です。

・対面授業

講義と小テスト・リアクションペーパー作成・提出の組み合わせで進めます。講義では、取りあげた作品が作られた時代の歴史を概説した上で、スクリーンに作品を映写しながら鑑賞のポイントを解説します。各自、作品を注意深く観察することにより、講義で指摘したポイントを自分の目で確認し理解することが重要です。

◆履修条件 なし

◆**成績評価基準** オンデマンド、対面授業ともに全期間を通じて出席することを前提とします。平常点（50%）と小テスト・リアクションペーパー（50%）により総合的に評価します。特にオンデマンド授業では、小テスト・リアクションペーパーの提出が出席を兼ねています。

◆**教科書** **資料配布（Classroom）** 中国・インドに関しては適宜概説書から関連する内容を抜粋して授業前に配布します。

通材 日本の美術については『美術史 B11400』通信教育教材（教材コード 000310）（『カラー版 日本美術史』辻 惟雄監修（美術出版社）を用います。

◆**参考書** 特になし。授業中に適宜共有します。

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆授業計画〔各 90 分〕

・オンデマンド

授業内容	オンデマンド授業分は、各回につき動画 1 本を配信します。 第 1 回 ガイダンスー授業の目標や概要、評価方法などについて説明します。 また、日本で美術史という分野が学ばれるようになった経緯についてお話しします。 第 2 回 インド古代の美術 第 3 回 中国漢代の美術 第 4 回 中国三国・五胡十六国時代の美術 第 5 回 中国南北朝時代の美術 1
事前学修	第 1 回 シラバスや教科書の学習指導書を読んで全体を把握しておくこと。 第 2 回 事前配付資料を読んでおくこと 第 3 回 事前配付資料を読んでおくこと 第 4 回 事前配付資料を読んでおくこと 第 5 回 事前配付資料を読んでおくこと
事後学修	第 1～5 回 配布プリントとノートにより、授業内容を確認し理解しておくこと

・対面授業

1 日目	授業内容	第 6 回 中国南北朝時代の美術 2 第 7 回 中国唐代の美術 第 8 回 日本の飛鳥・白鳳時代の歴史と美術 第 9 回 日本の天平時代の歴史と美術 1 第 10 回 日本の天平時代の歴史と美術 2
2 日目	授業内容	第 11 回 平安前期の歴史と美術 1ー彫刻編 第 12 回 平安前期の歴史と美術 2ー絵画編 第 13 回 平安後期の歴史と美術 第 14 回 鎌倉時代の歴史と美術 第 15 回 まとめ
	事前学修	〈対面授業 1 日目〉 第 6、7 回 事前配付資料を読んでおくこと 第 8 回 教科書の pp.22～36 を読んでおくこと。 第 9、10 回 教科書の pp.38～52 を読んでおくこと。 〈対面授業 2 日目〉 第 11 回 教科書の pp.54～60 を読んでおくこと。 第 12 回 教科書の pp.60～68 を読んでおくこと。 第 13 回 教科書の pp.70～84 を読んでおくこと。 第 14 回 教科書の pp.86～90 を読んでおくこと。 第 15 回 第 14 回目までの内容を教科書、プリント、ノートなどで復習しておくこと。
	事後学修	第 6～15 回 配布プリントとノートにより、授業内容を確認し理解しておくこと

◆授業概要

この授業では、アメリカでベストセラーとして支持を集めている Chicken Soup for the Soul (3 vols.) の中から英語の購読用に編集された教科書を扱います。英文一文一文を、構造をとらえながら読解・和訳ができるようになることを目標とします。”

◆学修到達目標

以下の事項を学習到達目標とします。

- ①英文の構造を理解できる。
- ②英語で書かれた物語の内容を理解し、味わうことができる。”

◆授業方法

- ・オンデマンド

読解にあたって特に重要な文法事項の確認（品詞、文型、用語の確認）

第1章 The Circus

第4章 Puppies for Sale (文法確認)

上記を動画、資料で解説します。動画、資料を視聴後、Google Classroomで課題に取り組んでください。課題にはフィードバック及び解説がついていますが、不明な点がある場合はメールで質問してください。

- ・対面（参考）

第4章 Puppies for Sale

第5章 Follow Your Dreams

第8章 Love And The Cabbie

第10章 A Simple Gesture

上記を対面で解説します。輪読形式で読み進めます。不明な点がある場合は休憩時間、授業後等に直接質問してください。”

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

Google Classroomの課題、授業への取り組み等：50% 試験：50%”

◆教科書

Jack Canfield, Mark Hansen 編著

『Chicken soup for the Soul チキンスープをどうぞ—心あたたまる17のアメリカ小話集』金星堂, 1550円”

◆参考書

特に指定はありませんが、必ず英和辞書を持参してください。（紙、電子辞書）

◆授業相談先（連絡先）

Classroom上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	
事 前 学 修	
事 後 学 修	

・対面授業（参考）

1		
日 目	授 業 内 容	
2		
日 目	授 業 内 容	
	事 前 学 修	
	事 後 学 修	

講座内容（シラバス）

〔英語F〕

堀 紳介

◆**授業概要** この授業では英文読解（リーディング）を中心に授業を進めるが、中学、高校で既に経験したであろう単元別に区切られた英語学習を学生に求めることはしない。教材は英国社会、文化について書かれた英文エッセイを扱う。授業ではただ英文和訳をして終わるのではなく、英文の内容について深く考え、そこからその内容について自身の考えを創出することを学生に求める。当然、その過程で基本的な英文法の知識や英文読解法が必要となるが、この授業ではそうした知識としてではなく、教養としての英語を学ぶことの重要性をこの授業を通して感じてもらいたい。

◆**学修到達目標** 1. 中学、高校で既習した英文法に関する知識を活かし、比較的平易な英文を読むことができる。
2. 英国社会、文化に関する知識を深め、それについて自身の考えを説明することができる。
3. (英文読解法) ただ速さを意識して英文を読むのではなく、英文の一語一句に注目し、英文の裏に隠れた深遠な意味を読み取ることができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

基本的にはすべての授業運営を Google Classroom 上で行う。課題に対するフィードバックや授業内容に関する質問は Classroom 上で対応することになるが、それでも対応しきれない場合は対面授業時に直接対応する。

・対面授業

基本的には講義形式となるが、随時、学生に音読や和訳を求める。また、必要に応じて授業内容についての理解を深めるために動画を視聴することもある。

◆**履修条件** 令和3年度東京スクーリング4月期第2期「英語Ⅰ～Ⅳ」との積み重ね不可

◆**成績評価基準** オンライン授業で出される課題はすべて評価対象なので必ず提出すること（全体の50%）。対面授業終了後には授業内レポートを課す（50%）。対面授業ではただ身体を教室にのみいるだけでは出席とはならない。授業に臨む上で最低限の姿勢が整ったうえで出席となる。英文和訳などの発表や授業への参加態度などによる加点、減点がある。

◆**教科書** 資料配布 (Classroom) 英国社会、文化に関する英文記事、エッセイ（英語学習者向けの読み物）

◆**参考書** なし

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う。

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	<p>動画1の内容：ガイダンスとして授業の基本的な流れ、構成を説明する。授業では大きく分けて①英国社会、文化②英文読解、英文精読の二つに分かれるが、この2点についてどのように進めていくのかを説明する。</p> <p>動画2の内容：①英国の基本的な情報、食文化、自然風景など ②英文の基本的な読み方、精読、速読、多読について この時点ではまだ英文を深く読み込まず、英文の基本構造（SVOC）と基本的な英文の読み方について例文を用いて説明する。</p> <p>動画3の内容：①英国ファッション、スポーツ ②英文読解 前回授業までに説明したことを基に、英文の精読を行なう。</p> <p>動画4の内容：①ロイヤルファミリー、イギリス英語とアメリカ英語 ②英文読解</p> <p>動画5の内容：①英国体験記 ②英文読解</p> <p>* 英文読解については基本的な授業の進め方は毎回変わらない。毎回おおよそ1段落（1パラグラフ）程度の英文量を読み、動画5終了時点までで英文全体の半分程度を読み終えることを想定する。 * 動画1から5はオンライン授業の総授業数であり、総動画数ではない。動画ファイルの容量の関係で、一回の授業（90分）の授業を2つから3つほどの動画に分けて Classroom 上に配信することになる。授業タイトル、授業回が分かるように動画ファイルに番号を付けて配信するので、順番に視聴すること。</p>
事前学修	シラバスを読み、この授業の目的と進め方などを理解しておくこと。この授業の構成は①英国社会、文化②英文読解の二つに分かれる。特に①の英国社会、文化に関しては自身の英国に関する知識、印象などを整理しておくこと。②の英文読解に関しては、自身の英文の読み方、英語学習経験を振り返っておくと良い。自分がこれまでどのような英文の読み方をしてきたか（返り読み、速読、多読など）、自身の英文の読み方に関する考えをまとめておくこと。
事後学修	①の英国社会、文化について、この授業で扱った様々なテーマの中から1～2つ興味、関心のあるものを選び、それについての自信の考えをまとめておく。②の英文読解については授業内で読んだ箇所を重点的に読解しなおしておく。

・対面授業

1日目	授業内容	まずはオンデマンド授業で学んだことの復習として、英文の基本構造と英語の読解法を確認する。1回90分の授業で5行程度の英文を読んでいくことになる。授業では既習事項の確認として学生に和訳や英文内容についての考えを求めることもある。受講人数により和訳を担当制とするかは未定であるが、英語が苦手な学生は辞書（電子辞書可）で分からない単語の意味などを事前に調べておくことが求められる。
2日目	授業内容	授業の進捗状況によっては追加の英文資料を配布することもある。何を読むのかについては対面授業時の学生との話し合いをもとに決めることになる。授業では既習事項の確認として学生に和訳や英文内容についての考えを求めることもある。受講人数により和訳を担当制とするかは未定であるが、英語が苦手な学生は辞書（電子辞書可）で分からない単語の意味などを事前に調べておくことが求められる。
	事前学修	事前学修は対面一日目の前までに行なうことを想定する。各講義動画をしっかり視聴することはもちろん講義内で読んだ英文を改めて自分でも読み、英文の内容についての理解を深めておくこと。また、英国社会、文化については自身の興味、関心のあるテーマに絞り、インターネットなどで情報を調べ、自身の考えをまとめておくこと。
	事後学修	事後学修は対面2日目を終えた後に行なうことを想定している。①の英国社会、文化について、この授業で扱った様々なテーマの中から1～2つ興味、関心のあるものを選び、それについての自信の考えをまとめておく。②の英文読解については授業内で読んだ箇所を重点的に読解しなおしておく。

講座内容（シラバス）

〔憲法〕

田上 雄大

◆授業概要 日本国憲法とこれにかかわる事項について扱う。

憲法は、国の基本法である。この憲法には日本という国家の基盤や国家が保障する基本的人権などが規定されている。これを現実の憲法問題を交えながら学修していく。これにより、社会人として憲法にかかわるさまざまな問題を考えられるようにし、さらなる知的発見を得られる場とする。

- ### ◆学修到達目標
1. 憲法の内容について論理的かつ多角的に論じることができるようになる。
 2. 国の仕組みやあり方について論じることができるようになる。
 3. 社会におけるさまざまな問題について憲法という観点から論じることができるようになる。
 4. 国ごとの違いについての理解に基づき、それぞれの文化を尊重して論じることができるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画を視聴すること。動画はナンバリングに沿って視聴することが望ましい。動画は同時に配布するレジュメに沿って展開する。動画やレジュメなどで不明な点がある場合は、まずは自らで調べること。そのうえで不明であれば、質問を受け付ける。

・対面授業

オンデマンド授業における動画を必ず視聴しておくこと。レジュメをもとに講義形式で行う。
紙でなくてもよいので条文を参照できるようにしておくこと。

◆履修条件 なし

- ### ◆成績評価基準
- 評価はオンデマンド小レポート（30%）と最終レポート（70%）の合計によって算出される。自主レポート（+α）については随時受け付ける。

- ### ◆教科書
- 資料配布（Classroom） 各回レジュメのデータを配布する。

- ### ◆参考書
- 丸沼「憲法入門」東裕（編）一藝社 2021年

- ### ◆授業相談（連絡先）
- Classroom 上にて行う

◆授業計画〔各 90 分〕

・オンデマンド

授業内容	憲法と国家 憲法を学ぶうえで基礎となる憲法の役割と国家について学修する。 主権と国民 国家体制と主権とのかかわりなどを理解するとともに、主権の持つさまざまな意味について学修する。 基本的人権 基本的人権の歴史を理解するとともに、その種類や限界について学修する。 内心の自由 精神的な営みの役割を理解するとともに、内心の自由について学修する。 身体的自由権 身体的自由権を理解するとともに、その特徴や事例について学修する。 上記のテーマの授業動画を視聴すること。そのうえで、各回のテーマについて自らの見解をまとめておくこと。 上記の見解をまとめたものをレポートとしてデータで提出すること。
事前学修	・シラバスをよく読み、授業の概要や目的などを理解しておくこと。 ・各テーマについてどのようなものであるのか考えておくこと。 ・そのうえで参考書または任意の憲法の教科書における各テーマについて触れられている箇所を読んでおくこと。
事後学修	・学習した内容を整理しておくこと。 ・調べたうえで不明な点は質問すること。

・対面授業

1日目	授業内容	・以下のテーマについて扱う。 天皇と皇室 法の下での平等 参政権 立法、行政 司法 ・時事的な論点について受講生それぞれに考えてもらう。
2日目	授業内容	・以下のテーマについて扱う。 戦争放棄 信教の自由 政教分離 表現の自由 憲法改正 ・時事的な論点について受講生それぞれに考えてもらう。
事前学修		・各テーマについてどのようなものであるのか考えておくこと。 ・そのうえで参考書または任意の憲法の教科書における各テーマについて触れられている箇所を読んでおくこと。
事後学修		・学習した内容を整理しておくこと。 ・講義をふまえてさまざまな論点について調べること。 ・講義で紹介した文献などに目を通していただくこと。 ・後日、締め切りまでに最終レポートをデータで提出すること。

講座内容（シラバス）

〔行政法Ⅰ〕

西原 雄二

- ◆**授業概要** 本授業では、行政法の理論や制度に関する基本的な知識や考え方について、重要な問題を取り上げながら、簡潔に説明する。国民にとって身近で重要な法律の1つである「行政法」に興味・関心を持ってもらえるようにする。
- ◆**学修到達目標** 行政法の全体像と主要な諸問題について学び、この授業を通じて行政法の基本構造、行政組織、行政活動等に関する主要な概念や論点を説明できるようになる。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
授業音声は内容に沿って配信している。まずは、全体を順に聞くこと。その中には、課題の提示（作成・提出）が含まれている場合がある。不明な点についての質問は、随時受け付ける。
 - ・対面授業
講義形式を基本とするが、適宜、質疑応答を行う。本授業の事前学修・事前学修の時間は、各2時間を目安としている。課題等に対するフィードバックは、対面授業内あるいはGoogle Classroom上にて行う。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**成績評価基準** オンデマンドでの課題提出（40%）、対面授業での小テスト（40%）、授業参画・貢献度（20%）により総合的に評価する。
- ◆**教科書** 〔丸沼〕『行政法（第3版）』池村正道編 弘文堂 2017年
- ◆**参考書** 〔丸沼〕授業中に紹介する。
- ◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom上にて行う。
- ◆**授業計画〔各90分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	第1回：ガイダンス——授業のテーマや内容、成績評価の方法等についてガイダンスを行った後、行政法の概要について学修する。 第2回：行政法とは何か——行政法の全体像と主要なテーマについて学修する。 第3回：行政とは何か——行政の意義、特徴、種類について学修する。 第4回：行政法の法源——成文法源の意義と種類について学修する。 第5回：行政法の法源——不文法源の意義と種類について学修する。
事前学修	各テーマについて教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
事後学修	授業内容と教科書をつき合わせて、さらに理解を深めること。

・対面授業

1日目	授業内容	第6回：「法律による行政の原理」の意義・内容・争点、第7回：行政活動の担い手（「行政主体」と「行政機関」の意義と種類、公務員の権利と義務、公物の特色）、第8回：「行政行為」の意義・種類、第9回：「行政立法」の意義と種類、第10回：小テスト①と解説
2日目	授業内容	第11回：「行政指導」の意義と種類、第12回：「行政計画」の意義と種類、第13回：「行政上の義務履行の確保」の意義と種類、第14回：「行政救済」の意義と種類、第15回：小テスト②と解説
	事前学修	各テーマについて教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業内容と教科書をつき合わせて、理解を深め、自分のノートを作成・整理すること。

講座内容（シラバス）

〔西洋政治史〕

渡邊 容一郎

◆**授業概要** 本年度は、教科書第3章～第5章の内容を踏まえ、「現代型政治経済システムの形成と変容」に関する理解を目指し、第一次世界大戦以降の現代（20世紀）西洋政治史に焦点を当てる。また、重要な部分については政治思想の側面からも考察していくが、それは政治史が政治思想とは無縁に成立し得ないからである。過去の政治現象を現在の世界情勢も含めた政治学的な見地から説明できるようになることを心掛けること。

◆**学修到達目標** 過去の政治現象の歴史的背景や今日的意義を考察することにより、それらに関する知識と思考力が身につくようになる。また、現代型政治経済システムの変容が現在の政治課題をもたらしていることに加え、政治と経済、あるいは政治と思想が密接な関係にあることが理解できるようになり、それらを自分の言葉で他者に分かりやすく説明できるようになることが、今回の一連の学修到達目標である。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画を視聴する前に、授業回ごとに配信される「授業ファイル」と教科書該当ページに予め目を通しておき、疑問点や不明な点を各自明確にしておくこと。その後、配信された授業動画を視聴しながら学習し、それでも不明な点が残った場合は、教員に質問してフィードバックを受けること。毎回の課題については、授業ファイルを中心に毎回授業動画の中で明示する。

・対面授業

オンデマンド授業の動画を視聴して、課題にも全て答えていることを前提に、以下のとおり授業を進めていく。授業回毎に配信される「授業ファイル」と教科書該当ページに予め目を通してから、実際の授業に参加する。ライブの講義を受講して疑問点などがあれば教員に直接質問するかメール等で連絡する。なお、毎回の課題については、授業ファイルを中心に毎回講義の中でその詳細を説明する。

◆**履修条件** なし。

◆**成績評価基準** オンデマンド授業と対面授業全てにおいて毎回提示される課題（客観的穴埋め問題4～10題程度）計15回分の解答は評価対象となるので毎回全て提出すること（全体の60%）。また、対面授業最終日（2日目）の授業内で記述・論述形式の「最終試験」を実施する（全体の40%）。

◆**教科書** 丸沼『Next 教科書シリーズ 西洋政治史』杉本稔編 弘文堂 2014

資料配布（Classroom） オンデマンド授業と対面授業全てにおいて毎回（ガイダンス用資料と、計15回分）配布される「授業ファイル」No.0～No.15

◆**参考書** 丸沼『Next 教科書シリーズ 政治学』吉野篤編 第2版 弘文堂 2018

◆**授業相談（連絡先）**：watanabe.yoichiro@nihon-u.ac.jp

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	第1講：第一次世界大戦の勃発（授業の概要・試験実施方法などに関する説明も含む） 第2講：総力戦体制とロシア革命 第3講：第一次世界大戦の終結とヴェルサイユ条約 第4講：ヴェルサイユ体制下のヨーロッパ（ドイツ、イギリス） 第5講：ヴェルサイユ体制下のヨーロッパ（フランス、世界恐慌） ※原則として、教科書記載の内容・順番に基づいています。詳細は授業ファイルNo.1～5を参照。
事前学修	シラバスを用意し、「毎回の授業ファイル」ならびに「授業ファイルに示された教科書該当ページ」を熟読して、動画視聴前に授業内容を毎回自分なりに把握しておくことが求められます。
事後学修	毎回、自分の講義ノートや教科書該当ページを確認・復習した後、それらを参照しながら毎回の課題に解答して提出する。その後、全体フィードバック（配信）された「正解」「解説」を確認し、不正解だった箇所については、その理由を自分なりに検討するようにしてください。

・対面授業

1日目	授業内容	オンデマンド授業の続きとして、教科書の内容に基づき、以下のとおり順番に講義を行っていきます。第6講：世界恐慌とナチスの台頭、第7講：第二次世界大戦、第8講：冷戦の始まりとヨーロッパの分断（ドイツとフランスの変容）、第9講：冷戦の始まりとヨーロッパの分断（福祉国家の発展とヨーロッパ統合の起源）、第10講：模索する西ヨーロッパ諸国（1960年代のドイツとフランス）。 ※1講で90分授業1回分となります（1日につき、1限から5限まで、90分授業×5回）。
2日目	授業内容	引き続き、教科書の内容に基づいて、以下のとおり順番に講義を行っていきます。第11講：模索する西ヨーロッパ諸国（1960年代のイギリスとヨーロッパ統合）、第12講：冷戦の緊張緩和とオイルショック、第13講：新冷戦から冷戦の終結へ、第14講：ポスト冷戦期のヨーロッパ政治、第15講：経済のグローバル化と政治のポピュリズム化、最終試験（60分）。 ※1講で90分授業1回分となります（1日につき、1限から5限まで、90分授業×5回）。なお、第15講（最終講）のみ、最終試験も含まれるので、実質的な授業時間は約20分程度となります。
	事前学修	シラバスを用意し、「毎回の授業ファイル」ならびに「授業ファイルに示された教科書該当ページ」を熟読して、休み時間など授業開始前に毎回授業内容を自分なりに把握しておくことが求められます。基本的にはオンデマンド授業時と同じです。
	事後学修	毎回、自分の講義ノートや教科書該当ページを確認・復習した後、それらを参照しながら次の授業の冒頭10分間で毎回の課題に解答し提出する。その後、全体フィードバックされた「正解」「解説」を確認し、不正解だった箇所については、その理由を自分なりに検討するようにしてください。基本的にはオンデマンド授業時と同じです。

講座内容（シラバス）

〔国文学概論〕

鈴木 雅裕

- ◆**授業概要** 国文学を研究するにあたっては、何が研究対象なのか、対象をどのように研究していくのかを理解することが、重要な基礎となる。そこで本授業では、古典文学を題材として、いくつかの分野・トピックに分けながら、国文学研究を進めていくため必要となる基礎知識や技術がどのようなものかを考え、身に付けていくことを目標とした。
- ◆**学習到達目標**
 - ・国文学が研究対象とする内容について、説明することができる。
 - ・国文学を研究する上で必要となる知識を理解し、作品読解を行うことができる。
 - ・国文学を研究する上で必要となる技術を身に付け、作品研究に活かすことができる。
- ◆**授業方法**
 - ・**オンデマンド**
40～50分程度の動画を各授業回ごとに配信する。受講者はそれを視聴した上で、各自ポイントをまとめておく。また、授業回によっては課題を設定する。
 - ・**対面授業**
講義形式で行う。オンデマンド授業での内容を前提として進めていくため、各自で学修内容をまとめておくこと。質問事項などについては、リアクションペーパーに記入の上、フィードバックを行っていく。
- ◆**履修条件**
- ◆**成績評価基準** 動画の視聴状況・対面授業でのリアクションペーパー等を授業参画度とみなす（20%）。授業内課題を複数回設け、その合計が30%、学期末の課題が50%の配分とする。
- ◆**教科書** 資料配布 (Classroom) 適宜、授業に関わる資料等を配信する。
- ◆**参考書** 資料配布 (Classroom) 適宜、関連資料を紹介する。
- ◆**授業相談（連絡先）**：メールにて受け付ける。suzuki.masahiro53@nihon-u.ac.jp
- ◆**授業計画〔各90分〕**
 - ・**オンデマンド**

授業内容	国文学を研究するためには、研究対象となるものについての基礎的な知識が必要となる。そのため、オンデマンド授業では、各回ごとに「時代と文学」、「写本と本文」、「文体」、「受容史」などのトピックを設けて、それぞれを概論的に説明していく。各授業回・トピックごとに関連する資料等を示すので、動画を視聴した後で各自で資料を読むこと、また、提示する参考資料を基に、調べ学習を行うことを予定している。なお、授業回によっては、課題を設定し、作成した後、提出してもらう。
事前学修	各授業回で扱う内容について、文献・インターネットを駆使して調べてみる。その上で、自分なりに必要だと考える点をノート等にまとめておく。
事後学修	授業で扱った内容について、自身のノートにまとめ直しておく。また、授業回ごとに調べておくべき語句・事項などを提示するので、次回授業までに調べておく。

・対面授業

1日目	授業内容	オンデマンド授業で扱った内容を踏まえつつ、ここでもいくつかのトピックを設定して講義を行う。また、オンラインで概論的に扱った項目に関して、実際の資料を確認しながら、必要となる知識・技術の解説を行っていく。
2日目	授業内容	1日目に引き続き、各トピックの講義、資料の確認を通じての知識・技術の理解を目指していく。また、最終回は、講義全体の総括を行うと同時に、授業内容に即したテストを実施し、理解の定着度の確認を行う。
	事前学修	オンライン授業で扱った内容を復習し、各回で扱ったトピック等の基礎事項をまとめておく。また、あらかじめ、扱う内容を示しておくので、できる限り自分で調べ、講義に望む準備をしておく。
	事後学修	授業で扱った内容を復習しておく。また、関連する資料・文献を適宜紹介するので、自身の興味関心に応じて、調べてみる。また、授業全体の総括として、これまでの内容を見直すとともに、今後の学修に活かせるようにする。

◆授業概要

日本語の音声・音韻・リズム・アクセント・イントネーションについて概説する。また、日本語の音声・音韻と国語教育・日本語教育・日常の言語生活との関わりを確認する。

◆学修到達目標

□ 日本語の音声・アクセント・イントネーション等についての基礎的な知識を習得するとともに、その研究方法を学ぶ。

□ 音声学、日本語音韻論を学ぶことにより、国際音声記号での音声表記ができるようになる。

□ 音声を音韻に抽象化していく方法を知り、各自の音韻体系が明示できるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

□ パワーポイントなどによる講義形式。講義内容は毎回小テストで確認する。

・対面（参考）

□ パワーポイントなどによる講義形式。ただし、授業中受講者に発音などを求める。（発音を控えた方がよい状況が続いた場合は実施方法を変更する）

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

試験（60%）、小テスト（20%）、授業への参画度（20%）

◆教科書

通材 『国語音声学 M31400』 通信教育教材（教材コード 000266）

◆参考書

『現代言語学入門 2 日本語の音声』 窪園晴夫（岩波書店 1999）

『朝倉日本語講座 3 音声・音韻』 上野善道編（朝倉書店 2003）

『新明解アクセント辞典 第2版 CD付き』 秋永一枝編（三省堂 2014）

『日本のことばシリーズ』 平山輝男監修（明治書院） ※都道府県別、刊行中

『日本語アクセント入門』 松森晶子・新田哲夫・木部暢子・中井幸比古編著（三省堂 2012）

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	IPA (国際音声記号)・日本語の母音・日本語の子音といった国語音声学の基本的な概念 について、授業動画を通して学習する。 また、授業内容について小テストで確認し、理解を深めていく。
事 前 学 修	通信教育教材『国語音声学 M31400』を通読し、理解を深める。
事 後 学 修	毎回配布する授業資料を通じた復習を行い、理解を深める。

・対面授業 (参考)

1 日 目	授 業 内 容	オンデマンドで提示した内容に基づき、日本語の異音・リズム (拍・音節・フット)・アクセントについて解説していく。最終時間には小課題を行い、理解度を確認する。
2 日 目	授 業 内 容	オンデマンドで提示した内容、および1日目の授業内容に基づき、日本語のイントネーション・方言の音声について解説していく。最終時間には内容確認テストを行い、理解度を確認する。
事 前 学 修		通信教育教材『国語音声学 M31400』を通読し、理解を深める。
事 後 学 修		毎回配布する授業資料を通じた復習を行い、理解を深める。

講座内容（シラバス）

〔国文学演習B〕

長谷川 正江

◆**授業概要** 井原西鶴の浮世草子の中から町人物を中心に4作品を読解する。西鶴とその文芸を理解する場合、当時興隆してきた商業出版界を背景に、元禄期という“時代性”、大坂という“地域性”、町人という“階層性”に着目することが大切である。授業では西鶴に特徴的な語句・表現・文体に焦点を当て、上方（京阪地方）を中心とする元禄期の町人生活の実態や、町人文化の形成を理解できるように心掛ける。

◆**学修到達目標** 作品の翻刻・注釈を複数調査し比較対照した上で、各自発表の準備ができるようになることを目的とする。各自が発表資料を最低A4サイズ一枚は用意し、教員と受講者全員に配布し説明できるようにする。作品を解釈する上で、各自が研究史を踏まえつつ、興味関心を持って西鶴作品を主体的に読解する（必ずしも作品の主題に拘る必要はない）姿勢を習得できる。

◆授業方法

・オンデマンド

教師が「近世初期における出版文化の概要」「出版取締りと自主規制」「西鶴の生涯」「西鶴町人物の世界」「影印読解の際の基礎知識」と、5つのテーマに沿って動画を配信する。毎回、小テスト・リアクションペーパー等の課題を出すので、各自提出する。

・対面授業

受講者が決定してから、テキストに収録されている短編作品を適宜割り振り、全員に通知するので、各自が準備をして発表に臨むこと。欠席者が出た場合、その時間は影印読解作業に当てる。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 対面授業の配布資料と発表内容の充実度（45%）、オンデマンド授業の課題の達成度・影印読解への取り組み姿勢（20%）、レポート形式の試験の達成度（35%）で評価。変体仮名の読解が出来なくても、それを理由に不合格となることはない。

◆**教科書** 丸沼『影印版頭注付 西鶴の世界Ⅱ』雲英末雄・谷協理史他編 新典社 平成13年

◆**参考書** 丸沼 変体仮名手引き書類（出版社は特に指定しない）

◆**授業相談（連絡先）**：受講者決定後に事前に通知する。発表準備の仕方が分からないという者がいるが、事前に質問や相談を寄せることは差支えない。作品によって参照すべき参考文献が異なる場合があり得るので、個々に指示する。

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	①近世初期における出版文化の概要／三都（京・大坂・江戸）の地域的特徴 ②出版取締りに関する法令と作者の自主規制意識／上方版と江戸版・重版・類版 ③西鶴の生涯／談林俳諧師としての出発と浮世草子の創始 ④西鶴町人物の世界／町人の経済生活の明と暗 ⑤影印読解の際の基礎知識／主要な「字母」をたどる 毎回、授業内容に応じた課題を提出してもらう。
事前学修	教科書の「解説Ⅱ」・各作品「解題」・各作品〈挿絵解説〉・〈西鶴時代の貨幣〉・「西鶴略年譜」を読んでおくこと。特に「解説」と「略年譜」を併読して、西鶴の生涯と主要作品について理解するようにしておくこと。
事後学修	毎回配布する資料を読み返しておくこと。特に大坂における近世初期の出版事情や、談林俳諧の展開について俳書の刊行を踏まえて理解しておくこと。

・対面授業

1日目	授業内容	・オンデマンド授業の課題の講評 ・『日本永代蔵』1-1「初午は乗てくる仕合」演習 ・同1-2「二代目に破る扇の風」演習 ・同1-4「昔は掛算今は当座銀」演習 ・同4-4「茶の十徳も一度に皆」演習 ・『世間胸算用』1-2「長刀はむかしの鞘」演習 ・同1-4「鼠の文づかひ」演習 ・リアクションペーパーの提出
2日目	授業内容	・昨日のリアクションペーパーの講評 ・『世間胸算用』2-4「門柱も皆かりの世」演習 ・同3-3「小判は寝姿の夢」演習 ・『西鶴置土産』2-2「人には棒振むし同前におもはれ」演習 ・『万の文反古』1-3「百三十里の所を捨刃の無心」演習 ・同1-4「来る十九日の栄耀献立」演習 ・今までの総復習と試験に向けての注意 ・レポート形式の試験／変体仮名・崩し字翻刻試験〈同時に実施／変体仮名の手引書持ち込み可〉 ・翻刻の正解を配布
事前学修		・「解題」に記される「大本（おおほん）」「半紙本」「題籤（だいせん）」「目録題」「内題」「柱刻題」「刊記」「底本」「板（版）木」「版下」といった基本的古典籍書誌学用語を調べておくこと。国文学研究資料館のサイトを利用するのもよい。 ・自分の担当した章を中心にレポートを提出するという認識を持ち、そのつもりで準備しておくこと。
事後学修		・自分が間違えやすい「字母」について理解しておくこと。 ・最後に配布した翻刻の正解を読み、特に「字母」の知識の確認をしておくこと。

講座内容（シラバス）

〔イギリス文学史Ⅰ〕

常名 朗央

◆**授業概要** 前半はオンライン開催で Zoom を用い、後半は対面授業を行います。毎回担当者が、各時代を代表する一作品選び、作品解説とイギリス文学との関連、さらに作品にある政治的、宗教的背景を同時に学んでいきます。各講義の終わりに次回取り扱う作品の説明をします。指定したテキスト（作品）の内容を把握しておいてください。興味を持った作品は是非翻訳本で読むようにしてください。

◆**学修到達目標** 古代ギリシャ文学、シェイクスピア、オースティンなどの作品（翻訳）を抜粋して読むことで、19世紀までのイギリス文学史を欧州文学史的視点から時系列で理解できるようになる。さらに、各時代の主要作品を原文と日本語訳数点を対訳、考察することによって、各文学作品を時代背景や小説技法の観点から解釈、評価が出来るようになる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

指定した作品解説と影響を与えたイギリス文学作品との比較を行い、同時に時代背景との関連を検討していきます。前半のオンライン講義ではギリシャ・ローマ神話とアーサー王伝説について詳細に解説します。

・対面授業

小説や哲学書がイギリスの近代化に伴い誕生しました。対面講義では17世紀以降のイギリス文学史を作品ごとに着目して解説します。現代も読まれる有名な作品を扱いたいと思います。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 試験とレポート提出により総合的に判断します。

◆**教科書** [資料配布 \(Classroom\)](#) 対面講義では当日プリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『イギリス名詩選』平井正穂編 岩波文庫 1990

丸沼『イギリス文学史』川崎寿彦著 成美堂 1986

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	アイスキュロスとシェリーの描く「プロメテウス」神話。 アプレイウス『黄金のロバ』と花を飾る文化。 アーサー王伝説と『ガウェイン卿と緑の騎士』。 ルネサンスとその後の影響について。 ダンテ・ペトラルカ・ボッカチオとイギリス詩人との関わり チョーサー『カンタベリー物語』と『ファブリオ』に見る民衆文化
事前学修	イギリス文学は、ギリシャ・ローマ神話や多くの英雄伝説等の影響を受けて発展しました。オンライン講義では、イギリス文学の誕生に寄与した神話や英雄譚から数作品を扱い解説をします。関心のある神話の物語をまとめておきましょう。
事後学修	講義で解説した作品から気に入ったものを選んでいただき、是非読むようにしてください。どの作品でも入手は容易です。

・対面授業

1日目	授業内容	近世になってイギリス文学史にも変化が生じるようになりました。韻文（詩）のみの文章形態から散文で文章が書かれ、芝居の発展や、英国ソネット、哲学書まで様々なジャンルが生まれ進化していきました。1日目の対面講義では、トマス・モアの『ユートピア』、シェイクスピアから2作品（『お気に召すまま』、『シンペリン』）、ジョン・ミルトンのソネット、ホップス『リヴァイアサン』を扱います。
2日目	授業内容	18世紀に入り、エンターテインメント性を帯びた小説が数多く生まれました。経済状況と社会背景を織り交ぜながら作品解説を行います。2日目の対面講義では、デフォー『ロビンソン・クルーソー』、オースティン『分別と多感』、ルイス・キャロル『鏡の国のアリス』、ディケンズ『骨董屋』を取り扱います。
	事前学修	イギリス文学から1～2作品を選んでレポートを書いていただきますので、興味のある作品を読んでおくとういでしょう。特に思いつかない場合は、シェイクスピアでしたら歴史劇（『ヘンリー6世』、『リチャード3世』等）やロマンス劇（『冬物語』、『テンペスト』等）、小説ならオースティンやジョージ・エリオットなどの女性作家作品、19世紀以降でしたらディケンズやワイルドの小品でもいいでしょう。何か読んでもらえればと思います。
	事後学修	レポート用に、取り扱う作品を決めて、作品の人物相関図を作り内容を整理して、加えて時代背景や社会状況等、必要な情報を集めてまとめてください。講義終了後にも質問を受け付けていますので、講義を通じて自分がどの作品に興味がありレポートのテーマにするかを決めてください。勿論、講義で扱った作品は出来るだけ読んでいただければと思います。

講座内容（シラバス）

〔西洋古典〕

上滝 圭介

◆**授業概要** John Milton (1608-74) の *Paradise Lost* (1667) を概観し、部分的に講読していきます。Dante の *the Divine Comedy* などと並び称される、世界最高峰の epic について学んでみませんか。その続編にあたる *Paradise Regained* / *Samson Agonistes* (1671) および英語聖書の関連箇所などもあつかいます。

◆**学修到達目標** 1. Epic の構造や調子をつかんで音読、読解できる。
2. *Paradise Lost* における Adam と Eve の物語について the Old Testament におけるそれと比較しながら説明、考察できる。
3. *Paradise Lost* と *Paradise Regained* において描かれる Jesus Christ と Satan の戦いについて the New Testament におけるそれと比較しながら説明、考察できる。
4. Milton の境遇や当時のイングランドの状況をふまえて、作品世界を説明、考察できる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

ビデオ教材を試聴しながら手際よくメモをとり、学んだことや気づいたこと、疑問や質問などをノートにまとめましょう。各ビデオ教材の学修項目をふまえて、毎回ごとに課されるレポート課題やリサーチ課題に挑んでください。オンデマンド学修が対面授業のための事前学修となっている方式をふまえて、学習到達目標にむかって学修していけるように、きちんと地歩を踏み固めておきましょう。

・対面授業

みなさんの事前学修の成果を確認するかたちで進めます。発表の順番がたくさん回ってきますから、しっかりと予習すること。音読や発表課題はもちろん、ペアワークやグループワーク、スキットやディスカッションなどのアクティビティにも積極的に取り組んでください。事後学修では、授業で芽生えた各自の興味や疑問を掘りさげていくことで、聖書の思想やキリスト教の成りたちに対する理解がさらに深まることでしょう。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 出席課題（15%）、アクティビティ（15%）、提出課題（20%）、試験（50%）を総合的に評価します。

◆**教科書** 丸沼

資料配布 (Classroom) 配布資料

◆**参考書** 丸沼 ミルトン『楽園の喪失』『楽園の回復 闘技士サムソン』新井明訳：大修館書店

丸沼『聖書：新共同訳』日本聖書協会〔種類・版型などは問いません〕

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	Milton の詩作品および散文作品 <i>Paradise Lost</i> および <i>Paradise Regained</i> の作品世界と構造 聖書と翻訳 Milton の生涯とキリスト教思想
事前学修	指示にしたがって予習を行うこと、とくに作品特有の難語や人名、地名など固有名詞の発音を調べ音読してみること、その人物たち、ギリシャ・ローマの神々、天使や悪魔たち、土地や星々についてリサーチすること
事後学修	授業の学修をふまえて、詩人の世界観や聖書の思想について理解を深めていくこと

・対面授業

1日目	授業内容	・ Milton の境遇とその時代、および epic の形式について ・ The Old Testament における Adam と Eve の物語を読む ・ <i>Paradise Lost</i> における Adam と Eve の物語を読む
2日目	授業内容	・ The New Testament における Jesus Christ と Satan の戦いを読む ・ <i>Paradise Lost</i> と <i>Paradise Regained</i> における Jesus Christ と Satan の戦いを読む ・ 試験とそのふりかえり
	事前学修	指示にしたがって予習を行うこと、とくに作品特有の難語や人名、地名など固有名詞の発音を調べ音読してみること、その人物たち、ギリシャ・ローマの神々、天使や悪魔たち、土地や星々についてリサーチすること
	事後学修	・ 授業の学修をふまえて、詩人の世界観や聖書の思想について理解を深めていくこと ・ これまでの学修とむきあい、そのふりかえりをおこなうこと

講座内容（シラバス）

〔英語学演習C〕

黒滝 真理子

- ◆**授業概要** 煩雑で混沌としたように捉えられる言語現象を理解するには、何らかの理論的枠組みが必要である。本講義では、物事の捉え方とことばの仕組みは密接に関連しているとみなす認知言語学（Cognitive Linguistics）の枠組みを通して、様々な日英語の言語現象について考えていく。その認知言語理論を基に文化と言語の関係を考察する力を養い、ことばに関する様々な現象への興味関心や洞察力を深めていく。
- ◆**学修到達目標** 文法と意味のメカニズムを明らかにするために、いかにして認知的作用が言語現象に反映されているかを考えながら、認知言語学の基本概念を体系的に身につける。その認知言語学が日英語の文法研究にどのような洞察を与えてくれるかを理解した上で、言語の本質と働きに関わる考察力を養うことを到達目標とする。さらに、専門的な文献を批判的に読むことで書評的能力を高め、論文作成への応用の仕方が体得できるようになる。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
事前学習で会得した先行知識をもとに、補足プリント教材も併用し、演習形式で授業を展開していく。各授業の後半で、その日の主な学びに対し、理解度を確認するために授業内課題の提出を求める。
 - ・対面授業
- ◆**履修条件** なし
- ◆**成績評価基準** 授業参画度（50%）、授業内課題（50%）を総合的に評価する。
- ◆**教科書** 丸沼『事態の捉え方と述語のかたち—英語から見た日本語』黒滝真理子著 開拓社 2019
- ◆**参考書** 丸沼『認知言語学の基礎』河上誓作著 研究社 1996
丸沼『新編 認知言語学キーワード事典』辻幸夫編 研究社 2013
- ◆**授業相談（連絡先）**：授業の際にわからない個所などがあった場合は隠せず授業前後に質問し、確実に身につけるようにすること。詳細は初回授業時に伝える。

◆授業計画〔各 90 分〕

- ・オンデマンド

授業内容	言語理論の歴史における認知言語学の位置付けを概観し、何故認知言語学の重要性が高まってきたかを理解するために背景を捉える。カテゴリー化・プロトタイプ・スキーマを学習する。意味拡張の仕組みと多義性を学習する。日英語のモダリティの文化化を考察する。認知能力としてのメタファーとメトニミーを学習し、具体例を考察する。メタファーを応用した例文を解釈し、メタファーへの理解を深める。 日英語対照の観点から「ことばの意味変化」を考察する。「文化化と主体化」について学習する。日英語の「事態把握」の相違を把握する。「日本語らしさ」と「英語らしさ」について分析し、整理する。認知言語学からみた「英語らしさ」「日本語らしさ」を考察する。対照研究の面白さと意義を考える。「認知言語学と文化学」を説き、「認知→言語→学」の流れをまとめる。本授業の総括及び理解度の確認をする。
事前学修	前回の授業内容を再読し、理解できた点とできなかった点を確認する。前もって教科書の該当部分と配布資料に目を通しておく。
事後学修	学習項目を見直し、教科書の該当部分と配布資料を読みながら授業内容を確認・整理・理解し、疑問点があれば書き上げておく。また可能な場合は未習事項も読んでおく。

- ・対面授業

1日目	授業内容	
2日目	授業内容	
	事前学修	
	事後学修	

講座内容（シラバス）

〔哲学基礎講読〕

中澤 瞳

- ◆**授業概要** 本授業は、文献の読み方、要約の方法を理解しながら、哲学者の文献を読む授業である。また、文献読解をふまえて自分の考えをまとめ、提示することも行う授業である。課題文献は、シモーヌ・ド・ボーヴォワール『第二の性』で、主に第2巻第1部第1章を講読する。
なお、分量のある文献を短期間で読むため、全体像が崩れない限りで、適宜割愛して読んでいく。省いた箇所は、それぞれ事後学習において目を通して欲しい。授業の進捗具合によっては、授業回と講読する箇所がシラバスとはずれる場合がある。その場合は、授業において訂正し、事前事後学習については改めて指示する。
- ◆**学修到達目標** 本授業の目標は、文献の精読ができるようになること、要約ができるようになることである。また文献の内容を理解し、文献が提起する問題について自分でも考えることができるようになることも目標である。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
授業動画を視聴し、課題のある回では課題を提出する。
 - ・対面授業
基本的に、次のような手順で授業を進めていく。まず、1パラグラフごとに読んでいく。次に、パラグラフの分析を行う。その次に、それぞれのパラグラフの分析を踏まえながら説明を加える。内容の要約をみなさんが作成し、文献の理解を深め、文献が提起する問題についてみなさん一人一人でも考えてもらう。
- ◆**履修条件** 令和2年度夏期スクーリング『哲学基礎講読』とは積み重ね不可。
- ◆**成績評価基準** 課題提出（50%）、授業内レポート提出（50%）により総合的に評価する。なお、毎回出席することを前提として評価する。
- ◆**教科書** **資料配布（Classroom）** 資料は配布するがもって文献に目を通したい人は、ボーヴォワール（『第二の性』を原文で読みなおす会訳）『決定版 第二の性 II 体験（上）』新潮社、2001年の第1部第1章に目を通すこと。ただし、この本は現在絶版のため入手は難しいので、図書館などで探して欲しい。なお『第二の性』の邦訳書は他にもあるが、訳語や章立てなどに違いがあるので、なるべく記載の文献に目を通すこと。詳細は授業で説明する。
- ◆**参考書**
- ◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に提示
- ◆**授業計画〔各90分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	動画1の内容：ガイダンスとして授業方法、課題についてなど、これから授業を受けるにあたって必要な事柄についての説明を行う。また、課題文献の著者であるシモーヌ・ド・ボーヴォワールの紹介を行う。 動画2の内容：ボーヴォワールの思想の概要を説明し、加えて課題文献である『第二の性』の哲学的な位置づけも説明する。また『第二の性 II』に先立つ巻である『第二の性 I』の構成と概要を、『第二の性 II』の理解のために説明する。 動画3の内容：文献の精読の方法と要約の仕方について説明を行う。要約については受講生それぞれにも実際に行ってもらおう。 動画4の内容：『第二の性 II 体験（上）』序文と第1部第1章のpp.12-16を読み、まとめと解説を行う。 動画5の内容：『第二の性 II 体験（上）』第1部第1章のpp.16-29を読み、まとめと解説を行う。 *動画は大きく5つに分かれている。ただし動画を見やすくするため、ひとつの動画を20分から30分程度に編集しているので、動画の本数全体は5つではない。動画それぞれには説明や番号をつけて掲示するので、順番に視聴すること。
事前学修	*事前学修は、授業動画それぞれの内容に対応している。 以下の事前学修は、調べることが中心である。 ・シラバスをよく読み、授業の概要や目的などを理解しておく。 ・これまで、自分がどのような本をどのようなやり方で読んできたか、考えをまとめておく。これは文献の精読や要約の仕方について説明がなされる動画を視聴した際に、普段の自分の読み方と比較できるようにするための準備である。 ・シモーヌ・ド・ボーヴォワールという人物について検索し、その情報を見ておく。 ・要約とはどのような作業が調べておく。時間があれば、手近な本を使って要約を自分で試してみる。 ・『第二の性』という書物の概要について調べる。 以下の事前学修は課題テキストを読むことが中心である。 ・『第二の性 II 体験（上）』の目次に目を通す。 ・『第二の性 II 体験（上）』序文と第1部第1章のpp.12-29までを読んでおく。
事後学修	・ボーヴォワールについて調べ、興味を持った点をまとめておく。 ・文献の精読の仕方、要約の仕方について理解する。 ・不明な点があったら、何がわからないか明確にしたうえでメールで質問する。メールの送り先は初回の動画内で示す。

・対面授業

1日目	授業内容	・『第二の性 II 体験（上）』第1部第1章 pp.29-91を読み、まとめ、解説する（1回90分程度で、15頁程度読み進める予定だが、授業の進度に合わせて、場合によっては変更する）。 ・文献が提起する問題について受講生一人一人に考えてもらう。 ・授業内レポートを作成する。
2日目	授業内容	・『第二の性 II 体験（上）』第1部第1章 pp.29-91を読み、まとめ、解説する（1回90分程度で、15頁程度読み進める予定だが、授業の進度に合わせて、場合によっては変更する）。 ・文献が提起する問題について受講生一人一人に考えてもらう。 ・授業内レポートを作成する。
	事前学修	対面1日目の開始前までに、『第二の性 II 体験（上）』第1部第1章 pp.29-91を読んでおくこと。また、オンデマンド授業で扱った、文献の精読の方法と要約の仕方についての説明を踏まえ、要約の仕方を振り返っておく。
	事後学修	対面授業1日目後は、ノートを確認し授業内容を振り返ること。対面授業を2日間終了後は、授業で取り上げた箇所を改めてもう一度読み、要約したものを確認する。また、授業の続きとして、『第二の性 II 体験（上）』第2部第5章、『第二の性 II 体験（下）』を読んでみるものよい。関心があれば、『第二の性』についての研究論文や、性差を扱った別の著者の文献を読むとさらに理解が深まる。文献については授業内で紹介する。

講座内容（シラバス）

〔哲学特殊講義〕

小山 英一

◆**授業概要** 石田英敬（いしだひでたか）著『現代思想の教科書 世界を考える知の地平 15 章』を使って、現代思想がどのように展開しているかを追っていく。哲学を志すものは、過去（の哲学）だけでなく、現在や未来にも注目しているはずである。哲学の過去や現在だけでなく未来をのぞいてみよう。

◆**学修到達目標** 現代の哲学、現代の思想がわかるようになる。また、それをテーマに他者と対話できるようになる。また、今後どのような展開するか、どのような思想が生まれるかがわかるようになる。そして、自分の人生を充実したものし、ネットなどの曖昧な情報に左右されなくなる。

具体的には、言語の思想、記号の思想、無意識の思想、欲望と主体の思想、権力と身体 of 思想、情報とメディアについて多少のことがわかるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

オンデマンド授業は、Google Classroom を使い、マイクロソフト社の PowerPoint（+ 音声、動画）を使う予定である。そのため是非 PowerPoint を用意していただきたい。

授業内容確認のために各項目(1)~(15)で小テストを課す予定。

テキストを（紙媒体で）購入すること。持っていない者は講義も試験（予定）も受けることはできない。

オンデマンド授業で出来なかったものは対面授業でおこなう。

・対面授業

テキストをゆっくり読みながら解説を施していく。

下記のテキストを中心に講義形式でおこなう。

テキストを（紙媒体で）購入すること。持っていない者は講義も試験（予定）も受けることはできない。

講義の際には、各人に読んでもらう場合がある。

◆履修条件

◆**成績評価基準** オンデマンド授業 50%、対面授業 50%、で 100%。

対面授業では、最後に試験をおこなう予定。

各比率は授業進度によって多少変化する場合がある。

総合的に評価して 100%にする。

◆**教科書** 『現代思想の教科書 世界を考える知の地平 15 章』 石田 英敬 筑摩書房（ちくま学芸文庫）2020

◆参考書

◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom 上にておこなう

◆授業計画〔各 90 分〕

・オンデマンド

授業内容	<p>注：（ ）は回数です。「- 1」は授業内容です。「- 2」は事前学修です。「- 3」は事後学修です。</p> <p>(1)- 1: 039 頁～ 043 頁 3 行目、「言語の世紀」の問いについて、記号とコミュニケーションの理論について、ポスト・ゲーテンベルクの知について</p> <p>(2)- 1: 043 頁 4 行目～ 047 頁、ことばの回路について</p> <p>(3)- 1: 048 頁～ 053 頁後ろから 7 行目、記号学の提唱について、「記号」の概念について、記号のシステムについて</p> <p>(4)- 1: 053 頁後ろから 6 行目～ 056 頁 3 行目、パラディグム（範例）／サンタグム（連辞）について、ソーシャル革命と 20 世紀の知について</p> <p>(5)- 1: 056 頁 4 行目～ 059 頁、20 世紀の記号生活について、ソーシャルの位置について</p> <p>(6)- 1: 060 頁～ 064 頁 6 行目、記号とイメージの時代について、パースの記号論について</p> <p>(7)- 1: 064 頁 7 行目～ 066 頁後ろから 6 行目、セミオーシス（記号過程）について、記号代替説について</p> <p>(8)- 1: 066 頁 5 行目～ 071 頁、記号解釈と記号分類について、記号解釈の三項目図式について</p> <p>(9)- 1: 072 頁～ 076 頁 8 行目、パースの「記号分類」について、アイコン（類像記号）について、インデックス（指標記号）について</p> <p>(10)- 1: 076 頁 9 行目～ 079 頁、シンボル（象徴記号）について</p> <p>(11)- 1: 080 頁～ 082 頁、人工記号とコンピュータについて、記号と生命について</p> <p>(12)- 1: 086 頁～ 092 頁 3 行目、無意識の問いについて、「無意識」の発見について、1900 年『夢判断』について、主体モデルと「局所論」について</p> <p>(13)- 1: 092 頁 4 行目～ 098 頁 4 行目、フロイトの発見の射程について、理性と非-理性：「分裂した主体」と「知」について、「分裂した主体」について</p> <p>(14)- 1: 098 頁 5 行目～ 102 頁 2 行目、理性の「無意識」を聴き取る、フーコー『狂気の歴史』について</p> <p>(15)- 1: 102 頁 3 行目～ 105 頁、イデオロギーと主体について、主体とは何か（自我の明証性への懐疑）</p>
事前学修	<p>事前学修として、授業内容に合わせて、以下の箇所をまとめながら読んでおくこと。</p> <p>(1)- 2: 039 頁～ 043 頁 3 行目</p> <p>(2)- 2: 043 頁 4 行目～ 047 頁</p> <p>(3)- 2: 048 頁～ 053 頁後ろから 7 行目</p> <p>(4)- 2: 053 頁後ろから 6 行目～ 056 頁 3 行目</p> <p>(5)- 2: 056 頁 4 行目～ 059 頁</p> <p>(6)- 2: 060 頁～ 064 頁 6 行目</p> <p>(7)- 2: 064 頁 7 行目～ 066 頁</p> <p>(8)- 2: 066 頁 5 行目～ 071 頁</p> <p>(9)- 2: 072 頁～ 076 頁 8 行目</p> <p>(10)- 2: 076 頁 9 行目～ 079 頁</p> <p>(11)- 2: 080 頁～ 082 頁</p> <p>(12)- 2: 086 頁～ 092 頁 3 行目</p> <p>(13)- 2: 092 頁 4 行目～ 098 頁 4 行目</p> <p>(14)- 2: 098 頁 5 行目～ 102 頁 2 行目</p> <p>(15)- 2: 102 頁 3 行目～ 105 頁</p>

事後学修	<p>事後学修として、授業内容に合わせて、内容を整理しておくこと。自分の意見、考えをまとめておくこと。</p> <p>(1)－3：039頁～043頁3行目 (2)－3：043頁4行目～047頁 (3)－3：048頁～053頁後ろから7行目 (4)－3：053頁後ろから6行目～056頁3行目 (5)－3：056頁4行目～059頁 (6)－3：060頁～064頁6行目 (7)－3：064頁7行目～066頁後ろから6行目 (8)－3：066頁5行目～071頁 (9)－3：072頁～076頁8行目 (10)－3：076頁9行目～079頁 (11)－3：080頁～082頁 (12)－3：086頁～092頁3行目 (13)－3：092頁4行目～098頁4行目 (14)－3：098頁5行目～102頁2行目 (15)－3：102頁3行目～105頁</p>
------	--

・対面授業

1日目	授業内容	<p>オンデマンド授業で出来なかったものは、この対面授業でおこなう。</p> <p>(1)－1：106頁～108頁、技術的無意識について (2)－1：109頁～112頁1行目、文化の意味について、構造主義とは何か、世界化する知の運動について (3)－1：112頁2行目～117頁6行目、構造主義の文化理解とは、文化の概念とは、言語の問題について、象徴交換と社会について (4)－1：117頁7行目～121頁7行目、神話論理について、システムと構造について (5)－1：121頁8行目～124頁後ろから4行目、構造主義と現代社会について、今日の神話について (6)－1：124頁後ろから3行目～129頁、意味のプリコラージュについて、現代のコミュニケーションと神話作用について (7)－1：130頁～135頁後ろから3行目、「欲望とは何か」について、欲望と意味について、ほしいものがほしいわ、欲望とモノについて (8)－1：135頁後ろから2行目～138頁後ろから4行目、欲望の論理について、欲望のシニフィアンについて (9)－1：138頁後ろから3行目～140頁、シニフィアンは、主体を他のシニフィアンに対して代表する (10)－1：141頁～144頁後ろから5行目、欲望の真理：メタファーとメトニミーについて、欲望と他者について、他者の欲望について (11)－1：144頁後ろから4行目～147頁、鏡像段階について、欲望の光景について (12)－1：148頁～153頁後ろから8行目、現代世界と欲望について、「権力と身体」について、権力とディシプリンについて、フーコー『監視と処罰』について、「権力」の問題について (13)－1：153頁後ろから7行目～158頁1行目、「ディシプリン」と「身体のテクノロジー」について、規律型社会について、知と権力について (14)－1：158頁2行目～161頁7行目、パノプティコン（一望監視装置）について、道徳的秩序について (15)－1：161頁8行目～164頁後ろから5行目、近代日本の「規律型社会」について、学校と「規律」について、「規律」の社会設備について</p>
2日目	授業内容	<p>(16)－1：164頁後ろから4行目～169頁、コントロール型社会について、規律型社会の危機について、（コントロール型社会について） (17)－1：170頁～173頁、「社会とは何か」について、階級と象徴支配について、社会学者の仕事について (18)－1：174頁～179頁、文化資本と階級について、社会場の論理：「ハビトゥス」と「場」について、「ハビトゥス」について (19)－1：180頁～184頁後ろから6行目、「場」について、象徴闘争と創造戦略について (20)－1：184頁後ろから5行目～190頁、「学校」と「身体化された歴史」について、「ディシプリン」と「ハビトゥス」について、大衆化社会と「社会的判断力」について (21)－1：191頁～194頁5行目、情報とメディアの思想について、メディアとは何か、「メディア」という言葉について (22)－1：194頁6行目～198頁6行目、メディアの定義について、記号媒質の成立について、「メッセージ」の定義とは (23)－1：198頁7行目～202頁5行目、「情報」の定義とは、メディア技術と人間について、「技術」の問題について (24)－1：202頁6行目～206頁9行目、マクルーハン「身体拡張説」について、「感覚比率」論について、脳の延長としてのメディアについて (25)－1：206頁10行目～212頁、メディアの文明圏について、『ゲーテンベルクの銀河系』について、メディアはメッセージ、グローバル・ヴィレッジについて (26)－1：213頁～218頁後ろから5行目、文化産業と想像力について、「イマジン」を手掛かりに、Imagine（想像する） (27)－1：218頁4行目～222頁7行目、「想像」と「未来」について、「文化産業」について、想像力の問題について、「意識」の存立構造について (28)－1：222頁8行目～226頁1行目、時間意識と記憶について、イメージについて、イメージの外在化について (29)－1：226頁2行目～232頁4行目、イメージの時代と文化産業について、メディア革命と「想像力」について、想像力が産業になった社会について (30)－1：232頁5行目～頁、「象徴的貧困」の進行について、WAR IS OVER IF YOU WANT IT</p>

事前学修	<p>事前学修として、授業内容に合わせて、以下の箇所</p> <p>(1)－2：106頁～108頁 (2)－2：109頁～112頁1行目 (3)－2：112頁2行目～117頁6行目 (4)－2：117頁7行目～121頁7行目 (5)－2：121頁8行目～124頁後ろから4行目 (6)－2：124頁後ろから3行目～129頁 (7)－2：130頁～135頁後ろから3行目 (8)－2：135頁後ろから2行目～138頁後ろから4行目 (9)－2：138頁後ろから3行目～140頁 (10)－2：141頁～144頁後ろから5行目 (11)－2：144頁後ろから4行目～147頁 (12)－2：148頁～153頁後ろから8行目 (13)－2：153頁後ろから7行目～158頁1行目 (14)－2：158頁2行目～161頁7行目 (15)－2：161頁8行目～164頁後ろから5行目 (16)－2：164頁後ろから4行目～169 (17)－2：170頁～173 (18)－2：174頁～179 (19)－2：180頁～184頁後ろから6行 (21)－2：191頁～194頁5行 (22)－2：194頁6行目～198頁6行 (23)－2：198頁7行目～202頁5行 (24)－2：202頁6行目～206頁9行 (25)－2：206頁10行目～212 (26)－2：213頁～218頁後ろから5行 (27)－2：218頁4行目～222頁7行 (28)－2：222頁8行目～226頁1行 (29)－2：226頁2行目～232頁4行 (30)－2：232頁5行目～</p>
事後学修	<p>事後学修として、授業内容に合わせて、内容を整理しておくこと。自分の意見、考えをまとめておくこと。</p> <p>(1)－3：106頁～108頁 (2)－3：109頁～112頁1行目 (3)－3：112頁2行目～117頁6行目 (4)－3：117頁7行目～121頁7行目 (5)－3：121頁8行目～124頁後ろから4行目 (6)－3：124頁後ろから3行目～129頁 (7)－3：130頁～135頁後ろから3行目 (8)－3：135頁後ろから2行目～138頁後ろから4行目 (9)－3：138頁後ろから3行目～140頁 (10)－3：141頁～144頁後ろから5行目 (11)－3：144頁後ろから4行目～147頁 (12)－3：148頁～153頁後ろから8行目 (13)－3：153頁後ろから7行目～158頁1行目 (14)－3：158頁2行目～161頁7行目 (15)－3：161頁8行目～164頁後ろから5行目 (16)－3：164頁後ろから4行目～169 (17)－3：170頁～173 (18)－3：174頁～179 (19)－3：180頁～184頁後ろから6行 (21)－3：191頁～194頁5行 (22)－3：194頁6行目～198頁6行 (23)－3：198頁7行目～202頁5行 (24)－3：202頁6行目～206頁9行 (25)－3：206頁10行目～212 (26)－3：213頁～218頁後ろから5行 (27)－3：218頁4行目～222頁7行 (28)－3：222頁8行目～226頁1行 (29)－3：226頁2行目～232頁4行 (30)－3：232頁5行目～</p>

講座内容（シラバス）

〔西洋史入門〕

後藤 秀和

- ◆**授業概要** 将来、西洋史分野で卒業論文を作成しようと考えたとき、その第一歩をどのように踏み出せば良いか。西洋史各分野の個別知識ではなく、研究者としてとるべき作法、すなわち「調べ」「集め」「読み」「問題を立てる」ための手法について基礎から実習形式を交えて学ぶのが本講座である。
- ◆**学修到達目標** 西洋史分野において卒業論文を作成することを目的とする学生が、自ら選んだ地域、テーマおよび時代について、問題を設定し、先行研究を収集し、史料を調査し、論じられるようになることを、すなわち大学生として自ら研究を進めることができるように、基礎的方法やキー概念を身につけることを目標とする。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
「興味を持っていること」を具体的に論じるための準備作業として何が必要なのか、教員の専門領域における実例などを交えながら、順を追って解説する。受講者には各受講内容を文章形式で整理し、その理解度を提示していただくことになる。
 - ・対面授業
図書館内の参考図書を用いた調査、「文献カード作成」実習、個人テーマ報告と参加者間の質疑応答など能動的調査を体験していただく。ただし状況により実施が難しくなった場合は一部内容を変更することがある。
- ◆**履修条件** 積み重ね履修を禁じるものではないが、入門講座という性質上、同一教員による当授業を複数回履修することによる教育効果は高くない。よって既修者に対しては、報告・討論やグループワークにおいて主導的な役割を果たしているか否かを成績評価の重要な基準のひとつとする。
- ◆**成績評価基準** 動画毎に提出していただくペーパー、個人報告用に作成する要旨および参考文献リストの内容および形式、調査実習時の積極性を総合して評価する。
- ◆**教科書** なし。必要に応じて PDF 形式で資料を配付する。
- ◆**参考書** 『論点・西洋史学』金澤周作監修、藤井崇／青山秀紀／古谷大輔／坂本優一郎／小野沢透編著、ミネルヴァ書房、2020年
『西洋古代史研究入門』伊藤貞夫、本村凌二編、東京大学出版会、1997年
『西洋中世史研究入門（増補改訂）』佐藤彰一、池上俊一、高山博編、名古屋大学出版会、2005年
『西洋近現代史研究入門（第3版）』望田幸男・野村達朗・藤本和貴夫・川北 稔・若尾祐司・阿河雄二郎編、名古屋大学出版会、2006年
上記の他、事前提出物についての案内を行う際に Classroom を通じてお知らせする
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	「西洋史学」とは何をする学問か、その問題意識と方法の変遷 研究対象の背景となるミリュー（環境）を意識する 視点を広げる：隣接諸科学との接続 やりたいこととできること：史料上の制約と方法論 巨人の肩の上に立つ：先行研究の把握
事前学修	史学史に関連する書籍（例えばキャナダイン『いま歴史とは何か』ミネルヴァ書房、2005年や岩波書店のシリーズ「ヨーロッパ史入門」など）の中からいくつかを選んで目を通し、これまでの歴史学が何を題材としてどのようなことを明らかにしようとしてきたのかについて把握しておく。また、一般的な地図帳で自身が興味を持つ地域の地形や気候区分について調べる。ヨーロッパおよび世界人口の変遷について一般書やインターネット等（国連食糧農業機関や統計局のサイトなどを推奨）で概要をつかみ、人口変動に影響を与える諸要因は何か、予想しておく。
事後学修	オンデマンド講義の内容を整理し、テーマごとに与えられる課題に取り組む。主として文章による整理を要求するので、自身の主張がどのような根拠に基づいているのかを常に確認しながら文章作成を行う。

・対面授業

1日目	授業内容	参加者一人あたり 10 分程度で、西洋史分野で現在興味を持っている地域・時代・テーマ等について報告する。報告の主要部分は「興味を持ったきっかけ」と、「既存研究を読んで自身の関心や問いの立て方がどのように変化したか」の二点で構成すること。報告に対し 5 分程度の質疑応答を行い、講師がコメントする。
2日目	授業内容	欧語辞典類などの参考図書の使い方や、先行研究調査の方法について、書籍およびインターネットを用いて実習を行う。ただし実習内容に関しては感染症等への対処の状況等で大幅に内容を変更する可能性がある。
事前学修		現在、自身が興味を持っている歴史学上のテーマについて報告準備を行う。関連書籍を収集し、内容を整理し、何がどこまでわかっていて、これから解明すべき問題は何か、といった方向性を示せるように報告要旨を作成する。その際、これまで読んだ文献、これから読むべき文献のリストを指定された形式を遵守して作成する。入門という授業の性質上、報告内容の完成度は要求しない。他方で文献リストの形式が守られているか、といった点は評価に直結するのでご留意いただきたい。
事後学修		初日終了時には、他者の報告や質疑応答のやりとりの中から特に印象に残ったこと、自身の問題設定等に影響を与えた要素を整理して文章にし、提出する。二日目は、実習終了時に作成した研究計画に基づき、専門論文等の先行研究の収集を開始する。

◆授業概要

歴史学を研究するためには、同時代に当事者・関係者によって編纂された文献史料や木簡・金石などの資料を読み込むことが不可欠である。本講義は、中国史を学ぶ上では基本となる正史のなかでも巻頭に位置づけられる『史記』を題材として東洋史の文献・史料の読み方、すなわちテキストクリティークの力を涵養して、所謂資料を解釈するスキルをつけ、研究するための基礎的能力を習得する。

近年出版した著書や発表した論文や報告の成果が反映されている。

◆学修到達目標

1. 文献史料について、ただ「読む」だけではなく、その内容について、史料批判して、解釈できる力をつけることが出来る。
2. 「1」に基づき、文献史料から浮かび上がる歴史の実像を把握し、東洋史の特徴や課題を見だし、自ら研究していくことが出来る。

◆授業方法

・オンデマンド

授業は教科書該当部分を読んでいることを前提として、配布資料と音声資料によって構成されている。番号順に並べているので、まずは全体を順に聴講して欲しい。一度の聴講で理解しなかった内容については繰り返して聴講されたい。そこで不明な点は問題点を整理しておき、その後のスクーリングに臨むと問題意識が明確なため、効果的と考えられる。なお機材の故障で、mp3方式の録音が出来なくなる場合、ファイルが大きくなるが、自宅pcで動作確認したものしかアップしないので安心して聴講して欲しい。

・対面（参考）

オンデマンドを聴講していることを前提とする。学生の質疑応答・議論が中心の授業となる。教員もコメントを行うがあくまで中心は受講者である。通常は受講者確定後、各受講者に教科書の担当ページを連絡し、報告用プリントを作成して授業に出席してもらうこととなる。しかし、今回は対面授業が2日分しかないうえ、感染状況によってはそれも困難なる場合なども考えられ、必ずしも例年通りにはならないことを留意されたい。それらも含め、再度事務所を通じて、7月下旬までに連絡致します。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

報告 50%、平常点（授業参画度）50%。試験は実施しない。報告と、他の受講者の報告を受けての質疑応答・議論への参画度から評価する。つまり、両者を総合的に評価する。なお、毎回出席することが前提となる。なお、緊急事態宣言などが再度発令され、対面が困難になった場合などは別途指示致します。

◆教科書

オンデマンド授業においては Classroom 内で資料を配布する。Pdf ファイルで、音声ファイルと対になったものをアップする。対面授業においては印刷したものを配布する。

史記〈1〉本紀（ちくま学芸文庫）司馬遷（著）、小竹文夫（翻訳）、小竹武夫（翻訳）
1995年（1540円）

◆参考書

漢書〈1〉帝紀（ちくま学芸文庫）班固、小竹武夫(翻訳) 1997年（1650円）
特に深く学習したい学生については、授業内で適宜指示します。

◆授業相談先（連絡先）

対面授業の授業終了後、時間が許す限り教場で行う。2019年の昼間スクーリングであったことだが、長くなる場合は予めその旨を前日までに伝えて欲しい。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	1、ガイダンス及び総論：この講義の目的・到達目標・評価方法等について解説するとともに、正史の基本的性格を講義する。 2、同時代を記述しながら、なぜ『史記』、『漢書』とでは記述が異なるのかについて、対象である時代の実像の差ではなくして、編纂意図の違いから来るものであることを理解する 3、その決定的要因は儒教的価値観にあることから、儒教国教化とそれによって形成される王朝の正統観と正史の関係について理解する。正史とは客観的に正しいことが記述されるのではなく王朝にとって有るべき姿が記述されることを理解する。 4、項羽本紀を具体的に検証する 5、高祖本紀を具体的に検証する。 1～5を通し、総括して、正史の歴史的意義とその取り扱いの注意を踏まえた上で対面授業ではそれを具体的に詳細に検討してもらう。そのさい、史記の本紀の中で特に講読したいものがあれば、メール機能でお知らせされたい。
事 前 学 修	高校世界史で学習した東アジア史についてまずは復習しておいて下さい。そのご、指定テキストを目を通しておいて下さい。特に始皇本紀から武帝本紀まではよく読んでおいて下さい。その後は各授業の復習を丹念に行ってください。
事 後 学 修	オンデマンド講義をよく復習したうえで、対面授業までに分担された資料講読について、オンデマンド授業を参考にした配布用資料を用意して各自の報告の準備をして下さい。分担箇所などの詳細は受講者確定後連絡致します。

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	『史記』本紀を講読します、分担者は報告をしてもらい、それについて討論します。積極的に参加して下さい。
2 日 目	授 業 内 容	『史記』本紀を講読します、分担者は報告をしてもらい、それについて討論します。積極的に参加して下さい。
事 前 学 修		
事 後 学 修		事後学修としては 質疑応答・講師コメント等をふまえ、改善点を確認する。自分の卒業研究についての問題意識を高める。

講座内容（シラバス）

〔西洋経済史〕

上村 能弘

◆**授業概要** この授業では、主に1870年以降の世界資本主義の歴史的展開を扱う。すなわち、この時代に、製鋼業を中核とした重工業が主導産業となったこと、それにともない世界資本主義の構造に大きな変動が生じたことなどが、議論の中心である。観念的な理解に陥らないように、可能な限り具体的な史料によりながら講義を進めるつもりである。史実の単なる羅列ではなく、それらの持つ意義を考究することに、特に力点をおきたい。

◆**学修到達目標** ・「1870年代以降、世界資本主義経済の主導産業となった重工業の歴史的特徴を説明できる。」

・「1870年代以降の世界商品市場の展開を説明できる。」

・「1870年代以降の世界金融市場の展開を説明できる。」

・「上記を総合し、1870年代以降の世界資本主義経済の構造変動の歴史的本質を理解できる。」

◆**授業方法**

・オンデマンド

授業動画は内容に沿って分割し、番号を付している。まずは、全体を順に視聴すること。一度の視聴では分からなかった内容の動画は重点的に繰り返し視聴すること。それでも不明な点についての質問は随時受け付ける。なお、動画の中には課題が含まれている場合がある（その場合には明示する）。

・対面授業

講義形式。内容に沿って分割し、各回ごとに質疑応答をおこなう。ただし、前掲の「オンデマンド」授業の分とあわせ、各回の授業は、その都度、独立したテーマを扱うわけではなく、ひとつながりのものとなったものである。受講生からの要望があれば、特に重点を中心に講義を繰り返し、講義内容全体の理解が進むように留意したい。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** オンデマンド授業で出される課題は評価対象であるのですべて提出すること（全体の50%）。対面授業では、各日の最後の時間に実施する授業内レポートが評価対象となる（全体の50%）。オンデマンド授業、対面授業において総合的に評価する。すべて出席していることを前提として評価する（オンデマンド授業の場合、課題の提出が出席を兼ねる）。

◆**教科書** 丸沼『世界経済史の方法と展開——経済史の新しいパラダイム（1820-1914年）』入江節次郎 藤原書店 2002年

◆**参考書** なし

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	製鋼業における技術革新と＜鋼の時代＞の到来 重工業を中心とした産業構造の再編成 鉄道建設のいっそうの進展と景気循環 ＜海運革命＞と世界的電信網の整備 農業の構造変動 まとめ
事前学修	教科書の131～184ページを読んで、要点をメモしておくこと。
事後学修	授業内容をノートに整理し、教科書の当該部分とあわせ、授業内容を確認し理解しておくこと。

・対面授業

1日目	授業内容	世界的な通商の多角化 世界短期金融市場の構造変動 世界長期金融市場の構造変動 まとめ
2日目	授業内容	帝国主義と資本輸出〔Ⅰ〕——イランの事例 帝国主義と資本輸出〔Ⅱ〕——エジプトの事例 帝国主義と資本輸出〔Ⅲ〕——中国の事例 ＜大不況＞ まとめ
事前学修		教科書の184～239ページを読んで、要点をメモしておくこと。
事後学修		授業内容をノートに整理し、教科書の当該部分とあわせ、授業内容を確認し理解しておくこと。

講座内容（シラバス）

〔情報概論B〕

荒関 仁志

◆授業概要 下記の項目について実習を進めていきます。

- 1) 文書作成
- 2) 表計算ソフトと統計処理
- 3) プレゼンテーション技術の基礎
- 4) インターネットとWWWの構造
- 5) インターネットとセキュリティ

◆学修到達目標 表計算ソフト、文書作成ソフト、プレゼンテーションソフト、インターネットの利用を通じて、コンピュータによる問題解決の方法の基礎を理解し、情報技術の基本的知識の説明をすることができる。 また、昨今問題視されているネットワークセキュリティの理解の理解も目指す。

◆授業方法

・オンデマンド

基本的には各自のパソコンを用いて実習しますが、表計算ソフトの必要な知識については必要に応じて講義形式で学習します。また、教科書にない資料などは授業で配布します。

特にワードとエクセルの基本的利用方法の取得を目指します。

・対面授業

基本的には各自のパソコンを用いて実習しますが、表計算ソフトの必要な知識については必要に応じて講義形式で学習します。また、教科書にない資料などは授業で配布します。

特にプレゼン資料作成の方法やインターネットの基礎知識の理解を目指します。

◆履修条件 文書作成ソフト (Word)、表計算ソフト (Excel)、プレゼンテーションソフト (PowerPoint)、テキストエディタ (メモ帳) の基本的な使い方を理解していること、さらに、メールで課題提出を行うので Nu-Mail が使えることが望ましい。2021 年度昼間スクーリング (前期)「情報概論」との積み重ね不可。 なお、本講義では WindowsPC の利用限定とします。

◆成績評価基準 授業参加度 (30%)、平常課題 (70%) により総合的に評価します。

※演習形式の授業なので、毎回出席することを前提に評価します。

◆教科書 資料配布 (Classroom)

◆参考書 丸沼『最新情報処理概論 改訂版』安藤 明之 実教出版; 改訂版 2014 年

◆授業相談 (連絡先): 通信教育部 3 号館 3 階 302 研究室

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。

例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」

※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆授業計画 [各 90 分]

・オンデマンド

授業内容	オンデマンド授業では、以下の内容で講義動画を公開し授業を行います。 文書作成ソフト (MSワード) の基本操作の習得を目指します。 文書作成ソフトでのヘッダー/フッター設定、目次作成、参考文献作成の習得を目指します。 表計算ソフトの基本操作の習得を目指します。 表計算ソフトによるグラフの作成方法の習得を目指します。 表計算ソフトと文章作成ソフトによるレポート作成方法の習得を目指します。
事前学修	予め Classroom に掲載される動画と資料を視聴し、そこに書かれている課題について不明な点や疑問点をチェックしておいてください。また、疑問点や不明な点などは、授業前にインターネットで検索し調べておくことをお勧めします。
事後学修	講義動画で示される課題を、締め切りまでに各自必ず Classroom を通して提出してください。その際課題提出に際して疑問点などがありましたら、荒関までメールにて質問してください。

・対面授業

1日目	授業内容	対面授業 1 日目では、以下の内容で授業を行います。 (1) 表計算ソフトの基本関数の習得を目指します。 (2) 表計算ソフトによる度数分布表・ヒストグラム作成の習得を目指します。 (3) 表計算ソフトを用いて定義式に基づいた基本統計量 (平均, 合計, 分散, 標準偏差) の計算方法の習得を目指します。 (4) 表計算ソフトを用いて散布図の作成方法, ならびに定義式に基づいた相関係数の計算方法を習得します。 (5) プレゼンテーションソフトの基本的操作の習得を目指します。
2日目	授業内容	対面授業 2 日目では、以下の内容で授業を行います。 (1) プレゼンテーションソフトを用いた発表資料の作成を行います。 (2) WWW (world Wide Web) ページの基本構造を理解する。 (3) WWW (world Wide Web) ページの基本構造である HTML の基本文法を理解する。 (4) インターネット上の様々なアプリケーションについての歴史の変遷と構造。 (5) インターネット上の様々なアプリケーションについて理解すると共に、セキュリティについて理解する。
	事前学修	Classroom に対面授業用の資料を掲載しますので、対面授業を受講する前に、各自必ず資料をダウンロードして、そこに書かれている課題について不明な点や疑問点をチェックしておいてください。また、疑問点や不明な点などは、授業前にインターネットで検索し調べておくことをお勧めします。
	事後学修	対面授業では、課題が課されますので、締め切りまでに各自必ず Classroom を通して提出してください。その際課題提出に際して疑問点などがありましたら、授業内で積極的に質問してください。

講座内容（シラバス）

〔簿記論Ⅰ〕

林 徳順

◆**授業概要** 企業は、複式簿記という技術によって、企業の日々の取引を記録し、最終的に企業の財産状態及び経営成績を把握している。この授業では、複式簿記の理論を理解するため、専門的な用語が修得でき、関連練習問題を解きながら、複式簿記の構造についてわかりやすく学ぶことができる。簿記の意義及び仕組み、仕訳と転記、帳簿組織、決算手続きと精算表などについて学ぶことができる。

◆**学修到達目標** この授業では、①簿記の初心者が、複式簿記における諸概念（資産、負債、資本、収益、費用、仕訳、転記など）について理解でき、その理解した知識に基づき、企業取引の記録方法について説明することができ、②簿記の一巡手続きについて理解でき、同時に簿記構造を理解することができ、③日商簿記3級レベルの一部の知識が身につくことである。

◆**授業方法**

・オンデマンド

①授業ビデオに関するリンクを皆さんに公開し、②皆さんをそのビデオを見ながら学習し、③その学習成果をインターネットの小テストに参加して確認します。④余力のある方は、簿記講義テキスト以外、参考書であるワークブックを解きながら、さらに理解を深めていただきます。

・対面授業

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** ウェブ上の小テストに参加していただき、その成績に基づき評価します。

◆**教科書** 〔丸沼〕『検定簿記講義 / 3級商業簿記』渡部裕巨・片山覚・北村敬子 最新版 2021年 令和3年

◆**参考書** 『検定簿記ワークブック / 3級商業簿記』渡部裕巨・片山覚・北村敬子 最新版 2021年 令和3年

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	第1回：第1章 簿記の意義と仕組み（簿記の意義・基礎・貸借対照表・損益計算書・貸借対照表と損益計算書の会計） 第2回：第2章 仕訳と転記（勘定、取引の意義と種類、取引8要素の結合関係、仕訳と転記） 第3回：第3章 仕訳帳と元帳 第4回：第4章 決算（試算表の作成、帳簿の締切りと財務諸表の作成、決算手続きと精算表） 第5回：第5章 現金と預金（現金の範囲、現金過不足の処理、当座預金と当座借越、その他の預金など）
事前学修	第1章の簿記の基礎について、分からない専門用語について調べ、概要を調べる 第2章 仕訳と転記について、分からない専門用語について調べる 第3章 仕訳帳と元帳の箇所について、予習し、分からない専門用語について調べる。 第4章 決算手続きについて、分からない専門用語について調べる。 第5章 現金と預金について、分からない専門用語について調べる。
事後学修	第1章の簿記の基礎について、練習問題、応用問題、関連ワークブックの問題を解きながら、理解を深める。 第2章 仕訳と転記について、練習問題、応用問題、関連ワークブックの問題を解きながら、理解を深める。 第3章 仕訳帳と元帳の箇所について、練習問題、応用問題、関連ワークブックの問題を解きながら、理解を深める。 第4章 決算手続きについて、練習問題、応用問題、関連ワークブックの問題を解きながら、理解を深める。 第5章 現金と預金について、練習問題、応用問題、関連ワークブックの問題を解きながら、理解を深める。

・対面授業

1日目	授業内容
2日目	授業内容
事前学修	
事後学修	

講座内容（シラバス）

〔社会科・公民科教育法Ⅰ〕

宇内 一文

◆**授業概要** 中学校社会科及び高等学校公民科の授業の実際について、最新の教育動向を踏まえて学んでいく。中学校教員として、自分が授業を担当する際、どのように教材研究をするのか、また生徒に対してどの学習方法をもって授業を展開していくのかについて学習する。実践に必要な知識・指導方法・指導技術について、具体的な討議や様々なグループワーク、模擬授業などを通して身につけることを目標にする。

◆**学修到達目標**

1. 学習指導要領に示された中学校社会科及び高等学校公民科の目標と内容を理解できる。
2. 社会科・公民科の背景となる学問領域との関係を理解し教材研究に活用できるとともに、発展的な学習内容について探究し、それを学習指導に生かすことができる。
3. 社会科・公民科の基礎的な学習指導理論を理解するとともに、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけている。
4. 社会科・公民科の実践研究の動向を知り、授業設計の向上に主体的に取り組むことができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

オンデマンド授業は、40分程度の授業動画と50分程度の学修課題（レポート）で90分間の学びを構成する。中学校社会科及び高等学校公民科の学習指導要領に示された当該教科の目標や内容など社会科教育原理について講義する。

・対面授業

対面授業では、学生の主体的・対話的で深い学びをめざすとともに、原理的に理解を深め実践的に各自の考えを活かすことができるように、アクティブ・ラーニングの手法を用いたグループワークなどの活動を取り入れる予定である。中学校社会科及び高等学校公民科の学習指導と授業設計の方法を修得し、主体的に取り組むことができるようになるために、受講者による模擬授業を行う。なお、模擬授業はグループによる30分程度を予定している。模擬授業の教科書には、『中学社会 公民 ともに生きる』（教育出版、令和3年）を指定する。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 授業の課題〔オンデマンド・対面授業〕への取り組み（40%）、模擬授業及び学習指導案（40%）、期末レポート（30%）。これらを総合的に判断し、評価する。

◆**教科書** **【教材】**『社会科・公民科教育法Ⅰ T20700 / T23700』 通信教育教材（教材コード 000587 / 000589）

◆**参考書** **【丸沼】**『中学社会 公民 ともに生きる』 成田喜一郎ほか 教育出版 令和3年（令和2年検定済み、令和3年度採用）

【丸沼】『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』 東洋館出版 平成30年

【丸沼】『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 地理歴史編』 東洋館出版 平成31年

◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	第1回目：授業の概要と授業計画、評価方法の説明 第2回目：社会科の学びが変わる：社会科・公民科をめぐる現代的課題 第3回目：社会科の目標：「公民的資質・能力」の育成 第4回目：「社会的な見方・考え方」とは：現代社会の見方・考え方を働かせる 第5回目：社会科の成り立ちとその歩み
事前学修	オンデマンド授業では、毎時、授業で学んだことを定着させるために授業外で課題に取り組む必要がある。それゆえ、事前学修では、前回の授業のノートと配布資料を確認し、教科書〔学習指導要領〕の指定した箇所をよく読んでおくこと。そして、授業動画において指示した事前学習の課題に取り組むこと。一回の授業につき、120分の事前学修を求める。
事後学修	オンデマンド授業では、毎時、授業で学んだことを定着させるために授業外で課題に取り組む必要がある。それゆえ、事後学修では、授業動画の内容をノートに整理し、授業内容の理解を図ること。そして、授業動画において指示した授業内容にかかわる事後学修の課題に取り組むことを通して、資質能力を深化させること。一回の授業につき、120分の事後学修を求める。

・対面授業

1日目	授業内容	第6回目：中学校社会科の教育課程の特色 第7回目：社会科の学習指導と評価 第8回目：教科書検定制度と歴史教科書 第9回目：社会科の授業をデザインしよう 第10回目：中学校社会科公民的分野の指導法と実践例／模擬授業／学習指導案の作成
2日目	授業内容	第11・12・13・14回目：中学校社会科公民的分野の教材研究・模擬授業・授業改善〔含むICTの視点〕 ①私たちの暮らしと現代社会 ②個人を尊重する日本国憲法 ③私たちの暮らしと民主政治 ④私たちの暮らしと経済 ⑤安心して豊かに暮らせる社会 ⑥国際社会に生きる私たち ⑦私たちが未来の社会を築く 第15回目：スクーリングのまとめ、期末レポート
	事前学修	対面授業では、毎時、授業で学んだことを定着させるために授業外で課題に取り組む必要がある。対面授業1日目の事前学修では、前回の授業のノートと配布資料を確認し、教科書〔学習指導要領〕の指定した箇所をよく読んでおくこと。そして、授業動画において指示した事前学習の課題に取り組むこと。対面授業2日目では、模擬授業を行うために、学習指導案、配布資料の作成を事前学修として行うこと。両日ともに一回の授業につき、120分の事前学修を求める。
	事後学修	対面授業では、毎時、授業で学んだことを定着させるために授業外で課題に取り組む必要がある。対面授業1日目の事後学修では、授業動画の内容をノートに整理し、授業内容の理解を図ること。そして、授業動画において指示した授業内容にかかわる事後学修の課題に取り組むことを通して、資質能力を深化させること。対面授業2日目では、PDCAサイクルにもとづく学習指導案及び模擬授業の振り返りなどの事後学修に取り組むことを通して、授業改善の視点を獲得すること。両日ともに一回の授業につき、120分の事後学修を求める。

講座内容（シラバス）

〔英語科教育法Ⅰ〕

隅田 朗彦

◆**授業概要** 中学校及び高等学校の英語科教育の基礎となる学習指導要領、検定教科書について理解すると同時に、学習到達目標やそれに基づく指導計画について理解することで、教科教育に必須の基礎知識を修得します。また、担当者の中学校・高等学校現場での実際の教職経験に関わる話を聞き、適宜、理論や概念と現場の状況との違いを認識します。

◆**学習到達目標** 日本の中学校・高等学校における英語教育の意義、第二言語としての英語の習得と英語教授・学習との関係、教科教育に係る諸制度について知識を身につけ、将来の教育活動に応用できるようになることを目的とします。小学校の外国語活動・外国語科についても基礎的な知識を得るとともに、小・中・高のつながりの重要性を理解できるようになることも目標とします

◆**授業方法**

・オンデマンド

事前に教科書の指定された箇所（Google Classroom等に指示）を読んだ上で、Classroom等に提示されるスライドを中心とした補足説明や動画を視聴し、付随して出題される課題に解答します。

・対面授業

教科書の内容について担当教員が補足解説を加え、適宜、DVDにより授業実践を視聴します。続いて、授業内容に関連した課題を出しますので、個人あるいは可能であれば指定されたグループで答えを出し、発表や小レポートとして提出します。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 授業内試験（40%）、レポート（オンデマンド授業の課題）：（30%）、対面授業参画度（授業中に取り組む課題）：（30%）の総合で評価します。

◆**教科書** 丸沼『行動志向の英語科教育の基礎と実践』JACET 教育問題研究会、三修社、2017年、ISBN: 978-4384058765

◆**参考書** その他 小学校学習指導要領（文科省ホームページよりダウンロード可）

その他 中学校学習指導要領（文科省ホームページよりダウンロード可）

その他 高等学校学習指導要領（文科省ホームページよりダウンロード可）

◆**授業相談（連絡先）**：メールにて受け付けます。 sumida.akihiko@nihon-u.ac.jp

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	
事前学修	
事後学修	

・対面授業

1日目	授業内容	
2日目	授業内容	
事前学修		
事後学修		

◆授業概要

乳幼児期から青年期にかけての運動・認知能力の発達、社会性の獲得や人格形成にかかわる代表的理論や諸問題を取り上げる。また、基本的な学習理論を紹介し、前述の心身発達に関する知見と絡めて様々な学習方法、教授法を概説する。

◆学修到達目標

教育に関わる発達と学習の諸問題に関する知識を獲得し、それらを有機的に関連づけて説明できるようになる。また、そうした知識を幼児、児童、生徒の学習を支援するために活用できるようになる。

◆授業方法

授業は配布するプリントに沿って主に講義形式（動画配信）で行う。また、理解度を確認するための問題を Google Form にて出題する。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

成績は各回の理解度確認（50%）ならびに最終理解度確認（50%）の得点をもとに評価する。

◆教科書

『教職ベーシック 発達・学習の心理学』柏崎秀子（編著） 北樹出版

◆参考書

『発達と学習（現代の認知心理学5）』市川 伸一（編著）北大路書房

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	第1回 発達の概念の変遷。発達の基本原理を解説する 第2回 認知発達に関する諸理論やエリクソンの人格発達理論について解説する。 第3回 乳幼児期～幼児期にかけての心身の発達について概説する。 第4回 児童期～青年期にかけての心身の発達について概説する。 第5回 学習の定義を示したうえで、連合理論に基づく学習理論を解説する。
事 前 学 修	配布資料や教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。
事 後 学 修	授業内容をノートに整理し（配布資料への書き込みでもよい）、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。また、各回の理解度確認問題に解答し、理解できていない箇所の復習を行う。

・オンデマンド

1 日 目	授 業 内 容	第6回 認知理論に基づく学習理論を解説する。 第7回 学習方法の分類と学習時に生じる諸現象、また学習成果の規定因、特に動機づけに関して解説する。
2 日 目	授 業 内 容	第8回 様々な教授法について解説する。集団学習についても取り上げる。 第9回 学習の評価方法と評価時に生じる諸問題を解説する。学習における発達障害の問題についても触れる。 最終理解度確認
事 前 学 修		配布資料や教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。
事 後 学 修		授業内容をノートに整理し（配布資料への書き込みでもよい）、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。また、各回の理解度確認問題に解答し、理解できていない箇所の復習を行う。

講座内容（シラバス）

〔文化人類学〕

服部 慶巨

- ◆**授業概要** 人間についての総合的研究—それが文化人類学である。グローバル化が進む現代において「自分とは異なる現象」と対峙することは、すなわち自分自身を知ることにもつながる。担当者が外務省より JENESYS プロジェクトの特別講師として海外の学生と接した経験を踏まえ、「文化」と「機能」について理解する基礎と、「文化人類学的」に社会の諸現象を分類（表現）する方法を身に付けられるのが、本講義の目標である。
- ◆**学修到達目標** 「大学で学んだことは、日常で役に立たない」という声を聞くが、本当にそうだろうか？ そんな疑問と対峙しつつ、学問が自分の日常生活や人生の現在・過去・未来と密接に関わっていることを理解し、文化人類学的な視点で自分自身をとらえる技術を身につける。
- ◆**授業方法**
 - ・**オンデマンド**
スクーリング前半は、GoogleClassroom を介したオンデマンド授業となる。教科書・プリントなどを用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・解説する。必要に応じて音楽や映像作品、マンガなど視聴覚資料を別途用意する。また、オンデマンドではあるが、講義を単に「聴く」のではなく、講義に「参加」する意欲が求められる。なお、本授業の事前学修・事後学修の時間は、各2時間を目安とする。
 - ・**対面授業**
教科書・プリント・板書（パワーポイント）などを用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・解説する。必要に応じて視聴覚資料（CD、DVD、マンガ、その他）を多用する。また、学生に質問を投げかけ、対話とシミュレーションを展開しながら講義を進めていく。講義を単に「聴く」のではなく、講義に「参加」する意欲が求められる。なお、本授業の事前学修・事後学修の時間は、各2時間を目安とする。
- ◆**履修条件** 特になし。
昼間スクーリング「社会学」受講歴のある学生は、一部同じテキストを使用します。
また、「社会学」の解説内容と多少重複する場合も考えられるが、基礎とする学問が異なるため、気を緩めずに聴講してもらえればと思います。
- ◆**成績評価基準** オンデマンド授業においては、GoogleClassroom 経由で提出された「課題」が評価対象となる（50%）。対面授業においては、授業中の作業をもとに最終レポート（終了試験）を作成してもらい、それを評価対象とする（50%）。
なお、「課題」に未提出があったり、欠席が確認された場合、多少の減点が科される。
- ◆**教科書** **通材**『文化人類学 Y 21300』（教材コード 000424）通信教育教材
丸沼『改訂ストレス・スパイラル』服部慶巨 新協（ジャパン・プレス・フォト）2020
※すでに『補強版ストレス・スパイラル』を所有している人は、それを使用します。
- ◆**参考書** **資料配布（Classroom）** プリント配布（GoogleClassroom 使用時）
その他 対面授業時は、必要に応じて講義用資料を配布する予定
- ◆**授業相談（連絡先）**：オンデマンド授業の際は、GoogleClassroom の「限定公開コメント欄」を使用する。
対面授業時は、講義の前後（休憩時間を含む）に教員室または教室内で受け付け。
全期間通じて E メール（hattori.yoshinobu2020@nihon-u.ac.jp）での対応も可。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
 - ・**オンデマンド**

授業内容	本スクーリングに関するガイダンス（講義の方針、展開方法、目標などを確認する） 「文化」のとらえ方① 我々が日常用いる「文化」という単語の多義性を知る 「文化」のとらえ方② 「文化」を維持、発展、変容させる要因について理解する 「機能」とは何か？ 人類学研究における「機能」の重要性を理解する 「機能主義者」の功績 マリノフスキーとラドクリフ＝ブラウンの業績・功績をたどる
事前学修	テキストの目次やシラバスに目を通し、講義内容と照らし合わせをする。 ※動画配信前に、受講学生に簡単な質問を GoogleClassroom 経由でしたいと思います。 クラスコードが送信されましたら、なるべく早めに入室（手続き）してください。
事後学修	講義用動画内で紹介された事例・概念などを、自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。

・対面授業

1日目	授業内容	【対面1日目 テーマ】異文化理解の基礎知識 対面授業ガイダンス（レポート執筆時の留意事項、文化人類学のイメージなど） 「異文化イコール外国」「異文化イコール未開社会」といった認識の払拭 「グローバル化」と「ナショナリズム」の共存 「日常生活」における「異文化」との出会い 「日常生活」における「異文化」の受容
2日目	授業内容	【対面2日目 テーマ】（異）文化を分析（表現）するための新語・流行語 「（異）文化」（「民族」「県民性」）などの特徴 「（異）文化」を維持し続けている「機能」の抽出 諸々の特徴の分析と「キーワード」化 「（異）文化」の可視化 最終試験（レポート作成）
事前学修		オンデマンド授業と同様に、テキストの目次やシラバスに目を通し、講義内容と自身の日常生活の照らし合わせをする。
事後学修		「テキストで紹介されている民族・部族」や自身の経験に基づく「県民性」（〇〇県民の特徴）を、ある程度まとめられる（発表できる）ように読み込む。 講義内で解説・照会された事例・概念などを、自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。

講座内容（シラバス）

〔英語G〕

山下 登子

◆**授業概要** 英語学習に必要な4技能（聞く・読む・話す・書く）の総合的な向上を目指し、実際に日常生活で英語を活用できるようになることを目標とする。語彙力や文法事項などを演習形式で学ぶことで、英語学習の基礎作りを行う場となるように努める。教科書の学習範囲はUnit 1～7です。

◆**学修到達目標** 英語学習において基礎となる語彙力と文法力を見直し、4技能の総合的な習得向上につなげることができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

動画資料は教科書のUnit順（Unit 1～7）に公開する。Unit順に視聴した上で課題を行うこと。オンデマンドの期間中は、1日1回オンラインによる出席票と課題の提出があります。

・対面授業

オンデマンド授業で提示された動画を必ず視聴し、オンデマンド期間中の出席票と課題を提出していること。対面授業では、リスニングと音読をグループワークを中心にを行います。最終日に試験を行う予定です。

◆**履修条件**

◆**成績評価基準** オンデマンド授業で課された課題は評価対象です（50%）。対面授業では、授業への参加度合いや最終試験が評価対象です（50%）。オンデマンド授業と対面授業をふまえて総合的に評価します。すべて出席していることを前提とします。

◆**教科書** 〔**丸**〕『English Quest-Plus【New Edition】』酒井志延ほか著 桐原書店 1,900円（税抜き）

◆**参考書** 〔**丸**〕 中型以上の英和辞書（電子辞書）

◆**授業相談（連絡先）**：GoogleClassroom上にて行う。

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	・ガイダンス（授業目標や課題の方法などについて） ・教科書Unit 1～7（文法の確認と課題の説明）
事前学修	教材の学習範囲の中で、発音や意味の分からない単語を確認し調べておく。教科書の[Practice]と[Let's read]の問題は分かる範囲で解いておく。
事後学修	授業の内容をノートにまとめ、確認しておく。配布資料を読み不明な点がないか理解を深める。

・対面授業

1日目	授業内容	・オンデマンドで行った課題内容の確認（教科書Unit 1～4）。
2日目	授業内容	・オンデマンドで行った課題内容の確認（教科書Unit 5～7）。・最終試験（発音テスト・筆記テスト）
	事前学修	オンデマンドで行った学習で分からなかった点や課題で間違えたところをまとめておく。
	事後学修	授業の内容をノートにまとめ、確認しておく。配布資料を読み不明な点がないか理解を深める。

講座内容（シラバス）

〔英語V〕

島本 慎一郎

◆**授業概要** Bilingual に憧れることは誰しも一度経験することだろう。しかし、Bilingual とは一体どのような人のことを指すのだろうか。Bilingual と呼ばれる人のバックグラウンドや環境は意外にも知る機会が少ないように思える。Reading Strategies の実践と Reading Fluency の向上を目指しながら、Bilingual の定義から Monolingual との相違点まで網羅的に学修する。

◆**学修到達目標** 1. 目的や用途に応じて Reading Strategies を使用できる。
2. Bilingual の定義について例を交えて説明できる。
3. Reading Fluency 向上の仕組みを踏まえて、Rapid Reading を実践できる。

◆授業方法

・オンデマンド

Google Classroom を通じて動画（2021-s-01, 2021-s-02, 2021-s-03）を配信するので、順番に視聴し、事前に配布される各回のプリントを完成させて、Google Classroom で提出する。

・対面授業

指定した範囲を各自読んでくることを前提とする。部分的に内容の解説や読解についてクラス全体で取り扱うが、基本的には読んできたものを Peer Reading や Small Group Reading の形式で内容の再構築やディスカッション、ポイントの整理を行う。同時に Reading Strategies の導入と実践を全体で行い実践する。また、その日学んだことをまとめるリアクションペーパーの提出を求める。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 課題（オンデマンド課題①～④（Discussion Questions 含む））：40%
リアクションペーパー（対面1日目と2日目に実施）：20%
授業参画度（グループワーク時の授業内課題の達成状況）：40%

◆**教科書** 丸沼 Grosjean, François. 2012. *Bilingual: Life and Reality*. Harvard University Press. ISBN: 978-0674066137 (Kindle 版でも可)

◆**参考書** 資料配布 (Classroom) Bourgoigne, Annika. 2013. *Be Bilingual - Practical Ideas for Multilingual Families*. Createspace Independent Pub. (使用箇所のみ配布)
資料配布 (Classroom) Costa, Albert. 2021. *The Bilingual Brain and what it tells us about the science of language*. Penguin Books. (使用箇所のみ配布)

◆**授業相談（連絡先）**：メール：ss81@hawaii.edu

◆授業計画〔各 90 分〕

・オンデマンド

授業内容	2021-s-01: 「バイリンガルとはどんな人？」【教科書 Chapter 1】 授業の進め方、オリエンテーション含む。プリント①を完成させる。 2021-s-02: 「バイリンガルを取り巻く環境とは」【教科書 Chapter 2】プリント②を完成させる。 2021-s-03: 「バイリンガルにとってのことばの働きと役割 1: 機能からみたことば」【教科書 Chapter 3】 プリント③を完成させる。 2021-s-04: 「バイリンガルはどうやって使う言葉を選ぶの？」【教科書 Chapter 4】プリント④を完成させる。
事前学修	2021-s-01: 教科書 Chapter 1 を読み、テキストの内容の要点を確認し、テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。 2021-s-02: 教科書 Chapter 2 を読み、テキストの内容の要点を確認し、テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。 2021-s-03: 教科書 Chapter 3 を読み、テキストの内容の要点を確認し、テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。 2021-s-04: 教科書 Chapter 4 を読み、テキストの内容の要点を確認し、テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。 【各回 45 分（計 180 分）程度】
事後学修	2021-s-01: プリント①内 Discussion Questions について、学んだことを再構築しながら、自分の考えをまとめる。（要提出） 2021-s-02: プリント②内 Discussion Questions について、学んだことを再構築しながら、自分の考えをまとめる。（要提出） 2021-s-03: プリント③内 Discussion Questions について、学んだことを再構築しながら、自分の考えをまとめる。（要提出） 2021-s-04: プリント④内 Discussion Questions について、学んだことを再構築しながら、自分の考えをまとめる。（要提出） 【各回 30 分（計 120 分）程度】

・対面授業

1日目	授業内容	教科書 Chapter 5 「バイリンガルがことばを切り替えるタイミングとその動機」 教科書 Chapter 7 「バイリンガルのことばは訛ってない？」 教科書 Chapter 8 「生活環境の変化とことばの変化」
2日目	授業内容	教科書 Chapter 11 「バイリンガルは何語で夢を見る？」 教科書 Chapter 15 「子どもがバイリンガルになる過程」 教科書 Chapter 17 「子どもをバイリンガルにするために親が知っておくこと」
	事前学修	対面1日目：教科書 Chapter 5, 7, 8 を読み、テキストの内容の要点を確認し、テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。 対面2日目：教科書 Chapter 11, 15, 17 を読み、テキストの内容の要点を確認し、テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。 【各 Chapter70 分程度（計 420 分）】
	事後学修	対面1日目：Chapter 5, 7, 8 の Discussion Questions について、学んだことを再構築しながら、自分の考えをまとめる。（要提出） 対面2日目：教科書 Chapter 11, 15, 17 のうち Discussion Questions について、学んだことを再構築しながら、自分の考えをまとめる。（要提出） 【各 Chapter30 分程度（計 180 分）】

講座内容（シラバス）

〔TOEIC〕

八木 茂那子

- ◆**授業概要** 本講座は将来 TOEIC L&R test を受験しようと考えている初中級レベルの学習者を対象に基礎的な英語の運用能力を skill up するための講座である。授業では TOEIC Bridge L&R Tests 対策の練習問題を解く「演習」を中心に会話を含め実践練習を積むことにより、基本的な表現は文法・用法をマスターし、正答を素早く探す解法テクニックを習得していく。また基礎力養成に効果的な種々のトレーニングを紹介する。TOEIC Bridge L&R Tests で英語の基礎固めをし、TOEIC L&R Test 受験のための“Bridge”（橋渡し）をするものである。
- ◆**学修到達目標** 受講者は本講座終了後 TOEIC Bridge L&R Test で 85 点以上（＝ TOEIC L&R Test 470 点以上）とることができる。本講座に受講を通じ総合的に英語の運用能力を高めることができる。また skill up に効果的なトレーニング法を体得することにより、しょちよお級レベルの学習者にありがちな弱点を強化することができる。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
受講者は毎回授業前日までに「事前学修」の欄に掲載された学修予定の Unit の問題を予めといておく。次に期間中ほぼ週に 1 回配信される授業動画を視聴する。授業動画は事前学修（予習）がしてあることを前提に作成される。Homework Check, Vocabulary（語彙）check など問題の解答・解説を行う。また正答を得るための攻略法なども紹介する。動画視聴後課題を作成し、Google Classroom へ提出。これが一連の流れである。
 - ・対面授業
対面授業も授業の流れは上記オンデマンドの流れとほぼ同じで予め事前学修として問題を解いておくこと。これを授業の中で Homework Check, Vocabulary（語彙）check など問題の解答・解説を行う。英語運用能力を高めるために授業動画ではできなかったペアワーク、など「使える英語にする」ために種々の Activities をおこなう。
- ◆**履修条件** 全回出席（動画視聴）をすること、課題を提出すること、各試験を受けることを前提とする。テキストは各自自分のものを購入すること
- ◆**成績評価基準** Quiz 5 回（20%）＋レポート課題（30%）＋最終筆記試験（50%）による総合評価
- ◆**教科書** 丸沼『Practical TOEIC Bridge L&R tests（TOEIC Bridge L&R テストで英語演習）』Alison Kitzman 他著 南雲堂
- ◆**参考書** 丸沼 TOEIC Bridge Tests 公式ガイドブック 国際ビジネスコミュニケーション協会
- ◆**授業相談（連絡先）**：オンデマンド形式の場合、Classroom 上にて行う。対面形式の場合はなるべく授業中に。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	第 1 回目：ガイダンス TOEIC test とは？学習目的 レベル別効果的な学習方法 他 第 2 回 Unit 1 Shopping (1)/Unit 2 Shopping (2) 解答・解説 他 第 3 回 Unit 3 Food (1)/Unit 4 Unit 3 Food (2) 解答・解説 他 第 4 回 Unit 5 Family (1)/Unit 6 Family (2) 解答・解説 他 第 5 回 mini TOEIC Listening 解答・解説 / TOEIC Sample 問題、練習問題など
事前学修	1. シラバスをよく読み、学習計画を立てる。 2. テキストの練習問題を 2 回解く。1 回目参照物なしで普通に解く。（Reading section は part 5 と part 6 各問 1 問あたり 30 秒、Part 7 は 1 問 1 分時間を計って解くこと。） 3. 2 回目は参照物（辞書や参考書など）OK。1 回目と答えが違う場合にペンの色を換えてとくこと。
事後学修	学習内容の確認と例文の音読筆写で弱点強化を図る：1. まず英語の基本文を正確に書き写す。（1 回）2. 指折り数えながら英文を早口で 5 回繰り返した後、早口で音読しながら超高速で書きなぐる。× 5 回 そのあと顔を上げ何も見ないで書いた英文がスラスラいえるか試してみる。スラスラ言えたら OK ⇒。暗唱。スラスラいえないときにはもう 2、3 回音読筆写を繰り返す。

・対面授業

1 日目	授業内容	午前：Unit 9 Amusement (1) Part 1 Photographs 写真描写問題 Part 2 Question-Response 応答問題 Part 3 Conversations 会話問題 Part 4 Talks 説明文問題 / Unit 10 Amusement (2) Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 Part 6 Text Completion 長文穴埋め問題 Part 7 Reading Comprehension 2 つの文書 午後：Unit 11 Pubs (1) Part 1 Photographs 写真描写問題 Part 2 Question-Response 応答問題 Part 3 Conversations 会話問題 Part 4 Talks 説明文問題 / Unit 12 Pubs (2) Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 Part 6 Text Completion 長文穴埋め問題 Part 7 Reading Comprehension 3 つの文書 TOEIC test 関連練習問題
2 日目	授業内容	午前：対面 1 日目の復習 Unit 13 Countryside (1) 〈Listening〉 Part 1 Photographs 写真描写問題 Part 2 Question-Response 応答問題 Part 3 Conversations 会話問題 Part 4 Talks 説明文問題 / Unit 14 Countryside (2) 〈Reading〉 Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 Part 6 Text Completion 長文穴埋め問題 Part 7 Reading Comprehension 3 つの文書 午後 Unit 15 Mini-TOEIC® Test 〈Reading〉 Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 Part 6 Text Completion 長文穴埋め問題 Part 7 Reading Comprehension 1 つの文書 / Unit 15 Mini-TOEIC® Test Reading section 演習、解答・解説 他

事前学修	1. 対面授業のシラバスをよく読み、学習計画を立てる。 2. テキストの練習問題を2回解く。1回目参照物なしで普通に解く。(Reading section は part 5 と part 6 各問1問あたり30秒、Part 7 は1問1分時間を計って解くこと。) 3. 2回目は参照物(辞書や参考書など)OK。1回目と答えが違う場合にペンの色を換えてとくこと。
事後学修	学習内容の確認と弱点強化を図る：1. 無料ダウンロードの音声を聴いて Part 1 & Part 2 (読み上げられる問題文) の dictation (書き取り) を行う。2. 解答をみて添削を行う。Part 4 の問題文 (速写) 意味の区切りごとに一度見て記憶し、英文は見ないようにしてノートに書写する。(一行書いたら次の一行は開けること (書き違いの訂正を書き込むため))

講座内容（シラバス）

〔民法Ⅲ〕

田中 夏樹

◆**授業概要** 債権法総論の講義では、債権の効力・譲渡・消滅といった債権一般の基本理論を学修する。具体的には、契約等によって成立した債権に基づき履行を請求する場面、債務者が契約に基づいた義務を履行しない場合に債務者に対して何らかの請求をする場面、債務者の行為によって債権が消滅する場面のように場面に応じた法の適用を学習する。担当教員は元弁護士であり、実務上の取り扱いや具体的な事例等の言及を交えながら解説を行う。

◆**学修到達目標** 債権の発生、効果、消滅に至るまでのプロセスを中心とした判例や学説の解説を通じて、債権法の位置づけや債権法の機能について学び、債権法の位置づけや債権が発生してから消滅するまでの各段階についての基本的な知識を習得し、自らの言葉で説明できるようになることを目的とするが、演習問題を行うことで、実際に身につけた知識を活用し、物事を論理的、合理的かつ批判的に考察できるようになることを目標とする。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画では債権総論の基礎的な内容を扱っており、すべての動画を視聴することが求められる。わからなかった点は、まずは理解できるまで繰り返し視聴し、教科書等の文献で調べる。そのうえで、リアクションペーパーやメールでの質問は随時受け付ける。なお、動画内に課題が含まれる場合がある（その場合は明示する）。

・対面授業

基本的に講義形式にて債権総論の解説を行うが、実際に身につけた知識を活用できるようになるため事例問題を検討することを予定している。試験によって成績評価を行うため、試験後に授業内にて試験の解説等を行う。試験のフィードバックは後日classroomを用いて行う予定。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** オンデマンド授業で課リアクションペーパーの提出 20%、対面授業の最後に行う筆記試験 80%

◆**教科書** 通材『民法Ⅲ K30200』通信教育教材（教材コード 000354）
資料配布（Classroom）パワーポイントの資料

◆参考書

◆**授業相談（連絡先）**：教員のメールアドレス：tanaka.natsuki2020@nihon-u.ac.jp までご連絡ください。

◆授業計画〔各 90 分〕

・オンデマンド

授業内容	授業動画の初めに、授業の内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含め、債権総論の授業進行方法や学習方法について説明し、受講生の今後の学習準備を行う。 また続く動画では、対面授業までに基礎的な内容を抑えられるように、債権総論の中でも特に基本となる分野を解説する。具体的には、債権法が民法上どのような位置づけにあり、どのような性質を有しているかを物権法等と比較、種類物債権や特定物債権といった様々な種類の分類性質について扱い、債権総論の中でも特に重要な債務不履行について、なぜそのような制度が必要であるか、制度が機能するのはどのような場面かについて解説する。
事前学修	シラバスを確認するとともに、教科書の債権総論の導入部分を読み、債権総論の民法上の位置づけを理解する。教科書の該当箇所を確認し、債権法が同じ財産法である物権法と位置づけがどのように異なっているか、債権の中でもどのような種類の債権が存在しどのような性質を有しているのか、債務不履行について制度の目的や要件を確認し、授業前に不明点を明らかにしておく。
事後学修	授業内容で言及した学習方法を再確認し、到達度を踏まえた学習計画を検討する。 物権法とどのように役割や機能が違うかについて、何故違うのか、何故そのような役割が与えられているかを自分なりに検討し、事前学習の疑問点を解消できたか確認する。債権の性質について何故分類をする必要があり、分類にはどのような意味があるのかについて具体的な債権と関連付けて説明ができるようにする。債務不履行制度はいくつかの類型に分類されるが、何故そのような必要があるのか、制度趣旨等と関連付けて説明ができるようにする。

・対面授業

1日目	授業内容	オンデマンド授業で債務不履行まで扱ったことを踏まえ、特殊な論点である受領遅滞について扱う。この受領遅滞は、債権者側の責任の問題であり、一般的な債務不履行が債務者の責任であることと区別される。債務不履行制度との比較を通じて受領遅滞制度を解説する。 また、債務不履行などで責任を追及するためには、債務者に資力がなければならぬが、この資力をどのように保全するか、民法上どのような債務者の責任財産を保つ仕組みが用意されているのかを解説する。 次に、多数当事者の中で最も重要な概念の一つである連帯債務について、債務者が複数人存在し、かつ、連帯して債務を負っている場合にどのような影響関係があるかを解説する。
2日目	授業内容	多数当事者の類型に含まれる保証制度を扱う。保証制度は主として債権者の債権を強化する目的で利用されるが、他方で保証人が不当に害されることを防ぐ必要がある。民法が各当事者の利害関係にどのような配慮をした制度を用意しているかを解説する。 また近年重要性が増している債権譲渡について、債権譲渡を活用することの利点と不都合性としてどのようなものがあるかを解説し、債権の消滅に関して発生した債権がどのようにして消滅するのかについて、総論的な解説を行う。 最後の授業内で筆記試験を課す。また、債権法と他の法領域についての関係性にも言及し、今後の履修計画の一助にしていきたい。
	事前学修	教科書の該当箇所を確認し、一般的な債務不履行制度と受領遅滞制度がどのように異なるか、制度趣旨や目的について確認し、責任財産の保全に関連して債権者代位権と詐害行為取消権の機能や目的の違いを予め確認し、どのような場面で機能するのかを検討する。 また、連帯債務とはどのような当事者が登場し、どのような債権関係に立っているか概要を確認し、保証債務の場合には、連帯債務とどのように異なるかを意識して、保証制度の機能や目的を確認しておく。さらに教科書の該当箇所から、債権譲渡の制度について、どのような目的の制度であるか、どのような場面で活用される制度であるかを確認する。 授業内で試験を行うため、それに向けて不明点を確認し、質問等によって解消できるようにする。

事後学修	<p>受領遅滞という概念の必要性や法的性質について、債務不履行制度との相違を説明できるか確認し、何故そのような理解が求められるのか確認する。責任財産を保全する必要性と債権者代位権・詐害行為取消権の制度趣旨や機能について具体的な事例を念頭に説明ができるようにする。</p> <p>連帯債務は、債権者にとってどういったメリットのある制度であり、どのような制度設計が念頭に置かれているかを理解し、債権者の権利の拡張を説明できるようにし、保証債務について、制度趣旨の違いを踏まえ、連帯債務者の場合と比較してどのような立法的な保護がなされているのかを理解し、説明ができるようにする。</p> <p>債権譲渡のやり方にはどのような類型があるのかを理解し、債務者・債権者・第三者の状況に応じてどのような手法が妥当であるかを考えられるようにする。債務が消滅する法制度間の差異を理解する。</p>
------	---

講座内容（シラバス）

[知的財産法]オープン受講:不可

安田 和史

- ◆**授業概要** 著作権制度は、著作物を生み出す著作者の労苦に報い、文化の発展に寄与できるよう著作物の利用を促し著作物を保護することを目的としている。著作権制度は、著作者による創作や実演家などの準創作行為の保護を中心としつつ、適正な利用の均衡点を模索しつつ毎年のように改正がされている。基本的な著作権法に関し判例等を参酌しながら理解を進めていきたい。
- ◆**学修到達目標** 講義では、テキストと判例を用いて著作権法の基礎理論について解説を行う。著作権法に関する入門的な知識を習得することを目的とする。
- ◆**授業方法** 講義形式による授業を行う。講義では、図などを用いて視覚的な理解が高まるように工夫をする。質問を受け付けられるよう、フォームなどを活用したいと考えている。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**授業計画**[各 90 分]

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	オリエンテーション。講義の概要、著作権法の目的、遠隔。著作権法と条約 教科書 265 頁～270 頁を読んでおくこと。 教科書及び配布資料を読み込み、理解を深める。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	著作権法の保護対象 その1 教科書 271 頁以下を読んでおくこと。 教科書及び配布資料を読み込み、理解を深める。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	著作権法の保護対象 その2 教科書 271 頁以下を読んでおくこと。 教科書及び配布資料を読み込み、理解を深める。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	著作者および著作者の権利 その1 教科書 280 頁以下を読んでおくこと 教科書及び配布資料を読み込み、理解を深める。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	著作者および著作者の権利 その2 教科書 280 頁以下を読んでおくこと 教科書及び配布資料を読み込み、理解を深める。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	著作権の制限その1 教科書 294 頁以下を読んでおくこと 教科書及び配布資料を読み込み、理解を深める。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	著作権の制限その2 教科書 294 頁以下を読んでおくこと 教科書及び配布資料を読み込み、理解を深める。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	著作権の制限その3 教科書 294 頁以下を読んでおくこと 教科書及び配布資料を読み込み、理解を深める。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	出版・著作隣接権 教科書 307 頁以下を読んでおくこと 教科書及び配布資料を読み込み、理解を深める。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	集中権利処理機関 教科書 326 頁以下を読んでおくこと 教科書及び配布資料を読み込み、理解を深める。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	権利侵害（民事上の救済） 教科書 329 頁以下を読んでおくこと 教科書及び配布資料を読み込み、理解を深める。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	権利侵害（刑事上の救済） 教科書 330 頁以下を読んでおくこと 教科書及び配布資料を読み込み、理解を深める。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	最近の法改正等について 事前学習資料を第 12 回までに配布する。 教科書及び配布資料を読み込み、理解を深める。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	最近の法改正等について 事前学習資料を第 12 回までに配布する。 教科書及び配布資料を読み込み、理解を深める。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	今後の法改正等について（海賊版対策関係） 事前学習資料を第 12 回までに配布する。 教科書及び配布資料を読み込み、理解を深める。

- ◆**教科書** 丸沼 土肥一史『知的財産法入門（第 16 版）』中央経済社（2019 年）3500 円（＋税）
ISBN-13: 978-4502293313
[当日資料配布] 当日資料を配布します。

◆参考書

- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提に、試験（60%）、授業への参加や貢献による平常点（40%）により行う。
- ◆**授業相談（連絡先）**: 初回授業時に案内します。

講座内容（シラバス）

〔国文学講義Ⅵ（現代）〕

尾形 大

◆**授業概要** 本講義は、日本人としてはじめてノーベル文学賞を受賞した作家・川端康成の代表的な小説群を通史的に読み進めることをとおして、大正後半から戦後までの川端文学の変遷とその特徴を整理・考察していくものです。当然のことながら、文学とは作家個人によってのみ作り出されるものではなく、同時代の社会的・文化的・歴史的な背景との結びつきの中で形成されるものです。川端文学が生み出される背景に関する理解を深めつつ、その世界を押し広げていきましょう。

◆**学修到達目標** 1. 文学を専門的に学ぶための姿勢や方法や概念について学び、文学を〈読む〉ための多様な視点の獲得と分析方法を理解し説明することができる。
2. 川端文学に組み込まれた同時代性を意識しながら、個別のテキストの位置付けと特徴について説明することができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

30～50分程度の授業動画を視聴のうえ、毎時課題レポートを作成・提出してもらいます。一度の視聴で理解が及ばない場合は期間内に繰り返し視聴すること。それでも不明な点についてはメール等で質問を受け付けます。

・対面授業

基本的に講義形式で行いますが、定期的に課題を課して授業内容の理解度を測り、同時に各人の考えを言葉に表してもらいます。受講生は指定されたテキストを通読した上で問題意識を持って授業に臨んでください。毎時リアクションペーパーを記入してもらい、次の時間に回答することで双方向的な授業を作っていきたいと思います。

◆**履修条件** 令和2年度夏季スクーリング『国文学講義Ⅵ（現代）』（担当教員：尾形大）との積み重ね不可。

◆**成績評価基準** 各回の課題レポートが、授業内容を踏まえられており、かつ一定の水準を越えていることをもって当該回の授業の出席と見なします（40%）。また、第9回に中間レポートを実施します（20%）。第15回目にはレポート形式の試験を実施します（40%）。毎回出席することを前提とするので、各課題を期限内にきちんと提出するようにしてください。期限後の提出は認めません。

◆**教科書** 川端康成『雪国』（新潮文庫）

『教科書で読む名作 伊豆の踊子・禽獣ほか』（ちくま文庫）

◆**参考書**

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	第1回：ガイダンス／川端康成に関する基礎的な情報の解説 第2回：川端康成『掌の小説』を読む 第3回：『伊豆の踊子』を読む①—「名作」の作られ方 第4回：『伊豆の踊子』を読む②—物語構造と「私」をめぐる分析 第5回：『伊豆の踊子』を読む③—同時代性と階級差
事前学修	第1～5回：①川端康成について調べておくこと。②『掌の小説』から1篇を選んで読んでおくこと。③『伊豆の踊子』前半を読んでおくこと。④『伊豆の踊子』後半を読んでおくこと。⑤『伊豆の踊子』について、自分の考えをノートに整理しておくこと。
事後学修	授業内容をノートに整理し、その内容に基づいて授業内で取り上げられたテキストを実際に読み直す。

・対面授業

1日目	授業内容	第6～10回：⑥『禽獣』を読む①—作家論的な読みの実践、⑦『禽獣』を読む②—私小説的な読みについて考える、⑧『禽獣』を読む③—「私」と人間と動物の錯綜、⑨前半の振り返りと中間レポートの作成、⑩『雪国』を読む①—物語構造と文体について
2日目	授業内容	第11～15回：⑪『雪国』を読む②—〈日本回帰〉との応答性・モデル問題について考える、⑫『雪国』を読む③—「がらんどう」の内実について考える、⑬『水月』を読む①—物語構造と屈折する愛情、⑭『水月』を読む②—同時代性とチャタレイ裁判への眼差し、⑮まとめ・教場試験（教場レポート）
	事前学修	第6～15回：⑥⑦⑧『禽獣』を読み、『禽獣』について自分の考えをノートに整理しておくこと。⑨これまでの授業ノートを読み返しておくこと。⑩⑪⑫『雪国』を読み、『雪国』について自分の考えをノートに整理しておくこと。⑬⑭『水月』を読み、『水月』について自分の考えをノートに整理しておくこと。⑮これまでの授業ノートを確認しておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、その内容に基づいて授業内で取り上げられたテキストを実際に読み直す。

講座内容（シラバス）

〔国語学演習Ⅰ～Ⅲ〕

杉山 俊一郎

◆**授業概要** 実際の日本語学的な分析・考察方法を知るために、具体的な文献として12世紀成立の説話集『今昔物語集』を取りあげ、全員で本文を分担、解読・逐語訳を作成・発表し、当該資料に見られる語法などについて、日本語学的な考察発表を行う。当該文献の言語と現代日本語との間に見られる差異が何を意味するのかを日本語史的な視座で考え、説明できるようになることを目的とする。また、日本語学的な調査の基本を抑えることも目指す。

◆**学修到達目標** 本演習における学修到達目標は次の三点である。
①調査文献に見られる言語事象について、国語学的な視座で考え、説明できるようになる。
②言語史研究に必要な文献資料やツールの探し方、取り扱い方が理解できるようになる。
③学術研究として成り立たせるためにはどのような手続きが必要なかが理解できるようになる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

本演習のねらい、実際の資料を取り扱った場合の作業手順や着目ポイントなどの解説をオンデマンドで実施する。また、理解度を確認するための課題を課す。解説の中で、日本語史の基本知識についても若干取り扱う予定であるが、以下に掲げる教科書・参考書などに拠って、あらかじめ日本語史の一通りを学習しておくことと理解しやすいと思う。

・対面授業

演習科目なので、全員が発表を行う。発表は二回行い、第一回が本文の確定（翻字・漢字の読み・ことばの係り受け等）・逐語訳を中心とする基礎的な調査、第二回が任意の言語事象に絞ったより深い調査。報告時の討議で明らかになった追加課題については最終レポートにまとめてもらう。

※履修人数によって、課題内容や発表の回数などは変更される場合があります。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 第一回、第二回発表及び質疑応答への参加80%、最終レポート20%。

◆**教科書** **資料配布 (Classroom)** 演習で取り扱う資料の影印（『今昔物語集』）、演習発表までの作業マニュアルや補助教材などを配布する。

通材『国語学講義 M30400』通信教育教材（教材コード000088）

◆**参考書** 丸沼『ガイドブック日本語史』大木一夫 ひつじ書房 2013年

丸沼『ガイドブック日本語史』大木一夫 ひつじ書房 2013年

丸沼『日本語学大辞典』日本語学会編 東京堂出版 2018年

◆**授業相談（連絡先）**：shun_sugiyama@shinshu-u.ac.jp

◆**授業計画（各90分）**

・オンデマンド

授業内容	動画1の内容：授業の概要や進め方についての説明を行う。 動画2の内容：『今昔物語集』に関しての解説を行う。また、本資料が日本語史上どのような点で重要なのかについても説明する。 動画3の内容：翻字作業と本文読解に関する解説を行う。その際に使用する各種ツールについても説明する。 動画4の内容：注目語をどのように調べるかの解説を行う。その際に使用する各種ツールについても説明する。 動画5の内容：資料のまとめ方について解説する。 *動画は大きく5つに分かれている。ただし動画を見やすくするため、ひとつの動画を短めに編集しているため、動画の本数全体は5つではない。動画それぞれには説明や番号をつけて掲示するので、順番に視聴すること。
事前学修	*事前学修は、授業動画それぞれの内容に対応している。 以下の事前学修は、調べることが中心である。 ・シラバスをよく読み、授業の概要や目的などを理解しておく。 ・自身の発表分担箇所にあらかじめ目を通し、動画を視聴した際に、具体的に作業課題がイメージできるように準備しておく。 ・日本語学や日本語史の概説書を一通り読んでおき、動画を視聴した際に、解説の内容が理解できるよう（または自分が読んだ本のどのあたりと関わるか思い当たるよう）準備しておく。
事後学修	・動画内で解説した箇所について、各自参考文献にあたりながら自分なりにまとめておく。この作業の中で、不明な点、理解に自信がない点があれば、自分の理解を示し、どこが分からないか（または自信がないか）を明確にしたうえでメールで質問する。

・対面授業

1日目	授業内容	・動画3の解説に沿って行った作業結果を、受講生一人一人に発表してもらう。作業は、翻字、漢字の読みや清濁の推定、句読点やカギ括弧などの付与、単語の調査、現代語訳などである。それらの作業結果を発表することは、各自が本文をどのように読解したかを示すということである。作業手順や内容については全員で確認し、課題を共有する。
2日目	授業内容	・各自の関心にもとづいて調べた課題について発表する。関心は文法、語彙、仮名遣いなどどのような観点でも良いが、きちんとした手続きにもとづいて調べられているかを確認する。調べ方、まとめ方などは動画4、5で解説し、そこで参考文献なども紹介する。発表後、問題設定の仕方、調べ方、まとめ方などに関して質疑応答を行う。
事前学修		*事前学修は、対面1日目の前までに行うことを想定している。 ・オンデマンド授業で扱った作業手順に沿って、2回分の発表レジュメを作成しておく。 ・レジュメ作成時に不明な点があれば、具体的な内容を添えてメールで質問する。
事後学修		*事後学修は、対面2日目を終えた後に行うことを想定している。 ・発表時に指摘された課題について修正、補強を行ったものをレポートにまとめて提出する。

講座内容（シラバス）

〔アメリカ文学史〕

鈴木 孝

◆**授業概要** アメリカ文学をより楽しむための基礎知識を養うために、19世紀前半の American Renaissance その2 (Herman Melville) から Lost Generation と呼ばれる時代までのアメリカ文学の歴史を、アンソロジー形式でまとめられたテキスト、文学史メモ、参考資料を利用しながら概観し、その流れを的確に把握していくための講義・説明を中心とした授業を行っていく。令和2年度実施の夏期スクーリングの続きの内容となる。

◆**学修到達目標** 1. 授業を通じて、卒論で扱えるような興味深い作家を探し当てることができる。
2. アメリカ文学の様々な作品を読む際に、ただ内容を楽しむだけでなく、歴史的な視点から解釈する力、批判的に読解できる力を身につけられる。
3. 様々な作品を読み、そこに描かれた外国文化に触れることで異文化に対する理解を深め、高い教養を身につけられる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

音声付きファイルを通じて、テキストで扱われているそれぞれの作家の生い立ちや作品の特徴、文学史的な位置・意味などに関する講義を行う。それぞれのおおまかな項目が終わった時点で、その項目に対する理解度を確かめるための課題を随時提出してもらう。

・対面授業

引き続きテキストで扱われているそれぞれの作家に関する講義を行い、随時課題を提出してもらう。課題に対するフィードバックおよび試験は、この対面授業時に行う。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 小テスト (50%)、試験 (50%) の総合評価とする。

◆**教科書** 〔**函**〕 An Outline of American Literature (アメリカ文学概観) 井上謙治編著 南雲堂 2005

* 『アメリカ文学史 0414』通信教育部教材とは別の教科書なので注意すること。

〔**資料配布 (Classroom)**〕 文学史メモ④～⑧、文学史資料④～⑧

◆**参考書**

◆**授業相談 (連絡先)** : suzuki.takashi09@nihon-u.ac.jp

◆**授業計画 (各 90 分)**

・オンデマンド

授業内容	American Renaissance 期に活躍した 15. H. Melville, 16. W. Whitman, 17. E. Dickinson, Realism 作家の 18. M. Twain までの内容について、Classroom 上にアップロードされている音声付きファイルを開覧後、各回毎に理解度を確認する課題 (小テスト) を Classroom 内で提出してもらう。
事前学修	テキストの引用文、配付資料「メモ4、資料4」、「メモ5、資料5」に前もって目を通し、不明点を明確にしておくこと。
事後学修	授業内容をまとめた配付資料「メモ4、資料4」、「メモ5、資料5」を確認し、理解を深めておくこと。

・対面授業

1日目	授業内容	Realism 作家の 19. H. James, Naturalism 作家の 20. S. Crane, 21. T. Dreiser, Chicago Renaissance 作家の 23. S. Anderson, 詩人 22. C. Sandburg, および詩人 24. R. Frost までの内容について、対面での講義を行い、理解度を確認する課題 (小テスト) を提出してもらう。
2日目	授業内容	2人の詩人 25. L. Hughes, 26. W. C. Williams の特徴、ならびに Lost Generation 作家の 27. F. S. Fitzgerald, 28. E. Hemingway に関する内容について対面での講義を行い、理解度を確認する課題 (小テスト) を提出してもらう。また、ここまで行った課題のフィードバックおよび試験もこの時間に行う。
事前学修		テキストの引用文、配付資料「メモ5～8、資料5～8」に前もって目を通し、不明点を明確にしておくこと。
事後学修		授業内容をまとめた配付資料「メモ5～8、資料5～8」を確認しておくこと。

講座内容（シラバス）

〔英語音声学〕

森 晴代

◆**授業概要** 発声器官の説明から始めて、母音、子音については細かい音声現象の説明、日本語と英語の違い、英米の違いの理解の徹底及び発音練習を行います。プロソディでは語強勢と文強勢に触れ、総合的な発音練習を行います。最終目的は発音記号を正確に読める力をつけることです。辞典を引くとき発音記号を意識して見るようにしておきましょう。授業には必ず辞典を準備してください。

◆**学修到達目標** 1. 日本語との違いを意識し、英語の発音の特徴及び発音記号を理解することができる。
2. 英語のスペルと発音のずれに意識を置き、正確な発音をすることができる。
3. 発音記号からスペルに変換することができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

動画による授業進行となります。2日で30～40分前後の動画を、合わせて5本配信します。動画の終わりにリアクションペーパーの提出をお願いしています。授業を視聴したという証拠として必ず提出してください。授業内容は、母音を扱います。事前に配布するプリントには専門用語が数多く出てくるので、前もって読んでおいてください。テキスト用プリントや練習問題はコピーして手元に置いた状態で、視聴してください。提出されたリアクションペーパーはこちらで成績を処理し、限定コメント欄でフィードバックいたします。

・対面授業

対面授業では、子音、語強勢、文強勢を扱います。理論的説明のあと、発音練習を行います。まとめとして課題プリントへの解答及び提出をしてもらいます。課題プリントは事前に Google Classroom 上で配布しておきます。発音記号を扱いますので、必ず辞典を持参してください。

◆**履修条件** 令和2年度夏期スクーリング『英語音声学』（森晴代）とは積み重ね不可。

◆**成績評価基準** 平常点（リアクションペーパー）→30%、課題プリント（Practice 1～4）→20%、レポート課題→50%

◆**教科書** プリント使用（Google Classroom 上に配布します）

◆**参考書** 『英語の音声を科学する』新装版 CD 付 川越いつえ著 大修館書店
『基礎から学ぶ音声学講義』加藤重広・安藤智子著 研究社

◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom 上にて受け付けます

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	ガイダンス。音声学とは？発声器官の名称説明（練習問題配布） 発音記号に慣れよう！（練習問題配布）及び解答、発音記号の見方の説明 基本母音の説明、英語の母音の分類基準の説明 前舌母音、後舌母音の説明及び発音練習 中舌母音、二重母音の説明及び発音練習
事前学修	音声学の学問領域について、参考書を読んで各自調べておくこと。発声器官のそれぞれの役割を見返しておくこと。発音記号を書けるようにしておくこと。基本母音について、参考書を各自調べておくこと。前舌母音、後舌母音、中舌母音、二重母音について、配布されたプリントを読んでおくこと。
事後学修	学問分野、発声器官の名称を覚えること。解答したプリントの発音記号を理解しておくこと。基本母音について、整理しておくこと。前舌母音、後舌母音の発音練習をしておくこと、日本語との違いを意識すること。中舌母音、二重母音の発音練習をしておくこと。英語と日本語の二重母音に対する認識の違いを理解しておくこと。二重母音の発音記号が書けるようにしておくこと。

・対面授業

1日目	授業内容	母音、二重母音の演習問題配布及び解答、子音の分類基準の説明、閉鎖音、摩擦音、破擦音、鼻音流音、半母音の説明と発音練習、リスニング演習。
2日目	授業内容	子音連続の説明と発音練習、子音の演習問題配布及び解答、語強勢、句強勢の説明、文強勢の説明、リスニング演習、レポート作成 提出。
	事前学修	英語の母音、二重母音の理論及び発音を理解しておくこと。閉鎖音、摩擦音、破擦音、鼻音、流音、半母音について、配布されたプリントを読んでおくこと。レポートに備え、理論の総復習をしておくこと。
	事後学修	英語の子音連続の発音練習をしておくこと。母語干渉を理解しておくこと。解答したプリントの復習をしておくこと。語強勢、句強勢、文強勢、通常強勢、対比強勢について正確に理解できたか復習すること。英語音声学における諸事象を理解できたか復習すること。

講座内容（シラバス）

〔英語学演習D〕

佐藤 健児

- ◆**授業概要** R. A. Close の “The Future in English”（1988）の精読を通して、英語の未来表現の世界を探求します。
- ◆**学修到達目標** 専門的な英文を読みこなす力を養成するとともに、個々の未来表現の微妙な意味の違いを理解し、説明できるようになること、それを本演習の学修到達目標とします。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
英語の時制と相について、動画で解説します。動画を視聴後、Google Classroom 上の課題に取り組んでください。課題にはフィードバックをつけておきますが、もし不明な点があればメールで質問してください。
 - ・対面授業
R. A. Close（1988）の 1.7 The future with BE GOING TO, 1.8 The future with BE-ING, 1.9 The future expressed by the simple present, 1.10 The future with BE TO, 1.2. A Special function of WILL BE-ING, 1.3 WILL affected by a personal attitude, 1.4 WILL in subordinate clauses, 1.11 Verb forms referring to future: summary の順に輪読形式で読み進めていきます。質問はその場で受けつけます。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**成績評価基準** Google Classroom 上の課題、予習状況、授業への取り組み（発表）等により総合的に判断します。予習をしていない場合は、大幅に減点します。
- ◆**教科書** 資料配布 (Classroom) オンデマンド授業の資料および R. A. Close の “The Future in English”（1988）
丸沼『英文法解説一改訂三版』江川泰一郎 金子書房 1991 年
- ◆**参考書** 丸沼『ことばの意味と使用』澤田治美・高見健一編 2010 年
丸沼『ジーニアス英和辞典』第5版 大修館書店 2014 年
丸沼『アクセスジーニアス英和辞典』大修館書店 2019 年
- ◆**授業相談（連絡先）**：Email (satou.kenji@nihon-u.ac.jp) で随時受けつける。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	英語の時制と相について、動画で解説します。 動画を視聴後、Google Classroom 上の課題に取り組んでください。 課題にはフィードバックをつけておきますが、もし不明な点があればメールで質問してください。
事前学修	事前に配布するオンデマンド授業用資料を熟読し、不明な点を明らかにしておいてください。資料中に出てくる英文に関しては、英和辞典や文法書などを駆使して、丁寧に（語法や文法の知識に基づいて）英文を精読し、全訳を作成しておいてください。
事後学修	授業での解説を基に、英語の時制と相について、説明できるようにしておいてください。また、正しく英文が解釈できなかった箇所について、今一度解釈を試みてください。

・対面授業

1日目	授業内容	R. A. Close（1988）の 1.7 The future with BE GOING TO, 1.8 The future with BE-ING, 1.9 The future expressed by the simple present, 1.10 The future with BE TO, 1.2. A Special function of WILL BE-ING, 1.3 WILL affected by a personal attitude, 1.4 WILL in subordinate clauses, 1.11 Verb forms referring to future: summary の順に輪読形式で読み進めていきます。質問はその場で受けつけます。
2日目	授業内容	R. A. Close（1988）の 1.7 The future with BE GOING TO, 1.8 The future with BE-ING, 1.9 The future expressed by the simple present, 1.10 The future with BE TO, 1.2. A Special function of WILL BE-ING, 1.3 WILL affected by a personal attitude, 1.4 WILL in subordinate clauses, 1.11 Verb forms referring to future: summary の順に輪読形式で読み進めていきます。質問はその場で受けつけます。
	事前学修	対面 1, 2日目で扱う部分に関して、英和辞典や文法書などを駆使して、丁寧に（語法や文法の知識に基づいて）英文を精読し、全訳を作成しておいてください。
	事後学修	授業での解説を基に、個々の未来表現の微妙な意味の違いを理解し、説明できるようにしておいてください。また、正しく英文が解釈できなかった箇所について、今一度解釈を試みてください。

◆授業概要

英詩の暗唱と英文解釈の授業です。William Wordsworth, William Blake そして Thomas Hood の作品をそれぞれ少しずつ（詩は 10 行前後の抜粋）鑑賞し、詩の説明が書かれたエッセイを読みます。詩の英語表現とその独特の世界を学ぶと共に、英語で書かれた文章を一字一句丁寧に日本語に訳していきます。英詩は声に出してリズムを体得し、皆の前で発表して頂きます。

◆学修到達目標

- ・英詩を覚えてリズムを体得し、皆の前で発表することがきる。
- ・英詩で使用されている英語表現を理解し、説明することができる。
- ・エッセイで使用されている単語、熟語等の意味を正確に言うことができる。
- ・エッセイを読んで、その英詩が描かれた背景を知り、詩人の意図を説明することができる。
- ・5つの英詩の中から自分が最も好きな詩を選び、その理由をしっかりと説明することができる。

◆授業方法

- ・オンデマンド

Google Classroom 上に公開される授業動画を視聴し、その後、課題に取り組み、期限までに課題を提出してください。授業内容で不明な点がある場合、Google Classroom 上に質問を受け付ける場所を用意しておきますので、そちらに質問を書き込んでください。

- ・対面（参考）

オンデマンドに引き続き、「授業計画」に示した内容を行います。授業の進め方は、基本的には、オンデマンドと同じですが、対面では皆さんに参加していただきます。英詩とエッセイの音読をどんどん行っていただき、英詩の暗唱とエッセイの日本語訳も行っていただきます。授業内試験を最後に行います。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

オンデマンド授業（提出課題：40%）と対面授業（参加、発表、小テスト、試験：60%）で、総合的に評価します。但し、全ての授業に出席することを前提といたします（オンデマンド授業の場合、課題の提出が出席を兼ねます）。

◆教科書

『英詩へのいざない』(English Poems and Their Meanings) Peter Milward 音羽書房鶴見書店 1992年, 1,600円(+税) ISBN: 978-4-7553-0102-5

※夏期スクーリングの授業では、5章のうち1章のみを扱います。

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上でお知らせします。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	I. POEMS OF NATURE 1. Nature -William Wordsworth 2. The Rainbow -William Wordsworth
事 前 学 修	教科書の1ページから7ページを予習してください。英詩は、大まかで良いですので内容を把握してください。エッセイは、分からない単語・熟語などを確認し、英文を日本語訳できるようにしておきましょう。上記事前学習が終わりましたら、授業動画を視聴してください。
事 後 学 修	授業動画を視聴後、各課題に取り組み、期限までに提出してください。動画で学んだ英詩について、それぞれの英詩の何処に魅力や面白さを感じるのか考えてみましょう。エッセイの内容も含めて、最も印象に残ったこと（詩の英語表現、Wordsworthの思想、自身の考えなど）を、メモに残しておいてください。対面授業で、他の3つの詩を学ぶ際に、比較対象として参考にします。

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	3. Innocence -William Blake 4. Memory -Thomas Hood”
2 日 目	授 業 内 容	5. Rocks and Stones and Trees -William Wordsworth 6. 授業内試験”
事 前 学 修	教科書の8ページから17ページを予習してください（夏期スクーリングの授業で扱う内容は第1章のみです）。英詩は、大まかで良いですので内容を把握してください。エッセイは、分からない単語・熟語などを確認し、英文を日本語訳できるようにしておきましょう。対面授業では皆さんに参加していただきます。オンデマンドでは出来なかった音読を行います。英詩を覚えて皆の前で発表したり、エッセイをその場で日本語訳していただきます。試験の詳細は、対面授業で説明しますが、授業で学んだことを振り返る内容です。	
事 後 学 修	5つの英詩を読み、自身が最も興味深いと思った内容を、具体的に覚えておきましょう。今後、卒業論文などを書く際に、自身が何に心を動かされるのかを知っておくことは有効です。また、「文学作品を読む時、批評をすぐに読んだり、その詩人の生涯を先に知ろうとするようではいけない。その作品と自分と1対1で向き合って原文をよく読むことで、何かを得ることができるのである。」・・・この言葉は、私の師範が言ったことですが、そのまま皆さんにお伝えしても宜しかろうと思います。この授業も幅は広げず淡々と詩とエッセイを読むだけですが、ひとつでも皆さんの心の琴線に触れることを紹介することができたら良いと思っています。	

講座内容（シラバス）

〔宗教学基礎講読〕

富田 真浩

◆**授業概要** 宗教は我々の生活と密接にかかわっている。そのことに気づいている人もいれば気づいていない人もいる。宗教学の基本から学ぶことで、宗教と宗教学の違いを学び、宗教と呼ばれる文化現象に共通する事項を通して宗教を科学的に観察する力を養う。また、原始宗教や世界で最も信者数の多いキリスト教と、その成立する母体となったユダヤ教について学ぶ。

◆**学習到達目標** 宗教学の基本事項を把握し、宗教現象を科学的に観察する力を身に付ける。また、宗教学の視点から捉える原始宗教とユダヤ教とキリスト教に関する基本的な知識を身に付け、説明することができるようになる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

教科書を事前に読んでいることを前提とし、その内容を解説する動画を配信する。また、教科書と動画により知識を得たことを証する小レポートの提出を求める。

・対面授業

テキストを事前に読んでいることを前提とし、その内容を解説する。また対面授業初日の授業の終わりに、知識を得たことを証する小レポートの提出を求め、最終授業日には、この授業全体の範囲から、それまで同様に、この授業において宗教学の基本的な知識を得たことを証するレポートの提出を求める。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** オンデマンド教材で出題される小レポートを提出すること（全体の30%）。対面授業で出題される小レポートを提出すること（30%）。対面授業最終日に提出される小レポート試験を提出すること（全体の40%）。オンデマンド授業と対面授業において総合的に評価する。すべての授業に出席していることを前提として評価する。また、対面授業を1回でも欠席した者は成績評価対象外とする。（遅刻は出席扱いとする。）

◆**教科書** 丸沼『ビジュアルではじめてわかる宗教』フィリップ・ウィルキンソン著 島田裕巳監訳 東京書籍 2015年

◆**参考書** なし

◆**授業相談（連絡先）**：masairo18@yahoo.co.jp

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	宗教とはなにか。宗教の構成要素。 原始宗教に見られる特徴。
事前学修	教科書10-55ページを熟読し、その概要を項目ごとにまとめておくこと。
事後学修	授業動画の内容を復習し、分からないところがあれば図書館等で調べ、まとめておくこと。

・対面授業

1日目	授業内容	宗教学の視点から見たユダヤ教の特徴。（起源と歴史、教義、宗教文献、倫理・道徳・法、実践と祝祭、ユダヤ教の諸宗派について）
2日目	授業内容	宗教学の視点から見たキリスト教の特徴。（起源と歴史、教義、聖書、倫理・道徳・法、実践と祝祭について）
事前学修		教科書のユダヤ教に関する記述（61-83ページ）の内容を熟読し、項目ごとにまとめておくこと。 教科書のキリスト教に関する記述（85-103ページ）の内容を熟読し、項目ごとにまとめておくこと。
事後学修		授業内容を整理し、今後の学習のためにも疑問に思った事などを図書館等で調べ、まとめておくこと。

講座内容（シラバス）

〔科学哲学〕

江川 晃

◆**授業概要** 科学は技術と結びつくことにより、正・負両面に、莫大な影響を与えている。地球温暖化問題、遺伝子操作、再生医療、原発事故等は、科学技術によりもたらされた、人類の存亡に関わる重大な問題であろう。このような科学と社会との関係および科学者の倫理的規範について、科学社会学の知見から考えてみよう。

◆**学修到達目標** 科学が技術と結合して「科学技術」へと変貌していく過程において、科学社会学は生じてきた。この講座の目標は、科学技術の先端化と社会的リスクの増大とが表裏一体であることに言及しつつ、科学技術の実践に必要な不可欠な「倫理」あるいは「社会的説明責任」について考察できる能力を養うことにある。

◆**授業方法**

・オンデマンド

授業動画は内容に沿って分割し、番号を付している。まずは、全体を順に視聴すること。一度の視聴では分からなかった内容の動画は重点的に繰り返して視聴すること。それでも不明な点についての質問は随時受け付ける。なお、動画の中には課題が含まれている場合があるが、別途、正確な課題は明示する。

・対面授業

◆**履修条件** 令和2年度昼間スクーリング（後期）『科学哲学』（江川晃）とは積み重ね不可。

◆**成績評価基準** オンデマンド授業で出される課題は評価対象であるのですべて提出すること（全体の50%）。対面授業では、各日の最後の時間を実施する授業内レポートが評価対象となる（全体の50%）。オンデマンド授業、対面授業において総合的に評価する。すべて出席していることを前提として評価する（オンデマンド授業の場合、課題の提出が出席を兼ねる）。

◆**教科書** 丸沼『科学哲学への招待』、野家啓一著（ちくま学芸文庫）、筑摩書房、2015年
[資料配布 (Classroom)] パワポイント動画配信

◆**参考書**

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	1 科学哲学とは何か 2 科学社会学の展開 (1) 科学社会学の成立 (2) 科学知識の社会学 (3) サイエンス・ウォーズ
事前学修	教科書の該当箇所を予習し、それぞれの内容を大まかに把握する。
事後学修	動画を復習し、それぞれの要点を明確にまとめること。

・対面授業

1日目	授業内容	3 科学の変貌と科学技術革命 (1) [科学技術] という言葉 (2) 科学技術革命 (3) 科学の変貌と再定義 4 科学技術の倫理
2日目	授業内容	(1) 地球環境問題 (2) 科学技術の社会的責任 (3) 科学技術と公共性 5-1 3・11 以後の科学技術と人間(1) 5-2 3・11 以後の科学技術と人間(2)
	事前学修	教科書の該当箇所を十分に読んで、内容をつかんでおくこと。
	事後学修	動画をよく復習し、科学技術の倫理的問題を的確に把握すること。

講座内容（シラバス）

〔東洋史特講Ⅰ〕

須江 隆

◆**授業概要** 嘗ての人々の生き生きとした日常性や生活の実態、価値観などが解明されれば、現代を生きる我々が日常生活を見つめ直す上で、大いに役立つはずであり、そこに歴史を学ぶ意義もある。そこで本授業では、「南宋・洪邁『夷堅志』の世界を読む」というテーマに即し、中国宋代に焦点を当て、当時の社会における日常性を把握する上で有効な筆記史料『夷堅志』の世界を読み解いていくことを通じて、宋代における日常生活の特質の理解を目指す。比較史的な視点から現実を見つめ直してもらいたい。

◆**学修到達目標** ①『夷堅志』とその著者洪邁について具体的に説明できる。

②中国宋代の時代性と日常性について概説できる。

③『夷堅志』の逸話から見えた宋代中国の日常から、現代社会に生きる我々は、何を学べて、どんな現実を見つめ直すことができるのかを具体的に論述できる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

各授業回において、Google Classroomにアップロードした音声付き PowerPoint 資料教材（前半）（後半）（1回につき各15分～30分程度×2本）や授業資料を繰り返し視聴し、授業内容の要点などをノート等に整理して理解を深める。課題を2回課し、授業内容の理解度をチェックする。課題の個々へのフィードバックは、Classroom上で行うが、対面授業の最初の授業時にも、口頭で講評と解説を行う。質問には、Google Classroomのコミュニケーションツール等を活用して随時対応する。

・対面授業

オンデマンド授業で提示された動画は必ず視聴していること。対面授業では、『夷堅志』所収の逸話をいくつか選読し、それらの逸話から見出せる当時の社会の現実を解説しながら授業を進めていく。最後に筆記試験を課し、学修到達目標の達成度を測る。質問には、授業時間内に質疑応答の時間を設けて対応する。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** オンデマンド授業で出される2つの課題は評価対象であるので、すべて提出すること（全体の30%）。対面授業では、最終日の最後の時間に実施する授業内筆記試験が評価対象となる（全体の70%）。オンデマンド授業と対面授業において総合的に評価する。すべて出席していることを前提として評価する（オンデマンド授業の場合、2度の課題の提出が出席を兼ねる）。

◆**教科書** **資料配布 (Classroom)** オンデマンド授業で使用する音声付き PowerPoint スライド資料及び授業資料を事前に配信する。
その他 対面授業で使用する資料は紙媒体で当日配布する。

◆**参考書** 丸函『南宋の隠れたベストセラー『夷堅志』の世界 (アジア遊学 181)』伊原弘・静永健共編 勉誠出版 2015年

◆**授業相談 (連絡先)** : sue.takashi@nihon-u.ac.jp

◆**授業計画 (各 90 分)**

・オンデマンド

授業内容	第01回授業ガイダンス 授業の進め方や到達目標などを説明する。また授業担当者の自己紹介を兼ねて、これまでの研究履歴に言及する。 第02回『夷堅志』が書かれた南宋時代 中国史上の南宋時代が、これまでにどのような時代と捉えられてきたのかを、「南宋画期論」などに即して解説する。 第03回『夷堅志』の著者・洪邁 『夷堅志』を著した知識人・洪邁の人物について解説する。 第04回ベストセラー『夷堅志』とは 『夷堅志』とはどのような内容の著作であるのかを解説し、その史料性や研究への活用の可能性などにも言及する。 第05回『夷堅志』出版のその後 『夷堅志』の南宋時代やその後における出版事情を解説し、後世の人々の『夷堅志』受容の在り方にも言及する。
事前学修	第01回：シラバスを熟読して、授業概要や学修到達目標などを理解しておくこと。 第02回：中国史上の南宋時代とは、どのような時代であったのかを、参考書やインターネット情報などを参照して、調べてまとめておくこと。 第03回：『夷堅志』の著者である洪邁について、参考書やインターネット情報などを参照して、情報を収集し調べてまとめておくこと。 第04回：『夷堅志』とは、どのような著作であるのかについて、参考書やインターネット情報などを参照して、情報を収集し調べてまとめておくこと。 第05回：『夷堅志』の出版と後世の人々の受容について、参考書やインターネット情報などを参照して、情報を収集し調べてまとめておくこと。
事後学修	各回ともに、繰り返し配信教材を参照しながら授業の内容をノートに整理し、授業内容の理解に努めること。第01回及び第05回授業終了後には、課題1、課題2に取り組み、作成して提出すること。

・対面授業

1日目	授業内容	第06回振り返りⅠ 第01回～第05回の授業を振り返り、課題1、2の講評と解説も行う。 第07回『夷堅志』選読Ⅰ「丹州石鏡鼓」の解説・解説を通じて、当時の社会の現実を検討する。 第08回『夷堅志』選読Ⅱ「樓煩道中婦人」の解説・解説を通じて、当時の社会の現実を検討する。 第09回『夷堅志』選読Ⅲ「河中西巖龍」の解説・解説を通じて、当時の社会の現実を検討する。 第10回『夷堅志』選読Ⅳ「宋中正」の解説・解説を通じて、当時の社会の現実を検討する。
2日目	授業内容	第11回『夷堅志』選読Ⅴ 「呂使君宅」の解説・解説を通じて、当時の社会の現実を検討する。 第12回『夷堅志』選読Ⅵ「劉承節馬」の解説・解説を通じて、当時の社会の現実を検討する。 第13回『夷堅志』選読Ⅶ「聞氏女子」の解説・解説を通じて、当時の社会の現実を検討する。 第14回振り返りⅡ授業全体の総括と質疑応答を行う。 第15回筆記試験と解説学修の到達目標の達成度を測るために、筆記試験を実施し、終了後に解説を行う。
	事前学修	1日目：オンデマンド授業の第01回～第05回までの内容を総復習し、理解に努めておくこと。 2日目：1日目に配付した授業用資料に一通り目を通し、『夷堅志』所収の逸話「呂使君宅」「劉承節馬」「聞氏女子」の内容を大凡把握しておくこと。学修の到達目標を再確認し、筆記試験問題を想定した対策をしておくこと。

事後学修	<p>1 日目：講義ノートや当日配布した授業用資料に再度目を通し、授業内容の理解に努めること。特に『夷堅志』所収の逸話「丹州石鏡鼓」「櫻煩道中婦人」「河中西巖龍」の内容とそれらから見出せた当時の社会の現実についての理解に努めること。</p> <p>2 日目：講義ノートや当日配布した授業用資料に再度目を通し、授業内容の理解に努めること。特に『夷堅志』所収の逸話「呂使君宅」「劉承節馬」「聞氏女子」の内容とそれらから見出せた当時の社会の現実についての理解に努めること。</p>
------	---

講座内容（シラバス）

〔西洋史演習Ⅰ・Ⅱ〕

伊藤 雅之

◆**授業概要** 西洋古代史に関する史料や、現代の研究者の論稿を取り上げながら、過去へのアプローチの仕方を多角的に学ぶ。授業は概ね、古代の作家たちがどう情報を収集し、それをどう分析・統合して他者に伝えていったかという点と、さらに現代の歴史家が自身の研究をどう進めているかについて教員が解説し、そしてその上で、教員が提示した史料や現代の論稿のいずれかを受講者が分析し、またそれについて報告を行なうという形で進める。

◆**学修到達目標** 歴史的、あるいはまた現代社会的な事象を、関連情報を多角的に検討しつつ自分なりに分析し、かつそれを他者に論理的に説明し、また異なる見解を持つ他者と理性的に、そして一定のルールを踏まえながら議論する術を身につける。また、自身を取り巻く様々な出来事の中に自分なりの問いを見出し、それを適切な形に整えつつ、しばしば他者に発し、また自分としての解答を作り上げるといった作業に親しむ。

◆**授業方法**

・オンデマンド

担当教員が用意したレジュメと授業動画を用いて実施する。内容についての不明点はメールにて随時受け付けるが、可能な限り各自でもレジュメをよく読み込み、また必要ならば Google 検索などを用いてよいので、調べること（特に固有名詞や概念、地名については、レジュメにて適宜あげておく地図や用語説明などを用いつつ、しっかり確認しておいてほしい）。また、ここで取り上げたことに関連した小課題を課す。

・対面授業

オンデマンド授業で取り上げた事項についての補足や追加の説明を行ないつつ（小課題についての解説もこの中で行なう）、受講者にも、担当教員が提示した史料や論稿についての報告を行なってもらい、なおかつその後報告者以外の受講者を交えての質疑応答やディスカッションをする。前者と後者の時間配分については受講者の人数を見つづめる。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 授業内での報告（30%）、報告に付随して行なわれる質疑応答を踏まえつつ、スクーリング終了から10日～2週間程度のうちに提出してもらうレポート（30%）、オンデマンド授業で扱った内容に関連して出す小課題（20%）、授業内での報告に付随して行なわれる質疑応答への参加（20%）

◆**教科書** なし

◆**参考書** 丸沼『ヘロドトスとトゥキュディデス』、桜井万里子、山川出版社、2006年

丸沼『歴史学の思考法』、東京大学教養学部歴史学研究会編、岩波書店、2020年

◆**授業相談（連絡先）** : itou.masayuki@nihon-u.ac.jp

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	まず第1限において古代ギリシアの歴史家たち（特にヘロドトスとトゥキュディデス）とその作品を取り上げ、その内容と、そこでどのように過去へのアプローチが行なわれたかを講義する。 第2限では、引き続きギリシアの歴史家たちに目を向けつつ、彼らがどのように既存の情報を分析したかについて論じる。 第3限ではローマの歴史家たちとその作品を取り上げ、作品を著した者が身を置く環境がその作品に及ぼす影響に注目した講義を行なう。 第4限では、古代ギリシア・ローマの人々が非常に多く作成した碑文文書をいくつか紹介しながら、記録や記憶を物質的に残すという行為について多角的に検討する。 第5限では、担当教員が、現代の歴史家が執筆した論文を題材に、歴史学の論稿がどのような構造をしているか、それがどういった意識の下で形成されているのかを解説していく。
事前学修	参考書として提示している文献を可能な限り読んでおくこと、第5限で取り上げる論文に目を通しておくことをまずは求めたい（後者は必須）。どういった論文を5限の題材とするかは夏期スクーリングの時期が近づいたところで改めてアナウンスするが、基本的にはJ-STAGEで無料公開されているものを選ぶ予定である。また、参考文献および5限で取り上げる論文を読む際には、その内容（本文だけでなく註も含む）についてのメモを、その書籍ないし論文中のどこでそれについて論じられていたかという点（具体的には、ページの番号や第1章第2節といった具合の作品中の区分）と合わせて、取っておくこと。
事後学修	オンデマンド授業で配るレジュメに付属させる形で提示した、西洋古代史に関連する史料や論稿のいずれかを、自身が対面授業期間中に行なう報告の題材として選び、それについて、その書き手がどのようなやり方で自身の議論を進めているかという点に留意しつつ、どの部分においてどのようなことが述べられているかなどについてのメモないし要約を作成しながら、熟読しておく。また、オンデマンド授業終了後に担当教員が課す、同授業で取り上げた内容に関連する小課題を、授業に関連して配布したレジュメを見直ししながら、対面授業が始まる前々日までに仕上げ担当教員に提出する。

・対面授業

1日目	授業内容	まず、オンデマンド授業に関連して課した小課題の解説をする。次いで、受講者各人による、担当教員が事前に提示した史料ないし論稿についての内容報告と、またそれに関連した質疑応答やディスカッションを、他の受講者を交えながら行なう。どういった史料・論稿を報告の題材とするかという点については、オンデマンド授業終了から数日のうちに、各人から希望を取りつつ調整していく。受講者が比較的小さい場合には、課題の解説に続けて、オンデマンド授業で行なった講義内容の補足説明などを、受講者による報告などの前に適宜差し挟む。
2日目	授業内容	対面1日目に引き続き、受講者による報告と、それに関連した質疑応答・ディスカッションを行ない、受講人数の状況によっては講義の続きを実施する。また、この講義の中で、授業後に提出を求めるレポート作成を意識しながら、レポート執筆の方法についても解説する。
	事前学修	報告を行なうための史料ないし論稿を読み込み、オンデマンド授業の第5限の講義内容を思い出しつつ、報告レジュメを作成する。また、他の受講者が報告の題材とする論稿などについても可能な限り読み、またメモなどを適宜作成し、報告後の質疑応答・ディスカッションに参加できるよう準備しておくこと（これへの参加もまた成績評価に大きく影響することに注意してほしい）。
	事後学修	対面授業内で自身が報告を行なった題材に関するレポートを作成する。報告に先立って自身が作成したメモやレジュメ、さらに質疑応答・ディスカッションの中で言及された内容、そしてレポート執筆に関する解説を踏まえつつ作成すること。具体的な提出期限はスクーリング期間中に明示するが、概ねスクーリング終了から10日～2週間程度のうちに設定することを予定している。字数については特に定めないが、及第点に達するにはA4用紙換算で5枚分を超えるくらいは最低でも必要と想定している。

講座内容（シラバス）

〔日本経済史〕

飯島 正義

◆**授業概要** 第2次世界大戦後の日本経済の歩みを学んでいきます。具体的には、経済復興期、高度経済成長期、安定成長期、バブル経済期までの日本経済について説明していきます。

◆**学修到達目標** 第2次世界大戦後の経済復興からバブル経済の崩壊にいたる期間の日本経済の歩みについて説明することができるようになる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

授業資料（PDF）は Classroom 内で配布します。1回の授業で授業動画を2本配信し、視聴していただく予定ですが、ZOOMが使用可能な場合にはそれも組み合わせていきたいと考えています。その場合には、改めて Classroom で連絡します。また、授業の理解を確認するために「確認問題」を授業資料に添付しています。確認問題の解答は期限内に提出してください（遅延は不可、解答提出は出席も兼ねます）。確認問題の解答と解説は、次回の授業の中で行います。授業内容等の質問は、Gmailあるいは Classroom で受け付けます。

・対面授業

授業は、対面授業1日目と2日目の授業資料を配布し、それを使用して進めていきます。授業内で「確認問題」をやっていただき、解答と解説を行います。また、授業内容等の質問も授業内で受け付けます。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 授業資料の「確認問題」の解答提出（30%）と最終試験（70%）で総合的に評価します。

◆**教科書** 資料配布（Classroom） 授業資料（PDF）は、Classroom で配布します。

◆**参考書** 丸沼『概説日本経済史 近現代 第3版』三和良一著 東京大学出版会 2012年

◆**授業相談（連絡先）**：ecma90182@g.nihon-u.ac.jp

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	オンデマンド授業では、以下の授業内容を学んでいきます。 1. 戦前と戦後の日本経済をどう理解するか（断絶説・連続説） 2. 連合国による占領統治 3. 戦後の三大経済改革（財閥解体・農地改革・労働改革） 4. 経済復興一傾斜生産方式 5. ドッジラインと特需ブーム
事前学修	まず、オンデマンド授業、対面授業のシラバスを読み、全体の授業内容を確認してください。次に、各回の授業資料を読むとともに、合わせて参考文献等で関係するところを読んで理解を深めておいてください。
事後学修	オンデマンド授業の内容は、第2次世界大戦後の日本経済の時期区分でいうと「経済復興期」にあたります。「経済復興期」の日本経済を全体としてまとめてください。

・対面授業

1日目	授業内容	授業内容は、「高度経済成長期」を中心に学んでいきます。内容は以下の通りです。 1. オンライン授業の復習と確認 2. 1950年代の産業政策 3. 高度経済成長の要因とメカニズム 4. 開放体制への移行 5. 高度経済成長の問題点 6. 2度のショックーニクソンショックとオイルショック
2日目	授業内容	授業内容は、「安定成長期」・「バブル経済期」を中心に学んでいきます。内容は以下の通りです。 1. 対面第1日目授業の復習と確認 2. スタグフレーションと日本経済 3. 産業構造の変化 4. プラザ合意と円高不況 5. バブル経済の形成と崩壊 6. 総まとめと試験
	事前学修	これまでのオンデマンド授業の授業内容を再度確認するとともに、対面授業で行う授業内容を参考文献等読んで理解を深めておいてください。
	事後学修	オンライン授業を含め、これまでの授業資料を読み返し、戦後の日本経済の全体の流れとポイントを確認するとともに、自分の理解をさらに深めてください。

講座内容（シラバス）

〔商法〕

金澤 大祐

◆**授業概要** 現代社会においては、多くの事業が株主会社形態で営まれており、会社経営を行う者のみならず、日常生活を営む上でも、株式会社の基本的な仕組みを知っていることが求められる。そこで、本授業では、商法のうち、会社法について、株式会社を中心に、設立から、資金調達、機関、企業買収についての基礎的な事項を講義し、その際には、受講者が具体的なイメージを持ちやすいように、会社法が関係する具体的な事例について取り扱うこととする。
本授業では、現役弁護士の教員が、専門分野に関する実務経験を講義に反映させている。

◆**学修到達目標** 会社法上の基礎的な条文を六法で引くことができる。
会社法上の基礎的な制度について、その概要や制度趣旨を説明することができる。
会社法上の基礎的な判例について、事案、争点及び裁判所の判断について説明することができる。

◆授業方法

・オンデマンド

Classroom上にアップしたレジュメと録画を視聴した後に、formsの課題を提出する。課題の解説は、対面講義にて行う。

・対面授業

講義形式が基本であるため、予習と復習が必須であるが、漫然と講義を受講していても知識が定着しないため、講義内での質疑応答（人数が多い場合にはリアクションペーパー）及び小テストを実施することによって知識の定着を図る。

◆**履修条件** 民法を履修していることが望ましい。

◆**成績評価基準** オンデマンドの課題 30%、対面講義への参画度 20%、試験 50%

◆**教科書** **資料配布（Classroom）** 毎回の講義レジュメは、オンデマンド及び対面双方とも、Classroomにアップする。
丸沼 最新版の六法

◆**参考書** **丸沼** 松嶋隆弘＝大久保拓也編『商事法講義1 会社法』（中央経済社、2020年）
丸沼 岩原紳作ほか編『会社法判例百選〔第3版〕』（有斐閣、2016年）

◆**授業相談（連絡先）**：メール（kanazawa.daisuke@nihon-u.ac.jp）又はClassroomの限定コメント

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	株式会社の設立手続と会社の能力 株主の地位と株主間の利害調整 株式の内容と株式の流通 会社の資金調達方法
事前学修	授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。
事後学修	課題について、解説録画を視聴し、間違えた箇所や理解が不十分な箇所をテキストやレジュメを参照して、復習すること。

・対面授業

1日目	授業内容	オンデマンド講義の解説 株主総会の意義と招集手続 株主総会の運営 株主総会決議の瑕疵 取締役の選解任と取締役会 取締役の義務、取締役の報酬 企業会計と監査役、指名委員会等設置会社と監査等委員会設置会社
2日目	授業内容	役員等の対会社責任と対第三者責任 組織再編の意義と手続 組織再編における救済手段 事業譲渡とキャッシュアウト 試験
事前学修		授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。
事後学修		授業で取り扱った具体的な事案について、理解しておくこと。

◆授業概要

◆学修到達目標

現代の学校教育を取り巻く様々な問題への理解を確実なものとするために、以下のトピックを取り上げ、多角的な授業を展開する。トピックの内容は、近代公教育制度の成立（教育の権利と義務）、現代の学校を取り巻く制度改革や地域との連携、教師職務と専門性、学力と評価制度、教育委員会制度の改革、学校と地域の連携（コミュニティ・スクール）、学校安全への対応などである。現代の教育改革の理念や背景を理解したい。以上のことを、教育委員会の社会教育委員としての地域教育行政、学校運営協議会委員長としてのコミュニティ・スクール運営の経験等を踏まえて、それらを授業内容に反映させる。

◆授業方法

・オンデマンド

現代の国内外の学校制度改革の様々な動向を、基礎的事項や用語を中心に、学生自身が理解し、説明できるようになる。その際に、社会の状況や歴史的背景を理解し、その変化が現代の学校教育にもたらす影響や課題が検討できるように配慮する。具体的には、授業動画による講義内容の基本をまとめるノート作成・整理、内容確認のための小テスト、指定したテキストに記載された各章のキーワード（20）の用語解説をレポート課題として課す。

・対面（参考）

現代の学校教育を取り巻く様々な問題への理解を確実なものとするために、政治・経済・福祉・文化などの社会的観点からのアプローチも取り入れ、受講学生の教育に関する広範囲で深い視野を育成しつつ、教育への基礎的・基本的な視座を養うことを目標にする。制度的なものを見方を習得することができる。具体的には、課題レポートの評価と問題点の指摘、再学習などオンデマンド授業の復習を行なった上で、授業内容のより深い理解を目標にする。また、学校選択制度、教師の過重労働、学力評価などの問題を題材として、グループ討論や課題レポートの作成を行なう。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

小テスト・小レポートなどを含む授業への参画度（40%）、課題レポート（20%）、最終試験（40%）で総合的に判断します。

◆教科書

『教育学へのアプローチ～教育と社会を考える 18 の課題～』北野秋男編著、啓明出版、2017年（2,158円）

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

必要な資料などあれば、Classroom上にて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

<p>授 業 内 容</p>	<p>(1回目) ガイダンス、全体の授業構成、課題の説明、評価方法など。「序章」(近代公教育制度の成立と発展)のポイント説明とキーワードの確認。 (2回目)「第1章」(学校選択制度)、「第2章」(学級制度)のポイント説明とキーワードの確認。 (3回目)「第3章」(学びの変遷)、「第4章」(教育委員会制度)のポイント説明とキーワードの確認。 (4回目)「第5章」(教師の専門職性)、「第6章」(学力評価)のポイント説明とキーワードの確認。 (5回目)「第7章」(格差と教育)、「第8章」(多様なニーズへの挑戦)のポイント説明とキーワードの確認。課題レポートの提出方法。</p>
<p>事 前 学 修</p>	<p>(1回目) シラバスをよく読み、テキストを購入し、「はじめに」を読んでおくこと。1章から8章までのキーワードの用語を確認しておくこと。授業動画が毎回各30分、受講学生の学習活動が毎回各30分、課題レポート作成準備のための自習時間が毎回30分を基本とする。 (2回目～5回目) 授業動画では各章の重要事項や内容の解説を行なう。受講学生は、事前に各章の概要を熟読した上で、各章のキーワードに関するテキストの説明を十分に理解しておくこと。テキストの内容に関する疑問点や問題点の整理をしておくこと。毎回の受講学生による学習活動では、各章の重要事項の整理をノートを使って作成・整理するので、あらかじめノートの準備と重要事項の作成・整理に関する自分なりの方法を検討しておくこと。</p>
<p>事 後 学 修</p>	<p>(1回目～5回目) 授業動画における各章の重要事項や内容の解説に関するノート作成と整理を、テキストを使って補充・修正し、各章の復習を行なう。また、授業動画で出題された小テストの内容を確認し、記述しておくこと。各章のキーワードに関する授業動画での説明、ならびにテキストの説明を十分に理解し、自習学習で行ったキーワードの説明を3行程度(100～120字)の文章で記述しておくこと。5回目の授業終了後の1週間以内に課題レポートの提出を求める。授業動画で感じた重要事項の内容に関する疑問点や問題点の整理をし、対面授業でも確認できるように準備しておくこと。</p>

・ 対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	<p>（午前の時間：180分）ガイダンス、全体の授業構成、課題の説明、評価方法など。オンデマンド授業で行われた授業動画の内容に関する疑問点や問題点の確認と解説。提出された課題レポートの講評と内容上の再確認（90分）。「第1章」の学校選択制度に関する導入経緯、実施内容、メリット・デメリットの確認（90分）。</p> <p>（午後の時間：270分）学校選択制度に関する「賛成」「反対」の小レポート作成（60分）。グループ討論の実施（60分）。ディベートの総括と反省（30分）。小レポートの作成と提出（40分）。「第2章」と「第4章」をふまえた教師の専門職性と多忙化問題に関する資料の講読（80分）。</p>
2 日 目	授 業 内 容	<p>（午前の時間：180分）教師の多忙化問題を引き起こす要因の整理と問題点の改善（90分）。グループ討論（60分）。全体討論（30分）小レポートの作成と提出（90分）。</p> <p>（午後の時間：270分）「第3章」と「第6章」をふまえた学力と学習評価の理解。特に、テスト問題作成による学習評価の基本理解（90分）。テスト問題の作成と提出（60分）。授業内容の総括と全体の重要事項の再確認（60分）。最終試験（60分）の実施。</p>
事 前 学 修	<p>シラバスをよく読み、テキストの「第1章」「第2章」「第3章」「第5章」「第6章」をあらかじめ読んで、内容の再確認をしておくこと。オンデマンド授業で行われた授業動画の内容に関する疑問点や問題点を確認すること、また提出した課題レポート（用語解説）も再確認しておくこと。</p>	
事 後 学 修	<p>オンデマンド授業、ならびに対面式授業の内容を整理し、テキストを使って疑問点などを復習しておくこと。特に、各章のキーワードや対面式授業で行ったグループ討論などで交わした賛否両論を自分なりに整理し、WEB上の記事なども使って、さらなる学習の深化・拡大をはかること。最終試験で解答できなかった不明な個所や問題点を確認し、復習しておくこと。</p>	

◆授業概要

この授業では、道徳の意義や原理などを踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。また、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法などを幅広く理解する。さらに、授業中に配布する資料や各種のデータ・映像などを用いて教育の問題に対する理解を深めるとともに、受講生どうしの「話し合い」を通じて、多様な考え方を共有する場としたい。

◆学修到達目標

1. 道徳及び道徳教育、道徳性、道徳科の指導、評価等の意義を理解し、学校教育の中でこれらが、どのように位置づけられているのかを説明できる。
2. 学習指導要領に基づいて道徳に関する諸概念の検討、道徳教育の歴史的背景、道徳教育の指導計画など、道徳の授業実践に役立つ基本的な事項について知り、説明することができる。
3. 学習指導案の作成を通して、教師としての求められる資質・能力を養うことができる。

◆授業方法**・オンデマンド**

オンデマンド授業の動画は各回共に2分割されている。動画で取り上げる授業内容の資料はGoogle Classroom上でダウンロードして事前に目を通しておく。また、授業時にその他の授業関連の指示があった場合は、参考資料などを確認するとともに、授業終了後は、毎回リアクションペーパーを含む確認テスト（小テスト）や課題、レポートなどの提出を求めるため、学修内容をしっかりと取り組み、Google Classroom上で提出する。また、提出された課題に対しては、採点をし、点数を入力して受講者に「返却」する。その際、個別に対応するために「限定公開のコメント」欄を通じてフィードバックを行う。さらに、授業方法に対応できるように、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の手法を取り入れ、受講者の能動的な学習への参加を促す。

前半部分（1日目～7日目）は道徳教育の指導計画と実際の指導、そして戦前戦後の道徳教育の変遷など、一般的な道徳及び道徳教育に関する内容を中心に検討する。後半部分（8日目～9日目）は道徳教育の実践（模擬授業と検討会）についてグループワークを通じて実践的指導力を身につける。なお、グループによる模擬授業については、毎回感想および評価などを整理してGoogle Classroom上で提出する。

* シラバスはあくまでも授業計画であり、変更もあり得る。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

試験（40%）、レポートおよび課題（20%）、模擬授業（20%）、授業への取り組み（20%）により総合的に評価する。

◆教科書

『小学校学習指導要領解説 道徳編』 文部科学省 東洋館出版 2008年

『中学校学習指導要領解説 総則編』 文部科学省 ぎょうせい 2008年

『中学校学習指導要領解説 道徳編』 文部科学省 日本文教出版 2008年

『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「特別の教科 道徳編」』 文部科学省 教育出版 2017年

◆参考書

『道徳教育の理論と方法／道徳教育の研究 T21300／T21400』 通信教育教材（教材コード000543）〈この教材は市販の『道徳教育の理論と方法』 羽田積男・関川悦雄編 弘文堂 2016年〉と同様。

『教科化された道徳への向き合い方』 碓井敏正著 かもがわ出版 2017年

『考える道徳教育 「道徳科」の授業づくり』 笹田博通・山口匡・相澤伸幸編 福村出版 2018年

『私たちの道徳 中学校』 廣済堂あかつき 2014年

『道徳教育』 明治図書 月刊誌

◆授業相談先（連絡先）

授業に関する受講者への対応（出席確認や確認テストなど）については、Google Classroomを通じて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>動画①の内容：ガイダンスとして授業の内容や進め方、成績評価、教職の学習方法など、これから授業を受けるにあたっての諸注意事項について説明を行う。また、道徳および道徳教育とは何かについて言及する。</p> <p>動画②の内容：道徳性の発達理論について解説する。まず、道徳性とは何かを考える。文部科学省による道徳性についての見解を概観し、さらにその具体的な内容や特徴などについて学修する。</p> <p>動画③の内容：道徳性の発達に関して代表的な人物である、ジャン・ピアジェ（Piaget, Jean1896－1980）とローレンス・コールバーグ（Kohlberg, Lawrence 1927-1987）の発達理論について学修する。</p> <p>動画④の内容：学校教育における道徳教育の位置づけについて解説する。具体的にはどのような目標を持ち、学校全体で行う道徳教育の中でどのような方向性と役割を持つのかについて学修する。</p>
事 前 学 修	シラバスに示された授業の関連資料等をよく読み、授業の概要や道徳教育の目標、目的などを理解しておく。
事 後 学 修	授業で取り上げた内容を確認するとともに、授業中に示された関連資料等を用いてもう一度見直し、ノートに要点を整理する。

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	<p>道徳教育の実践①</p> <p>模擬授業と検討会（グループによる発表および質疑応答）を行う。その際、模擬授業の時間は各グループ 40 分程度で、受講生の積極的な意見や考え方などを求める（受講人数によって、計画を変更する場合がある）。</p>
2 日 目	授 業 内 容	<p>道徳教育の実践②</p> <p>模擬授業と検討会（グループによる発表および質疑応答）を行う。その際、模擬授業の時間は各グループ 40 分程度で、受講生の積極的な意見や考え方などを求める（受講人数によって、計画を変更する場合がある）。</p>
事 前 学 修	<p>作成された学習指導案の内容に基づいて、どうしたら良い道徳授業ができるかについて受講者同士で意見交換しながら、模擬授業を準備する。</p>	
事 後 学 修	<p>各グループが行った模擬授業について、感想および評価などを整理しておく。その際、資料の工夫、発表方法の工夫、コミュニケーションの工夫などの視点から、良かった点やここを工夫すればさらに良くなると思われる点などを整理する。</p>	

◆授業概要

この授業は、教員としての授業実践力を修徳することを目的としています。授業が成り立つ条件を理解するために、先ず歴史や諸外国の実践例を学ぶことから始めます。次には「読む・書く・きく・話す」等の技能を伸ばすための技術・指導法を学び、実際に活用できるレベルへ高めていく。カリキュラム構成の基礎を身につけ、指導計画をデザインできるようになるまでがゴールです。ICT活用の学習形態についても考え深めていきます。

◆学修到達目標

学修者は次の事項について理解を深め、技能・指導技術を身につけることができる。①教授法の歴史的変遷を理解する。②ヴィゴツキーの「発達最近接領域」等の最新の学習概念を理解する。③アクティブ・ラーニング形式の学習について理解し、実践するアイデアを出す。④カリキュラム構成の基礎を身につけ、学習目標に沿って学習内容・活動を展開するイメージをまとめることができる。⑤ICT活用やeラーニング等の学習形態について、その課題や可能性も含めて把握することができる。⑥教育評価の方法を身につける。①から⑥の知識・技能を身につけ、授業やカリキュラムをデザインすることができる。

◆授業方法

・オンデマンド

オンデマンド教材を視聴し、Google classroom上の設題に取り組む。とくに対面授業のための「反転授業」としての役割を意識して、教材を作成する。

・対面（参考）

講義形式に加えて、ワークショップ形式、グループワーク、ロールプレイなどアクティブ・ラーニング型の方式をできるだけとりいれたい。しかし「対面授業」開講すら制限される現状であるので、大学の教育環境の支援の状況次第とする。能動的学習の形式としては、通常であれば、単純グループワーク（バズ学習）、ジグソー法、シミュレーション学習、プロジェクト学習、完全修得学習、模擬授業と相互評価、ウェビングを予定しているが、学修環境に関する「大学」の支援が十分ではない場合、これらは他の方法に置き換える。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

この授業の評価は、授業への参加（オンライン学習含む）、提出物・課題、試験成績の総合的評価とする。出席状況の悪いもの、課題未提出の場合は評価を行わない。

◆教科書

なし

◆参考書

学習指導要領

◆授業相談先（連絡先）

Classroom上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

<p>授 業 内 容</p>	<p>①「教育方法」とは何か？ 動画教材でこの授業全体の流れを説明する。また新学習指導要領に記載される「学習」観（学力観）を理解する。</p> <p>②「教育方法」理論の歴史の変遷（西洋教育史）。</p> <p>③日本における近代教育の受容（教育方法・内容をどのように受容してきたのか）。</p> <p>④新しい「学習」概念としてのヴィゴツキー理論（発達の最近接領域）を理解する。</p> <p>⑤授業形態を個別化に対応させるバズ学習、ティーム・ティーチング等の方法論。</p> <p>※以上の5つのテーマについて考える。Google classroom 上での課題の提出とともに、全体の傾向をまとめて（教員から）告知していく。</p>
<p>事 前 学 修</p>	<p>*事前学修は、授業動画それぞれの内容に対応している。</p> <p>①シラバスをよく読み、授業の概要や目的などを理解しておく。</p> <p>②③これまで、自分が受けてきた学校教育の授業（授業の内容・方法）を整理しておく。どのぐらいの種類に分けることができるか、その教員の意図（ねらい）がどこにあったと思うかメモを作成する。</p> <p>④「アクティブ・ラーニング」についてwebで文献をについて検索し、その情報を見ておく。</p> <p>⑤自分がどのような授業を行いたいのか、イメージを固めておく。文章で表現できるように考えておく。</p>
<p>事 後 学 修</p>	<p>新学習指導要領の「ねらい」を中心に、アクティブ・ラーニングやヴィゴツキー理論、そしてPISA型学力など国際的な潮流まで理解し、これから必要とされる方法論や技術がどのようなものか説明文を記すことができるようになる。そのために学修内容ごとに自分で知識や理論をまとめておく。設題（課題提出）の活動により、その自身の考え（教育方法の理論）を確実なものとしていくよう努力する。</p>

・ 対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	「考える力」（思考力・判断力・表現力）とは何か。①問題解決学習と系統学習（総合的な学習の実践をすすめる教員の努力）。②4技能（言語と思考）とマインドマップ。③集団教育でマッピングを活用する（KJ法等も）。④「カリキュラム」の構成方法を理解する。⑤本日のまとめ。
2 日 目	授 業 内 容	授業の構想から実践、そして活用と応用の可能性まで。①「読書の時間」の10分間模擬授業。②学習指導案の作成方法。③国際的な動向を理解する。④教育評価からデザインする授業。⑤全体のまとめ。教育方法論上の課題をまとめる。
事 前 学 修		一日目のためには、オンデマンド授業で説明した学習指導要領の「3つの柱」を理解し、自分の授業をどのような展開で行うかイメージしておくこと。学習指導案作成に関する参考文献類を入手し読んでおくこと（さらに）よくわかるようになる。二日目のためには事前に知らせる資料に目を通しておくこと。そして学習指導案をフォーマットにあわせて（試しに）書いてみること。学修効果をあげるために事前の自主的な取り組みをおすすめする。
事 後 学 修		一日目の対面授業で「新しい学習方法」への取り組み方、実践に取り組んできた教師の努力について考えていただいた。さらにはマッピングへの挑戦をしていただいた。それを「駆使できるようになる」レベルで練習を続けること。さらには授業作りの本質について説明している。それらを習得して自らの「授業づくり」に生かしていくこと（継続した練習）が望まれる。二日目には授業づくりの発展の可能性を追求していく。自身の授業をさらに洗練されたものとするように磨き上げていく活動を継続していただきたい。

講座内容（シラバス）

〔博物館経営論〕

小林 克

◆**授業概要** 博物館の経営基盤がどのように成り立っているのか、実例に基づき解説する。博物館経営の目的を明らかにし、博物館における使命・計画・実施・評価の環状の流れについて講義する。具体的にはマーケティングの実施、広報、ショップ等の付帯事業、危機管理や倫理規定、市民参加、地域連携等について解説する。

◆**学修到達目標** 現代の博物館では展示だけではなく、様々な事業を地域と連携して展開していることを、東京都江戸東京博物館等での実務経験に基づいて示し、経営論的視座から解説し、以下を到達目標とする。

- 1) 博物館の形態面と活動面における適切な管理・運営について理解する。
- 2) ミュージアムマネージメント=博物館経営に関する基礎的な概念を説明できるようにする。
- 3) 具体的に博物館経営を実践するための基礎的能力を身につける。

◆授業方法

・オンデマンド

Google Classroom によるオンライン授業として実施する。

博物館の経営的基盤がどのように成り立っているのか、様々な実務経験に基づき解説する。博物館経営の目的を明らかにし、博物館における使命・計画・実施・評価の流れについて講義する。殆どの講義で、事前に資料を掲示するので、印刷して読んでおくこと。ほとんどの場合後半に簡単な質問を出すので、その回答を作成する。

・対面授業

殆どの講義で資料を配布して説明し、板書で補足する。そして実例等についてパワーポイントを用いて解説する。1日目で講義中に、簡単なレポートの作成を指示する。実務経験に基づき、組織の意思決定とその方法について、2日目の授業で1回、数人でのグループワーキングを行う。

◆履修条件

◆**成績評価基準** 平常点（授業参画度、レポート等 40%）と授業内試験（60%）による総合評価

◆**教科書** 〔丸〕 テーマごとに資料コピーを配布する。小林克著 2009『新博物館学—これからの博物館経営』（同成社）配布資料を補足するもので購入を勧める。

〔資料配布（Classroom）〕 ほぼ毎回の授業で、事前に資料を配付する。前半のオンデマンド授業でも事前に Classroom で配布する。

◆**参考書** 〔丸〕 上山信一・稲葉郁子著 2003『ミュージアムが都市を再生する』（日本経済新聞社）

〔丸〕 村井良子ほか 2002『入門 ミュージアムの評価と改善』（ミュゼ）

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆授業計画〔各 90 分〕

・オンデマンド

授業内容	1. ガイダンス 自己紹介 現代社会の博物館における博物館経営論の必要性を具体的に示し、授業の進め方について説明。博物館経営に関する新聞記事を読み込み、感想を纏める。 2. 博物館の経営基盤 1 博物館の行財政制度 博物館の行財政制度と財務の実態と変遷について解説。地方自治体と博物館との関係を示し、予算と決算の仕組みを理解する。 3. 博物館の経営基盤 2 博物館の施設と設備 施設と設備、予算と建築の関係について説明し、バリアフリー化・ユニバーサル化について解説する。 4. 博物館の経営基盤 3 組織・職員・予算 博物館の組織のあり方と、学芸員を始めとした様々な職種の職員の必要性を示す。日本の博物館の特徴である業務委託の実態について解説する。 5. 博物館の危機管理と倫理 博物館の危機管理について、予防管理、リスクマネジメントの必要性、発生時対応の実際とマニュアル、コンプライアンスの重要性について明らかにする。博物館の倫理規定と学芸員の行動規範について解説。
事前学修	出来るだけ様々な種類の博物館・美術館を見学しておくこと。その際、ただ展示を見るだけでなく、施設のあり方やサビスの状況、チラシ等の広報物、ミュージアムショップやミュージアムレストラン等に注意して、博物館の全体的状況について観察する。授業で配付する資料について、意味不明な用語については調べておくこと。 特に博物館法に目を通しておく。国や地方自治体の予算と執行、決算の仕組みについて調べておく。ユニバーサルデザインとバリアフリー、コンプライアンスとは何か事前に調べておくこと。
事後学修	予算と決算について、授業の内容をまとめておく。 バリアフリー化と展示手法について事例を調べる。 博物館で働くスタッフの職種について確認する。 授業終了後は配布資料を再読し、復習を行う。

・対面授業

1日目	授業内容	1. 博物館の経営基盤 4 ミュージアムマネージメント ミュージアムマネージメント=博物館経営とは何か。現代の博物館の抱える問題点、日本の博物館の現状と課題について解説し、運営と経営の違いを考える。 2. 博物館の経営 1 P D C A サイクルと評価 P D C A サイクルを回すことの意味を明らかにし、ミッションと計画、実施・評価について解説する。特に評価については内部評価と外部評価、定量評価と定性評価についてその実際を示す。 3. 博物館の経営 2 博物館広報 広報と広告、広聴についてその意味を説明する。具体的に博物館広報をどのように展開できるのか解説し、検討する。博物館広報の具体的な展開事例を示し、プレスリリースの作り方と展開方法を具体的に示し、マスコミとの接し方や博物館広報の特性について具体的に確認する。 4. 博物館の経営 3 ミュージアムショップとレストラン ミュージアムショップとレストラン等の具体的な事例を示し、分析解説する。その上でショップやレストランが博物館経営上、重要であることを解説する。 5. 博物館の経営 4 ミュージアムグッズと収蔵資料 特色あるコレクションの形成とオリジナルグッズの作り方を示す。売れるオリジナルグッズをどのように作り、販売していくのか、その具体的な方法を示す。
-----	------	---

2日目	授業内容	<p>1. 博物館における連携 1 市民参画 博物館への市民参画のあり方として、ボランティアや友の会の実態について示し、その仕組みとしての支援組織の作り方を示す。大学や博物館間の連携の実態について、パートナーシップ制度やインターン制度等を示す。</p> <p>2. 博物館における連携 2 地域振興と博物館 -地域・企業との連携 地域や企業との連携の具体的事例を解説し、実践について学ぶ。協賛金や広告費、便宜供与等主に展覧会への協力の具体例を解説する。その上で、地域振興と博物館のブランディングのあり方について示し、創造都市論の中での博物館の位置づけについて明らかにする。</p> <p>3. 博物館における連携 3 都市の再生と芸術文化 博物館の具体的経営⁽¹⁾ ミュージアムマーケティングとマネージメントの実際 市場分析と市場創造活動をどのようにミュージアムマーケティングで認識し、活用しているのか実例を示す。</p> <p>4. 博物館の具体的経営⁽²⁾ マネージメントの実際⁽²⁾ 実際にミュージアムマネージメントをどのように展開するのか、具体的にグループに分かれて協議し発表する。</p> <p>5. 授業内テスト。授業の総括と質疑応答</p>
事前学修		<p>経営と運営の違いについて、調べておく。 PDCAサイクルとは何か調べる。 広告と広報の違いとは何か調べる。 博物館のパートナーシップやインターンについて調べる。 博物館の特別展示のチラシを入手し、博物館以外の団体の協賛や主催、協力の違いについて考えておく。</p>
事後学修		<p>博物館経営・ミュージアムマネージメントとは何かを確実に理解し、説明できるようにする。 博物館経営於けるPDCAサイクルについて説明できるように。 新聞・雑誌等を読み、広告と広報の違いについて再確認し、その違いを説明出来るようにしておく。ミュージアムショップのあり方と販売戦略について確認し、売れるオリジナルグッズの作り方について復習する。</p>

講座内容（シラバス）

〔心理学〕

須永 範明

◆**授業概要** 心理学は、人間の心の動きを科学的に研究する学問である。心の動きのなかでも、感覚・知覚、記憶、注意、思考、意思決定などをまとめて認知と呼ぶ。認知とは、ひとことと言うと、ものごとを認識する働きのことである。本科目では、認知の働きについて学ぶ。学生の皆さんにはこれらの知見を学ぶことを通して、人間の心とはどのようなものか、理解を深めていただきたい。

- ◆**学習到達目標**
1. 感覚・知覚の基本的な特徴を説明できる。
 2. 注意の基本的な特徴を説明できる。
 3. 記憶の種類と、それぞれの基本的な特徴を説明できる。
 4. 思考について基本的な特徴を説明できる。
 5. 意思決定の基本的な特徴を説明できる。
 6. 知識について基本的な特徴を説明できる。
 7. 潜在認知とはどのようなものか説明できる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

オンデマンド授業を行なう回では、受講生は教科書と配付資料を精読し、授業動画を視聴したうえで、課題に解答する。授業動画と配付資料、課題は Google Classroom に置かれている。授業動画は、その回の授業内容を解説するものとなっている。課題は、授業内容をどの程度理解したか確認する問題からなる。課題への解答は即座に採点され、正誤のフィードバックを受け取ることができる。不正解となった箇所については復習すべき内容をフィードバックのなかで指示する。質問等は Classroom 上での投稿あるいはメールで随時受け付ける。

・対面授業

対面授業の回では、受講生は事前に教科書と配付資料を精読して予習しておくこと。配付資料は Google Classroom で公開する。授業時に、教員は特に説明が必要な箇所について詳しく解説したうえで、質問等にお答えする。その後、授業内容をどの程度理解したか確認する課題を実施する。課題は Google Classroom を介して実施するので、ノートパソコンあるいはスマートフォンを必ず持参すること。課題への解答は即座に採点され、正誤のフィードバックを受け取ることができる。不正解となった箇所については復習すべき内容をフィードバックのなかで指示する。

◆**履修条件** 令和3年度東京スクーリング（5月期）『心理学』（須永範明）とは積み重ね不可

◆**成績評価基準** 課題（50%）と試験（50%）に基づいて評価する。課題は Google Classroom に置かれ、毎回の授業内容ごとに課す。試験は客観式の問題数十問からなり、対面授業の最後の授業回到 Google Classroom 上で実施する。

◆**教科書** 〔丸〕「基礎から学ぶ認知心理学」、服部雅史・小島治幸・北神慎司（著）、有斐閣、2015年

◆**参考書** 〔丸〕「錯覚の科学」、C. チャプリス・D. シモンズ（著）、文藝春秋、2014年
〔丸〕「第1感」、マルコム・グラッドウェル（著）、光文社、2006年

◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom への投稿あるいはメールで質問・相談等にお答えする。

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	第1回授業：本授業の全体像について説明する。その後、感覚について解説する。 第2回授業：視覚を中心に感覚の仕組みについて学ぶ。 第3回授業：知覚の体制化、図と地の分化、パターン認識について学ぶ。 第4回授業：知覚の恒常性、大域的処理と局所的処理について学ぶ。 第5回授業：情報の取捨選択、注意資源について学ぶ。
事前学修	教科書の該当ページおよび Google Classroom 上に置いた資料を読み、授業動画を視聴すること。そのうえで、Classroom 上の課題に解答して理解度を確認していただきたい。資料と授業動画、課題は第1回から第5回の授業それぞれに用意する。
事後学修	Classroom 上の課題に解答することで、理解不十分である箇所が明らかとなるので、その箇所について教科書、資料、授業動画で再学習すること。そのうえで再度課題に取り組んでいただきたい。課題は解答期限内であれば何回でも解答を提出できるので、理解度を満足できる水準まで高めることができる。

・対面授業

1日目	授業内容	第6回：記憶の多重貯蔵モデルについて学び、短期記憶と長期記憶について理解を深める。 第7回：記憶方略について学ぶ。 第8回：記憶の忘却について学ぶ。 第9回：概念と知識について学ぶ。 第10回：スキーマとメタ認知について学ぶ。
2日目	授業内容	第11回：問題解決のための思考について学ぶ。 第12回：推論とその歪みについて理解を深める。 第13回：意思決定における効用の効果、リスクのある判断について学ぶ。 第14回：潜在認知と意識的コントロールについて学ぶ。 第15回：人間の認知について総括し、試験を行なう。
	事前学修	教科書の該当ページおよび Google Classroom 上に置いた資料を読むこと。理解の及ばない点についてはメモしておき、対面授業時に質問していただきたい。
	事後学修	授業時に行なう課題で理解度を自己確認できるので、理解の及ばない箇所を教科書、資料、ノート等で再学習していただきたい。

講座内容（シラバス）

〔英語H〕

寒河江 融

◆**授業概要** 英語の小説という非常に難解なもの、という印象を持ちます。実際にベストセラーになっている長編小説や、名作と呼ばれる古典作品などは、生半かな知識では読み切れないものです。しかしながら、中学・高校で学んだ知識と辞書があれば、大体の短編小説は読むことができます。本授業では、わかりやすい文章の超短編推理小説を読み、わからない文に解説を加えて、より良く作品を理解し楽しむことを心掛ける。高校生に英語を教えていることをこの授業にも反映している。

◆**学修到達目標** ・わからない文章に対して文法的に解説をし、これまでに学んできた英文法の知識を再確認することで、文法知識を身に付けることができる。

- ・本授業でおさらいした文法知識で正確に英文を読むことができる。
- ・辞書があれば英文が読める事を実感し、英文を読む自信をつけることができる。
- ・謎を解く事で、文化や知識を深めることができる。

◆授業方法

・オンデマンド

動画内の解説を聞き、文法事項のおさらいをしつつ、文書を正確に把握してもらい、その確認を踏まえて物語の謎解きをしていきます。情景描写や表現などの、英文ならではの面白さも説明します。まず自分で意味を考えて下さい。その際、間違えることは問題ないです。解説を聞いて、なぜ間違ったかを確認します。わからないところを見つけるのも学習の一つです。なぜそのような意味になるのかはしっかりと説明しますので、きちんと理解するようにしてください。内容を把握した段階で謎解きをします。動画内での解説や、謎解きの考え方などをしっかりと理解しないと、最終試験の問題が解けなくなります。身につくようにきちんとノートを取り、試験の参考にできるようにしてください。

・対面授業

解説を聞き、文法事項のおさらいをしつつ、文書を正確に把握してもらい、その確認を踏まえて物語の謎解きをしていきます。情景描写や表現などの、英文ならではの面白さも説明します。まず自分で意味を考えて下さい。その際、間違えることは問題ないです。解説を聞いて、なぜ間違ったかを確認します。わからないところを見つけるのも学習の一つです。なぜそのような意味になるのかはしっかりと説明しますので、きちんと理解するようにしてください。内容を把握した段階で謎解きをします。授業内での解説や、謎解きの考え方などをしっかりと理解しないと、最終試験の問題が解けなくなります。身につくようにきちんとノートを取り、試験の参考にできるようにしてください。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 動画の Reaction Paper・対面1日目の Reaction Paper（およそ25%）、出席（およそ20%）、最終レポート（およそ55%）により総合的に評価します。動画を全て視聴し、出席することが前提となります。そこで課される Reaction Paper を出さないことは、授業を受けていないことを意味しますので、単位認定から外れることとなります。

◆**教科書** 〔丸〕 Solve the Mystery and Improve Your English Reading Skills

ミステリーを読んで英語のスキルアップ Donald J. Sobol 著 英宝社 1,800円+税

◆参考書

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	教科書ガイダンス。Unit 1 "The Case of the Big Dipper" から読み進めます。文章の精読。文法説明。Unit 1 を引き続き読み進めます。文章の精読。文法説明。謎解き。Unit 1 終了。Unit 2 "The Case of Death in the Air" の導入。Unit 2 を引き続き読み進めます。文章の精読。文法説明。謎解き。Unit 2 終了。Unit 3 "The Case of the Happy Baby" の導入。Unit 3 を引き続き読み進めます。文章の精読。文法説明。謎解き。Unit 3 終了。Unit 4 "The Case of Uneasy Squirrel" の導入。Unit 4 を引き続き読み進めます。文章の精読。文法説明。謎解き。Unit 4 終了。Unit 5 "The Case of the Dowager's Jewels" の導入。
事前学修	わからない単語・熟語は全て調べておく。自分でなるべく意味を把握するようにする。大体の意味が分かったら、自分で謎解きを試してみる。
事後学修	授業で説明された文法事項を復習し、正確な内容理解に努める。各 Unit の謎解きを Reaction Paper に書く。

・対面授業

1日目	授業内容	引き続き Unit 5 "The Case of the Dowager's Jewels" を読み進めます。文章の精読。文法説明。謎解き。Unit 5 終了。引き続き Unit 6 "The Case of the Lobster Joint" を読み進めます。文章の精読。文法説明。謎解き。Unit 6 終了。引き続き Unit 7 "The Case of Dead Man's Medals" を読み進めます。文章の精読。文法説明。謎解き。Unit 7 終了。引き続き Unit 8 "The Case of the Doubting Uncle" を読み進めます。文章の精読。文法説明。謎解き。Unit 8 終了。引き続き Unit 9 "The Case of the Five Candidates" を読み進めます。文章の精読。文法説明。謎解き。Unit 9 終了。
2日目	授業内容	引き続き Unit 10 "The Case of the Murdered Vocalist" を読み進めます。文章の精読。文法説明。謎解き。Unit 10 終了。引き続き Unit 11 "The Case of the Suicide Note" を読み進めます。文章の精読。文法説明。謎解き。Unit 11 終了。引き続き Unit 12 "The Case of the Railroad Crash" を読み進めます。文章の精読。文法説明。謎解き。Unit 12 終了。引き続き Unit 13 "The Case of the Barbecue Murder" を読み進めます。文章の精読。文法説明。謎解き。Unit 13 終了。引き続き Unit 14 "The Case of the Dropped Cuff Link" を読み進めます。文章の精読。文法説明。謎解き。Unit 14 終了。
事前学修		わからない単語・熟語は全て調べておく。自分でなるべく意味を把握するようにする。大体の意味が分かったら、自分で謎解きを試してみる。
事後学修		授業で説明された文法事項を復習し、正確な内容理解に努める。

◆授業概要

英語の言語運用能力を習得する為に、Reading を中心とした英文を速く、正確に理解できるように英文読解力を身に付けます。文章構造や段落構成、段落展開を踏まえた直読直解、大意把握、サマリーの仕方等に慣れます。同時に grammar や listening の基礎を理解し運用できるようにします。

◆学修到達目標

- 英語の文の構造を正しくとらえながら、その内容を理解し、説明することができる。
- 英語の物語、ニュース、論説などを最初から最後まで読み通し、概要をつかむことができる。
- 英語のパラグラフの構成をよく理解し、英語の文章を読むとき、書くときに応用することができる。
- 基本的な発話音声のルールのもとに語彙を身に付け、使いこなすことができる。

◆授業方法

- ・オンデマンド

Google フォームの解答用紙に毎週の課題を記入し提出してください。点数化され戻ります。

- ・対面（参考）

教科書の Reading 中心に task ベースで、ペアーやグループワークを採り入れ、直読直解するやり方で読み進めます。各段落の中心となる話題文を探すことで要旨を把握します。

◆履修条件

令和 2 年度昼間スクーリング前期英語 G とは積み重ね不可。

◆成績評価基準

全出席を前提に、課題 13 回（65%）まとめの試験（35%）により総合的に評価します。

◆教科書

『Dear Learners 』英語の世界へ踏み出そう 永本義弘、町田純子、八木茂那子、Ian Ellsworth、南雲堂 2020

◆参考書

特になし

◆授業相談先（連絡先）

G メールにて対応いたします。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>授業の進め方、評価方法を説明をする。シラバス内容を確認の上授業に臨み、授業計画を確認する。ガイダンスのおさらいをする。</p> <p>5 文型を理解し、応用できる。</p> <p>Unit1 Sowing Seeds of Peace, Education & Hope-Malala を理解し、問題を解答できる。</p> <p>Unit2 Sowing Seeds of Food Savings-OzHarvest Market を理解し、問題を解答できる。</p> <p>Unit 3 Sowing Seeds of Safety-An Eye on Crime を理解し、問題を解答できる。</p> <p>Unit 4 Sowing Seeds of Work-Work Balance を理解し、問題を解答できる。</p> <p>Unit 5 Sowing Seeds of Exercise-Sport BMX and Urban Fun? を理解し、問題を解答できる。</p>
事 前 学 修	テキストを購入して備える。Unit1~5 Warm Up の問題を解いてくる
事 後 学 修	Unit1~5 の語彙を確認し、Reading の要約を書いてみる。

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	Unit 6 Sowing Seeds of Happiness-Happiness Unit 7 Sowing Seeds of Entertainment-Sports and Games Unit 8 Sowing Seeds of Health-Medical Science Unit 9 Sowing Seeds of Psychology-Resilience を理解し、問題を解答できる。
2 日 目	授 業 内 容	Unit10 Sowing Seeds of Facts: Efforts to Flag Fake-news Unit11 Sowing Seeds of Intelligence- Brain Development Unit12 Sowing Seeds of Friendship-Yosegaki Hinomaru Unit 13 Sowing Seeds of Humanity-A Hero を理解し、問題を解答できる。まとめの試験を解答できる。
事 前 学 修	Warm Up の問題を解いてくる。	
事 後 学 修	Unit1~Unit13 までの復習をする。	

◆授業概要

「読む、書く、聴く、話す」の4技能の活用を通じて、社会生活に必要な英語コミュニケーションを学ぶ。身近なテーマを取り上げ、様々なアクティビティを組み合わせることで、「読む、書く、聴く、話す」の4技能をレベルアップさせる。オンラインで視聴可能な動画を用いて聴く力と発音練習を行う。

また、担当者の中学校、高等学校外国語科教員としての実務経験をもとに、基本的文法事項の説明もする。

◆学修到達目標

日常生活において使用頻度の高い語彙や構文を身に付け、場面に応じて活用できるようになる。中学・高校で既習の基本的な文法事項を理解して正しい英文を話す・書くことができる。

◆授業方法**・オンデマンド**

適宜パワーポイント・スライドを提示しながら解説をします。教科書とノートを手元に置いて講義動画を視聴してください。時折、視聴を止めて問題演習をするように指示し、その後視聴を再開して解説を聴きながら答え合わせをしてもらいます。また、毎回の授業中（授業後）に行った課題を提出してもらいます。授業後の課題については次回の授業で解説をします。オンデマンドの講義動画は必ず視聴していること。対面授業でも、基本的な授業の進め方は同じですが、発音練習を強化します。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

「小テスト」、「レポートや課題の提出」、「まとめのテスト」、「発表」、「授業への参加・貢献」オンデマンド授業で出される課題は評価対象であるのですべて提出すること（全体の50%）。ライブ配信授業では、各日の最後の時間に実施する授業内レポートが評価対象となる（全体の50%）。オンデマンド授業、対面授業において総合的に評価する。すべて出席していることを前提として評価する（オンデマンド授業の場合、課題の提出が出席を兼ねる。）

◆教科書

『Live Escalate Book 2: Trekking』 Teruhiko Kadoyama, Live ABC editors

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

<p>授 業 内 容</p>	<p>オリエンテーション</p> <p>【Unit 1 Occupations】 Conversation B (現実的で現代的な会話を通して実践的な会話表現を学習します。), Grammar (文法事項の解説を聴いて問題演習を行います。), Reading (記事を読み、さまざまな種類の復習問題で理解度を確認します。)</p> <p>【Unit 2 At the Dinner Table】 Conversation B, Grammar, Reading (学習内容はUnit 1を参照のこと。)</p> <p>【Unit 3 Sports】 Conversation B, Grammar, Reading (学習内容はUnit 1を参照のこと。)</p> <p>【Unit 4 Health】 Conversation B, Grammar, Reading (学習内容はUnit 1を参照のこと。)</p> <p>【Unit 5 What's on Your Playlist?】 Conversation B, Grammar, Reading (学習内容はUnit 1を参照のこと。)</p>
<p>事 前 学 修</p>	<p>” 【Unit 1~Unit 5】</p> <p>①Warm Up : 批判的思考の質問から各レッスンを開始し、短いトークまたは独白で構成される聴解クイズと短いロールプレイ問題に答えます。</p> <p>②Conversation A : 現実的で現代的な英語を使用した会話を聞いて大まかな内容を問うクイズに挑戦します。”</p>
<p>事 後 学 修</p>	<p>” 【Unit 1~Unit 5】</p> <p>①Writing : 役立つ文型と指示が与えられます。手紙やエッセイなどの実際のライティングタスクで、表現することを楽しみながらライティングスキルを向上させてください。</p> <p>②Challenging Yourself : トピック関連のリスニング問題でユニットの復習と自身の向上を確認しましょう。</p> <p>③Review Quiz : ユニットごとに復習の小テストを受けます。”</p>

・ 対面授業（参考）

<p>1</p> <p>日 授 業 内 容</p> <p>目</p>		<p>”</p> <p>【Unit 6 At the Movies】 Conversation B, Grammar, Reading (学習内容は Unit 1 を参照のこと。)</p> <p>【Unit1～6】 前半のまとめテスト</p> <p>【Unit 7 Technology in Daily Life】 Conversation B, Grammar, Reading (学習内容は Unit 1 を参照のこと。)</p> <p>【Unit 8 Social Network】 Conversation B, Grammar, Reading (学習内容は Unit 1 を参照のこと。)</p> <p>【Unit 9 Looking on the Bright Side】 Conversation B, Grammar, Reading (学習内容は Unit 1 を参照のこと。)</p> <p>”</p>
<p>2</p> <p>日 授 業 内 容</p> <p>目</p>		<p>” 【Unit 10 Love Affairs】 Conversation B, Grammar, Reading (学習内容は Unit 1 を参照のこと。)</p> <p>【Unit 11 Storytelling】 Conversation B, Grammar, Reading (学習内容は Unit 1 を参照のこと。)</p> <p>【Unit 12 The Power of Words】 Conversation B, Grammar, Reading (学習内容は Unit 1 を参照のこと。)</p> <p>【Unit7～12】 後半のまとめテスト ”</p>
<p>事 前 学 修</p>		<p>” 【Unit 6～Unit 12】</p> <p>①Warm Up 批判的思考の質問から各レッスンを開始し、短いトークまたは独白で構成される聴解クイズと短いロールプレイ問題に答えます。</p> <p>②Conversation A 現実的で現代的な英語を使用した会話を聞いて大まかな内容を問うクイズに挑戦します。”</p>
<p>事 後 学 修</p>		<p>” 【Unit 6～Unit 12】</p> <p>①Writing : 役立つ文型と指示が与えられます。手紙やエッセイなどの実際のライティングタスクで、表現することを楽しみながらライティングスキルを向上させてください。</p> <p>②Challenging Yourself : トピック関連のリスニング問題でユニットの復習と自身の向上を確認しましょう。</p> <p>③Review Quiz : ユニットごとに復習の小テストを受けます。”</p>

講座内容（シラバス）

〔ドイツ語 I・II〕

志田 慎

◆**授業概要** 「聴く」、「読む」、「話す」、「書く」の四つの基本能力をバランスよく磨いて、ドイツ語技能検定5級から4級レベルの総合的なドイツ語力を身につけます。

◆**学修到達目標** 「聴く」、「読む」、「話す」、「書く」の四つの基本能力をバランスよく身につけること。ドイツ語技能検定5級から4級レベルの総合的なドイツ語力を身につけること。

◆**授業方法**

・オンデマンド

5回分のオンデマンド教材を必ず視聴し、毎回の課題を提出すること。提出を出席とみなします。質問があれば随時メールで受け付けます。

・対面授業

1. 教科書付属の音声教材を聴いて、全員で発音の反復練習を行います。
2. 講師が教科書の内容（文法事項等）の解説を行います。
3. 練習問題の答えをみなさんに板書や口頭で発表していただき、講師が添削します。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 最終試験 50%、課題と小テスト 25%、授業参画度 25% により総合的に評価します。

◆**教科書** 〔丸〕『ドイツ環境問題へのアプローチ ノイ』 Troll / 大申著 第三書房

◆**参考書** 〔丸〕独和辞典を必ず用意してください。推奨は『アポロン独和辞典』同学社、『クラウン独和辞典』三省堂。

◆**授業相談（連絡先）**：shida.makoto2020@nihon-u.ac.jp

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	アルファベット／発音の基礎 数字／曜日／月名／四季／日常のあいさつ／ドイツ語を話す地域 Lektion 1（人称代名詞 動詞 sein, haben） Lektion 2（動詞の変化 名詞の性 動詞の位置 疑問文） Lektion 3（不規則変化動詞 名詞の1・4格）
事前学修	付録 CD を聴くこと。教科書の該当部分を読み、問題を解いてみること。
事後学修	付録 CD を聴いて発音練習すること。授業で学習した部分を読みなおすこと。理解できなかった点はメールで質問すること。

・対面授業

1日目	授業内容	オンデマンドで学習した内容の復習 Lektion 4（人称代名詞と名詞の3・4格 否定疑問の答え） Lektion 5（名詞の2格 前置詞） Lektion 6（3・4格支配の前置詞） 当日の学習内容の確認 小テスト
2日目	授業内容	前回まで学習した内容の復習 Lektion 7（話法の助動詞 名詞の複数形） Lektion 8（再帰代名詞 再帰動詞 時刻の表現） 学習内容全体の確認 試験及び解説
事前学修		付録 CD を聴き、教科書の該当部分を読んでおくこと。
事後学修		授業で学習した部分を読みなおすこと。理解できなかった点は質問すること。

講座内容（シラバス）

〔刑法Ⅰ〕

西貝 吉晃

- ◆**授業概要** 犯罪論のうちの、刑法総論という、一般的な犯罪の成立要件に関する議論を学ぶ。
- ◆**学修到達目標** 刑法総論の基本的な考え方を具体的な事案に対する裁判所の判断（判例）を読みながら学ぶ。判例を読むことで、実際の事案の解決方法を知り、これを説明することができるようになる。
- ◆**授業方法**
 - ・**オンデマンド**
基本的には教科書の叙述にしたがって進める。同時に、教科書に書かれている難解な概念の理解を促進するために、判例を一緒に読んでいく。適宜、ビデオを止めて判例を読む。
 - ・**対面授業**
基本的には教科書の叙述にしたがって進める。同時に、教科書に書かれている難解な概念の理解を促進するために、判例を一緒に読んでいく（読む時間を授業内で与える）。
- ◆**履修条件** なし。
- ◆**成績評価基準** 最終授業時に実施する筆記試験（オンデマンドの場合、最終レポート）の成績を用いて評価する。評価の基準は、上の学修到達目標を完璧に達成した場合をSとし、以下、十分に達成とA、概ね達成をB、最低限達成をC、不達成をDとする。
- ◆**教科書** 『刑法第3版』山口厚
『判例刑法総論第7版』西田典之ほか編
- ◆**参考書**
- ◆**授業相談（連絡先）**：nishigai.yoshiaki@nihon-u.ac.jp
- ◆**授業計画〔各90分〕**
 - ・**オンデマンド**

授業内容	犯罪論の基礎、犯罪の定義、罪刑法定主義、 構成要件論（意義、行為、結果、因果関係不作為犯） 違法性（違法性総論、正当行為、正当防衛、緊急避難、被害者の同意、可罰的違法性） 責任（責任論総論、故意・過失、錯誤） 未遂犯論 共犯論 罪数論
事前学修	教科書の指定された部分を読んでおく。
事後学修	教科書の記述を用いて判例の事案を自分なりに説明できるようになっているか確認する。

・対面授業

1日目	授業内容	犯罪論の基礎、犯罪の定義、罪刑法定主義（教科書の第1編、及び第2編第1章）、構成要件論（教科書の第2編第2章）、違法性（教科書の第2編第3章）についての解説を、適宜判例集の判例を紹介しながら行う。
2日目	授業内容	責任論（教科書の第2編第4章）、未遂犯論（第2編第5章）、共犯論（第2編第6章）、罪数（第2編第7章）の解説を、適宜判例集の判例を紹介しながら行う。
	事前学修	教科書のうち、刑法総論に該当する部分を通読しておく。
	事後学修	教科書の記述を用いて判例の事案を自分なりに説明できるようになっているか確認する。

講座内容（シラバス）

〔民法V〕

矢田 尚子

◆**授業概要** 民法第4編（親族編）、第5編（相続編）について学修する。わが国における家族をめぐる状況は、近年、大きく変わりつつある。本講義では、親族法・相続法に関する理解を深めるとともに社会問題にも注意を払うことにより、具体的な法的思考力を身につけ、問題の解決策を導き出すことができる能力を養う。

◆**学修到達目標** 自ら家族に関する問題を認識し、理解するために、親族法・相続法に関する法を理解するとともに、日々社会で起こる家族問題を注視し、それに対する解決策を提示することができる能力を修得する。具体的には、①親族編、相続編に関する基本用語及び概念について、正確に理解し説明することができること、②家族をめぐる現代的課題について理解し、問題意識を持って自分の意見を述べるができるようになることを目標とする。

◆**授業方法**

・オンデマンド

授業動画は内容に沿って分割し、番号を付している。まずは、全体を順に視聴すること。一度の視聴ではわからなかった内容の動画は重点的に繰り返し視聴すること。それでも不明な点についての質問は随時受け付ける。なお、動画を視聴したあとは、Classroom内においてあるリアクションペーパーや小テストを作成し、提出すること。

・対面授業

オンデマンド授業で提示された動画は必ず視聴していること。対面授業では、基礎的な法律知識の修得については講義形式で話を進めていくが、随時、演習問題を解いてもらい、その問題の解説を加えつつ、親族、相続法に関する正確な知識の定着を図っていく。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** オンデマンド授業で出される課題は評価対象であるのですべて提出すること（40%）。対面授業では、2日目の最後の時間に実施する授業内テストが評価対象となる（60%）。オンデマンド授業、対面授業において総合的に評価する。すべて出席していることを前提として評価する（オンデマンド授業の場合は、課題の提出が出席を兼ねるので注意すること）。

◆**教科書** 丸沼『ユーリカ民法5 親族・相続』小川富之他 法律文化社 2019

資料配布（Classroom） 穴埋め式のレジュメを配布するので、事前に印刷しておき、講義にのぞむこと

◆**参考書**

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	動画1の内容： ガイダンスとして授業方法、課題についてなど、これから授業を受けるにあたって必要な事柄についての説明を行う。また、家族法総論、親族とは何かについて学修する。 動画2の内容： 氏名、戸籍制度、さらに、夫婦関係(1)として、婚姻の成立、婚姻の無効、取消原因について学修する。婚姻の成立には、実質的要件と形式的要件をみだす必要がある。なかでも、重要なのが、実質的要件としての婚姻意思の合致と婚姻障碍事由の不存在であるので、それを中心に解説を行う。 動画3の内容： 夫婦関係(2)として、婚姻の効果及び離婚の方法、種類について広く学修していく。特に、婚姻の効果については、婚姻破綻後の不倫と慰謝料をめぐる判例、日常家事債務と表見代理の判例など重要判例が複数存在するので、それらの説明も併せて行う。 動画4の内容： 夫婦関係(3)として、裁判離婚及び離婚の効果について学修する。なかでも、自ら婚姻が破たんする原因を作り出した配偶者を有責配偶者というが、この者から離婚請求できるかという有責配偶者からの離婚請求に関する判例法理の展開、諸外国の立法例を含めた議論状況を中心に学修するとともに、離婚の財産分与制度について学修する。 動画5の内容： 婚姻外の関係として、婚約の成立要件と保護の内容、内縁保護法理、内縁の効果、同性婚との同棲カップルの法的保護の状況についても学修する。さらに、親子関係の概要について学修する。 *動画は大きく5つに分かれている。ただし動画を見やすくするため、ひとつの動画を20分から30分程度に編集しているので、動画の本数全体は5つではない。動画それぞれには説明や番号をつけて掲示するので、順番に視聴すること。
事前学修	事前に配布したレジュメの該当箇所を目を通しておくのと同時に、教科書の序論、第一部 親族1,2章（1-79頁）をざっと読んでみる
事後学修	レジュメ及び教科書の該当箇所を復習し、ノート整理をするのと同時に、授業内課題を解き、解説をよく読んでおく

・対面授業

1日目	授業内容	大きく、(1)親子関係、(2)親権、(3)後見・扶養、(4)相続総論の4つに分けて講義を進めていく。その際には、適宜、事例問題を出し、解説を加えることにする。それぞれの講義内容での重点学修ポイントは次のとおりである。 (1)親子関係：まず、実子のうち、父母が婚姻関係にある場合の嫡出子をめぐる問題を概観する。特に、嫡出子には、推定を受ける嫡出子、推定を受けない嫡出子、さらに、推定の及ばない子がいるので、これらにつき学修する。次に、実子のうち、父母が婚姻関係にない場合の非嫡出子をめぐる問題を概観する。そしてさらに、普通養子制度、さらには法改正されたばかりの特別養子制度の意義につき、養子の実態、特別養子制度導入の経緯も含めて学修する。 (2)親権：児童虐待が増える中、親権とは何かについて改めて問われている。親権の意義、親権の当事者、親権行使のルール、親権の具体的内容について学修する。 (3)後見・扶養：未成年者や認知症高齢者など判断能力が十分でない人を法的に保護するための民法上の制度である後見制度の意義、趣旨、内容及び扶養の問題について学修する。 (4)相続総論：民法典の中での第5編相続の位置づけを確認するとともに、相続制度の歴史的沿革、日本と欧米諸国の相続制度の違い、相続制度の意義について学修する。
-----	------	--

2日目	授業内容	<p>相続制度全般の学修及び授業内テストを実施する。 相続制度で学修する内容については、次のとおりである。</p> <p>(1)総則：相続の開始原因，相続回復請求権，相続財産に関する費用について学修する。</p> <p>(2)相続人：法定相続の基本として，同時存在の原則と例外，相続の種類と順位，相続欠格，推定相続人の排除について解説する。</p> <p>(3)相続の効力：代襲相続，相続財産の範囲，法定相続分，指定相続分，特別受益者，寄与者の相続分，遺産共有の意義，法的性格，共有中の相続財産の管理について学修する。</p> <p>(4)遺産分割：相続法の重要な論点の1つである遺産分割について学ぶ。具体的には，遺産分割の意義，基準，具体的実行方法，遺産分割の効果について学修する。</p> <p>(5)相続の承認・放棄，財産分離，相続人の不存在とは何かについて確認する。</p> <p>(6)遺言：意義，法的性格，遺言事項，遺言の種類と方式，遺言の撤回・取消し，さらに，遺言執行について学修する。</p> <p>(7)遺留分：遺留分とは，被相続人の財産処分の自由と遺された一定範囲の遺族の利益との調整を図ることを目的に用意された制度である。意義，遺留分侵害額請求権，遺留分放棄等について学修する。</p>
事前学修		事前に配布したレジユメの該当箇所を目を通しておくのと同時に，教科書の第1部3-7章(80-152頁)，第2部相続全体をざっと読んでおくこと。さらに，これまでの授業全体を通し，質問事項がないかを考えておくこと
事後学修		レジユメ及び教科書の該当箇所を復習するとともに，授業内テストについて間違えた箇所を中心に教科書のチェック問題等を解いてみること

◆授業概要

法哲学とは、法を対象として、全体的、根源的に考察するものとされる。今回の講義は、法哲学のひとつの研究領域である法的価値論（正義論）を対象として、それがどのような事柄であるかを、いくつかの具体的事例を取り上げて解説しようとする。

◆学修到達目標

- ①正義の概念について理解し、説明することができる。
- ②ラードブルフの価値相対主義を理解し、説明することができる。
- ③ベンサム・ミルの功利主義を理解し、説明することができる。
- ④ロールズの公正としての正義を理解し、説明することができる。
- ⑤リバタリアニズムの正義論を理解し、説明することができる。
- ⑥共同体論の正義論を理解し、説明することができる。”

◆授業方法

・オンデマンド

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

オンデマンド授業で出される課題は評価対象であるのですべて提出すること（全体の 50%）。対面授業では、各日の最後の時間に実施する授業内レポートが評価対象となる（全体の 50%）。オンデマンド授業、対面授業において総合的に評価する。すべて出席していることを前提として評価する（オンデマンド授業の場合、課題の提出が出席を兼ねる）。”

◆教科書

なし

◆参考書

平野仁彦・亀本洋・服部高宏『法哲学』（有斐閣アルマ・2002）

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	第1講義【法哲学へのいざない】 第2講義【社会規範と法】 第3講義【法的思考：正義との関係性】 第4講義【実定法と自然法】 第5講義【正義の種類】 第6講義【ラードブルフの価値相対主義】 第7講義【古典的功利主義】 第8講義【現代的功利主義】
事 前 学 修	各回の動画を視聴し、論点をまとめる。
事 後 学 修	各回の論点を他者に説明できるようになるまで調べる。

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	第9講義【ロールズの公正としての正義論(1)：功利主義批判】 第10講義【ロールズの公正としての正義論(2)：原初状態と無知のヴェール】 第11講義【ロールズの公正としての正義論(3)：正義の2原理】”
2 日 目	授 業 内 容	第12講義【ドゥオーキンの正義論】 第13講義【リバタリアニズム】 第14講義【共同体論】”
事 前 学 修		各回の動画を視聴し、論点をまとめる。
事 後 学 修		各回の論点を他者に説明できるようになるまで調べる。

◆授業概要

小説、俳諧、狂歌、川柳、浄瑠璃、歌舞伎、音曲等々、多種多様なジャンルが栄えた近世文学。本講義ではその中から、浄瑠璃と歌舞伎について学んでいきます。はるか江戸の昔から今日まで脈々と傳承され続けてきた「生きた文化遺産」を学ぶことにより、近世文学の多様性に触れることを目的とします。

◆学修到達目標

浄瑠璃や歌舞伎の特徴とその歴史が説明できるようになります。

浄瑠璃や歌舞伎が近世文学においてどのような位置を占め、今日まで傳承されてきたのかが、理解できるようになります。

古典作品の重要性を再認識できます。

◆授業方法

・オンデマンド

主に講義形式で進めます。まず近世文学の特色について解説した後、人形浄瑠璃の歴史に関する講義を行います。授業動画は、内容に沿って分割した形で配信します。一度で理解できなかった場合は、繰り返し視聴して下さい。その後、学修進捗状況を確認するためのリアクションペーパーを皆さんに提出して頂きます。提出には、Google フォームを使用する予定です。

また、歌舞伎の歴史に関する講義を行います。その後、歌舞伎の作品を鑑賞し、それぞれの特徴を具体的な形で学んでいきます。さらに、人形浄瑠璃で用いられる義太夫節以外の浄瑠璃についてもレジュメを用いて学んだ後、作品を鑑賞します。また、作品を鑑賞した後、各々の作品に関するレポートの提出をして頂く予定です。

◆履修条件

令和2年度夏期スクーリング『国文学講義Ⅳ』（山崎泉）とは積み重ね不可。

◆成績評価基準

平常点（20％）試験（80％）

毎回出席すること（オンデマンド授業における出席確認はGoogle フォームを用いる予定です）、課題も全て提出することを前提に採点します。

◆教科書

開講時までに授業時に使用する資料（レジュメ）を配布します。

◆参考書

学修を進める上で参考になるインターネットのサイトを授業時に紹介します。

◆授業相談先（連絡先）

オンデマンド授業時はClassroom上にて行います。

◆授業計画

・オンデマンド

<p>授 業 内 容</p>	<p>授業の進め方・オリエンテーション・近世文学の特色 まず、授業の進め方を説明した後、近世文学の特色について解説します。 人形浄瑠璃の歴史（1） 浄瑠璃の発生から義太夫節の誕生までを学びます。 人形浄瑠璃の歴史（2） 近松門左衛門の時代から人形浄瑠璃の全盛時代までを学びます。 人形浄瑠璃の歴史（3） 近松半二の時代から江戸の人形浄瑠璃までを学びます。 人形浄瑠璃の現状 人形浄瑠璃の現状について学びます。 小テスト これまで学修してきた内容の理解度を確認するため、小テストを実施します。</p>
<p>事 前 学 修</p>	<p>シラバスの内容を確認して下さい。 配布したレジュメを通読し、疑問点を整理して下さい。 近世文学のジャンル及び歴史について、文献やインターネットを参照しながら自分なりに調査をして下さい。 前日のオンデマンド授業で学修した内容を確認し、ノートの再整理を行って下さい。</p>
<p>事 後 学 修</p>	<p>配布したレジュメを参照しながら、その日の授業の内容をノートに整理して下さい。 レポート作成に向けて、インターネット等を活用しながら資料収集を行って下さい。 近世文学の中で人形浄瑠璃がどのような位置を占めているのか、考察を進めて下さい。</p>

・オンデマンド授業

1 日 目	授 業 内 容	<p>前半で学んだ人形浄瑠璃の歴史について具体的に理解するために、近松門左衛門晩年の代表作である『心中天網島』を鑑賞します。</p> <p>その後、配布したレジュメを用いながら、歌舞伎の歴史を学びます（発生～幕末、現状）。</p> <p>歌舞伎の歴史を学んだ後、その特徴をより深く理解するために、『心中天網島』の歌舞伎化作品を鑑賞します。</p> <p>両者を比較することにより、人形浄瑠璃と歌舞伎、それぞれの違いを具体的に学ぶことを目指します。</p>
2 日 目	授 業 内 容	<p>配布したレジュメを用いながら、人形浄瑠璃に使われる義太夫節以外の浄瑠璃について学びます。現在では、「浄瑠璃＝義太夫節」と捉えられがちですが、浄瑠璃にはこの他にもさまざまなジャンルが存在します。浄瑠璃の多様な世界を学び取ることを目指します。</p> <p>江戸で生まれた浄瑠璃である河東節を使用した歌舞伎作品『助六所縁江戸桜』を鑑賞し、浄瑠璃の多彩な魅力を具体的に学びます。</p> <p>その後、今回の授業の締めくくりとして、レポートを提出して頂きます。</p>
事 前 学 修		<p>オンデマンド授業で学修した内容を再確認して下さい。</p> <p>配布したレジュメを通読して下さい。</p> <p>授業で紹介したインターネットのサイト及び動画を閲覧して下さい。</p>
事 後 学 修		<p>配布したレジュメを参照しながら、授業の内容をノートに整理して下さい。</p> <p>鑑賞した作品の内容をノートに整理し、人形浄瑠璃と歌舞伎、それぞれの特徴及び違いについて考察して下さい。</p> <p>浄瑠璃各ジャンルの共通点と違いについて、自分なりに考察し理解を深めて下さい。</p>

講座内容（シラバス）

〔英語学概説〕

山岡 洋

◆**授業概要** 本講義では、英語学の中でも「伝統文法」について集中的に学んでいく。さらに、伝統文法の様々なトピックの中から動詞に関わる文法範疇を扱っていく。具体的には、法 (mood)、法助動詞 (modal auxiliaries)、アスペクト (aspect)、時制・未来表現 (tense, future expressions)、完了形 (the Perfect)、進行形 (the Progressive)、受動態 (the Passive) を扱っていく。名目上は「伝統文法」についての講義になるが、関連分野として、意味論、音韻論、生成文法、機能統語論、英語史などにも触れていく。

◆**学修到達目標** 英語学の中でも伝統文法を中心的に学ぶことにより、その関連分野である音声学・音韻論・統語論・意味論・語用論・英語史なども理解できるようになる。特に、それぞれの分野がどのように関連し合っているのかを理解できるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

『英語学概説 MB』

第1章 英語学とは 一言語学の中の英語学—

第12章 伝統文法(1): 動詞の時制

第13章 伝統文法(2): 受動態

第14章 伝統文法(3): 法助動詞

*ただし、対面授業の教科書の範囲も熟読しておくこと。

・対面授業

『新英文法概説』

第5章

1. 動詞類

1.2. 助動詞

◆**履修条件** 他の『英語学概説』の単位を取得済みでも履修可能。

◆**成績評価基準** 理解度チェック: 20% (対面式初日の冒頭に実施。教科書・参考図書・ノート・電子辞書持ち込み可)
最終試験: 80% (教科書・参考図書・ノート・電子辞書持ち込み可)

◆**教科書** 〔丸沼〕山岡洋 (2014) 『新英文法概説』開拓社。

〔丸沼〕江川泰一郎 (1991) 『英文法解説』金子書房。

◆**参考書** 〔丸沼〕安藤貞雄 (2005) 『現代英文法講義』開拓社。

〔丸沼〕安井稔 (1996) 『英文法総覧』改訂版。開拓社。

〔丸沼〕綿貫陽・宮川幸久・須貝猛敏・高松尚弘・マークピーターセン (2001) 『ロイヤル英文法』改訂新版。旺文社。

◆**授業相談 (連絡先)**: yamaoka.hiroshi2020@nihon-u.ac.jp
Google Classroom 内の「ストリーム」 「授業」

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	【動画】第1章 英語学とは 一言語学の中の英語学— 【動画】第12章 伝統文法(1): 動詞の時制 【動画】第13章 伝統文法(2): 受動態 【動画】第14章 伝統文法(3): 法助動詞 【教科書】『英文法解説』第9章, 第11章, 第12章 【教科書】『新英文法概説』第5章 1. 動詞類 1.2 助動詞
事前学修	教科書・参考書を参考にしながら、英語の動詞に関わる文法範疇である「法 (mood)」「法助動詞 (modal auxiliaries)」「時制 (tense)」「アスペクト (aspect)」「態 (voice)」の基本を理解しておくこと。なお、教科書は購入が講座開始間近になると入手困難になることがあるので、時間的に余裕を持って予め入手しておくこと。
事後学修	対面式授業初日冒頭で「理解度チェック・テスト」を行うので、それに備えて動画および教科書の該当箇所を十分に理解しておくこと。

・対面授業

1日目	授業内容	9:00-10:00 理解度チェック・テスト 10:10-10:20 Introduction 10:20-11:50 法 (mood)・法助動詞 (modal auxiliaries) 12:50-14:20 法助動詞 (modal auxiliaries) 14:30-16:00 アスペクト, 時制・未来表現 16:10-17:30 完了形・進行形
2日目	授業内容	9:00-10:40 進行形・受動態 10:40-12:40 総復習 14:00-15:40 最終試験 16:00-17:30 最終試験の解説
事前学修		対面式授業初日冒頭で「理解度チェック・テスト」を行うので、それに備えて動画および教科書の該当箇所を十分に理解しておくこと。
事後学修		対面授業の授業内容と最終試験を中心に全体を振り返る。

◆授業概要

英米文学と比較してあまり知られていないアイルランド文学を取り上げる。大雑把に言えば、英語で書かれたアイルランドの文学をアングロ・アイリッシュ文学と呼ばれるが、特に 18 世紀以降のアングロ・アイリッシュ文学に焦点を当てる。あまりなじみのないアイルランド文学を学びながら、アイルランド文学は英米文学の補完的なものではないことを学修する。アイルランドの各地名と歴史の確認は各自前もって学修して欲しい。林景一著『アイルランドを知れば日本がわかる』（角川書店）、マリータ・コンロン・マケーナ著『サンザシの木の下で』こだまともこ訳（講談社）、波多野祐造著『物語アイルランドの歴史 欧州連合に賭ける妖精の国』（中公新書）。この 3 冊を学修を始める前に読んでおくこと。

◆学修到達目標

アングロ・アイリッシュ文学とは何かを知り、説明することができる。英語圏文学とは何か考えることができる。

◆授業方法

・オンデマンド

◆履修条件

2020 年の「英米文学特殊講義」とほぼ同じ内容だが積み重ねで履修することを妨げない。

◆成績評価基準

リアクションペーパー(50%)、対面授業 2 日目の最終試験(50%)。最終試験についてはリアクションペーパーを全て提出していることを前提とする。

◆教科書

Classroom にて配布。

◆参考書

『アイルランドを知れば日本がわかる』 林景一 角川書店 2009 年発行

『サンザシの木の下に』 マリータ・コンロン・マケーナ著 こだまともこ訳 講談社
1994 年発行

『物語アイルランドの歴史 欧州連合に賭ける妖精の国』 波多野祐造 中公新書 1994
年発行

『異界へのまなざし』 山田久美子 鷹書房弓プレス 2005 年発行

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>動画 1 日本とアイルランド及びアイルランド史概観。初期アイルランド文学について。</p> <p>動画 2 Jonathan Swift(1667-1754)と Maria Edgeworth(1764-1849)について。</p> <p>動画 3 アイルランド文芸復興の概観と W. B. Yeats(1865-1939)について。</p> <p>動画 4 及び 5 John Millington Synge(1871-1909)と Oscar Wilde(1854-1900)について。</p>
事 前 学 修	<p>動画の授業内容に基づいて次の項目について調べておくこと。各作者の生涯と主要作品を把握しておくことよい。アイルランド史及びゲール語。Jonathan Swift(1667-1754)と Maria Edgeworth(1764-1849)。アイルランド文芸復興の概観と W. B. Yeats(1865-1939)。John Millington Synge(1871-1909)と Oscar Wilde(1854-1900)。</p>
事 後 学 修	<p>次の作者による作品を翻訳でもよいので読むこと。Jonathan Swift。W. B. Yeats。John Millington Synge。Oscar Wilde。</p>

・ 対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ James Joyce(1882-1941)について。 ・ Samuel Beckett(1906-86)について。 ・ John Banville(1945-)について。 ・ Seamus Heaney(1939-2013)について。
2 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ John McGahern(1934-2006)について。 Frank McCourt(1930-209)について。
事 前 学 修		<p>対面授業の内容に基づいて次の項目について調べておくこと。各作者の生涯と主要作品を把握しておくことよい。James Joyce(1882-1941)。Samuel Beckett(1906-86)。John Banville(1945-)。Seamus Heaney(1939-2013)。John McGahern(1934-2006)。Frank McCourt(1930-209)。</p>
事 後 学 修		<p>対面1日目の事後学修はレジュメやノートの整理程度でよい。対面2日後の事後学修については授業で取り上げた諸作品をなるべく全て翻訳、原書問わず読んでもらいたい。またアイルランドの歴史について見直して欲しい。</p>

講座内容（シラバス）

〔英語学特殊講義〕

吉良 文孝

◆**授業概要** 英語英文学を専攻する学生が当然知っていなければならない英文法の知識・素養を身につけるために、すでに常識化していると思われるような文法事項・現象をいくつかとりあげ、学校英文法の、いわば、「洗い直し」の作業を行ない、英文法（ことば）に対して向き合うとはどういうことなのかを実感できるような授業にします。こちらからの一方的な授業（講義）にならないように、学生の皆さんが著名な著書・論文を輪読するという演習形式を一部とり入れます（実際に読む文章はだけは、仙台スクーリングの「英語学特殊講義」と共通します）。また、この輪読を通して、英語学関連の文献をしっかりと読むということとはどういうことなのかを知り、そして、普段いかに英文をいい加減に読んできたのかを痛感する人も少なくないと思います。ハンドアウトを、適宜、配付します。

◆**学修到達目標** 具体的には、まず、「時」(Time)と「時制」(Tense)との違いを峻別します（この点だけは、仙台スクーリング（「英語学特殊講義」）でも同じことを講じます）。次に、モダリティ（心的態度）について講じ、モーダル文と提言的断定文との違いを観ます。これが本講義の前段です。後段では、(1)現在時制の中核的意味とその用法、そして、(2)過去時制の中核的意味とその意味特徴（「推意と推意のキャンセル」、「過去時制の丁寧用法」、「過去時制による事態の生起順序」）を講じます。これらの講義（と、一部の演習形式の授業）によって、当該用域の事項についての深い知識を身につけることができ、かつ、その当該領域について他の人に説明することが可能となります。

◆**授業方法**

・オンデマンド

上記の領域に関して、(1)予備的な講義をするとともに、(2)それを理解するうえで重要なカギとなる箇所を教科書・参考書を通して指定します。また、対面授業を行なう一部演習形式の授業、つまり、(3)著名な文献の和訳作業を行なうことになる実際の（英語で書かれた）文献を「提出課題」として指定します。

・対面授業

主に2つのことを行ないます。一つは、上記(3)の「提出課題」（和訳）の答え合わせをすることによって普段の自分の「読み」の実態がどのようなものであるかを実感すること。そして、(2)この科目で掲げた内容について、オンデマンドでは理解しきれなかった事柄についての補完的な話をします。また、適宜、参考書等の紹介、卒業論文に関する事柄など、こと英語学に関するいろいろな話をします。

◆**履修条件** 「なし」

◆**成績評価基準** 対面授業に入る前のオンデマンドにおいて指示する「課題」を対面授業前に提出し（提出方法についてはオンデマンド中に別途指示する）、かつ、対面授業の最終日に実施する筆記試験を合わせ総合的に判断します。

◆**教科書** 〔**汎用**〕『ことはを彩る1 テンス・アスペクト』吉良文孝著 研究者 2018年

◆**参考書** 〔**汎用**〕『英文法解説（改訂三版）』江川泰一郎著 金子書房 1991年（頻繁に使用しますので、各自購入・持参ください。）

◆**授業相談（連絡先）**：次のメール（2241037701@jcom.home.ne.jp）宛にお願いします。

◆**授業計画**〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	・「時」(Time)と「時制」(Tense)の峻別。 ・3つのレベルの観点から見た「時制」について。 ・Quirk et al. (1985)を読む。 ・Comrie (1985)を読む。 ・現在時制の意味特徴について。 ・過去時制の意味特徴について。
事前学修	45分程度の授業を録画（録音）を5回撮り、流します。そのなかで、対面授業で行なう著名著書・論文の和訳（「提出課題」）の具体的な内容、提出方法などを指示します。
事後学修	オンデマンドでの内容を十分に理解しておく。

・対面授業

1日目	授業内容	「提出課題」の答え合わせ（演習）と、講義内容に関する補完的な説明をします。
2日目	授業内容	講義内容についての補完的な話をします。
	事前学修	オンデマンドの内容を十分に理解しておく。
	事後学修	講義内容の全体的な「振り返り」作業をする。

◆授業概要

イギリスの劇作家 William Shakespeare の晩年の喜劇“Twelfth Night”の冒頭部を精読する。約400年前に書かれた本劇作品は、現在英語の始まりに属する英語によって書かれている。当時ならではの文法や単熟語の意味を丁寧に理解し、台詞を読み込むことによって、作品から浮かび上がってくる当時の時代背景や作品に盛り込まれた豊富な比喩を味わい、現代に生きる私たちの知恵の一助としたい。

◆学修到達目標

- ①Shakespeare の作品で使われている英語の文法や語彙を知り、正しく訳することができる。
- ②台詞に使われている独特な比喩の背景を理解して、当時の人々の理念や道徳観念、文化背景を知り、読み味わうことができる。
- ③Shakespeare 作品を意味を適切に理解しながら、正確な発音で読める。

◆授業方法

・オンデマンド

- ①授業の最初に、当時の考え方と現代を比較して楽しむ質問「本日のお題」に答える。
- ②30分程度の動画を見ながら、台詞の和訳に取り組む。
- ③動画を見ながら作成したノートを写真に撮って提出する。
- ④各回の学習理解を確かめる小テスト「本日の学習成果」に答える。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

- ①Google クラウドルームの「本日のお題」10%
- ②課題提出 50%
- ③小テスト「本日の学習成果」10%
- ④最終日の試験 30%（台詞を音読して動画を提出する）

◆教科書

資料配布 (Classroom)

◆参考書

資料配布 (Classroom)

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>第 1 回[8 月 2 日(月)] : Shakespeare を読むための基礎知識 (生い立ち、時代背景、『十二夜』について)</p> <p>第 2 回[8 月 3 日(火)] : Shakespeare 作品を読むための基礎知識 (台詞の特徴や文法について)</p> <p>第 3 回[8 月 4 日(水)] 作品精読第 1 回 (1 幕 1 場 1 行-18 行)</p> <p>第 4 回[8 月 5 日(木)] 作品精読第 2 回 (1 幕 1 場 19 行-41 行)</p> <p>第 5 回[8 月 6 日(金)] 作品精読第 3 回 (1 幕 2 場 1 行-29 行)</p>
事 前 学 修	<p>○第 1 回から第 5 回の授業を受ける前に Google クラスルームの質問「本日のお題」に答える。</p>
事 後 学 修	<p>○授業を受けた後で課題に取り組む。</p> <p>○授業を受けた後で Google クラスルームのテスト付き課題「本日の学習成果」に答える。</p>

・対面授業 (参考)

1 日 目	授 業 内 容	<p>第 6 回 : 作品購読第 6 回 (1 幕 3 場 1 行-25 行、44 行-59 行)</p> <p>第 7 回 : 作品精読第 7 回 (1 幕 4 場 1 行-20 行、27 行-41 行)</p> <p>第 8 回 : 作品購読第 8 回 (1 幕 5 場 30 行-39 行、55 行-82 行)</p> <p>第 9 回 : 作品精読第 9 回 (1 幕 5 場 89 行-113 行)</p> <p>第 10 回 : 作品精読第 10 回 (1 幕 5 場 140 行-168 行)</p>
2 日 目	授 業 内 容	<p>第 11 回 : 作品購読第 11 回 (1 幕 5 場 169 行-200 行)</p> <p>第 12 回 : 作品精読第 12 回 (1 幕 5 場 204 行-246 行)</p> <p>第 13 回 : 作品購読第 13 回 (1 幕 5 場 252 行-267 行)</p> <p>第 14 回 : 作品精読第 14 回 (1 幕 5 場 268 行-292 行)</p> <p>第 15 回 : 作品精読第 15 回 (1 幕 5 場 293 行-315 行)</p>
	事 前 学 修	<p>○第 11 回から 15 回の授業を受ける前に「本日のお題」に答える。</p>
	事 後 学 修	<p>○授業を受けた後で課題に取り組む。</p> <p>○授業を受けた後で Google クラスルームのテスト付き課題「本日の学習成果」に答える。</p>

講座内容（シラバス）

〔倫理学特殊講義〕

金子 佳司

◆**授業概要** 「よく生きる」とはどういうことか、よい人生とはどういう人生のことかという問題について、古来、多くの哲学者がいろいろ考え、様々な説を唱えてきました。この授業ではそれらの説を学び、またそれらの説を検討したいと思います。授業の中で検討したい主な論点は、「幸福とは何か」「快楽（＝快適なこと・楽しいこと）」「徳（＝人間として優れていること）」「義務（＝人間として行なうべきこと）」です。

◆**学修到達目標** よい人生とはどういう人生のことかという問題についての諸説を理解した上で、自分自身にとってのよい人生とはどういう人生かを考えて欲しいと思います。例えば、自分にとって、楽しくて快適な人生がよい人生か、あるいは、人間として成長するのがよい人生か、また、自分が生きたいように生きられたらよい人生か、あるいは、自分が行なうべきだと考えることを実行できたらよい人生かを考えて欲しいと思います。

◆**授業方法**

・オンデマンド

動画と資料で授業を行ないます。学生の皆さんは毎回、資料を読んだ上で動画の授業を受講し、課題に答えてください。授業の内容を踏まえて課題の答えが提出されたら出席と見なします。

・対面授業

講義形式で授業を進めますが、できれば（コロナが収まっていれば）、学生の皆さんと議論もしたいと思います。また、それらを踏まえて、1日目には小テストを2回、2日目には午前小テストを1回、午後には期末試験を行ないます。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 課題提出 50%、期末試験 50%

◆**教科書** 資料配布 (Classroom)

◆**参考書** 授業の中で紹介していきます。

◆**授業相談（連絡先）**：GoogleClassroom のコメント欄、または Gmail

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	第1回 生きる意味と目的 第2回 人生の究極目的（アリストテレス『ニコマコス倫理学』） 第3回 快楽について(1) アリステッポスとエピクロス（快感と心の穏やかさ） 第4回 快楽について(2) 功利主義者の快楽論①ベンサム（快楽の量） 第5回 快楽について(3) 功利主義者の快楽論②ミル（快楽の質）
事前学修	毎回、授業資料を読む。
事後学修	毎回、課題に答える。

・対面授業

1日目	授業内容	幸福に生きることがよい人生だとしても、それは必ずしも楽しく快適に生きること（＝快楽）ではなく、人間らしく生きることだという考えがあります。そして、本当の幸福は、単に人間らしく生きるだけではなく、人間として優れた性質である徳を身につけ、その徳に基づいて生きることだという考えもあります。では、人間として優れているとはどういうことなのでしょう。この問題をアリストテレスの徳論を中心としながら検討して見ます。なお、午前と午後の2回、小テストを行ないます。
2日目	授業内容	人間は誰でも幸福になりたいと思うものですが、どうになりたいかではなく、どうすべきかが人間にとっては大切であるとカントは主張します。そして、カントは人間として行なうべきことを義務と呼びました。はたしてよい人生とは、幸福になりたいという欲求を実現することでしょうか、それとも、カントの言うように、人間として行なうべき義務を実行することでしょうか。午前中の授業でこの問題を検討し、小テストを行ないます。午後は授業全体のまとめを行なった上で、期末試験を行ないます。
事前学修		対面授業2日分の授業資料を読む。
事後学修		対面授業1日目終了以後には、授業で取り上げた徳論について復習してください。また、オンデマンド授業で取り上げた快楽論を含めて、幸福とは楽しく快適に生きること（＝快楽）なのか、徳に基づいて生きることなのかという議論を整理しておいてください。2日目終了後には、よい人生とは、幸福になりたいという欲求を実現することなのか、人間として行なうべき義務を遂行することなのかという議論を整理してください。

講座内容（シラバス）

〔哲学演習B〕

成田 正人

◆**授業概要** デイヴィッド・ヒュームの『人間本性論』第1巻「知性について」の第1部と第3部の一部を皆で精読し、彼の論じる哲学的な問題や洞察の整合的な理解を目指します。また、彼の考える経験主義や彼の論じる帰納の問題を通して、私たち自身も経験や帰納について対話し探求していきます。そもそも経験とは何なのでしょう？ どうして帰納は問題になるのでしょうか？

◆**学修到達目標** この授業の目標は、第一に、全体像を捉えるのが難しい『人間本性論』の整合的な解釈を目指すことで、哲学の古典を自分で正確に読み解く力を涵養することです。また、第二に、哲学史に名を残す偉大な哲学者ヒュームから哲学のやり方を学び、世界や人生の謎に自ら切り込んでゆく哲学する力を修練することです。

◆授業方法

・オンデマンド

まずは資料で『人間本性論』の抜粋を読みます。次に講義スライドで基本的な論点や解釈を確認します。また、資料への疑問や反論などを課題として提出してもらいます。優れたものは授業で取り上げます。

・対面授業

まずは資料で『人間本性論』の抜粋を輪読します。次に基本的な問題の論点や議論の解釈を確認します。また、対話を通して問題の解決や議論の問題を話し合います。ときどき各人の疑問や反論などを書いて提出してもらいます。

◆履修条件

◆**成績評価基準** 対面授業の最後に実施する論述試験（60%）と課題の評価や対話への貢献を含む授業参画度（40%）で総合的に評価します。毎回の出席を前提します。（オンデマンドでは動画の閲覧や課題の提出が出席を兼ねます。）

◆**教科書** [資料配布 \(Classroom\)](#) 『人間本性論』第1巻「知性について」の抜粋をPDFファイルで配布します。

◆**参考書** [その他](#) 特に指定しませんが、授業内で適宜紹介します。

◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom 上で行います。

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・概説と導入：『人間本性論』の哲学（史）的背景を概観します。授業方法と評価基準も確認します。 ・序論：人間の自然本性とは？経験（主義）とは何か？ ・第1部第1節：印象とは何か？観念とは何か？印象と観念の差異と関係？ ・第1部第1節：「青の欠けた色合い」の意義？／第2節：感覚の印象とは？反省の印象とは？ ・第1部第3節：記憶（の観念）とは？想像（の観念）とは？記憶と想像はどのように異なるのか？
事前学修	資料で『人間本性論』の抜粋を精読して、そこで何がどのように論じられているのかを自分で考えておいてください。できれば、そのときに生じた疑問や反論などは書き留めておいてください。
事後学修	音声付きの講義スライドを閲覧した後に、『人間本性論』の気になった部分を改めて読み直してください。また、そのとき取り上げた抜粋の中から自分の好きな箇所を選んで、そこで生じた疑問やそれに対する反論などを簡単にまとめて課題として提出してください。

・対面授業

1日目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第1部第4節：観念の連合とは？なぜ異なる観念が結び付くのか？ ・哲学対話Ⅰ：経験とは何なのか？哲学に経験は必要か？私たち人間の（自然）本性とは？ ・第3部第1節：観念の関係とは？事実の問題とは？ ・第3部第2節：因果とは？原因と結果の関係？なぜ原因は結果に先行するのか？ ・第3部第3節：因果的な必然性とは？原因は必ず結果を生むのか？原因のない結果？
2日目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第3部第4節：何が（因果）推論を止めるのか？／第5節：なぜ経験は現実なのか？ ・第3部第6節：どうして印象から観念を導けるのか？なぜ自然の歩みは斉一的なのか？ ・哲学対話Ⅱ：帰納の問題とは何なのか？帰納の何が問題なのか？規則とは？時間とは？ ・第3部第7節：因果的な信念とは何か？なぜ因果的な信念が生じるのか？ ・総括と試験：授業の総括をしてから、論述試験を行います。
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業1日目の事前学習では、まずは1日目の対面授業で取り上げる『人間本性論』の抜粋を精読し、各部分で何がどのように論じられているのかをよく考えておいてください。そのときに生じた疑問や反論などは書き留めておいてください。また、経験について他の人と対話できるように、そもそも経験とは何なのかを自分で考えてみてください。 ・対面授業2日目の事前学習では、まずは2日目の対面授業で取り上げる『人間本性論』の抜粋を精読し、各部分で何がどのように論じられているのかをよく考えておいてください。そのときに生じた疑問や反論などは書き留めておいてください。また、帰納について他の人と対話できるように、帰納の何が問題なのかを自分で考えてみてください。論述試験にも備えておいてください。
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業1日目の事後学習では、授業で話し合ったことを活かして、さらに経験や哲学について考えて（書き出して）みてください。また、哲学対話それ自体に興味を持った人は、哲学カフェについて調べてみるとよいかもしれません。 ・対面授業2日目の事後学習では、授業で話し合ったことを活かして、さらに因果や帰納について考えて（書き出して）みてください。また、もちろん自分の問いを哲学的に探求し続けてください。

講座内容（シラバス）

〔西洋史特講Ⅱ〕

山本 興一郎

◆**授業概要** 紀元前44年3月15日の古代ローマ最高権力者ユリウス・カエサル暗殺後、政界の混乱を鎮め、事実上「帝政」を開始したのが、カエサルの養子オクタウィアヌスです。彼による共和政から帝政への転換については、従来、制度と非制度的諸関係という大きく二系統の研究が進められてきました。本講義ではこの二系統の研究を補完するものとして表象利用に注目し、具体的な史資料の分析を通して、帝政成立史理解の一端を提示いたします。

◆**学修到達目標** 本講義では古代ローマの激動期分析に際し、文献史料以外にも古銭や碑文を重要な史資料として利用します。それら史資料の分析を、その時代背景・社会情勢と併せて学ぶことで、受講生は史資料から読み取れる情報を当該期事件と比較検討し、その意義を見出す研究姿勢を学び、自身の研究にも応用する能力を身に着けることが出来るようになります。

◆授業方法

・オンデマンド

オンデマンド授業手順は次の通りです。本授業 Google Classroom に入って下さい。授業欄に各回トピックがありますので、配布プリントをダウンロードし、プリントを見ながら「音声付き Microsoft PowerPoint（以後「授業用資料」と記載）」を視聴して下さい。視聴後に、当該授業トピックに提示されている小課題に回答し提出して下さい。以上の〈授業用資料視聴→小課題提出〉作業完了をもって、各回の授業出席確認とします。また、5回目にレポート課題を提示する予定です。

・対面授業

オンデマンド授業で提示された授業用資料は視聴済みであること。対面授業は、配布プリントや映像資料などを利用した講義形式で実施します。適宜実施予定の小課題に回答し提出して下さい。また、2日目の最後にレポート課題を提示する予定です。受講者人数とその理解度に応じて、下記の授業計画を変更することがあります。なお、本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安としています。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 評価基準は、平常点（40%）、課題レポート（60%）です。平常点は毎回行う小課題の点数で評価し、課題レポートは計2回のレポートで評価します。なお、オンデマンド授業回は授業方法欄に提示した授業出席確認手順を踏んでいることを前提として、評価します。

◆**教科書** 丸沼『背景からスッキリわかるローマ史集中講義』、長谷川岳男、パンダ・パブリッシング、2011年/再販2017年。電子書籍版もあるので、入手方法は紙媒体・電子書籍どちらでも構わない。但し電子書籍版の場合、2日・3日目の対面授業時に電子書籍版教科書を見ることが出来る機器類（タブレット等）を持参すること。

資料配布（Classroom） オンデマンド授業時は、本授業用 Google Classroom の授業欄にて配布プリントをアップロード配布し、併せて音声付き授業用資料を配信します。対面授業時は当日配布予定です。

◆参考書

◆**授業相談（連絡先）**：質問等の連絡先は、初回授業時に案内します。

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	1. ガイダンス：古代地中海世界とローマ帝政草創期のかかわりとは 2. 古代地中海世界の概観1：古代ギリシアとオリエントの大国 3. 古代地中海世界の概観2：古代ローマ共和政の成立・発展と西地中海世界 4. 古代地中海世界の概観3：東地中海世界への拡大、ローマの混迷から帝政樹立へ 5. ここまでの復習と第1回レポート課題：古代地中海世界の歴史的展開
事前学修	下記「1.～」数字は上記授業内容の授業回数に対応している。 1. シラバスを一通り読んでおくこと 2. 第1回授業配布プリントを予習しておくこと 3. 指定教科書の第1～4講を予習しておくこと 4. 古代地中海世界の概観3：指定教科書の第5～6、8講を予習しておくこと 5. 第1回課題レポート：第2～4回授業と指定教科書の第1～6、8講を復習しておくこと
事後学修	下記「1.～」数字は上記授業内容の授業回数に対応している。 1. ガイダンス内容を復習しておくこと 2. 配布プリントと音声付き授業用資料を使い、復習しておくこと 3. 配布プリントと音声付き授業用資料を使い、復習しておくこと 4. 配布プリントと音声付き授業用資料を使い、復習しておくこと 5. 主にレポート課題出題範囲を復習しておくこと

・対面授業

1日目	授業内容	6. カエサル暗殺：文献史料から分かる暗殺と暗殺後の騒動 7. カエサルの星：文献史料から分かる暗殺後の騒動・言説 8. 神格化の帰趨：文献史料以外の史資料が伝える敗者の主張「貨幣」を手掛かりに① 9. ペルシア戦役の遺物：文献史料以外の史資料が伝える各陣営の主張「戦いの遺物」を手掛かりに 10. 映像で再現された古代ローマ世界
2日目	授業内容	11. 「偉大な・大王」と名乗る将軍：名乗りから読み解く表象利用① 12. 敗者の息子たち：史資料が伝える敗者の主張「貨幣」と「碑文」を手掛かりに② 13. 「最高司令官」と名乗る若者：名乗りから読み解く表象利用② 14. カエサルとカエサリオン：名乗りと誹謗中傷から読み解く勢力図 15. 内乱終結と帝政樹立・第2回レポート課題提示
	事前学修	下記「6.～」数字は上記授業内容の授業回数に対応している。 6～14回：第3～4回授業と指定教科書の第6講および各授業の前回授業を復習しておくこと 15回：これまでの授業配布プリント・メモ等を復習しておくこと
	事後学修	下記「6.～」数字は上記授業内容の授業回数に対応している。 10～14回：配布プリントと音声付き授業用資料を使い、復習しておくこと 15回：第6～14回授業と指定教科書の第6講を復習しておくこと

講座内容（シラバス）

〔考古学演習Ⅰ・Ⅱ〕

山本 孝文

◆**授業概要** 考古学の研究における基本情報の資料収集および公開資料である発掘調査とデータ作成（報告書作成）の基礎的な方法を学ぶ。考古学の資料の大部分は遺跡から出土した遺構や遺物であるが、それが研究に供されるためには特定の記録化作業が必要である。本講義では考古学研究に必要な文献の種類や収集法、発掘調査・整理作業の概要を学び、遺跡発掘調査報告書とはどのようなものかを理解し、実際に簡易実測を通じてその方法を習得する。

◆**学修到達目標** 1. 考古学の基礎文献により各時代の概要や研究が理解できる。
2. 考古学の基礎作業であるフィールドワークや遺物の整理作業の種類と過程が理解できる。
3. 発掘調査報告書の読み方・利用のしかたがわかり、その中に含まれる実測図を読みとってそこから実際の遺構・遺物の姿が復元できる。また、実測図の基礎的な描き方を理解し、簡易図が描ける。

◆授業方法

・オンデマンド

オンデマンド授業では発掘調査および遺物整理作業に関する解説や文献収集の方法、文献の種類をパワーポイント利用の映像視聴を通じた講義形式で行う。また受講生各自が調べた文献から各時代の遺跡の概要や研究をまとめて提出する。

・対面授業

後半の対面授業では発掘調査報告書の構成や読み方を解説し、遺物の実測の方法を指導する。また、実際に報告書に掲載された図面を模写することからはじめ、各自が選定した器物を簡易実測する。実測図は模写図面と実測図面の二つを提出する。

また、オンデマンド授業の段階で提示した課題を各自が発表する。

◆履修条件 令和2年度夏期スクーリング「考古学演習Ⅰ・Ⅱ」との積み重ね不可

実測道具として2H鉛筆（鉛筆削り）ないしシャープペン、消しゴム、15cmものさし、三角定規、コンパスなど実測に使用できる器具を各自準備し、実測対象の小型器物としてご飯茶碗・碗・湯のみ・猪口などの一つを準備すること。

履修期間中の授業終了後、文献検索などのため自宅などでインターネットを利用できること。

◆**成績評価基準** 授業内課題（50%）、授業外課題（10%）、リアクションペーパー（10%）、発表・授業参画度（30%）などによって総合的に評価する。

◆教科書

◆**参考書** 丸沼『考古学の方法 調査と分析』藤本強 東京大学出版会 2000年

◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom 内で随時受け付ける。

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	第1回：ガイダンス、考古学とはどのような学問か 今回の授業の方法と準備するものを説明し、考古学の学問としての基礎的な概要を解説する。 第2回：考古学の資料とデータ化 考古学にとって資料のデータ化とその活用がいかに重要かについて、データ化の方法とその種類について説明する。 第3回：考古学で論文を書くために 考古学論文の基礎的な構成などを説明し、書誌情報の提示のしかた、図版の役割などについて解説する。 第4回：考古学における基礎資料の種類 考古学の研究・論文作成に用いられる文献の種類を紹介し、それぞれの特性や利用のしかたを解説する。また、それぞれの文献はどこで探することができるか説明する。 第5回：様々な考古学資料の種類と特性 考古学で扱う物質資料の素材と種類を紹介し、その特性とデータ化のポイントなどを解説する。 パワーポイント動画は1回につき1～3ファイルに分けて配信する。
事前学修	それぞれの回に共通して以下の事前学習を各自で行っておくこと。 ・考古学に関連する概説書を事前に読んでおく。 ・論文の書き方に関する書籍などを読む。 ・各自が関心を持つ考古学的テーマに関する書籍・論文を探してみる。（第4回） ・学習した文献検索方法で学術誌掲載の論文を検索してみる。（第4・5回）
事後学修	それぞれの回に共通して以下の事後学習を各自で行うこと。 ・授業の内容をノートに整理し、読み直して理解できるようにする。 ・実測で使用する器具・実測対象の器物を準備する。 ・考古学論文を書くことを想定し、自分が書こうとしているテーマで論文のアウトラインを作ってみる。（第3回） ・実際に各自が設定した関心テーマの基礎資料を探してみる。 ・実際に各自が設定した関心テーマの研究論文をリストアップしてみる。 ・設定された課題の調査を行う。（第5回）

・対面授業

1日目	授業内容	・考古学における調査とは何かー調査の種類と目的 ①地表調査とトレンチ調査 考古学の調査の種類と、地表調査・トレンチ調査の意義と方法を説明する。 ②：発掘調査 遺跡の種類とそれに応じた発掘調査の方法を説明する。 ・調査の記録と遺物の整理作業 出土遺物の整理の手順と各工程の意味、報告書作成の意義について説明する。 ・考古学における図版の役割
2日目	授業内容	・実測図作成の原理 遺跡調査報告書に掲載される図面の見方を解説し、様々な図面の表現法を学ぶ。 ・報告書図面の再実測 実測の原理と方法をもとに、受講生各自がデータ化された実測図を測って再実測図を作成する ・器物の実測 準備した器物を実際に測り、実測図を作成する。

事前学修	<p>それぞれの回に対応して以下の事前学習を各自で行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検索した文献と内容をまとめておく。 ・ 自身が居住する地域（市区町村）にある遺跡の情報を調べておく。 ・ 自身が居住する地域（市区町村）にある博物館・資料館の情報を調べておく。 ・ 配布された調査報告書の実測図をよく見て、図の特性を理解しておく。 ・ 実測対象を選定して準備し、特徴を観察しておく。
事後学修	<p>それぞれの回に対応して以下の事後学習を各自で行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の内容をノートに整理し、読み直して理解できるようにする。 ・ 配布された調査報告書の実測図の解説文を作ってみる。 ・ 課題としての実測図を仕上げる。 ・ 授業で学んだことの復習として、別の器物を選定して実測をする。

講座内容（シラバス）

〔経済学史 / 経済学説史〕

高橋 宏幸

- ◆**授業概要** 本講義では、各時代の経済学がどのような時代背景でどのような思想を持った経済学者によってどのように構築・展開されたかを学ぶ。経済学の形成期から19世紀初頭頃までを主たる対象とする。
- ◆**学修到達目標** 経済学の歴史の基本的内容や展開過程について説明できるようになること、そして各時代の経済学や現代経済学の土台となる思想や考え方に目を向け、経済学が時代制約性を有していること、様々な価値判断に立脚して組み立てられていることを考察できるようになることを到達目標とする。
- ◆**授業方法**
 - ・**オンデマンド**
授業動画を掲出された順に視聴すること。必要に応じて適宜資料を配付する場合もある。一度の視聴でわからない箇所がある場合には、再度繰り返して視聴すること。それでも不明な点があればメールで質問を受け付ける。講義は、専門科目であるから、基本的な歴史の概要、そして経済学と経済史についての基本的知識をすでに習得していることを前提として講義を進める。
 - ・**対面授業**
対面授業の内容は、オンデマンド授業の内容の続きとなるので、オンデマンド授業の動画は必ず視聴しておくこと。基本的には板書やその解説を中心に進めるが、補助資料の配布や適宜その他の方法を取り入れることもある。講義は、専門科目であるから、基本的な歴史の概要、そして経済学と経済史についての基本的知識をすでに習得していることを前提として講義を進める。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**成績評価基準** オンデマンド授業におけるレポート課題（30%）と対面授業における試験（70%）で総合的に評価する。レポート課題は、オンデマンド授業をすべて視聴した後に取り組み、期日までに提出すること。分量や期日についてはClassroomで公表する。すべて出席していることを前提として評価する（オンデマンド授業については、レポート課題の提出が出席を兼ねることとする）。
- ◆**教科書** 『経済学史 R30100 / 経済学説史 L31300』 通信教育教材（教材コード000160）
- ◆**参考書** 『入門経済思想史 世俗の思想家たち』 ロバート・ハイルブローナー著 ちくま学芸文庫 2001年
『経済学の歩み』 山口正春、川村哲章、高橋宏幸著 三恵社 2013年
- ◆**授業相談（連絡先）**：オンデマンド授業の講義内容等に関する質問はすべてメールで受け付ける。対面授業では授業時に受け付ける。
takahashi.hiroyuki2020@nihon-u.ac.jp

◆授業計画〔各90分〕

・オンデマンド

授業内容	1. 講義における目標や方法、講義内容についての概説、経済学の系譜について 2. 経済学史とはどのような学問分野か。経済学史の学習目的・捉え方、研究方法等について 3. 重商主義の概念およびイギリス重商主義の政策体系 4. イギリス重商主義：その経済理論および経済政策 5. フランス重商主義：コルベール主義の政策体系
事前学修	オンデマンド授業の1については、シラバスに目を通しておくこと。2～5については、前回までの講義内容を自身でとったノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行うこと。
事後学修	オンデマンド授業の1については、講義内容をノートやシラバス等で確認・復習しておくこと。2～5については、それぞれの講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・復習しておくこと。

・対面授業

1日目	授業内容	1. 重農主義の社会的背景およびフランソワ・ケネーとその思想的基礎 2. フランソワ・ケネーとその『経済表』および経済政策論 3. アダム・スミスの経済学体系① 生涯と著作、富の概念、分業論 4. アダム・スミスの経済学体系② 価値論、自然価格論、市場価格論 5. アダム・スミスの経済学体系③ 分配論、資本蓄積論
2日目	授業内容	6. アダム・スミスの経済学体系④ 投資の自然的順序、経済発展論 7. T・R・マルサスの人口論 8. T・R・マルサスとD・リカードの論争 9. T・R・マルサスとD・リカードの経済学の特質 10. 総括及び試験
	事前学修	対面授業1日目までに、オンデマンド授業で学習した講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行うこと。
	事後学修	対面授業1日目終了後に、その日に学んだ講義内容についてノートや教科書の該当箇所等で振り返りを行うこと。対面授業2日目終了後には、1日目の講義内容を振り返りながら2日目の講義内容について、ノートや教科書の該当箇所等で確認・復習を行うこと。

講座内容（シラバス）

〔財政学総論／財政学〕

金子 光

◆**授業概要** ポストコロナの財政政策、東京五輪（2020）の政策課題、消費税の軽減税率、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）などはすべて財政学の研究対象です。本講義では、ミクロ経済学・マクロ経済学の理論を概説した上で、現在の日本が直面している様々な政策課題に焦点をあてながら、国や地方公共団体などの公共部門が果たす役割を理論面・制度面・政策面から考察を行います。政治・経済が重要な局面を迎えるなか、様々な政策課題を皆さんと共に考えていきたいと思えます。

◆**学修到達目標** 財政の役割とその仕組みに関して理解を深めるとともに、政策論に必要な分析手法を重点的に修得することで、予算・税制・公債・社会保障・地方財政などの問題を分析し、政策形成に資する能力を身に付けることを目標とします。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画や資料を参照したうえで、課題に取り組んでください。

質問は随時受け付けます。対面授業の際に、課題に対するフィードバックを行います。

・対面授業

授業の内容を踏まえて、課題に取り組んでください。

質問は随時受け付けます。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 政策課題を分析し政策を形成する能力について、テスト（50%）・レポート（30%）・小テスト（20%）の様々な観点から総合的に評価します。

◆**教科書** 資料配布（Classroom）講義資料を掲載します。

◆**参考書** 講義の際、各回の内容に基づいて、適宜紹介します。

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆授業計画〔各 90 分〕

・オンデマンド

授業内容	【財政学の潮流】 財政学の分析視角について説明した上で、「市場の失敗」と政府の役割、財政学と政策形成の関連について明らかにします。
事前学修	「財政の3機能」の今日的課題について調べてください。
事後学修	授業の中で取り上げる課題に取り組んでください。

・対面授業

1日目	授業内容	予算論，租税論，政策評価などを取り上げます。
2日目	授業内容	グローバル化と財政，地方財政，財政のマクロ経済分析，公共選択論などを取り上げます。
	事前学修	Evidence-based policy making に関して，海外の先進事例について調べてください。
	事後学修	授業の中で取り上げる課題に取り組んでください。

講座内容（シラバス）

〔貿易論〕

岡田 直己

◆**授業概要** 「貿易」は国・地域を越境して行われる主に企業間の経済活動であり、モノの輸出入が想起されたり、国家・企業間の政治経済の問題（国益の対立と交渉）として捉えられることが多い。しかし、「貿易」の対象はモノだけではなく、すべての貿易活動は「法」（条約や関連国内法）に基づいて行われており、利害対立をめぐる交渉・解決も「法」に基づいて行われる。本科目は、そのような「法」の基礎的領域の理論と実際を扱うものである。

◆**学修到達目標** 米中通商交渉など貿易分野にとどまらない国家間の経済対立、TPP 11、日欧 EPA（経済連携協定）及び日米物品貿易協定の発効、世界各国による貿易制限措置の相次ぐ発動と WTO（世界貿易機関）に対する紛争解決の要請等、貿易・国際投資の動向の変容は目まぐるしい。本科目では、貿易・国際投資のルールに関する基礎的理解を習得するとともに、貿易・国際投資をめぐる諸課題や貿易紛争に関する基礎知識を身につける。

◆授業方法

・オンデマンド

ガイダンス（授業運営方法の確認等）の実施後、グローバル貿易体制の成立と展開、GATT/WTO の基本原則と例外について解説する。ミニレポート課題を2つ設定し、基礎的理解を確認する。

・対面授業

貿易救済措置、サービス貿易、地域経済統合、紛争解決制度及び近年のホットトピックについて解説する。貿易・投資の「現実」をルールに則して考えることが重要であるため、受講者との質疑応答や議論を可能な限り行う。

◆履修条件

◆**成績評価基準** オンデマンド授業の出席（講義映像の視聴）、ミニレポートの提出、対面授業の出席、最終試験の受験を前提として、「ミニレポート 30%、最終試験 70%」で評価します。

◆**教科書** 丸沼『WTO FTA CPTPP -国際貿易・投資のルールを比較で学ぶ-』飯野文著 弘文堂 2019年

◆**参考書** 丸沼『WTO・FTA 法入門』小林友彦ほか著 法律文化社 2016年

丸沼『講義 国際経済法』柳赫秀ほか編 東信堂 2018年

丸沼『ケースブック WTO 法』松下満雄ほか編 有斐閣 2009年

◆**授業相談（連絡先）**：担当者へメール（n_okada@als.aoyama.ac.jp）でお問合せください。なお、対面授業期間の相談は、各日の昼休みなど休憩時間に応じます。

◆授業計画〔各 90 分〕

・オンデマンド

授業内容	① ガイダンス（授業運営方法の確認等）、総論（データでみる貿易・投資の動向） ② グローバル貿易体制の成立と展開（GATT/WTO 体制の歴史的展開） ③ 基本原則（最恵国待遇、内国民待遇、数量制限禁止など） ④ 一般的例外と非貿易的関心事項〔1〕 ⑤ 一般的例外と非貿易的関心事項〔2〕、本日のまとめ * ミニレポート課題を2つ設定する。オンデマンド授業は5回・450分相当で実施するところ、講義映像の視聴時間を400分程度とし、ミニレポートの作成時間を2題・50分程度とする。
事前学修	グローバル貿易体制の成立と展開、GATT/WTO の基本原則と例外について、担当教員が Classroom で指定する教科書の範囲並びに配布資料を通読しておくこと。
事後学修	担当教員が Classroom で指定した教科書の範囲並びに配布資料を再読し、関連条約の該当箇所を参照しつつ、授業内容を整理し理解しておくこと。また、ミニレポート課題の答案を再検討することも、授業内容の理解を深めることに役立つ。

・対面授業

1日目	授業内容	貿易救済措置（セーフガード、アンチダンピング、補助金・相殺措置）について、制度の概要、趣旨、発動要件、措置発動をめぐる法的課題を解説する。教科書に基づく概念説明だけでなく、主要事例を取り上げてケーススタディも行う。なお、3種類の貿易救済措置について、解説事項の広さ・深さはそれぞれ異なるため、授業時間は受講者の理解度を頼いながら調整することとする。 【時間割の想定】 ① セーフガード〔1〕 ② セーフガード〔2〕、アンチダンピング〔1〕 ③ アンチダンピング〔2〕 ④ アンチダンピング〔3〕、補助金・相殺措置〔1〕 ⑤ 補助金・相殺措置〔2〕、本日のまとめ
2日目	授業内容	サービス貿易、地域経済統合、紛争解決制度及び近年のホットトピックについて、制度の概要、趣旨、手続上の要件、手続執行をめぐる法的課題を解説する。教科書に基づく概念説明だけでなく、主要事例を取り上げてケーススタディも行う。また、近年のホットトピックについては、2020年8月から1年間の最新動向をふまえて取り上げる問題を定めることとし、マスメディア等が報じる政治的・経済的側面ではなく、本科目の目的に即して、法的側面を中心に解説し検討する。 【時間割の想定】 ① サービス貿易、地域経済統合 ② 紛争解決制度〔1〕 ③ 紛争解決制度〔2〕、近年のホットトピック〔1〕 ④ 近年のホットトピック〔2〕 ⑤ 本日のまとめ、最終試験
	事前学修	貿易救済措置（セーフガード、アンチダンピング、補助金・相殺措置）、サービス貿易、地域経済統合及び紛争解決制度について、担当教員が Classroom で指定する教科書の範囲並びに配布資料を通読しておくこと。
	事後学修	担当教員が Classroom で指定した教科書の範囲並びに配布資料を再読し、関連条約の該当箇所を参照しつつ、授業内容を整理し理解しておくこと。

◆授業概要

「教師の成長」をキーワードに、養成・採用・研修を通して見通すとともに、教職のもつ特性と課題を歴史的・国際的な視点を含めて把握する。さらに、学校・教師を巡る現代的な課題などに迫るとともに、採用段階および入職後に求められることに関することなど、講義を通して得られる知見を総合しながら自らの教職観を考える。以上のことを、高校での教員や学校関係者評価委員長等の経験を踏まえて授業内容に反映させる。

◆学修到達目標

1. 近年の学校・教員を巡る状況の変化（チーム学校を含む）について、国際的な動向を踏まえて説明することができる。
2. 教職の意義、教員の役割と職務内容、研修、服務上・身分上の義務と身分保障、教職の専門性などについて総合的に理解し、それらを含めて求められる役割・資質能力について説明することができる。
3. 講義内容とグループ・個人ワークを合わせて、教職の職業的特徴と自己の教職観を説明することができる。

◆授業方法

・オンデマンド

PowerPoint に音声を入れたオンデマンド資料を UP するので、これを UP されている順（授業資料はオンデマンドにより適したものを選ぶので、資料 1 から順になっていない）に閲覧し、確認テスト・課題レポートを期日までに提出すること。不明な点は、オンデマンド教材を何度か聞き直すとともに、インターネット等で調べて理解を補足すること。その上で、質問があればメールにて受け付ける。

Zoom では、授業に関する質問の受付、グループディスカッション（学級新聞）、現任教員との交流会を実施する。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

オンデマンドで課す確認テスト・課題レポート（60%）、プレゼンテーション（20%）授業積極的な姿勢と最終課題（12-1）（20%）で総合的に評価する。

◆教科書

『現代教職論 T10100』 通信教教材（教材コード 000541）3,100 円（送料込）＜この教材は市販の『現代教職論』羽田積男・関川悦雄編著（弘文堂）と同一です。＞

◆参考書

特になし

◆授業相談先（連絡先）

sugimori.tomoya@nihon-u.ac.jp

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>①ガイダンス：教師との出会いを振り返る<オンデマンド></p> <p>②教員の職務内容、教員の地位と身分、研修、教員免許制度<オンデマンド></p> <p>③教師のやりがいとバーンアウト<オンデマンド></p> <p>④多様化社会の中の専門職<オンデマンド></p> <p>⑤新しい教師の力量、チーム学校<オンデマンド></p> <p>⑥自己の教職観を表現する(説明)<オンデマンド></p>
事 前 学 修	<p>①これまでに会った教師，受けた授業を振り返り，特徴的な点を洗い出して簡単なメモを作成する。</p> <p>②教科書第2章，第3章，第5章1-5，第4章1・2，第6章を読み，その内容についてノートに整理してから教材を閲覧する。</p> <p>③教科書第7章1-3，5を読み，その内容についてノートに整理する。</p> <p>④ 『教員の権威』は低下しているか』について，自分なりの考えをメモとしてまとめる。</p> <p>⑤教科書第4章4を読み，その内容についてノートに整理する。</p> <p>⑥自身の指導観の「軸」を，主に学級運営の側面から考えておく。クラス担任として初回の「学級新聞」でクラスの運営方針を保護者と子どもに向けて発信することを想定して，どのようなことを「学級新聞」に記載するか，そのプランを考えておく。</p> <p>⑦メール以外で質問・相談があれば，その内容を考えておく。授業等を踏まえて考えたことをもとに，現職教員に訊くことを考えておく。</p>
事 後 学 修	<p>① 『『良い』教師，『良い』授業の要件』を授業資料をもとに再考し，ノートにまとめておく。</p> <p>②地方公務員法第32条，第36条・教育公務員特例法第18条1について授業で扱った以外の事例を検索し，その判例の内容と時期的な背景を踏まえて授業で扱った判例と比較し，ノートにまとめる。自身の居住地にある教育センターと教職員支援機構のウェブを閲覧して，どのような研修が実施されているかノートにまとめる。</p> <p>③「教員のやりがいとバーンアウトの関係」について，ノートにまとめる。</p> <p>④「教員の権威性」を歴史的な視点でとらえ，その大きな変化のポイントをノートにまとめる。</p> <p>⑤国際的な動向を踏まえ，現代の教員に求められていることを自分の言葉でノートにまとめる。</p> <p>⑥⑦授業・プレゼン・交流会の内容を振り返り，提出した「学級新聞」の内容とプレゼンをさらにブラッシュアップする。</p>

・オンデマンド・オンライン授業

1 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ①教員の職務内容とその意義、 ②教員の地位と身分 1、 ③教員の地位と身分 2、 ④教員の地位と身分 3
2 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ⑤日本の教員免許制度、 ⑥世界の免許制度と日本の改革動向、 ⑦チーム学校、 ⑧教職観ワーク・プレゼンテーション
事 前 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ①教科書第3章を読み、教員の職務内容についてノートに整理する。 ②教科書第5章1を読み、その内容についてノートに整理する。 ③教科書第5章2, 3を読み、その内容についてノートに整理し、扱われている法令の判例と解説を『解説教育六法』で調べる。 ④教科書第5章4, 5を読み、その内容についてノートに整理する。 ⑤教科書第2章を読み、その内容についてノートに整理する。 ⑥「教員養成6年制」がなぜ議論されたのかについてインターネット等で調べ、ノートにまとめる。 ⑦出身小学校または中学校のホームページを閲覧し、チーム学校としてどのような活動をしているか調査し、その内容をノートにまとめる。 ⑧中学校1年のクラス担任になったと想定して、学級運営方針を考え、保護者に説明し理解を得られる程度にまでプレゼンテーションできるよう準備してくる。また、自身が赴任したいと考える自治体の教育委員会 HP を閲覧して、当該自治体が求める教師像を調べる。 	
事 後 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ①授業の振り返り→確認テスト。 ②課題レポート作成・提出。 ③授業の振り返り→確認テスト。 ④授業の振り返り→確認テスト。 ⑤課題レポートの作成・提出。 ⑥教員免許が教員の質の維持・向上に寄与しているのか、また寄与するために必要な要件は何かについてノートにまとめる→確認テスト。 ⑦現在の日本で「チーム学校」が必要とされている理由をノートにまとめる。 ⑧事前学習で調べた教育委員会の求める教師像と自身の教職観をいかにマッチングさせることができるのか考える。ディスカッションで指摘されたことを踏まえて「学級通信」課題を修正する。 	

その他

本講義は8月22日（日）13時00分から17時30分の間の3時間程度をオンライン授業（Zoom）で実施します。

8月21日（土）、22日午前はオンデマンド授業を実施します。

講座内容（シラバス）

〔地誌学 / 地誌学概論 / 地理学概論（地誌を含む）〕

羽田 麻美

- ◆**授業概要** 本授業を通じ、中学・高等学校で地誌学分野を取り扱う際に必要な知識と考え方を得ることを目標とします。地誌分野を教える際に必要な基本的概念を学び、地形図を用いて地域を読み解く力をつけることを目指します。
なお、地形図読図実習は初めて地形図に触れる学生、今年度初めて受講する学生に合わせる形で、基礎から解説します。
- ◆**学修到達目標**
 - ・地域を地誌的な視点から分析・考察することができる。
 - ・地形図読解の基礎を習得し、地域の地理的特徴の理解のために活用することができる。
- ◆**授業方法**
 - ・**オンデマンド**
 - ・授業はパワーポイントを用いた講義形式でおこないます。視聴前に、Google Classroom から配布資料をダウンロードして授業に臨んで下さい（事前印刷推奨）。
 - ・授業後半に Google Classroom を利用して、リアクションペーパーやミニ課題に取り組んでもらいます。質問もこちらで受け付けます。質問は氏名非公開のうえで受講者全員と共有することを前提とし、質問への回答（動画形式を予定）は受講者全体に向けて Google Classroom 上にアップロードする予定です。
 - ・**対面授業**
 - ・授業はパワーポイントと配布資料を用いて、講義と実習形式でおこないます。
 - ・2日間の授業内で、地形図を用いた読図実習をおこない、授業内で課題を提出してもらいます。
 - ・2日間ともに色鉛筆（5色程度）、携帯用の小型鉛筆削り、30cm程度程度の定規を必ず準備して下さい。（地形図に描かれた等高線や地図記号の読み取りをおこないますが、読み取りにくい際は虫眼鏡等を準備して下さい。）
 - ・質問は休憩時間あるいは Google Classroom を介して受け付けます。
- ◆**履修条件** 教職課程履修者の受講を推奨します。
- ◆**成績評価基準** オンデマンド授業および対面授業で提示する課題は評価対象ですので、全て提出して下さい（全体の50%）。対面授業の最終日に試験をおこないます（全体の50%）。
※すべて出席していることを前提として評価します。
※地形図の実習課題は、提出必須です。
※試験は対面授業最終日の5時限目（17：30終了）に実施します。試験は、自筆のノート・配布資料、実習に用いた地形図を持ち込み可能とする予定です。
- ◆**教科書** **通材** 『地誌学 / 地誌学概論 / 地理学概論（地誌を含む）』 通信教育教材（永野征男・羽田麻美著）
その他 プリントはオンデマンドの際は Classroom で配信、対面授業の際は当日配布します。
いずれの場合も地形図（計2枚）は必ず事前に購入して授業に臨んで下さい。

【重要】地形図について（要事前購入）

国土地理院発行の地形図（以下の計2枚）をあらかじめ購入し、スクーリングに持参して下さい。地形図と色鉛筆を準備していない受講生は実習が行えませんので、成績評価基準の「授業内におこなう読図課題」の評価が不可能です。

- 1) 2万5千分の1地形図「南大東島」（H19.5.1発行）356円
- 2) 2万5千分の1地形図「海津（かいづ）」（H26.2.1発行）435円

《地形図の購入方法》① or ②の方法で購入して下さい。

- ①日本地図センター（<http://www.jmc.or.jp/buy.html>）のネットショッピングで購入。送料は、ネコポスを選択すると全国一律360円です。
- ②日本地図センターウェブサイト内の地図販売店一覧（<http://www.jmc.or.jp/hanbai.html>）を参照し、販売店にて直接購入。但し、売り切れの場合があるため、事前に電話で確認した方が良いです。

注意事項1：購入する地形図の縮尺は、「2万5千分の1」です。5万分の1地形図と間違えないよう注意して下さい。

注意事項2：地形図の発行年は、シラバス作成時（2021年1月）に販売している地形図の発行年になります。購入時に更新されている場合は、その時に販売されている最新版の地形図を購入して下さい。

- ◆**参考書** **凡例** 『建設技術者のための地形図読図入門1～4』、鈴木 隆介、古今書院
凡例 『大学テキスト 地図読解入門 追補版』、籠瀬良明（著）・卜部勝彦（追補）、古今書院
凡例 『読みたくなる「地図」東日本編 / 西日本編：日本の都市はどう変わったか』、平岡 昭利、海青社
※参考書はスクーリング（対面授業）に持参する必要はありません。

◆**授業相談（連絡先）**：不明な点がある際は a_hada@grs.u-ryukyu.ac.jp までメールを下さい。

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	地域を地誌的な視点から分析・考察するための基礎的概念を、事例とともに解説する。 扱うテーマは以下を予定している。 <ul style="list-style-type: none">・地理学および地誌学はどのような学問なのか・海外地誌の事例：ルーマニアの移牧研究から
事前学修	・高校地理の学習範囲および内容を見直しておくこと。 ・地理学とはどのような学問なのかをインターネット上の情報（辞書や電子ジャーナル等）で確認する。
事後学修	・地理学とはどのような学問と理解したか、また地誌学は（系統）地理学とどのような関係性にあるのかを振り返る。

・対面授業

1日目	授業内容	<p>高校地理の教材としてよく取り上げられる「百瀬川扇状地」を事例に、地形図から地域を読み解くための基礎的スキルを学ぶ。扱うテーマは以下を予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地理教育における地形図の利用 ・ 地形図の読み方 i) 縮尺, 地図記号 ・ 地形図の読み方 ii) 等高線 ・ 地形図から扇状地の自然と暮らしの変遷を読み解く (旧版地形図の利用)
2日目	授業内容	<p>南大東島を事例に、亜熱帯島嶼地域の自然と暮らしの様子を地形図から読み解く。さらに、地形図読解で得られた気づきと、実際に現地調査によって得られた研究成果を紹介し、地理学研究における地形図の役割を考察する。</p> <p>主なテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地形図の読み方 iii) 地形断面図 ・ インターネット上で利用可能な電子地図の紹介 ・ 地形図から読み解く亜熱帯島嶼の自然と暮らし ・ 現地調査から考察する南大東島の成り立ち
事前学修		<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入した地形図には何が描かれているのか、どのような地域の特徴が読み取れるのかを予習すること。 ・ 地形図に描かれた等高線とは何かを確認し、購入した地形図からこの地域でみられる地形的特徴を予習すること。
事後学修		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地形図の読図実習の作業結果と授業内の解説を見直すとともに、書籍やインターネット上の情報 (電子ジャーナル等) を活用して、解説された内容以外にどのようなことが地形図から読み取れるのか、学校現場ではどのような活用の仕方が出来るのかを考えてみる。

◆授業概要

書・文字に関する歴史的・文化的事項について理解を深める。芸術性のみならず、実社会・実生活において活かせる書についても学び、毛筆・硬筆による実践を通して書写力の向上を図る。さらに中学校（国語科）の学習内容を基準とし、字形・筆遣い等の確認を行った上で学校教育現場で「書写」を指導するために必要な基礎的知識・技能を学び、基礎固めを行う。

◆学修到達目標

- 1) 授業中取り上げる書・文字に関する歴史的・文化的事項、基礎知識の習得
 - ① 文字・書体の誕生とその変遷
 - ② 平安時代の名筆
- 2) 毛筆・硬筆による表現技術の習得
 - ① 仮名のいわゆる単体・連綿
 - ② 漢字
 - ③ 漢字仮名交じり
- 3) 学校教育現場で「書写」を指導するために必要な基礎的知識、技能の習得
 - ① 中学校の学習内容において「正しい」とされている字形・筆遣いについて
 - ② 書きにくい（不安定な字形になりがちな）漢字について

◆授業方法

授業担当者が指定する Drive 内に収めるデータの視聴、内容確認を行い、その上で指定の課題に取り組む。

規範とされる書のいくつかを取り上げ、それを中心に講義・実践を行う。各自、指定の「提出作品」を制作する（「提出作品」の内容は担当者作成のプリントに記載）。課題の中には受講生自作の俳句の毛筆による作品化もある（自作俳句は原則、事前に〈開講前〉メールにて回収する）。授業後半には作品鑑賞も行う。分析的、感覚的鑑賞を行い、受講生自らの言葉でそれについて説明・表現する時間も設ける。

◆履修条件

何らかの理由により、Zoom を個別に実施することになる場合、Zoom の接続・操作方法に関することは受講生各自、独力で行うこと（授業担当者はそこには関与できませんのでご了承下さい）。

◆成績評価基準

授業成果 80%、授業内テスト 20%

◆教科書

事前にプリントを送付（「事前送付資料」と呼称する。資料 A・B・C の束に分かれている）。

◆授業相談先（連絡先）

事前送付資料に記載。

◆授業計画

・オンデマンド

授業内容	<p>ガイダンス 文房四宝（筆・墨・硯・料紙）に関する基礎知識 仮名の「単体」 熨斗袋の表書き、資料 A No.8（当該内容は授業中、指示する）。 資料 C 「2 回 6 講」・「6 回 1 講・2 講」を行う。 仮名の「連綿」 和歌を書く（資料 A No.5）。映像の視聴。 資料 A No.5 の清書を行う。資料 A No.8：正しい字形・筆遣いについて理解する。 「散らし書き」の基礎 資料 C 「4 回 1 講・2 講」を行う。 小テスト（持ち込み不可。20 分間）の実施。 漢字の書体の変遷（資料 C 「7 回 1 講・2 講」）を行う。 平安時代の古筆に見られる筆遣い、上下に位置する文字の関係について。 寸松庵色紙の鑑賞と臨書 寸松庵色紙に関する基礎知識 資料 C 「12 回」・「13 回」を行う。</p>
事前学修	<p>資料 A 「ガイダンスプリント」に目を通す。 資料 A No.1 ①に目を通す。 資料 A No.1 ②をもとに各自、毛筆による模写を行う。 資料 A No.3 を手本とし、毛筆による学習を行う。 資料 A No.5 の筆路について確認を行う。 資料 A No.5 の筆路について再度復習を行う。資料 B No.18 に目を通す。 第 1 日目に（オンデマンドにおいて）予告する小テストに関する必要事項について確認を行う。 自作俳句を漢字仮名交じりで書す。 資料 B No.11・14 に目を通す。 資料 B No.17 裏に目を通す。その他、粘葉本和漢朗詠集に関する基礎知識を各自得ておく。 資料 B No.13 に目を通す。 資料 A No.9、資料 B No.10・12 に目を通す。</p>
事後学修	<p>資料 A 「ガイダンスプリント」、再読。 資料 A No.1 ①、再読。 授業中、指摘した平安時代の書の特徴について復習を行う。 授業中指摘した個々の字形、筆遣いの特徴について言葉で説明できるようにノートにまとめ、整理する。 授業中指摘した漢字の書体に関する基礎知識をノートにまとめる。</p>

資料 B No.13 の再読。主に「万葉仮名」・「草仮名」・「変体仮名」に関する説明事項をまとめる。

資料 A No.9、資料 B No.10・12 の再読、及び復習。

資料 B No.10・12 の再読。

講座内容（シラバス）

〔教育課程論〕

野内 頼一

- ◆**授業概要** 各学校の教育活動・指導内容の土台のなっている学習指導要領について学ぶ。その際、新学習指導要領がどのような背景でどのような議論を経て作成されていたのかそのプロセスを学ぶことを通して、新学習指導要領のポイントを理解する。公立高等学校教員、教育委員会指導主事、国立教育政策研究所教育課程調査官の経験を踏まえて授業内容に反映させる。
- ◆**学習到達目標**
 - 1 学習指導要領の変遷と、それらとの比較における新学習指導要領の特色について理解し説明することができる。
 - 2 学校教育における教育課程の役割と、教育課程編成の実際について理解し説明することができる。
 - 3 学校教育におけるマネジメントの意義・重要性和カリキュラム・マネジメントについて理解し説明することができる。
- ◆**授業方法**
 - ・オンデマンド
 - 1 本時の授業テーマに関する講義を受講する。
 - 2 提示された課題について情報を収集する。
 - 3 提示された課題に関して自分なりの考えをまとめる。
 - 4 授業レポートを作成し提出する。
 - ・対面授業
 - 1 本時の授業テーマに関する講義を受講する。
 - 2 本時の授業テーマに関する話題について自分の考えをまとめる。
 - 3 本時の授業テーマに関する話題についてグループディスカッションを行い意見交換する。
 - 4 他者と意見交換したことを踏まえて再度自分の考えをまとめる。
 - 5 授業レポートを作成し提出する。
- ◆**履修条件** 令和3年度夜間スクーリング（春期）「教育課程論」との積み重ね不可。
- ◆**成績評価基準** 授業レポート及び課題提出（70%）、グループディスカッション及び発表内容（30%）等を総合的に判断する。毎回出席することを前提に評価する。
- ◆**教科書** [資料配布（Classroom）](#)
- ◆**参考書** 中学校学習指導要領（平成29年告示 文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年告示 文部科学省）
- ◆**授業相談（連絡先）**：対面授業の初回に連絡する。
- ◆**授業計画〔各90分〕**
 - ・オンデマンド

授業内容	学習指導要領改訂のプロセスを通して、各学校の教育活動・指導内容の土台のなっている学習指導要領について学ぶ。 学習指導要領の変遷 学習指導要領改訂の背景と経緯—中教審への諮問から— 学習指導要領作成のプロセス—論点整理から— 中央教育審議会答申の内容から 新学習指導要領について 授業動画40分程度を視聴した後、課題について授業レポートを作成する。
事前学修	最近の教育関係の話題やニュースについて情報収集しておくこと。
事後学修	授業で示された課題に対して自分なりの考えをまとめて授業レポートを作成すること。

・対面授業

1日目	授業内容	今後の講義について授業ガイダンス 学習指導要領改訂の背景、学習指導要領改訂の考え方、学習指導要領と育成を目指す資質・能力の関係、主体的で対話的で深い学びからの授業改善やカリキュラムマネジメント等について、グループディスカッションや全体討議を通して議論を深める。
2日目	授業内容	主体的で対話的で深い学びからの授業改善やカリキュラムマネジメント等について、グループディスカッションや全体討議を通して議論を深める。 今までの学習を踏まえてどのような授業を構成したいかなどについて各自の考えを発表する。
	事前学修	オンデマンド授業で配布された資料について、関係するところを読み返しておくこと。
	事後学修	授業で示された課題に対して自分なりの考えをまとめて授業レポートを作成すること。

講座内容（シラバス）

〔体育実技Ⅰ・Ⅱ〕 高橋 正則・水落 文夫・佐藤 秀明・佐藤 佑介・深見 将志

◆**授業概要** 現代の高齢社会では、健康を維持・増進するためには、適度な運動習慣を生活習慣に取り込むことが求められる。そこで、まず自己の体力の現状を把握し、身体運動の継続的な必要性について認識を高める。そして、年齢や体力レベルに応じた運動参加への具体的方法を理解し、スポーツ実践に取り組むとともに、それらを通して他者とコミュニケーションを活発に図ることで社会的スキルも養う。そのためにも、1日20分以上の連続歩行や軽い柔軟運動の実施を心がけ、日頃からコンディションの維持が大切となる。特に、トレーニングコーチ（日本オリンピック委員会強化スタッフまたはスポーツメンタルトレーニング指導士など）として体カトレーニングやメンタルトレーニングの指導実績を生かし、実践的で効果的な健康教育に関する知識を授業に反映させている。

◆**学修到達目標** 多くの運動やスポーツの実践を通して、その楽しさや具体的方法を他者とともに学び、自らが身体活動を継続して実施することの重要性を認識できるようになる。また、他者とのコミュニケーションを深め、社会的スキルを向上させることができるようになる。

◆授業方法

- ・オンデマンド
- ・対面授業

原則、天候に左右されない体育館内（アリーナおよび卓球場）での授業とし、いくつかのグループに分かれ、体力測定をはじめとする様々な運動や、ネット型スポーツ・ニュースポーツを中心としたスポーツを体験する。体力測定結果については、性や年齢に応じた基準値と比較照合して自己評価する。また、各グループでのスポーツでは、個々の年齢や体力レベルに配慮するとともに、入念なウォーミングアップとクーリングダウンを徹底して行なう。なお、本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安としている。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（授業参画度 80%）および自己の体力に合った運動への理解と遂行の程度（20%）によって、総合的に判断します。

◆**教科書** なし

◆**参考書** 〔丸函〕『大学生のための最新健康・スポーツ科学』 日本大学文理学部体育学研究室編、八千代出版、2019年

◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に伝える。

◆授業計画〔各90分〕

- ・オンデマンド

授業内容	
事前学修	
事後学修	

・対面授業

1日目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス（集中授業における運動の効果とリスク・施設の使用法・注意事項の説明、グループ分けと準備体操の実施）＜計90分＞ ・体力測定の実施（5種目：閉眼片足立ち、握力、長座体前屈、上体起こし、反復横跳び）＜計120分＞ ・自己評価（各測定項目の基準値と比較照合し、自己評価する）＜計60分＞ ・卓球：用具の理解、フォアハンドとバックハンド、サーブ、ボールの回転とショットとの関係、ラリー、ダブルスにおけるペアとのコンビネーション、ルールの理解、ダブルスの試合（グループおよび施設等の関係により、実施するスポーツの順番が変更となる場合がある）＜計180分＞
2日目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン：用具の理解、フォアハンドとバックハンド、ラリー、サーブ、ハイクリアー、ダブルスにおけるペアとのコンビネーション、ルールの理解、ダブルスの試合（グループおよび施設等の関係により、実施するスポーツの順番が変更となる場合がある）＜計150分＞ ・ミニテニス：用具の理解、フォアハンドとバックハンド、ボールの回転とショットとの関係、ラリー、サーブ、ハイクリアー、ダブルスにおけるペアとのコンビネーション、ルールの理解、ダブルスの試合（グループおよび施設等の関係により、実施するスポーツの順番が変更となる場合がある）＜計150分＞ ・ニュースポーツ：ストレッチ、柔軟運動、ドッチビー、タグラグビー、ボールゲーム、フライングディスク等のニュースポーツ（グループおよび施設等の関係により、実施するスポーツの順番が変更となる場合がある）＜計150分＞
3日目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバレーボールまたはバレーボール：用具の理解、アンダーハンドパス、オーバーハンドパス、ラリー、サーブ、レシーブ、ルールの理解、試合（グループおよび施設等の関係により、実施するスポーツの順番が変更となる場合がある）＜計150分＞ ・グループ別対抗ソフトバレーボール大会：ウォーミングアップ、チーム分け、グループ練習、試合、総評、クーリングダウン＜計300分＞
	事前学修	授業当日までにセルフコンディショニングを徹底し、心身のコンディションの維持に留意しておくこと（計120分）。また、授業計画にあるスポーツについてルールや内容、および最近の話題について調査しておくこと（体力測定・卓球・ミニテニス・バドミントン・ニュースポーツ、ソフトバレーボール：各30分計180分）。
	事後学修	対面授業日の実施後には、各スポーツにおけるルールの復習と運動実践の振り返りを行う（体力測定・卓球・ミニテニス・バドミントン・ニュースポーツ、ソフトバレーボール：各30分計180分）とともに、他者とのコミュニケーションの程度と次の目標を各自で確認する（各日20分計60分）。また、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底しておくこと（各日20分計60分）。